
瀬戸内市 市民まちづくり意識調査

－ 報告書 －

令和8年9月
岡山県 瀬戸内市

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 回答者の属性	3
1 性別	3
2 年齢	3
3 居住年数	5
4 職業	6
5 現住所への居住のきっかけ	7
6 家族構成	8
7 普段の主な移動手段	11
III 調査結果	13
【1】瀬戸内市のめざす姿に対する実感度と重要度について	13
1 現在の実感度	13
2 現在の重要度	19
3 実感度と重要度の相関図による分析	25
【2】行動や考えについて	31
問2(1) あなたは、ご自身の人権が守られていると思いますか。	31
問2(2) あなたは、慣習やしきたりで男女が平等になっていると思いますか	34
問2(3) あなたは、人権問題について相談できる「なやみごと相談」の窓口を知っていますか	36
問2(4) あなたは、近所の子どもに会ったときに、あいさつや声かけをしていますか	39
問2(5) あなたは、生涯学習講座などの活動に参加したことがありますか	41
問2(6) あなたは、学習やスポーツの指導など、地域に貢献する活動をしていますか	44
問2(7) あなたは、週に2回以上、1回30分以上の運動を1年以上継続していますか	47
問2(8) あなたは、歴史や文化、芸術に関わる活動をしていますか	49
問2(9) あなたは、市が発信する子育て情報に満足していますか	52
問2(10) あなたは、市内の公共施設や商業施設などで、「バリアフリー化」(障がい者や高齢者にとって不便な障がいを取り除く取組)が進んでいると思いますか	55
問2(11) あなたは、経済的な理由で日常生活が困難だと感じていますか	58
問2(12) あなたは、瀬戸内市の土地利用は、住宅や店舗、工場などが混在することなく、計画的に進められていると思いますか	61
問2(13) あなたは、瀬戸内市の景観に満足していますか	63
問2(14) あなたは、瀬戸内市の道路は快適だと思いますか	65
問2(15) あなたは、瀬戸内市には快適に利用できる公園や緑地が整っていると思いますか	68
問2(16) あなたは、バスや電車など、公共交通機関が利用しやすいと思いますか	71
問2(17) あなたは、電子マネーやクレジットカードなどのキャッシュレス決済を利用していますか	74
問2(18) あなたは、日常生活の中で、パソコンやスマートフォンなどの携帯電話でインターネットを活用していますか	76
問2(19) あなたは、家庭から出るごみのリサイクルを実践していますか	78
問2(20) あなたは、日常生活で省エネを実践していますか	80
問2(21) あなたは、災害が起きたときのために、非常持出品を準備していますか	82
問2(22) あなたは、災害が起きたときの、最寄りの避難場所を知っていますか	85

問2(23) あなたは、悪質商法などへの対応について相談できる市役所や県、警察などの「消費生活」に関する相談窓口を知っていますか	88
問2(24) あなたは、農産物を買うときに、地元産かどうか意識していますか	91
問2(25) あなたは、水産物を買うときに、地元産かどうか意識していますか	93
問2(26) あなたは、瀬戸内市は日常生活品の買い物がしやすいまちだと思いますか	95
問2(27) あなたは、「広報せとうち」を読んでいますか	98
問2(28) あなたにとって、「広報せとうち」の情報は役立っていますか	100
問2(29) あなたは、瀬戸内市のホームページを見たことがありますか	102
問2(30) あなたにとって、瀬戸内市ホームページの情報は役立っていますか	105
問2(31) あなたは、広報紙やホームページで必要な市の情報を手に入れることができますか ..	108
問2(32) あなたは、市政に関心がありますか	111
問2(33) 広報紙やホームページを通じて市の財政状況を公表していますが、あなたは、市の財政が改善されていると思いますか	113
問2(34) あなたは、市役所が行うまちづくりの取り組みについて満足していますか。	116
問2(35) あなたは、自治会などでの地域コミュニティ活動に参加していますか	119
問2(36) あなたは、過去 1 年間にボランティア、NPO 活動に参加したことがありますか	122
問2(37) あなたは、SDGs (持続可能な開発目標)について知っていますか	125
問2(38) あなたは、SDGs の目標達成のために何らかの行動をしていますか	127
問2(39) あなたは、性的少数者に対して市民の関心が高まっていると感じますか	129
問2(40) あなたは、性的少数者にとって瀬戸内市は暮らしやすい環境だと思いますか	132
【3】瀬戸内市の暮らしについて	135
1 瀬戸内市の暮らしに関する評価	135
【4】自由意見	139

I 調査の概要

【調査の目的】

瀬戸内市がめざす将来（2040 年）の姿を、市民の皆様が現在どの程度実感し、どのようなまちの姿を重要視しているかについて把握するとともに、第3次瀬戸内市総合計画の数値目標に対する現状値を把握することを目的として実施しました。

【調査対象】

18 歳以上の市民 1,800 人

【対象者抽出方法】

住民基本台帳による無作為抽出

【調査方法】

郵送配布、郵送回収

【調査期間】

令和8年（2026年）5・6月

【回収結果】

配布数 ----- 1,800 件

有効回収数 ----- 740 件

有効回収率 ----- 41.1%

◆地区別回収結果（上段：回答件数、下段：構成比％）◆

全体	牛窓地域				長船地域			
		牛窓	鹿忍	長浜		美和	国府	行幸
740	116	50	41	25	236	17	62	157
100.0	15.7	6.8	5.5	3.4	31.9	2.3	8.4	21.2

邑久地域									無回答
	邑久	福田	今城	豊原	本庄	笠加	玉津	裳掛	
365	126	60	51	38	23	17	9	41	23
49.3	17.0	8.1	6.9	5.1	3.1	2.3	1.2	5.5	3.1

※ 「問4（3）居住地」の回答結果より

【報告書の見方について】

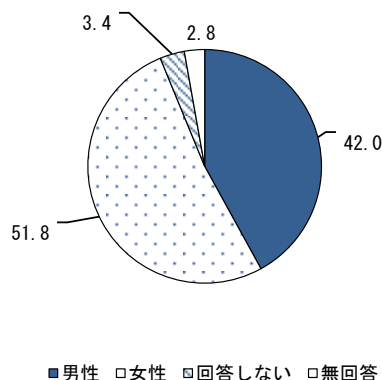
- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入しています。そのため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合があります。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数(標本数)です。全標本数を示す「全体」を「N」、該当数を「n」で表記しています。
- (4) 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者(例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者)を除いて表記しているため、属性ごとの基数(n)の合計と全体の基数(N)は一致しない場合があります。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値(例:0.0%、0.1%など)は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合があります。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合があります。
- (6) 図表中、クロス集計の項目軸については、長文を省略している場合があります。
- (7) 設問によっては、令和6年度に実施した同調査(「前々回調査」と表記)、令和7年度に実施した同調査(「前回調査」と表記)との比較を行っています。
- (8) 上記のほか、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載しています。

Ⅱ 回答者の属性

1 性別

性別構成比は、「男性」が42.0%、「女性」が51.8%となっています。

(SA) n=740



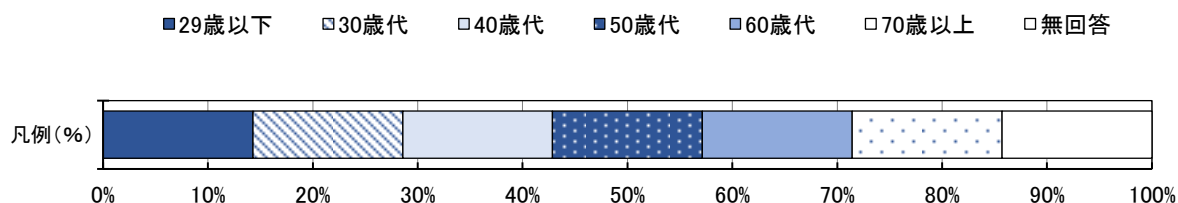
注：調査票では「男」「女」という選択肢表記ですが、本報告書では「男性」「女性」と表記しています。(以下同様)

2 年齢

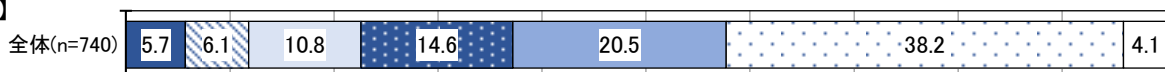
年齢別構成比は、「70歳以上」が38.2%と最も高く、次いで「60歳代」(20.5%)、「50歳代」(14.6%)の順となっており、「50歳代以上(合計)」で全体の約7割(73.3%)を占めています。

性別では、男性は女性に比べ「60歳代以上(合計)」の割合が高く、女性は「50歳代以下(合計)」の割合が男性を上回っています。

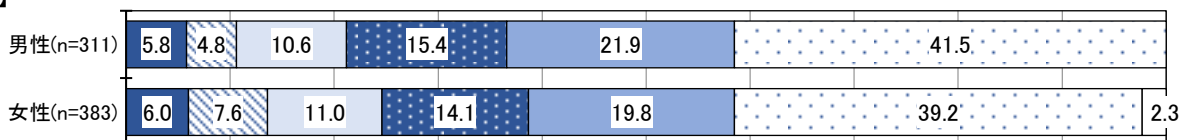
【凡例】



【全体】

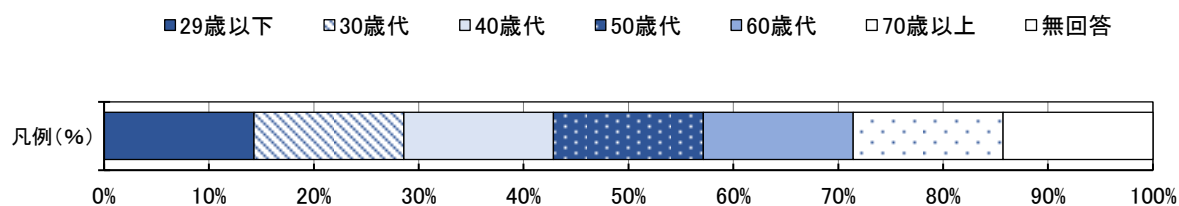


【性別】

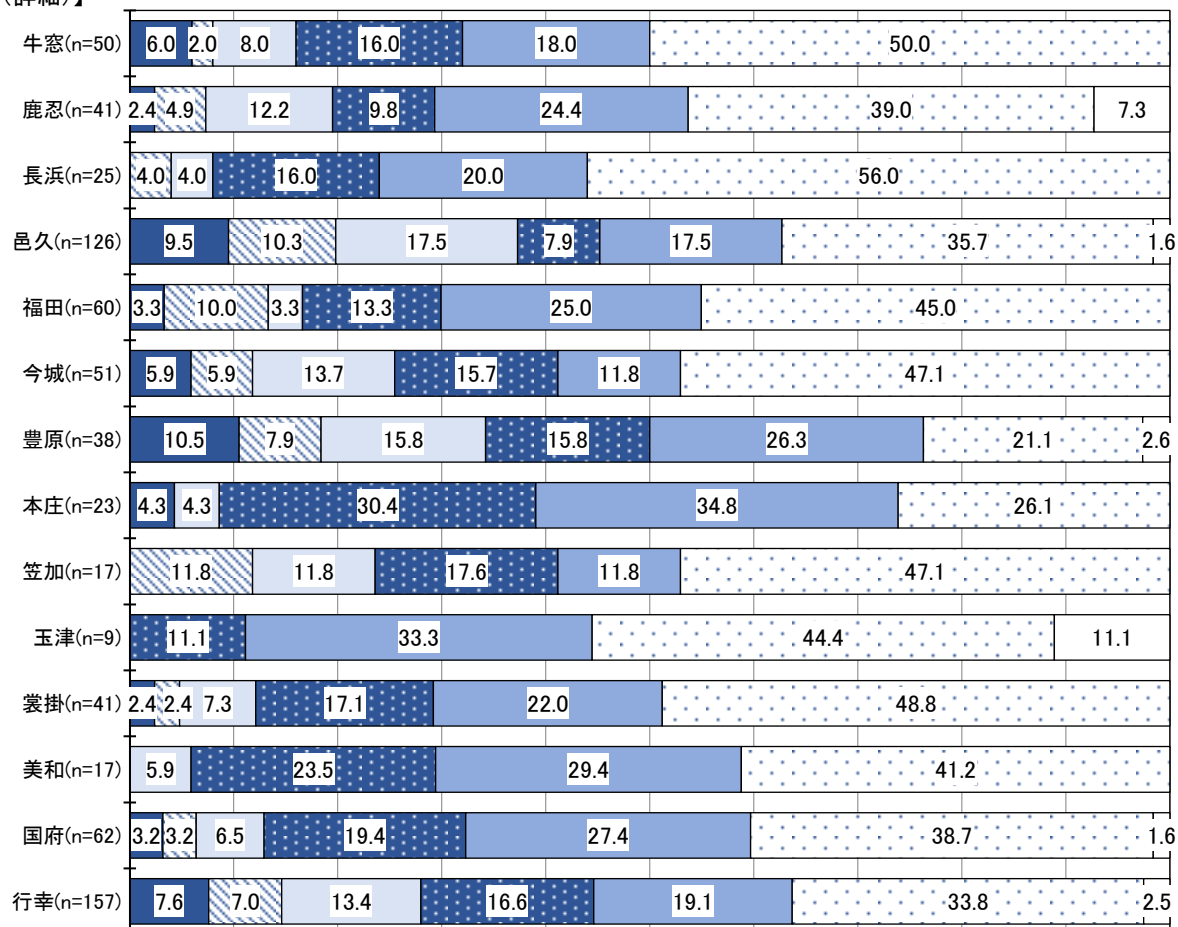


さらに、年齢別構成を地域別でみると、長浜、福田、玉津、裳掛、美和で「60歳代以上（合計）」の割合が約7割を超えています。

【凡例】



【地域（詳細）】



3 居住年数

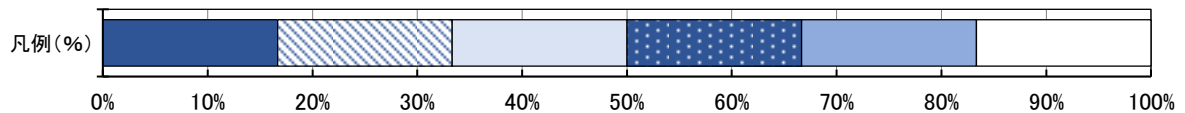
居住年数は、「20 年以上」が全体の約 7 割（68.5%）を占め最も高く、次いで「10 年以上 20 年未満」が 13.0%となっています。

性別では、男性は「5 年以上（合計）」の割合が女性を上回っています。

年齢別では、30 歳代で「1 年以上 5 年未満」、40 歳代で「5 年以上 10 年未満」「10 年以上 20 年未満」、50 歳代以上で「20 年以上」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっています。

【凡例】

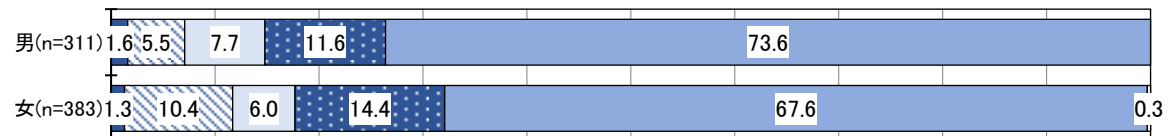
■ 1 年未満 □ 1 年以上 5 年未満 □ 5 年以上 10 年未満 ■ 10 年以上 20 年未満 ■ 20 年以上 □ 無回答



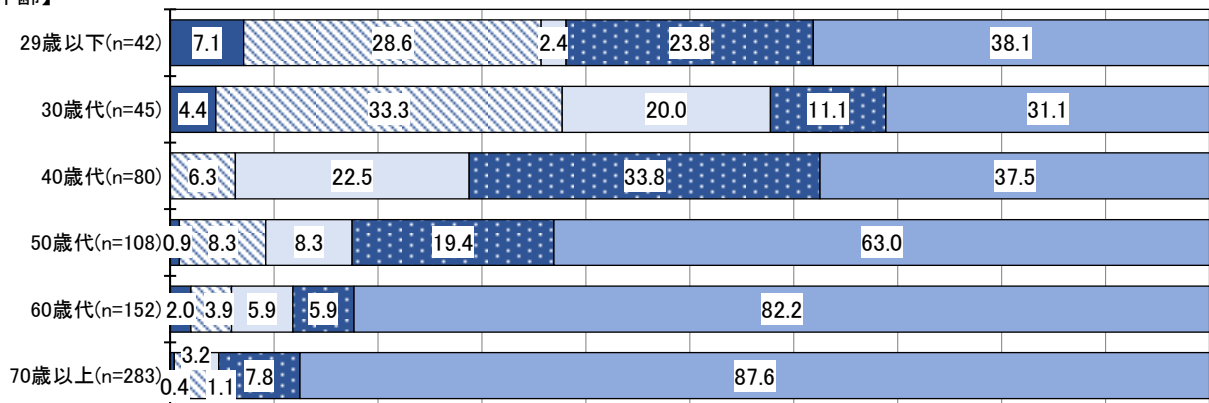
【全体】



【性別】



【年齢】



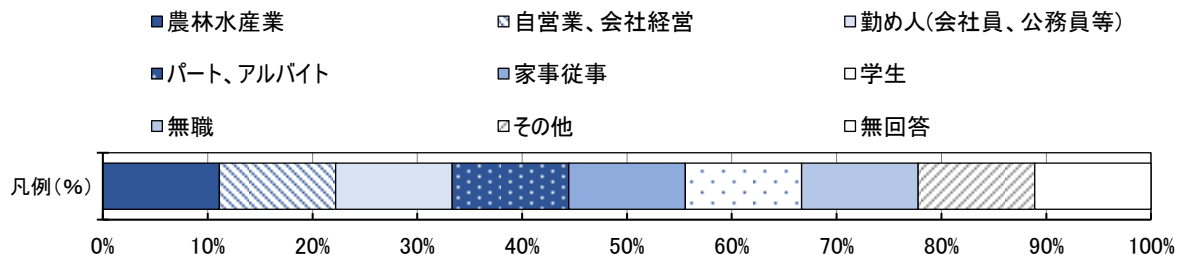
4 職業

職業は、全体では「無職」が 30.4%と最も高く、次いで「勤め人（会社員、公務員等）」（26.9%）、「パート、アルバイト」（16.2%）、「家事従事」（9.3%）の順となっています。

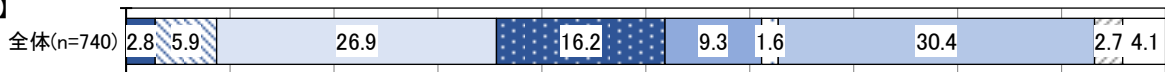
性別では、男性で「勤め人（会社員、公務員等）」「無職」、女性で「パート、アルバイト」「家事従事」の割合がそれぞれ高くなっています。

年齢別では、29 歳以下で「学生」、70 歳以上で「無職」の割合がそれぞれ他の年齢層を大きく上回っています。

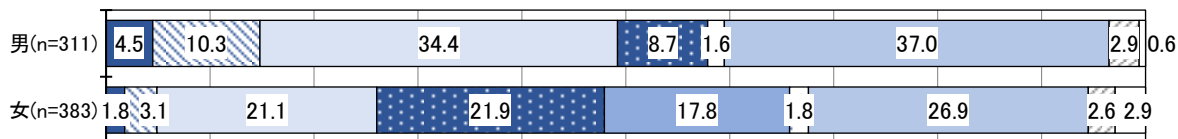
【凡例】



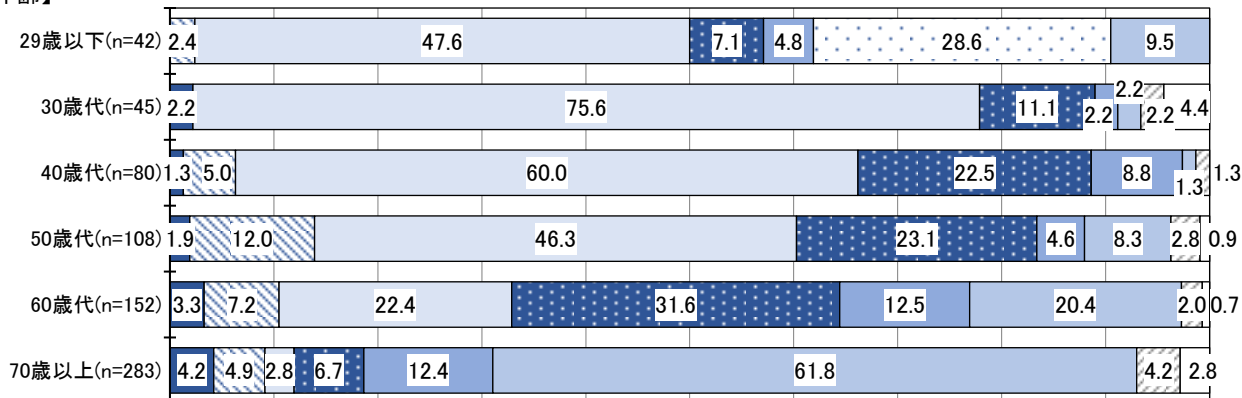
【全体】



【性別】



【年齢】



5 現住所への居住のきっかけ

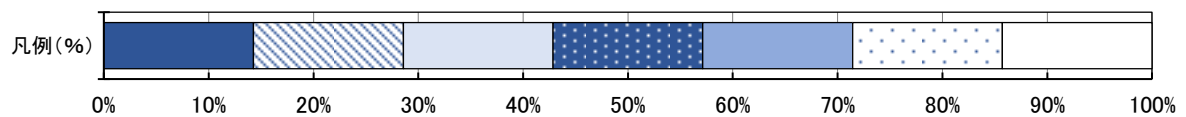
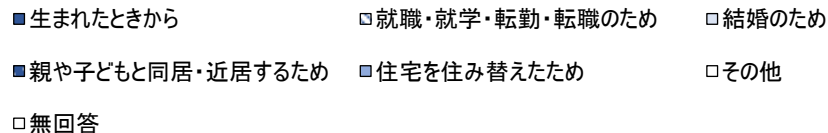
現住所への居住のきっかけについては、全体では「住宅を住み替えたため」が30.8%と最も高く、次いで「生まれたときから」(23.6%)、「結婚のため」(20.5%)の順となっています。

性別では、男性で「生まれたときから」、女性で「結婚のため」の割合がそれぞれ高くなっています。

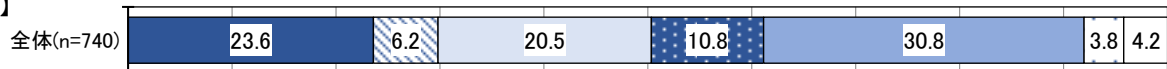
年齢別では、29歳以下で「生まれたときから」、30歳代で「住宅を住み替えたため」、40歳代で「結婚のため」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっています。

地域別でみると、牛窓地域で「生まれたときから」、長船地域で「住宅を住み替えたため」の割合がそれぞれ他の地域に比べて高くなっています。

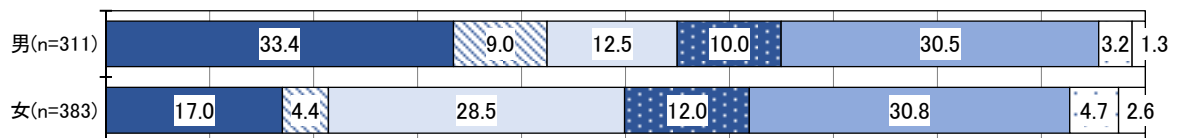
【凡例】



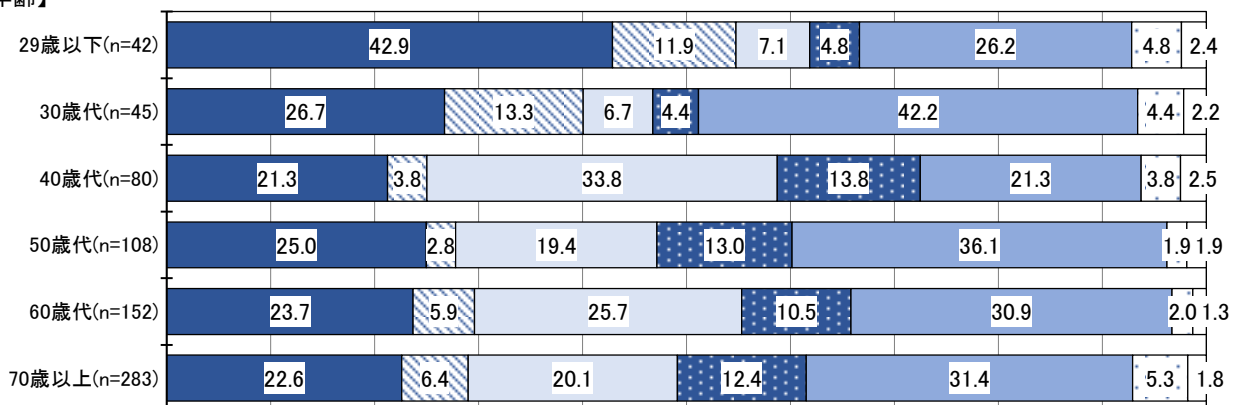
【全体】



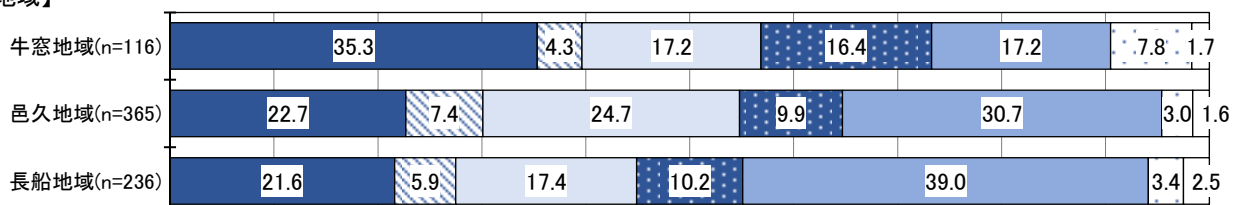
【性別】



【年齢】



【地域】



6 家族構成

(1) 世帯構成

世帯構成については、全体では「2世代（親・子）」が41.5%と最も高く、次いで「夫婦のみ」（30.5%）、「ひとり暮らし」（12.8%）の順となっています。

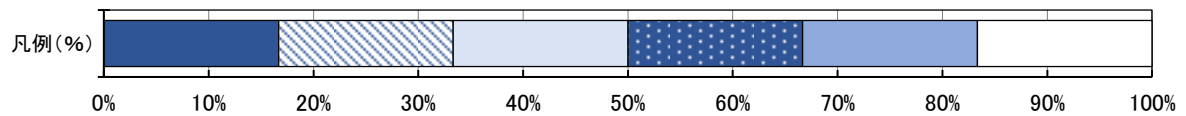
性別では、男性で「夫婦のみ」、女性で「2世代（親・子）」の割合がそれぞれ高くなっています。

年齢別では、29歳以下で「3世代（親・子・孫）」、30～40歳代で「2世代（親・子）」、60歳代以上で「夫婦のみ」、70歳以上で「ひとり暮らし」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっています。

地域別では、大きな差は見られません。

【凡例】

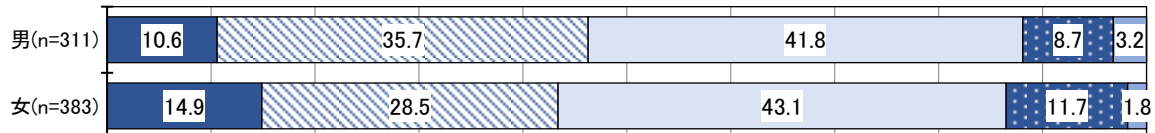
■ひとり暮らし □夫婦のみ □2世代(親・子) ■3世代(親・子・孫) □その他 □無回答



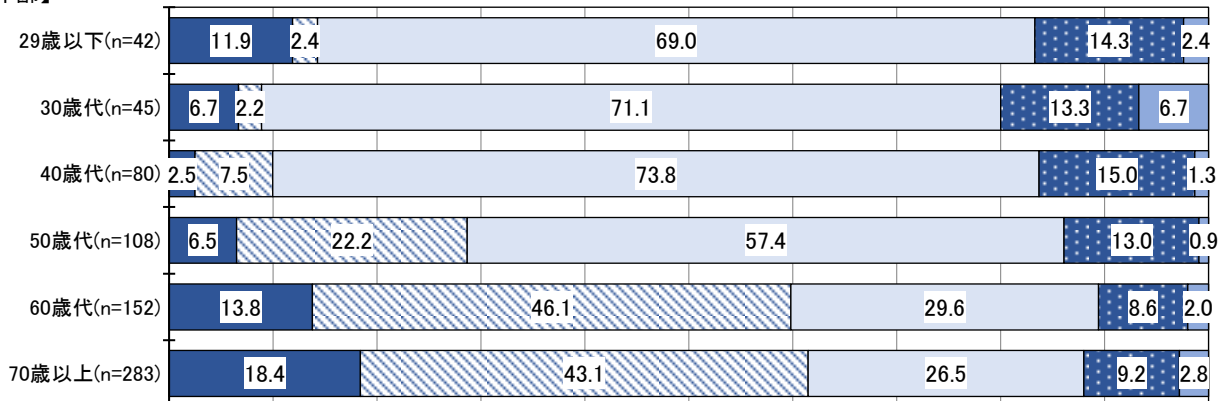
【全体】



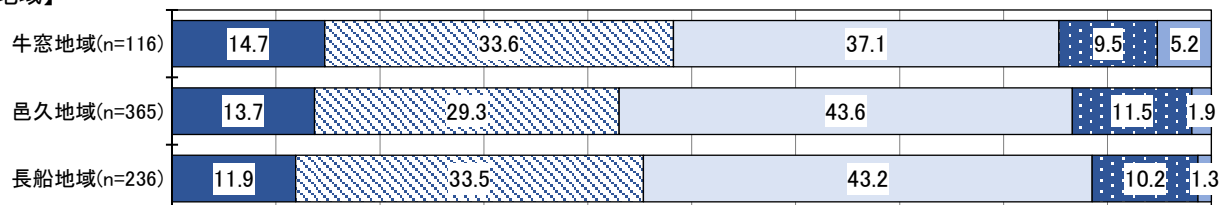
【性別】



【年齢】



【地域】



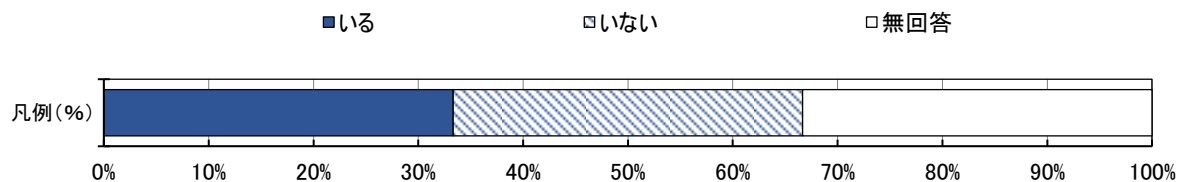
(2) 65 歳以上の方の同居有無（自身を含む）

65 歳以上の方の同居有無については、全体では「いる」が 61.9%、「いない」が 33.5% となっています。

年齢別では、自身を含むため 60 歳代以上において「いる」が多くなっています。

地域別では、牛窓地域で「いる」が約 7 割を占め、他の地域に比べて高くなっています。

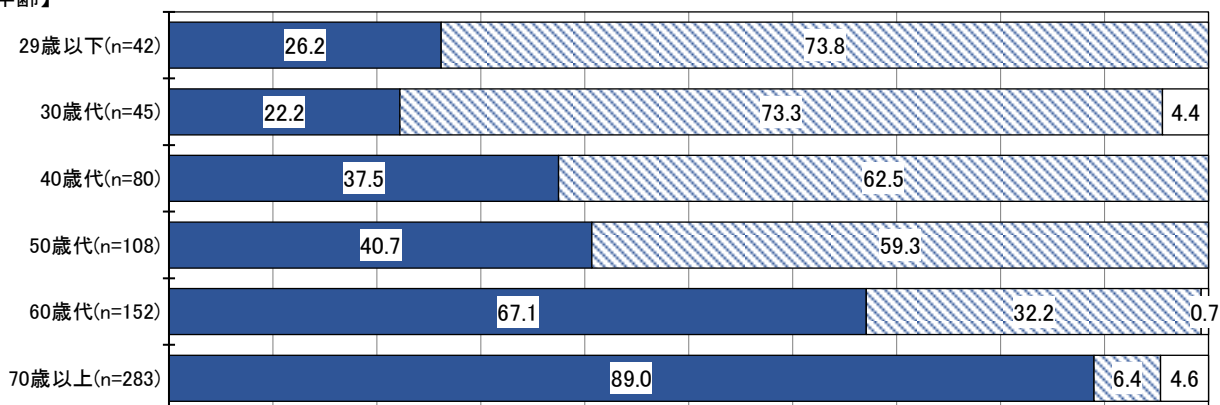
【凡例】



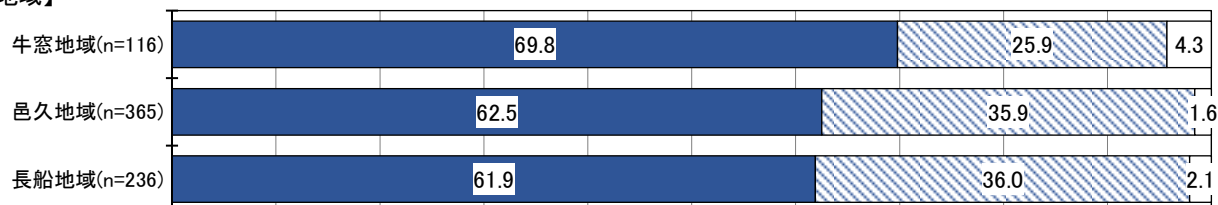
【全体】



【年齢】



【地域】



(3) 20歳以下の子どもの同居有無

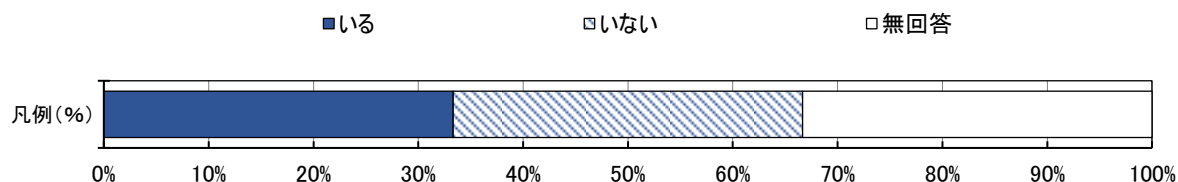
2世代（親・子）または3世代（親・子・孫）の世帯について20歳以下の子どもの同居有無を尋ねたところ、「いる」が40.8%、「いない」が55.6%となっています。

年齢別では、30～40歳代で「いる」が約7割を占めています。

地域別では、長船地域で「いる」が他の地域に比べて高くなっています。

同居している20歳以下の子どもは、「小学生・中学生」が54.1%と最も高く、次いで「高校生・大学生・専門学校生・予備校生」(36.3%)、「未就学児（6歳未満）」(27.4%)の順となっています。

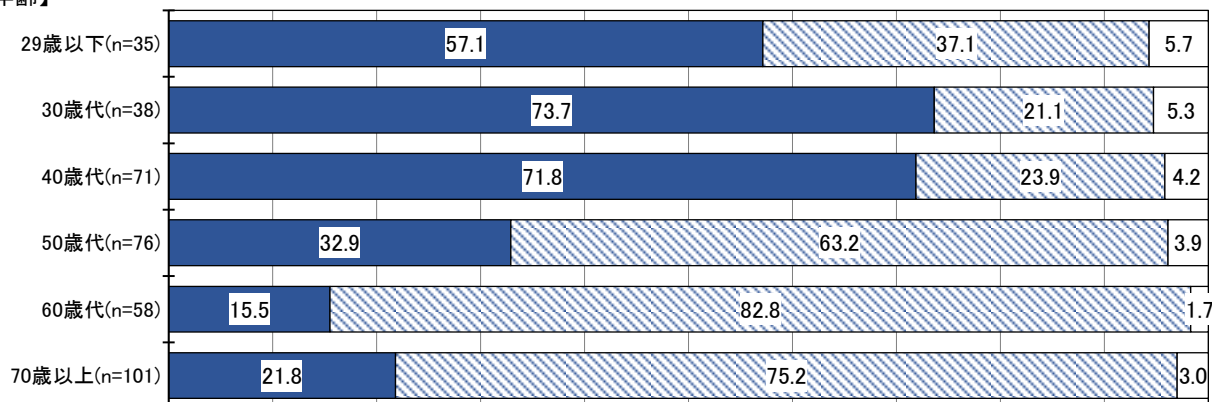
【凡例】



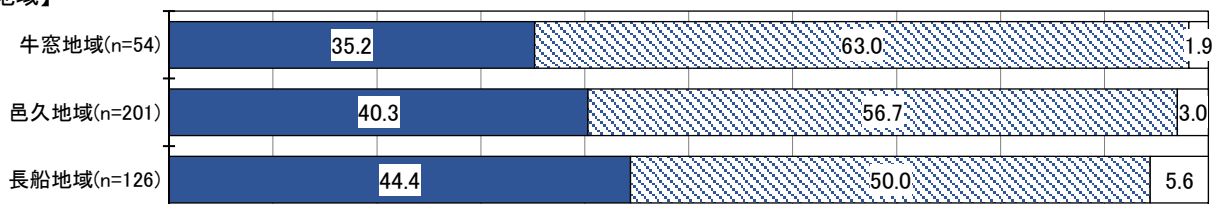
【全体】



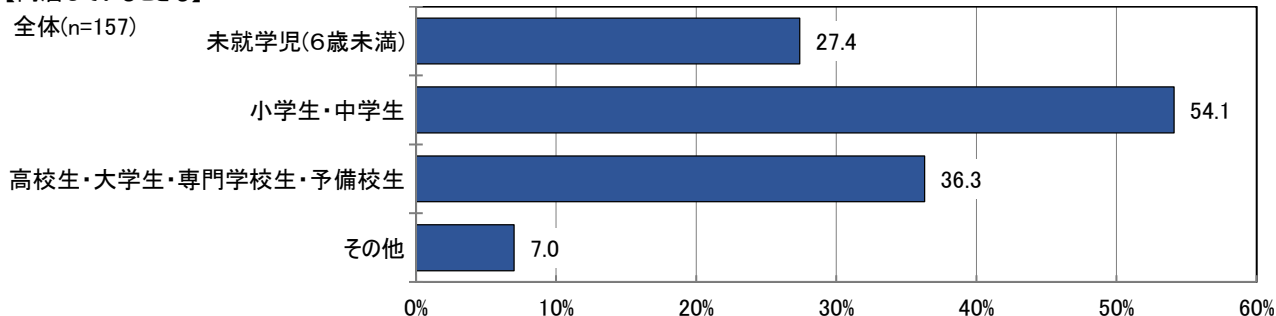
【年齢】



【地域】



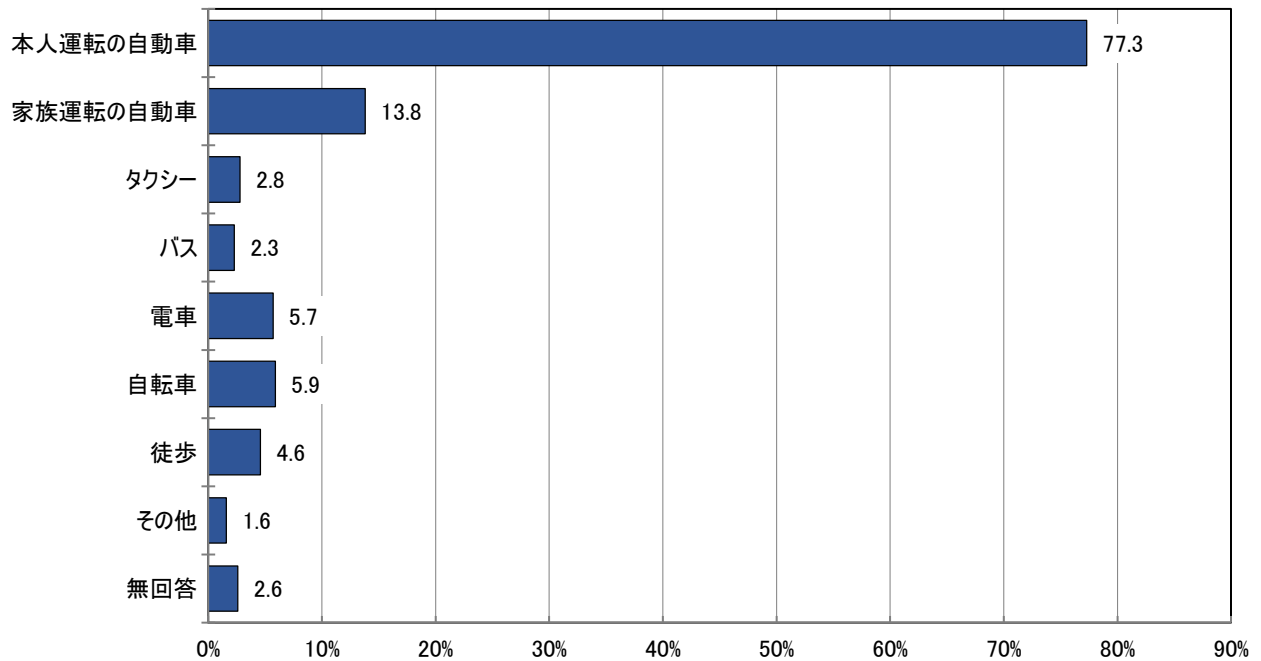
【同居している子ども】



7 普段の主な移動手段

普段の主な移動手段については、全体では「本人運転の自動車」が 77.3%と最も高く突出しています。次いで「家族運転の自動車」(13.8%)、「自転車」(5.9%)の順となっています。

全体(n=740)



性別では、男性は「本人運転の自動車」、女性は「家族運転の自動車」の割合がそれぞれを上回っています。

年齢別では、29歳以下で「家族運転の自動車」、「電車」、30歳代で「本人運転の自動車」での割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっています。

地域別でみると、笠加で「本人運転の自動車」の割合が高くなっています。

単位 (%)	の 本 自 人 動 運 車 転	の 家 自 族 動 運 車 転	タ ク シ ー	バ ス	電 車	自 転 車	徒 歩	そ の 他
全体(n=740)	77.3	13.8	2.8	2.3	5.7	5.9	4.6	1.6
【性別】								
男(n=311)	84.2	9.6	2.9	1.3	4.8	4.5	4.2	1.6
女(n=383)	74.4	18.0	3.1	3.1	6.5	6.8	4.7	1.8
【年齢別】								
29歳以下(n=42)	66.7	28.6	0.0	2.4	26.2	7.1	11.9	0.0
30歳代(n=45)	97.8	13.3	0.0	0.0	2.2	4.4	4.4	0.0
40歳代(n=80)	88.8	10.0	0.0	1.3	12.5	7.5	5.0	0.0
50歳代(n=108)	92.6	3.7	0.9	0.9	3.7	2.8	2.8	1.9
60歳代(n=152)	86.2	5.3	2.0	1.3	3.9	7.9	1.3	2.6
70歳以上(n=283)	65.7	22.6	6.0	4.2	3.5	6.4	6.4	2.1
【地域別（詳細）】								
牛窓(n=50)	76.0	16.0	4.0	6.0	4.0	4.0	0.0	2.0
鹿忍(n=41)	87.8	4.9	0.0	9.8	4.9	0.0	4.9	4.9
長浜(n=25)	76.0	16.0	4.0	4.0	4.0	0.0	8.0	0.0
邑久(n=126)	75.4	16.7	4.8	0.8	6.3	10.3	9.5	2.4
福田(n=60)	75.0	16.7	1.7	0.0	5.0	13.3	3.3	0.0
今城(n=51)	78.4	21.6	0.0	0.0	7.8	9.8	3.9	2.0
豊原(n=38)	81.6	10.5	2.6	2.6	5.3	5.3	5.3	0.0
本庄(n=23)	82.6	13.0	13.0	8.7	4.3	0.0	0.0	0.0
笠加(n=17)	94.1	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
玉津(n=9)	77.8	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
裳掛(n=41)	63.4	22.0	7.3	9.8	2.4	2.4	2.4	4.9
美和(n=17)	82.4	5.9	5.9	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0
国府(n=62)	80.6	9.7	0.0	1.6	9.7	3.2	1.6	3.2
行幸(n=157)	84.1	12.7	0.6	0.0	7.6	6.4	5.1	0.6

注：表中の「網掛け」は、各クロス集計（性別・年齢別など）において最も高い割合を示しています。

（例／性別の場合、男性と女性を比べて高い方に、年齢別の場合、最も割合が高い年齢層に網掛け。）

但し、回答割合が10%未満の項目及び「その他」については、網掛けは省略しています。

また「無回答」は表記から省略しています。

Ⅲ 調査結果

【1】瀬戸内市のめざす姿に対する実感度と重要度について

問1 瀬戸内市がめざしている将来（2040年）の姿に対する次の25項目についておたずねします。あなたが感じている現在の「実感度」と「重要度」について、1～25の項目ごとに、あなたの考えに一番近いものそれぞれ1つに○印をつけてください。

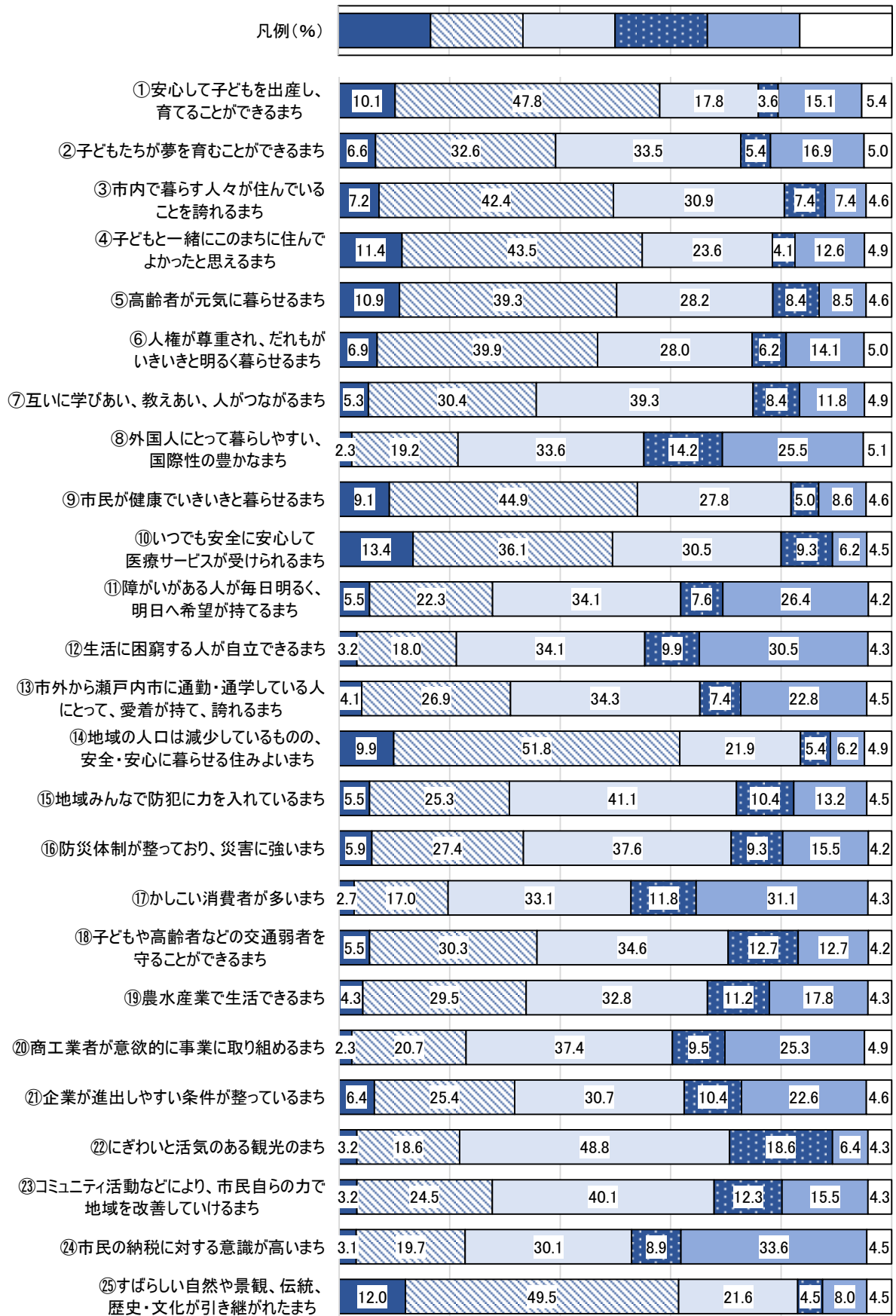
1 現在の实感度

25の項目について、現在の実感度を5段階評価で質問したところ、「そう思う」への回答が最も高かったのは「⑩いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち」（13.4%）で、以下「⑤すばらしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまち」（12.0%）、「④子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち」（11.4%）、「⑤高齢者が元気に暮らせるまち」（10.9%）、「①安心して子どもを出産し、育てることができるまち」（10.1%）などの順となっています。

また、「思わない」への回答が最も高かったのは、「②にぎわいと活気のある観光のまち」（18.6%）であり、次いで「⑧外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち」（14.2%）、「⑩子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち」（12.7%）、「③コミュニティ活動などにより、市民自らの力で地域を改善していけるまち」（12.3%）、「⑦かしこい消費者が多いまち」（11.8%）の順となっています。

問1①現在の実感度
全体(n=740)

■そう思う □まあそう思う □あまりそう思わない ■思わない □わからない □無回答



【実感度／平均評定値による集計】

実感度は以下に示す平均評定値（加重平均値）を算出する方法で点数化しています。

○「実感度」については「そう思う」「まあそう思う」への回答とともに、「あまりそう思わない」「思わない」「わからない」という選択肢もあります。そのため、この「実感度」をよりの確に分析するために、平均評定値（加重平均値）による指標化を行いました。

○平均評定値（加重平均値）は、「そう思う」に＋２点、「まあそう思う」に＋１点、「あまりそう思わない」に－１点、「思わない」に－２点、「わからない」に０点の係数（ウェイト）を設定し、

【（「そう思う」の回答件数）×２（点）＋（「まあそう思う」の回答件数）×１（点）＋（「あまりそう思わない」の回答件数）×－１（点）＋（「思わない」の回答件数）×－２（点）＋（「わからない」の回答件数）×０（点）】÷【回答者件数－無回答件数】

の計算によって算出し、指標としています。

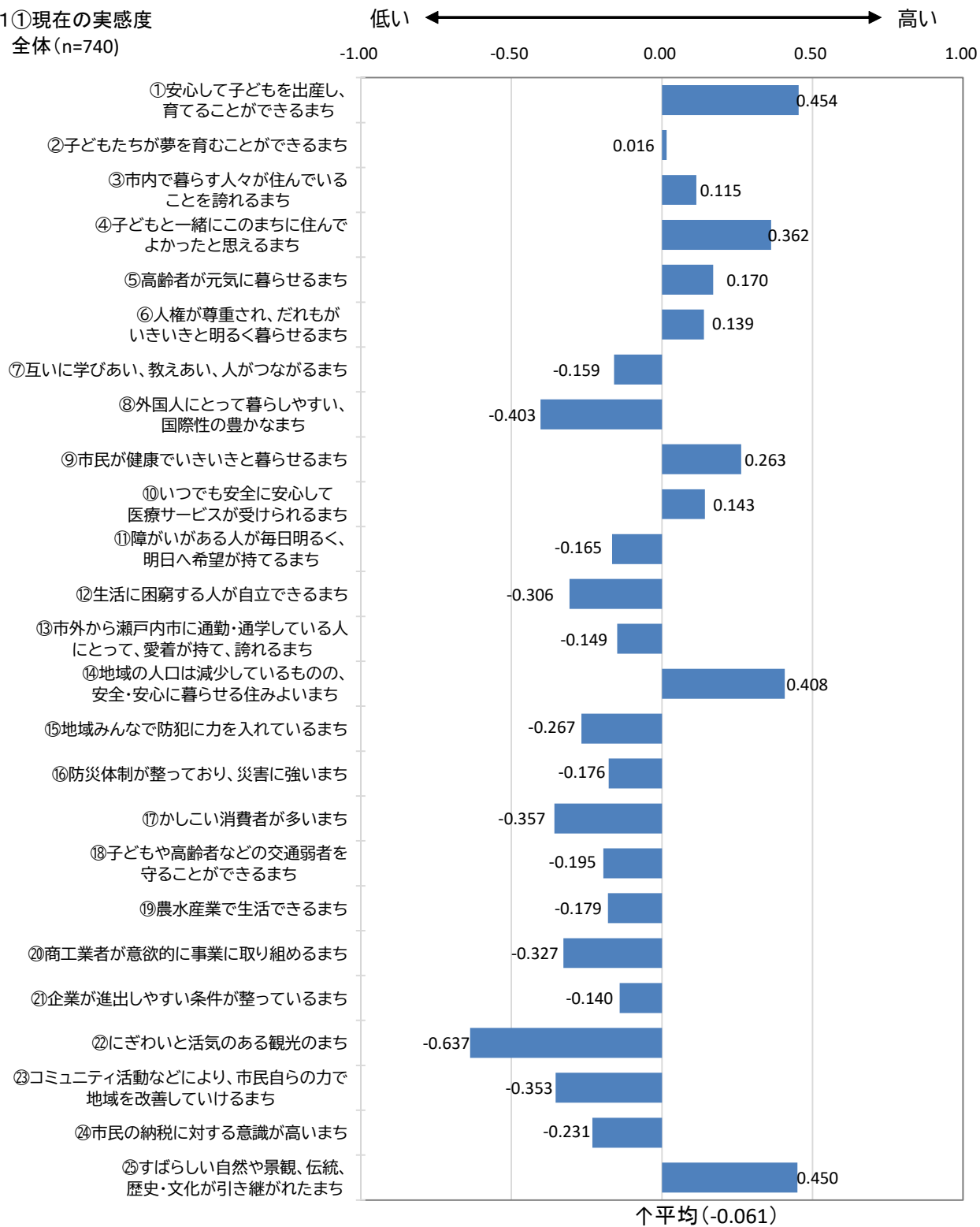
○この指標によって、「実感度」の強弱を、より明確に分析することができます。

この指標による分析結果をみると、実感度評価が最も高い施策は「①安心して子どもを出産し、育てることができるまち」（０.４５４）で、以下「㉕すばらしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまち」（０.４５０）、「⑭地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち」（０.４０８）、「④子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち」（０.３６２）、「⑨市民が健康でいきいきと暮らせるまち」（０.２６３）などの順となっています。

一方、相対的に実感度評価が低い施策としては、「㉔にぎわいと活気のある観光のまち」（－０.６３７）、「⑧外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち」（－０.４０３）、「⑰かしこい消費者が多いまち」（－０.３５７）、「㉓コミュニティ活動などにより、市民自らの力で地域を改善していけるまち」（－０.３５３）、「㉔商工業者が意欲的に事業に取り組めるまち」（－０.３２７）、などがあげられます。

全体的な評価の平均は－０.０６１ となっており、２５項目中でウェイト値がプラス評価だったのは１０項目、マイナス評価だったのは１５項目となっています。

問1①現在の実感度
全体 (n=740)



【過去三カ年の推移】

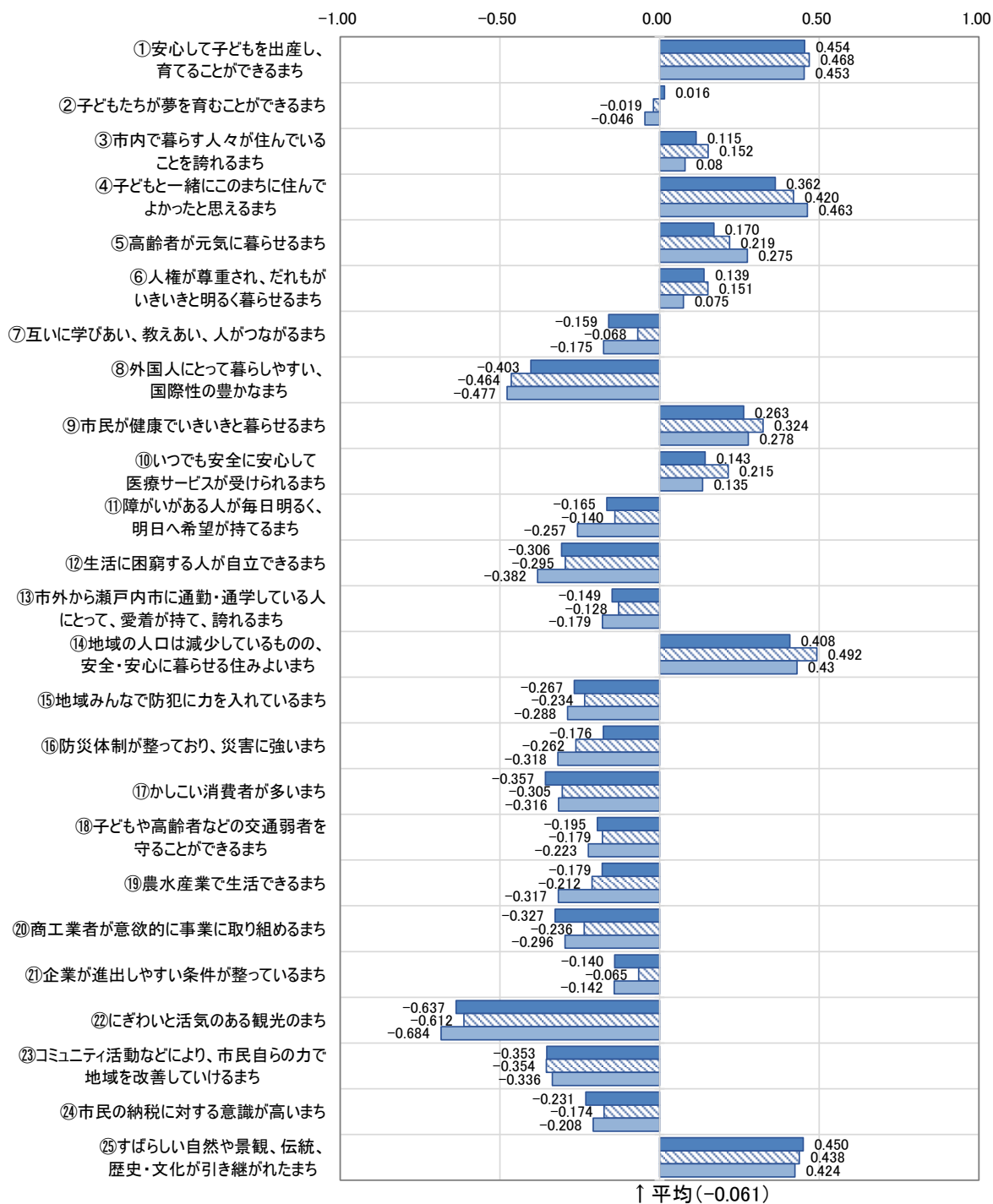
前々回および前回調査と比較すると、今回、実感度が高くなった項目として、「②子どもたちが夢を育むことができるまち」、「⑧外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち」、「⑩防災体制が整っており、災害に強いまち」、「⑪農水産業で生活できるまち」、「⑫すばらしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまち」があげられます。

一方、実感度が低くなった項目としては、「④子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち」、「⑤高齢者が元気に暮らせるまち」、「⑨市民が健康でいきいきと暮らせるまち」、「⑭地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち」、「⑮かしこい消費者が多いまち」、「⑯商工業者が意欲的に事業に取り組めるまち」、「⑰市民の納税に対する意識が高いまち」があげられます。

問1①実感度 経年比較

■今回調査(R8年度 n=740)
 ■前回調査(R7年度 n=809)
 ■前々回調査(R6年度 n=796)

低い ← → 高い



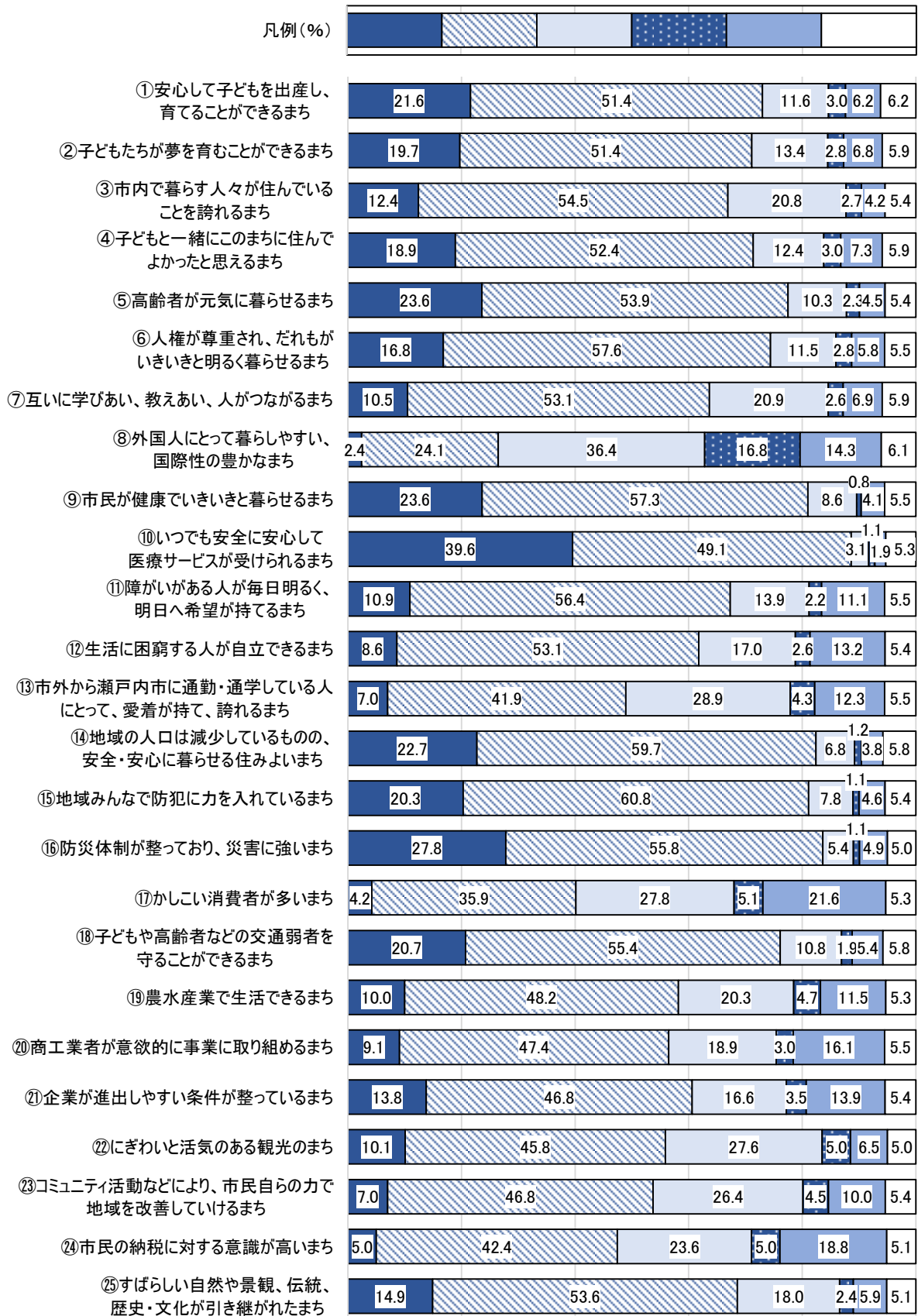
2 現在の重要度

25 の項目について、現在の重要度を5段階評価で質問したところ、「特に重視する」への回答が最も高かったのは「⑩いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち」(39.6%)で、以下「⑩防災体制が整っており、災害に強いまち」(27.8%)、「⑤高齢者が元気に暮らせるまち」、「⑨市民が健康でいきいきと暮らせるまち」(各23.6%)、「⑭地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち」(22.7%)、「①安心して子どもを出産し、育てることができるまち」(21.6%)などの順となっています。

また、「重視しない」への回答が最も高かったのは、「⑧外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち」(16.8%)であり、次いで「⑰かしこい消費者が多いまち」(5.1%)、「②にぎわいと活気のある観光のまち」、「②④市民の納税に対する意識が高いまち」(各5.0%)、「①⑨農水産業で生活できるまち」(4.7%)、「③③コミュニティ活動などにより、市民自らの力で地域を改善していけるまち」(4.5%)などの順となっています。

問1②重要度
全体(n=740)

■特に重視する □重視する □あまり重視しない ■重視しない □わからない □無回答



【重要度／平均評定値による集計】

重要度は以下に示す平均評定値（加重平均値）を算出する方法で点数化しています。

○「重要度」については「特に重視する」「重視する」への回答とともに、「あまり重視しない」「重視しない」「わからない」という選択肢もあります。そのため、この「重要度」をよりの確に分析するために、平均評定値（加重平均値）による指標化を行いました。

○平均評定値（加重平均値）は、「特に重視する」に＋２点、「重視する」に＋１点、「あまり重視しない」に－１点、「重視しない」に－２点、「わからない」に０点の係数（ウエイト）を設定し、

【（「特に重視する」の回答件数）×２（点）＋（「重視する」の回答件数）×１（点）＋（「あまり重視しない」の回答件数）×－１（点）＋（「重視しない」の回答件数）×－２（点）＋（「わからない」の回答件数）×０（点）】÷【回答者件数－無回答件数】

の計算によって算出し、指標としています。

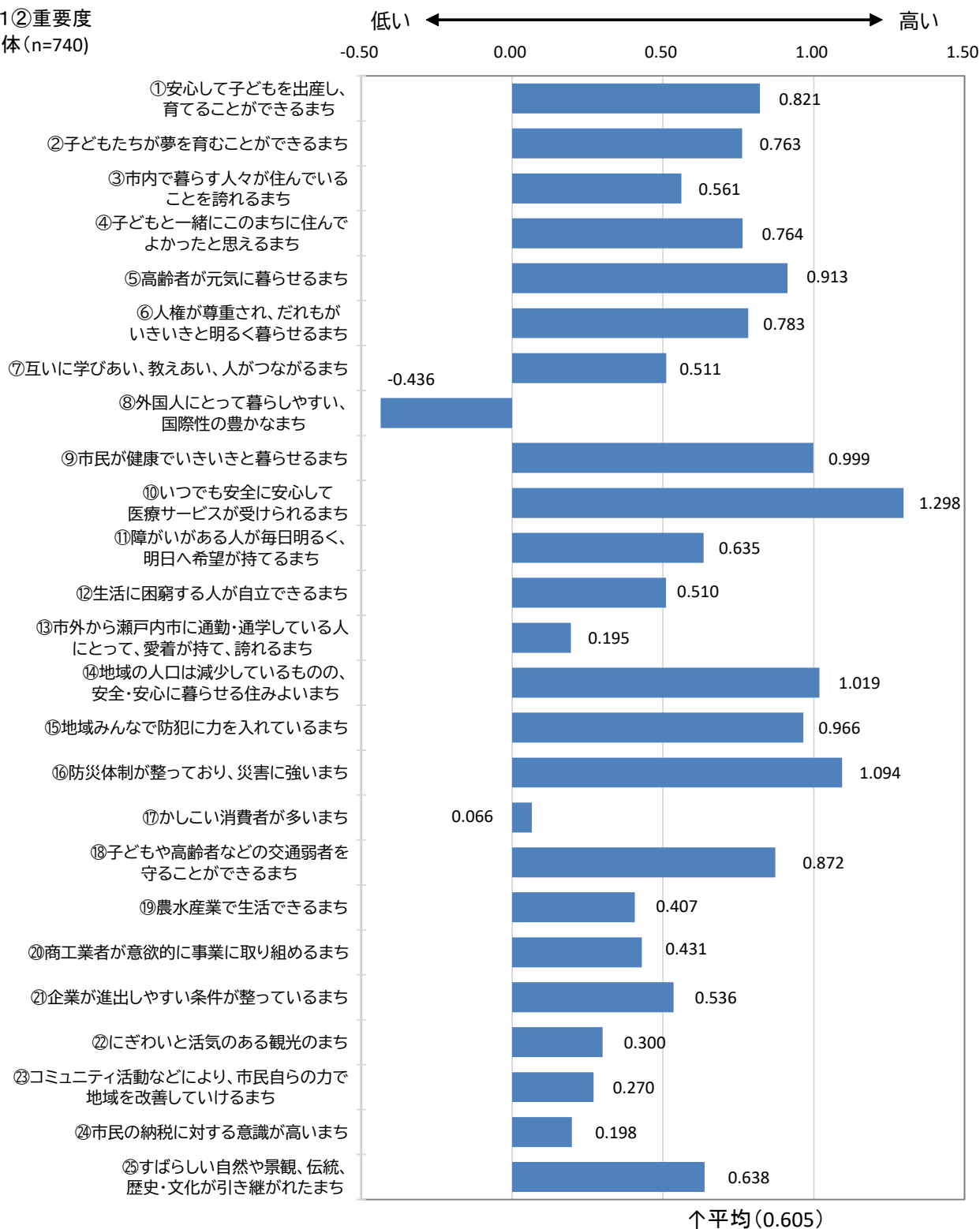
○この指標によって、「重要度」の強弱を、より明確に分析することができます。

この指標による分析結果をみると、重要度評価が最も高い施策は「⑩いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち」（１．２９８）で、以下「⑩防災体制が整っており、災害に強いまち」（１．０９４）、「⑭地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち」（１．０１９）、「⑨市民が健康でいきいきと暮らせるまち」（０．９９９）、「⑮地域みんなで防犯に力を入れているまち」（０．９６６）などの順となっています。

一方、相対的に重要度評価が低い施策としては、「⑧外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち」（－０．４３６）、「⑰かしこい消費者が多いまち」（０．１９５）、「⑬市外から瀬戸内市に通勤・通学している人にとって、愛着が持て、誇れるまち」（０．２６３）、「⑭市民の納税に対する意識が高いまち」（０．１９８）、「②コミュニティ活動などにより、市民自らの力で地域を改善していけるまち」（０．２７０）などがあげられます。

全体的な評価の平均は０．６０５となっています。

問1②重要度
全体(n=740)



【過去三カ年の推移】

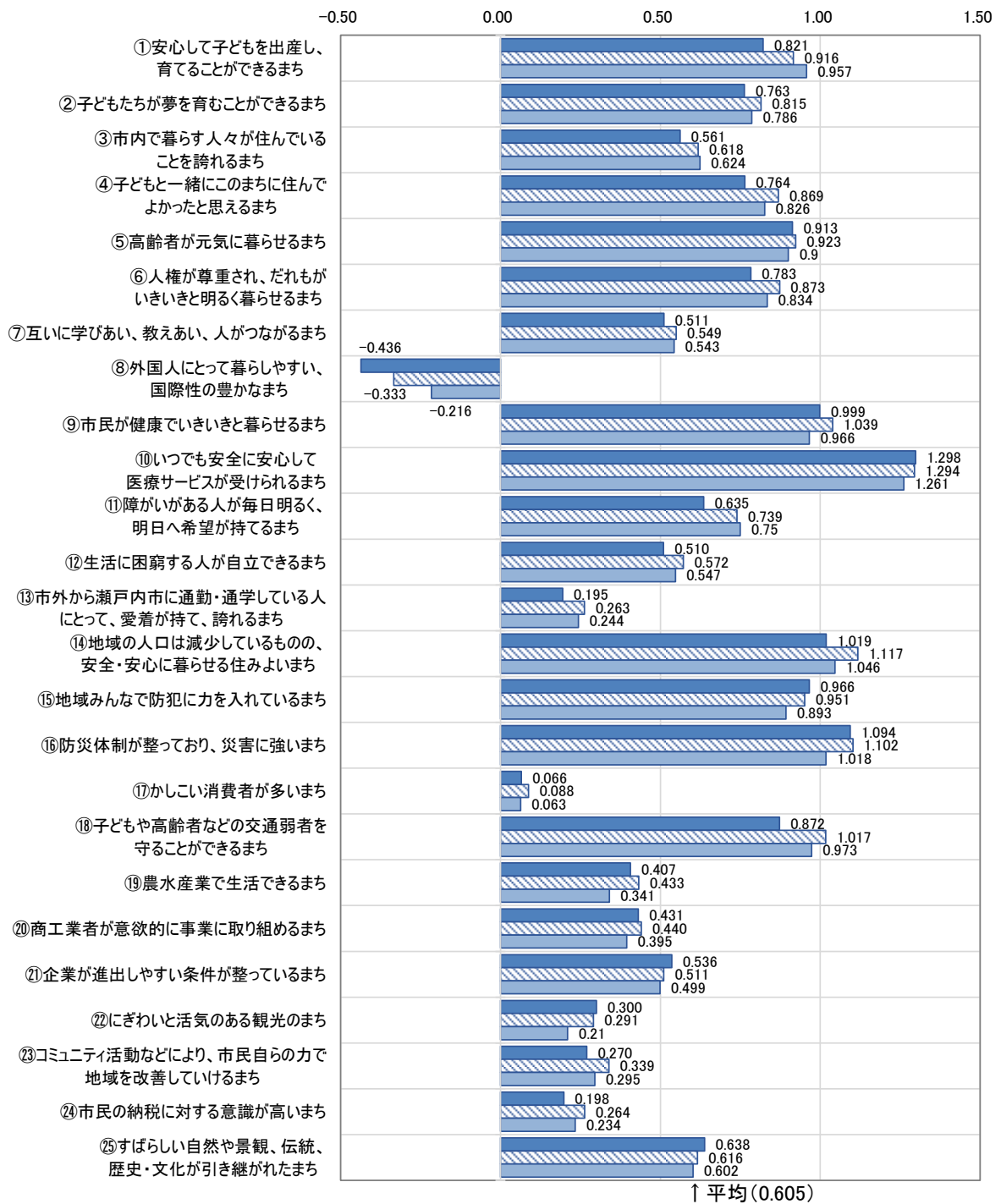
前々回および前回調査と比較すると、今回、重要度が高くなった項目として、「⑩いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち」、「⑮地域みんなで防犯に力を入れているまち」、「⑳企業が進出しやすい条件が整っているまち」、「㉑にぎわいと活気のある観光のまち」、「㉒すばらしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまち」があげられます。

一方、重要度が低くなった項目としては、「①安心して子どもを出産し、育てることができるまち」、「④子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち」、「⑥人権が尊重され、だれもがいきいきと明るく暮らせるまち」、「⑧外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち」、「⑪障がいがある人が毎日明るく、明日へ希望が持てるまち」、「⑱子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち」などがあげられます。

問1②重要度 経年比較

■今回調査(R8年度 n=740)
 ■前回調査(R7年度 n=809)
 ■前々回調査(R6年度 n=796)

低い ← → 高い



3 実感度と重要度の相関図による分析

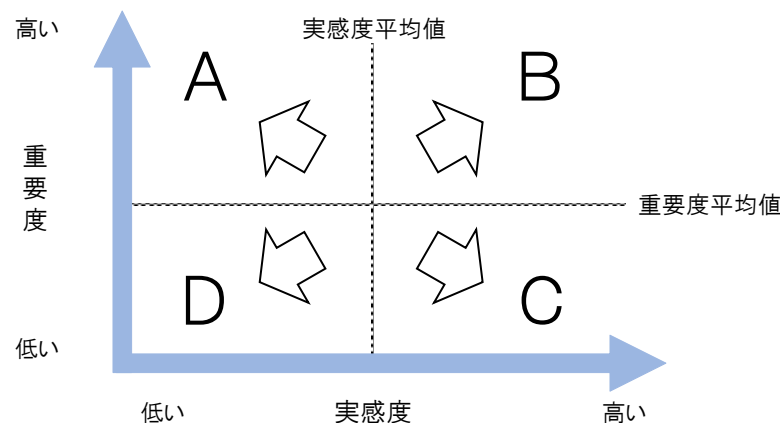
以降の図表等においては、各施策名を次の略表記対応表に従って記載しています。

【略表記対応表】

No.	設問項目	略表記
1	安心して子どもを出産し、育てることができるまち	安心して子育てできるまち
2	子どもたちが夢を育むことができるまち	子どもが夢を育めるまち
3	市内で暮らす人々が住んでいることを誇れるまち	住んでいることを誇れるまち
4	子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち	住んでよかったと思えるまち
5	高齢者が元気に暮らせるまち	高齢者が元気に暮らせるまち
6	人権が尊重され、だれもがいきいきと明るく暮らせるまち	人権が尊重されるまち
7	互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち	学びあいつながるまち
8	外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち	国際性豊かなまち
9	市民が健康でいきいきと暮らせるまち	健康でいきいきと暮らせるまち
10	いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち	安全安心な医療サービスのまち
11	障がいがある人が毎日明るく、明日へ希望が持てるまち	障がいがある人が希望を持てるまち
12	生活に困窮する人が自立できるまち	生活困窮者が自立できるまち
13	市外から瀬戸内市に通勤・通学している人にとって、愛着が持て、誇れるまち	市外の人も愛着が持てるまち
14	地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち	安全安心に暮らせるまち
15	地域みんなで防犯に力を入れているまち	防犯に力を入れているまち
16	防災体制が整っており、災害に強いまち	災害に強いまち
17	かしこい消費者が多いまち	かしこい消費者が多いまち
18	子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち	交通弱者を守るまち
19	農水産業で生活できるまち	農林水産業で生活できるまち
20	商工業者が意欲的に事業に取り組めるまち	商工業者が取り組めるまち
21	企業が進出しやすい条件が整っているまち	企業が進出しやすいまち
22	にぎわいと活気のある観光のまち	にぎわいと活気のあるまち
23	コミュニティ活動などにより、市民自らの力で地域を改善していけるまち	地域を改善していけるまち
24	市民の納税に対する意識が高いまち	納税意識が高いまち
25	すばらしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまち	自然・景観・伝統・文化のまち

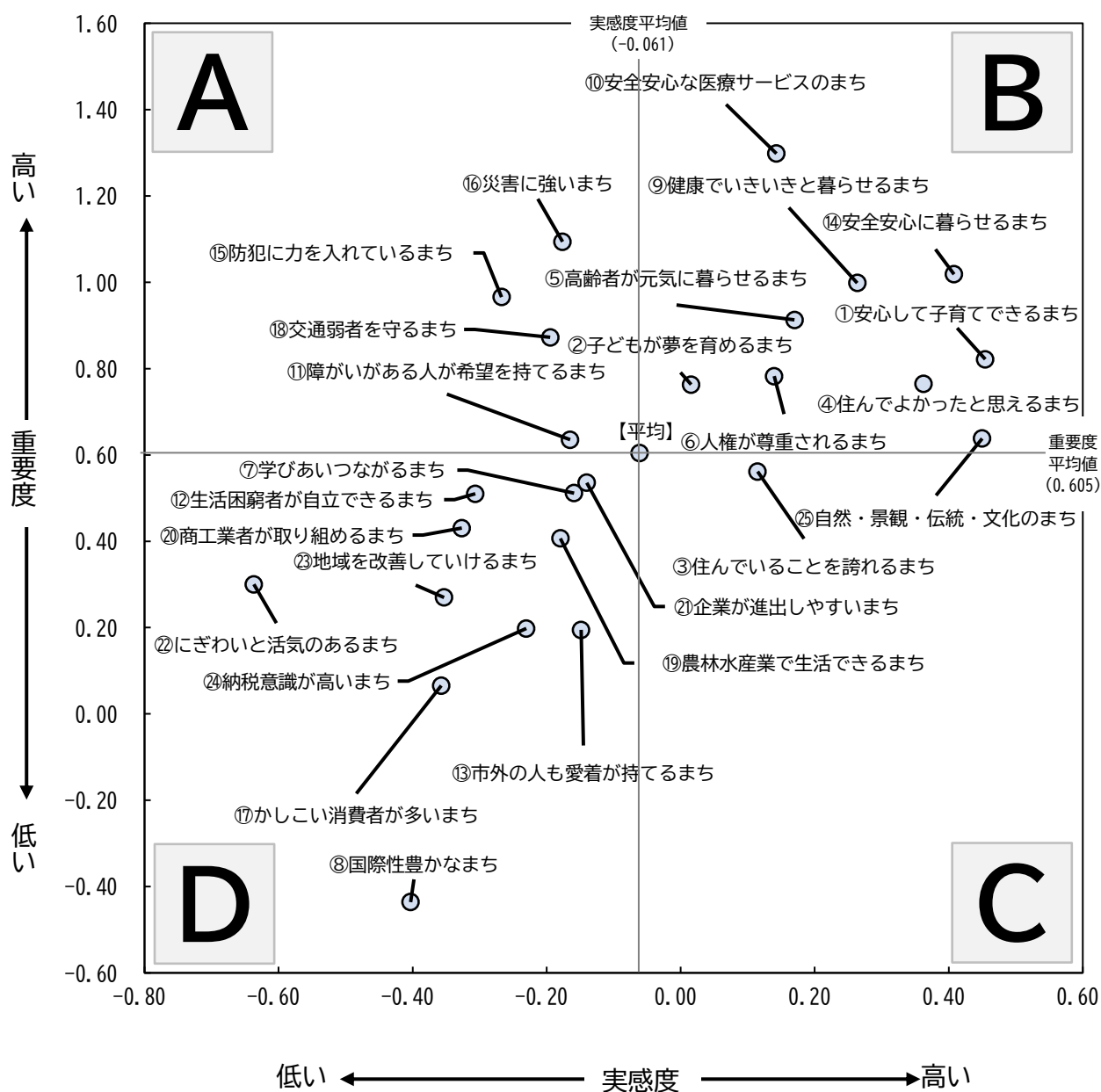
【実感度と重要度の相関図による分析】

実感度と重要度の平均評定値をもとに、縦軸に重要度、横軸に実感度を設定し、25の施策を散布図上に示したものが相関図です。



縦軸に重要度、横軸に実感度をとった相関図では、実感度と重要度をマトリクス上に示すことで、各施策の位置付けを整理します。実感度と重要度の各々の平均値を示す点から左上（A）、右上（B）、右下（C）、左下（D）の4方向に進むにしたいが、以下のような傾向を示しています。

- A 重要度が高く、実感度が低い（重点化・見直し領域）
今後のまちづくりにおける重要度が高いが、実感度が相対的に低く、施策の重点化や抜本的な見直しなども含め、実感度を高める必要のある領域
- B 重要度、実感度ともに高い（現状維持領域）
今後のまちづくりにおける重要度も実感度も高く、現時点での実感度の水準を維持していくことが必要な領域
- C 重要度が低く、実感度が高い（現状維持・見直し領域）
今後のまちづくりにおける重要度は低いものの実感度が高く、実感度の水準を維持していくか、あるいは施策のあり方を含めて、見直すべき必要のある領域
- D 重要度、実感度ともに低い（改善・見直し領域）
今後のまちづくりにおける重要度も実感度も低く、施策の目的やニーズを再確認するとともに、施策のあり方や進め方そのものを、改めて見直す必要のある領域



A：重要度が高く、実感度が低い (重点化・見直し領域)	B：重要度、実感度ともに高い (現状維持領域)
D：重要度、実感度ともに低い (改善・見直し領域)	C：重要度が低く、実感度が高い (現状維持・見直し領域)

【相関図の元データ】

No.	設問項目	略表記	実感度	重要度
1	①安心して子どもを出産し、 育てることができるまち	安心して子育てできるまち	0.454	0.821
2	②子どもたちが夢を育むことができるまち	子どもが夢を育めるまち	0.016	0.763
3	③市内で暮らす人々が住んでいる ことを誇れるまち	住んでいることを誇れるまち	0.115	0.561
4	④子どもと一緒にこのまちに住んで よかったと思えるまち	住んでよかったと思えるまち	0.362	0.764
5	⑤高齢者が元気に暮らせるまち	高齢者が元気に暮らせるまち	0.170	0.913
6	⑥人権が尊重され、だれもが いきいきと明るく暮らせるまち	人権が尊重されるまち	0.139	0.783
7	⑦互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち	学びあいつながるまち	-0.159	0.511
8	⑧外国人にとって暮らしやすい、 国際性の豊かなまち	国際性豊かなまち	-0.403	-0.436
9	⑨市民が健康でいきいきと暮らせるまち	健康でいきいきと暮らせるまち	0.263	0.999
10	⑩いつでも安全に安心して 医療サービスが受けられるまち	安全安心な医療サービスのまち	0.143	1.298
11	⑪障がいがある人が毎日明るく、 明日へ希望が持てるまち	障がいがある人が希望を持てるまち	-0.165	0.635
12	⑫生活に困窮する人が自立できるまち	生活困窮者が自立できるまち	-0.306	0.510
13	⑬市外から瀬戸内市に通勤・通学している人 にとって、愛着が持て、誇れるまち	市外の人にも愛着が持てるまち	-0.149	0.195
14	⑭地域の人口は減少しているものの、 安全・安心に暮らせる住みよいまち	安全安心に暮らせるまち	0.408	1.019
15	⑮地域みんなで防犯に力を入れているまち	防犯に力を入れているまち	-0.267	0.966
16	⑯防災体制が整っており、災害に強いまち	災害に強いまち	-0.176	1.094
17	⑰かしこい消費者が多いまち	かしこい消費者が多いまち	-0.357	0.066
18	⑱子どもや高齢者などの交通弱者を 守ることができるまち	交通弱者を守るまち	-0.195	0.872
19	⑲農水産業で生活できるまち	農林水産業で生活できるまち	-0.179	0.407
20	⑳商工業者が意欲的に事業に取り組めるまち	商工業者が取り組めるまち	-0.327	0.431
21	㉑企業が進出しやすい条件が整っているまち	企業が進出しやすいまち	-0.140	0.536
22	㉒にぎわいと活気のある観光のまち	にぎわいと活気のあるまち	-0.637	0.300
23	㉓コミュニティ活動などにより、市民自らの力で 地域を改善していけるまち	地域を改善していけるまち	-0.353	0.270
24	㉔市民の納税に対する意識が高いまち	納税意識が高いまち	-0.231	0.198
25	㉕すばらしい自然や景観、伝統、 歴史・文化が引き継がれたまち	自然・景観・伝統・文化のまち	0.450	0.638
平均→			-0.061	0.605

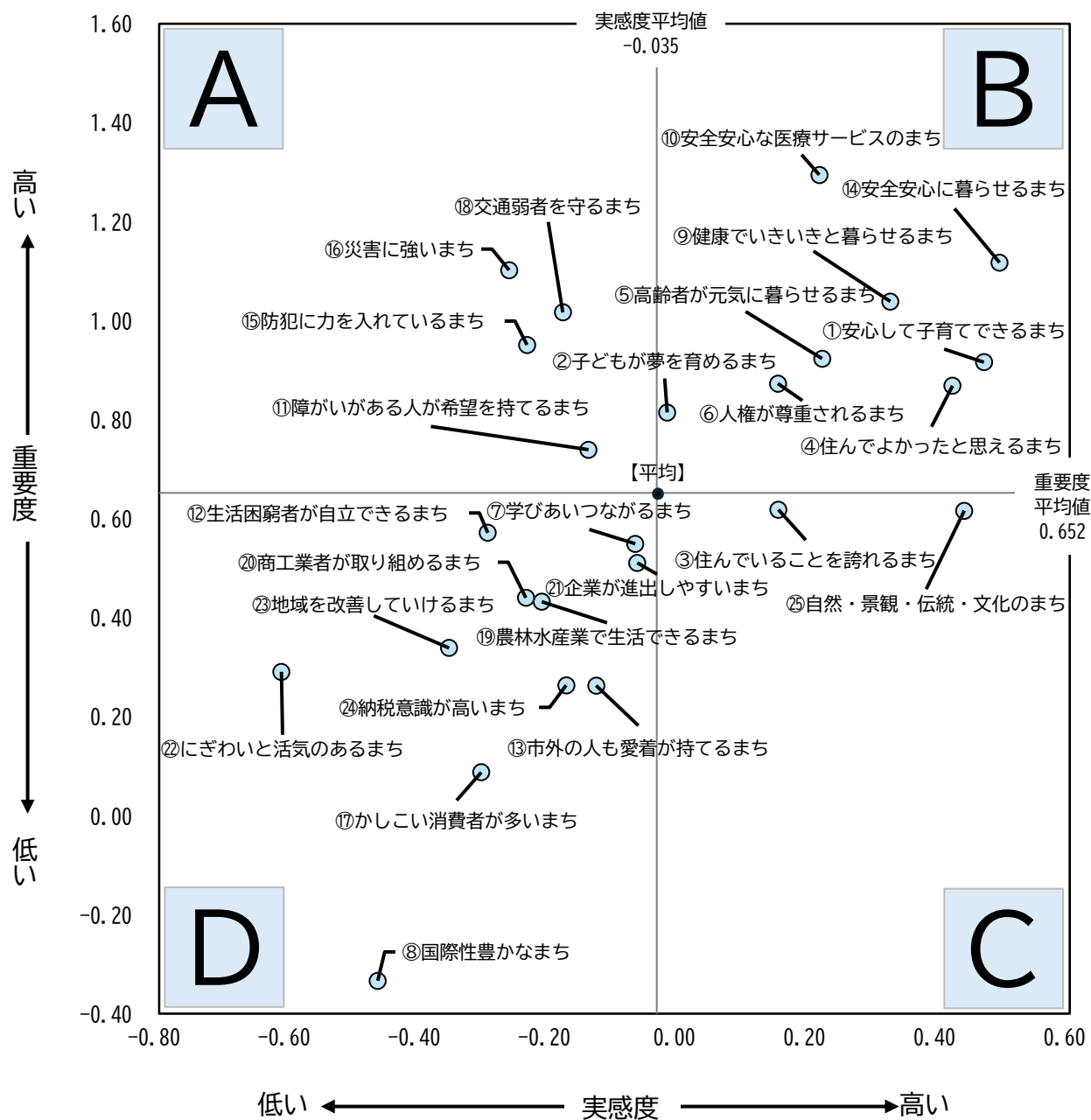
※実感度および重要度はウェイト付けによる加重平均値

【前回調査との比較】

前回の相関図と比べ大きな変化はみられませんでした。前回から今回で「㊤自然・景観・伝統・文化のまち」がCからBへ変更となりました。

No.	略表記	令和7年度		散布図 象限	令和8年度		散布図 象限
		実感度	重要度		実感度	重要度	
1	安心して子育てできるまち	0.468	0.916	B	0.454	0.821	B
2	子どもが夢を育めるまち	-0.019	0.815	B	0.016	0.763	B
3	住んでいることを誇れるまち	0.152	0.618	C	0.115	0.561	C
4	住んでよかったと思えるまち	0.420	0.869	B	0.362	0.764	B
5	高齢者が元気に暮らせるまち	0.219	0.923	B	0.170	0.913	B
6	人権が尊重されるまち	0.151	0.873	B	0.139	0.783	B
7	学びあいつながるまち	-0.068	0.549	D	-0.159	0.511	D
8	国際性豊かなまち	-0.464	-0.333	D	-0.403	-0.436	D
9	健康でいきいきと暮らせるまち	0.324	1.039	B	0.263	0.999	B
10	安全安心な医療サービスのまち	0.215	1.294	B	0.143	1.298	B
11	障がいがある人が希望を持てるまち	-0.140	0.739	A	-0.165	0.635	A
12	生活困窮者が自立できるまち	-0.295	0.572	D	-0.306	0.510	D
13	市外の人にも愛着を持てるまち	-0.128	0.263	D	-0.149	0.195	D
14	安全安心に暮らせるまち	0.492	1.117	B	0.408	1.019	B
15	防犯に力を入れているまち	-0.234	0.951	A	-0.267	0.966	A
16	災害に強いまち	-0.262	1.102	A	-0.176	1.094	A
17	かしこい消費者が多いまち	-0.305	0.088	D	-0.357	0.066	D
18	交通弱者を守るまち	-0.179	1.017	A	-0.195	0.872	A
19	農林水産業で生活できるまち	-0.212	0.433	D	-0.179	0.407	D
20	商工業者が取り組めるまち	-0.236	0.440	D	-0.327	0.431	D
21	企業が進出しやすいまち	-0.065	0.511	D	-0.140	0.536	D
22	にぎわいと活気のあるまち	-0.612	0.291	D	-0.637	0.300	D
23	地域を改善していけるまち	-0.354	0.339	D	-0.353	0.270	D
24	納税意識が高いまち	-0.174	0.264	D	-0.231	0.198	D
25	自然・景観・伝統・文化のまち	0.438	0.616	C	0.450	0.638	B
平均→		-0.035	0.652		-0.061	0.605	

【参考／前回調査における相関図】



A：重要度が高く、実感度が低い (重点化・見直し領域)	B：重要度、実感度ともに高い (現状維持領域)
D：重要度、実感度ともに低い (改善・見直し領域)	C：重要度が低く、実感度が高い (現状維持・見直し領域)

【2】行動や考えについて

問2(1) あなたは、ご自身の人権が守られていると思いますか。

「そう思う」が80.1%を占めています。

性別では大きな差はみられませんでした。

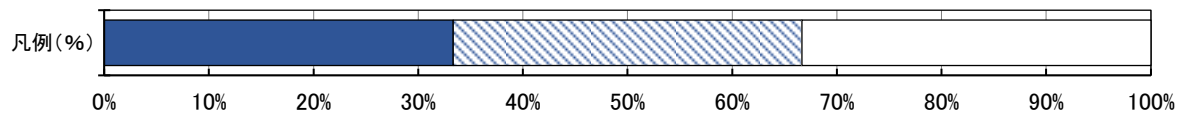
年齢別では29歳以下で「そう思う」の割合が他の年齢層に比べてやや高くなっています。

【凡例】

■ そう思う

▨ そう思わない

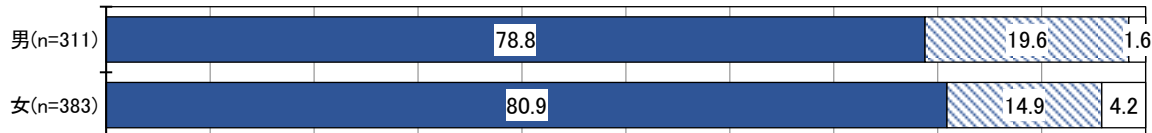
□ 無回答



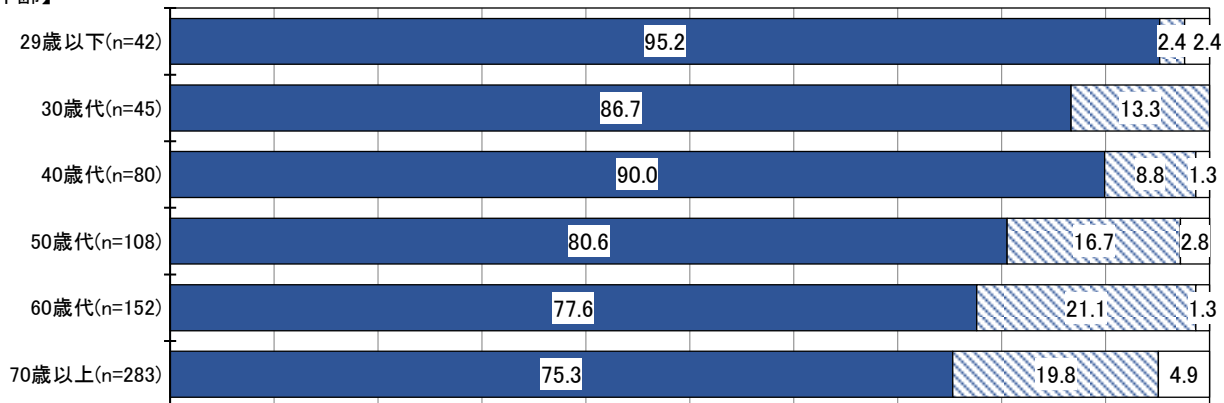
【全体】



【性別】



【年齢】

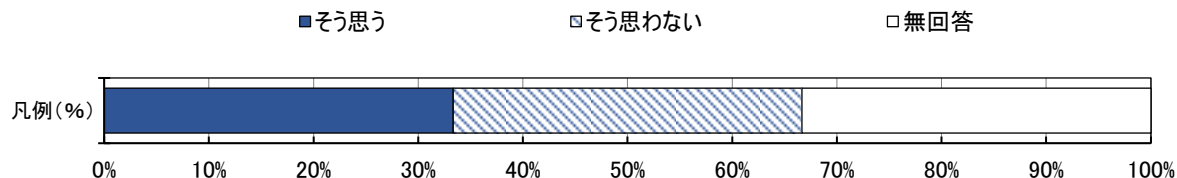


人権が尊重されるまち実感度別では、実感がない(「思わない」)層で「そう思わない」が約6割を占めています。

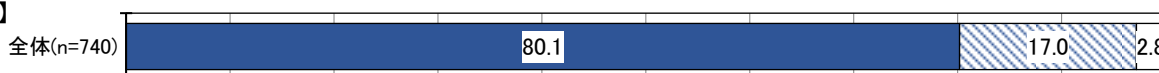
障がいがある人が希望を持てるまち実感度別では、実感がない(「思わない」)層で「そう思わない」が約4割を占めています。

国際性の豊かなまち実感度別では、実感がない(「思わない」)層で「そう思わない」が約3割を占めています。

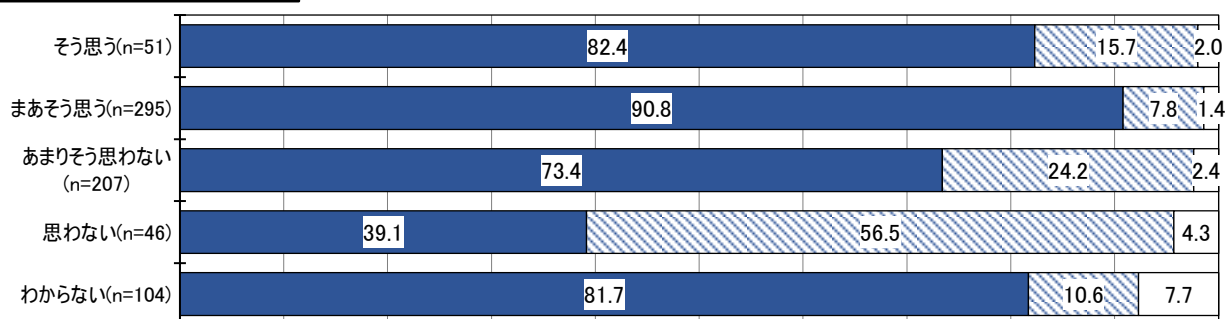
【凡例】



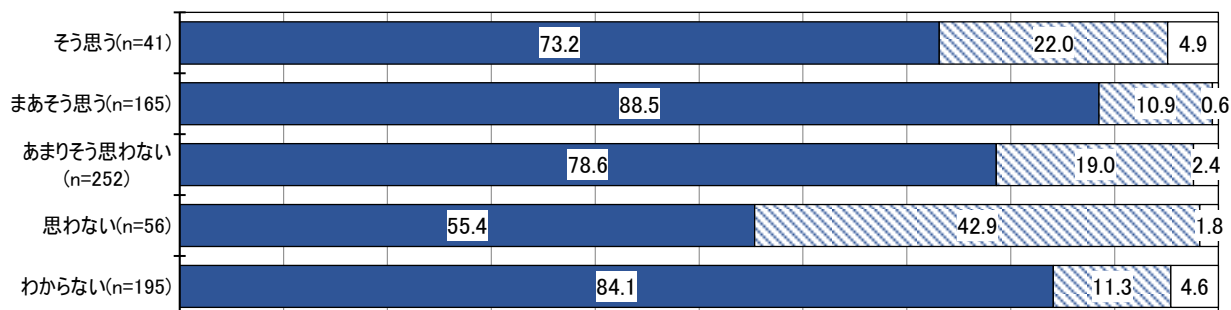
【全体】



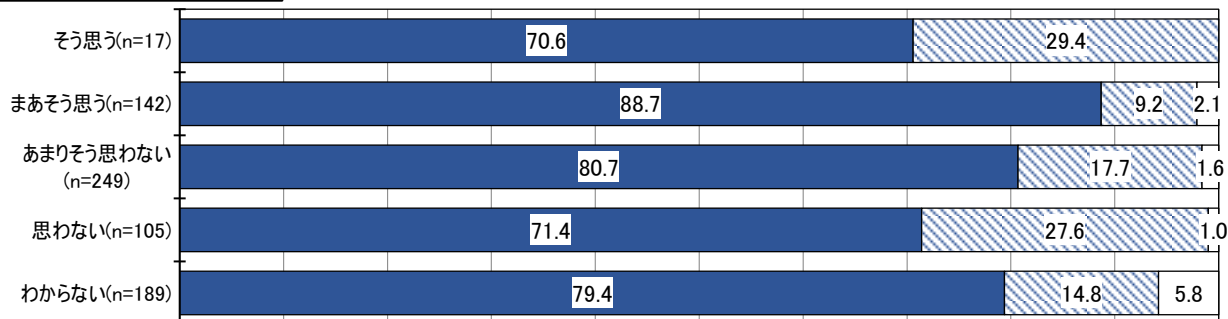
人権が尊重されるまち実感度別



障がいがある人が希望を持てるまち実感度別

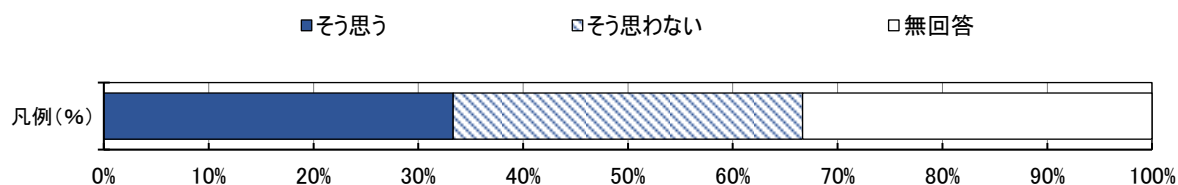


国際性の豊かなまち実感度別

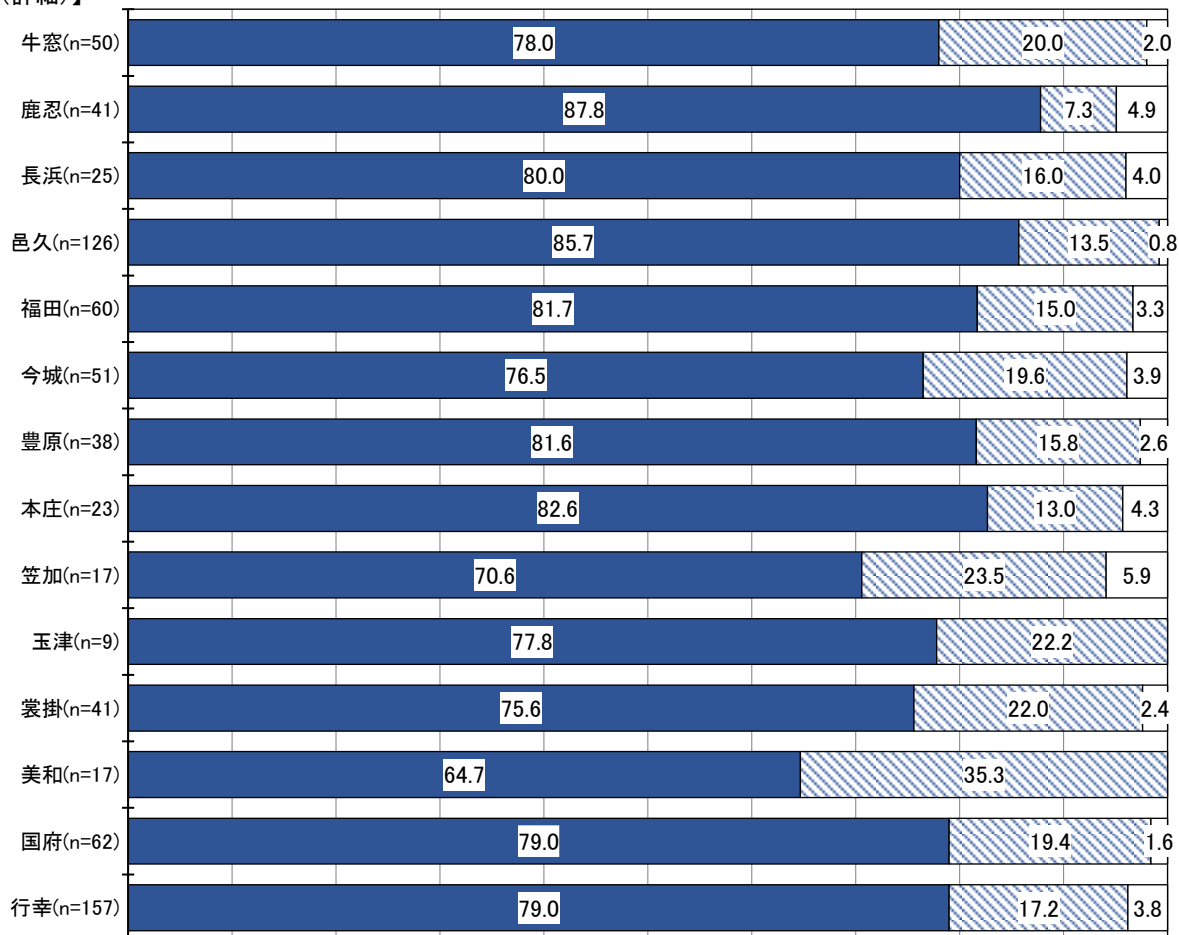


地域別でみると、「そう思う」は鹿忍で高く、「そう思わない」は美和で高くなっています。

【凡例】



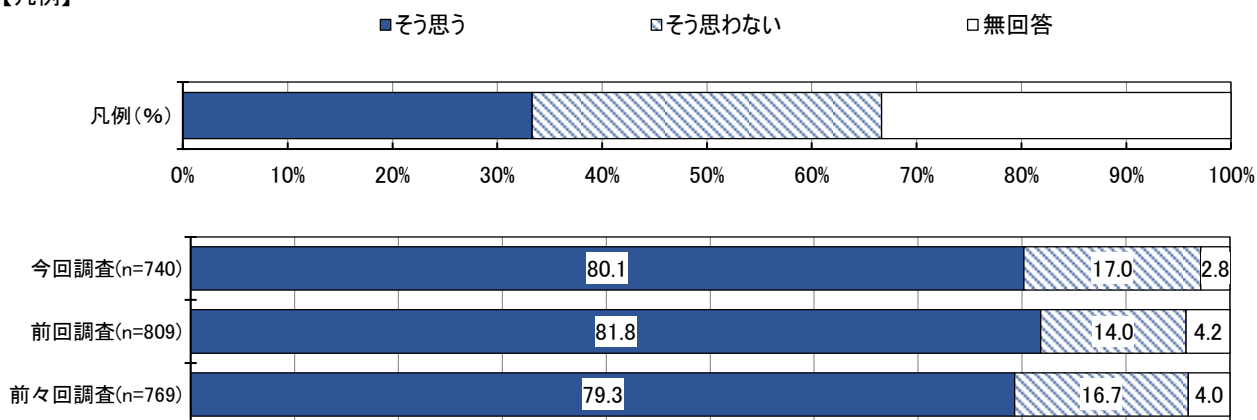
【地域(詳細)】



【過去三カ年の推移】

前々回および前回調査と比較して、大きな変化は見られません。

【凡例】



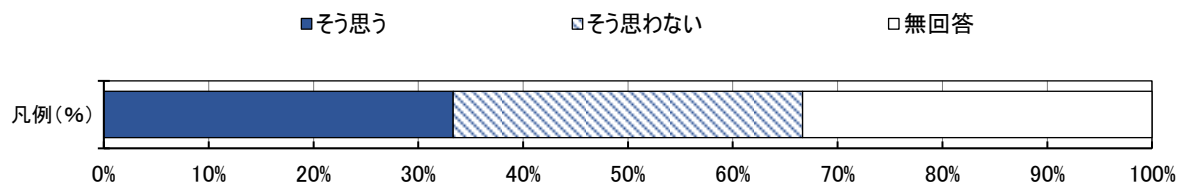
問2(2) あなたは、慣習やしきたりで男女が平等になっていると思いますか

「そう思わない」が54.1%を占めています。

性別では、男性は女性に比べ「そう思う」の割合が高くなっています。

年齢別では、30歳代で「そう思わない」の割合が6割以上となっています。

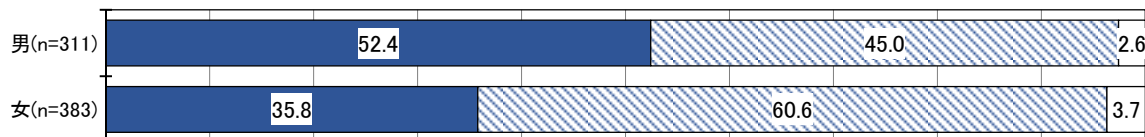
【凡例】



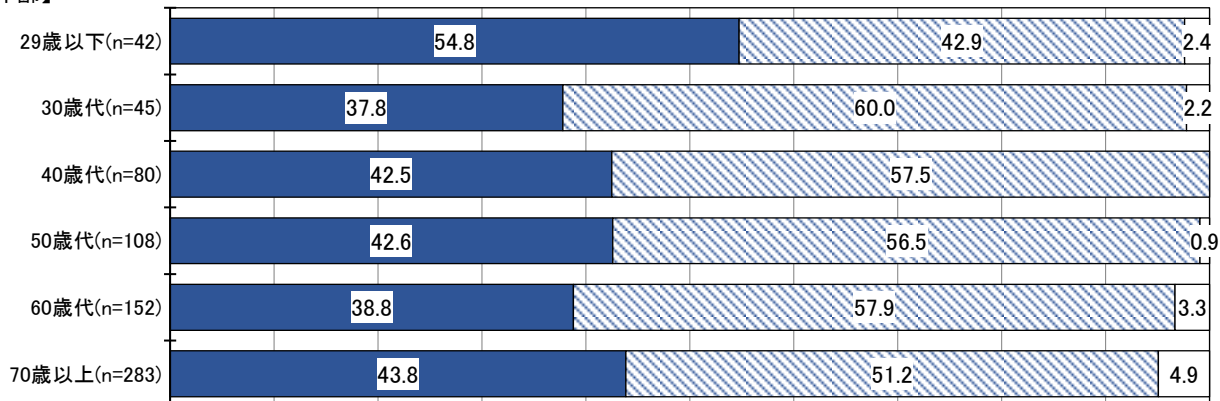
【全体】



【性別】

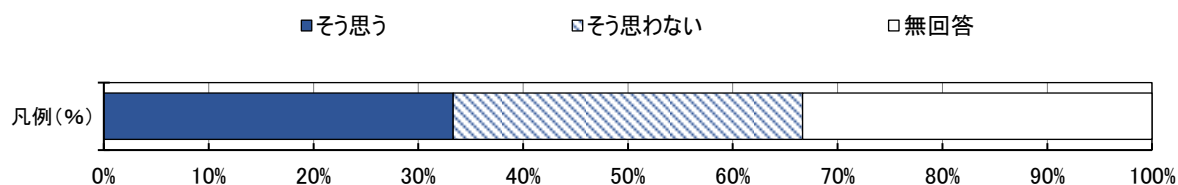


【年齢】

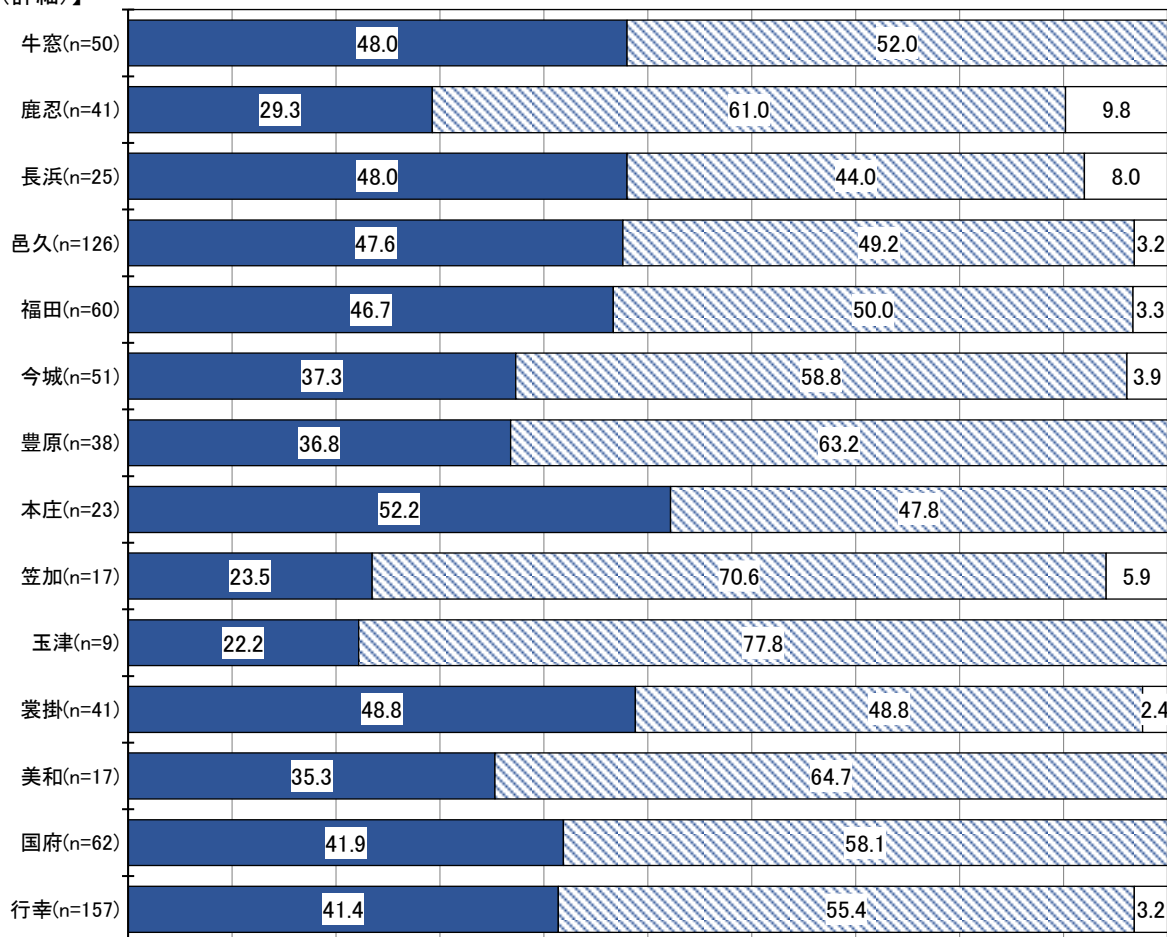


地域別でみると、「そう思う」は本庄で高く、「そう思わない」は玉津で高くなっています。

【凡例】



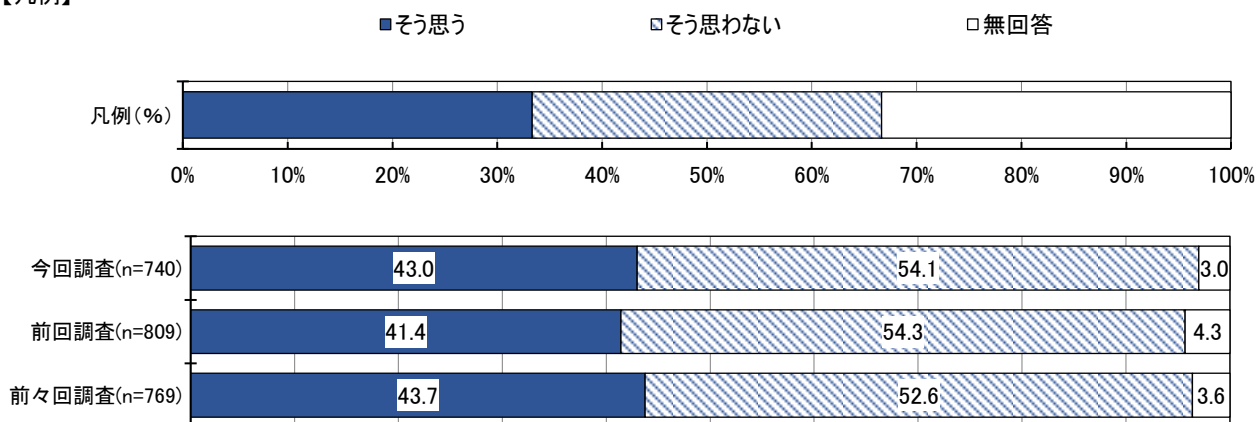
【地域(詳細)】



【過去三カ年の推移】

前々回および前回調査と比較して、大きな変化は見られません。

【凡例】



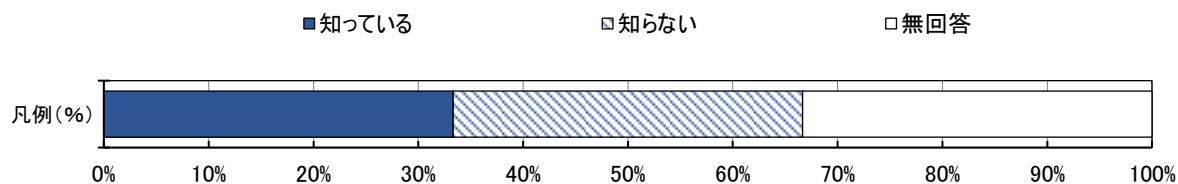
問2(3) あなたは、人権問題について相談できる「なやみごと相談」の窓口を知っていますか

「知らない」が67.3%を占めています。

性別では、男性は女性に比べ「知らない」の割合が高くなっています。

年齢別では30歳代で「知らない」の割合が8割を占めています。

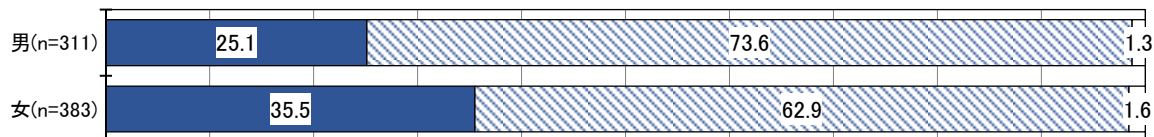
【凡例】



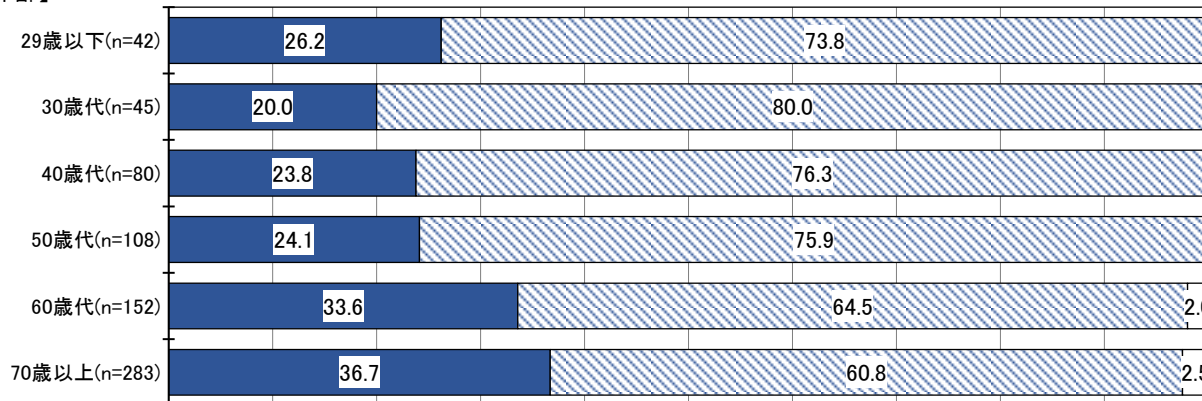
【全体】



【性別】



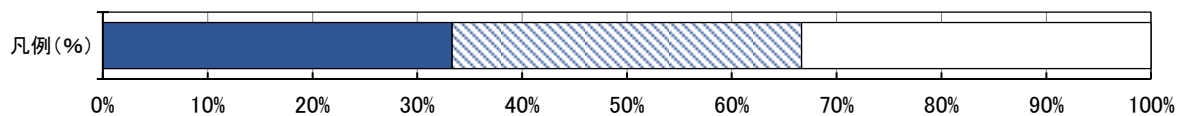
【年齢】



人権が尊重されるまち実感度別では、大きな差はみられません。
 障がいがある人が希望を持てるまち実感度別では、大きな差はみられません。
 国際性の豊かなまち実感度別では、実感がある「(まあそう思う)」と回答した層の約4割が「知っている」と回答しています。

【凡例】

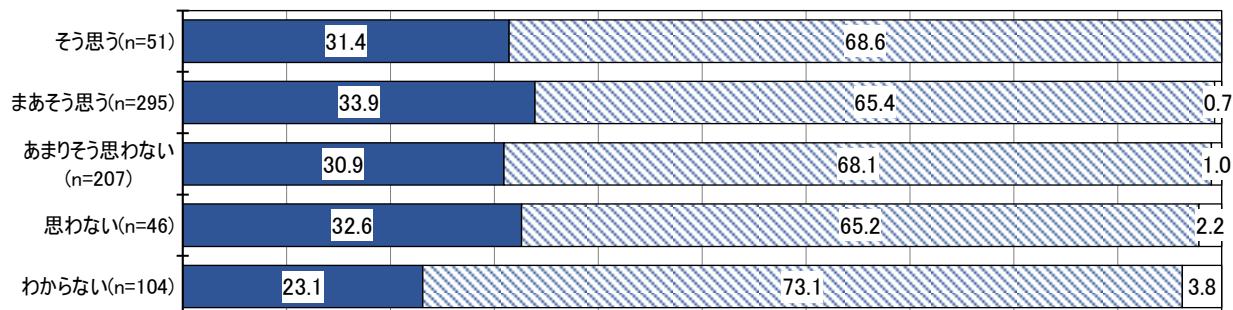
■知っている □知らない □無回答



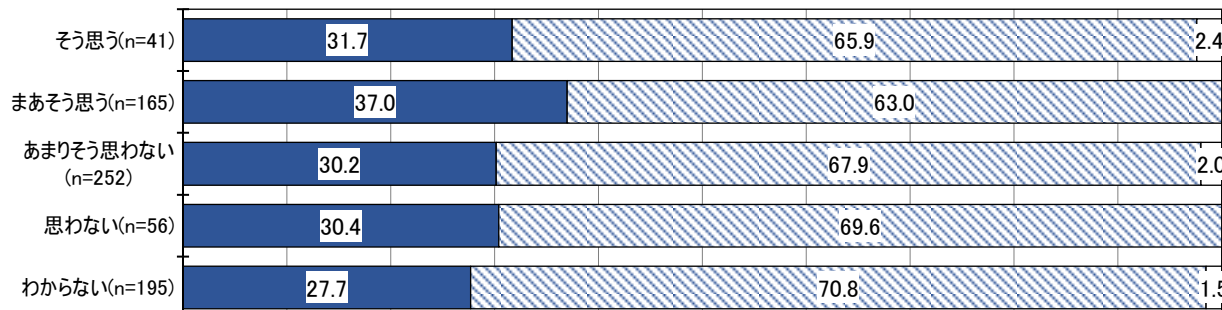
【全体】



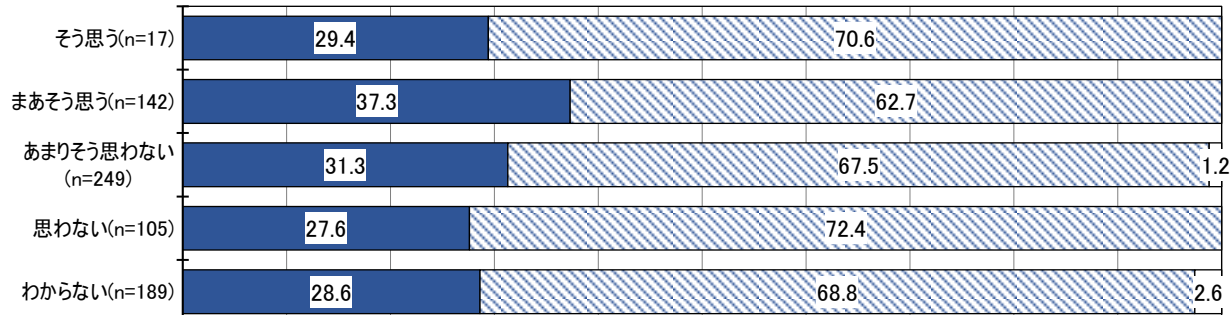
人権が尊重されるまち実感度別



障がいがある人が希望を持てるまち実感度別

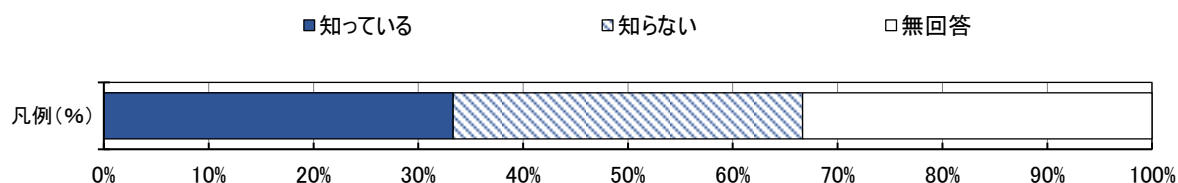


国際性の豊かなまち実感度別

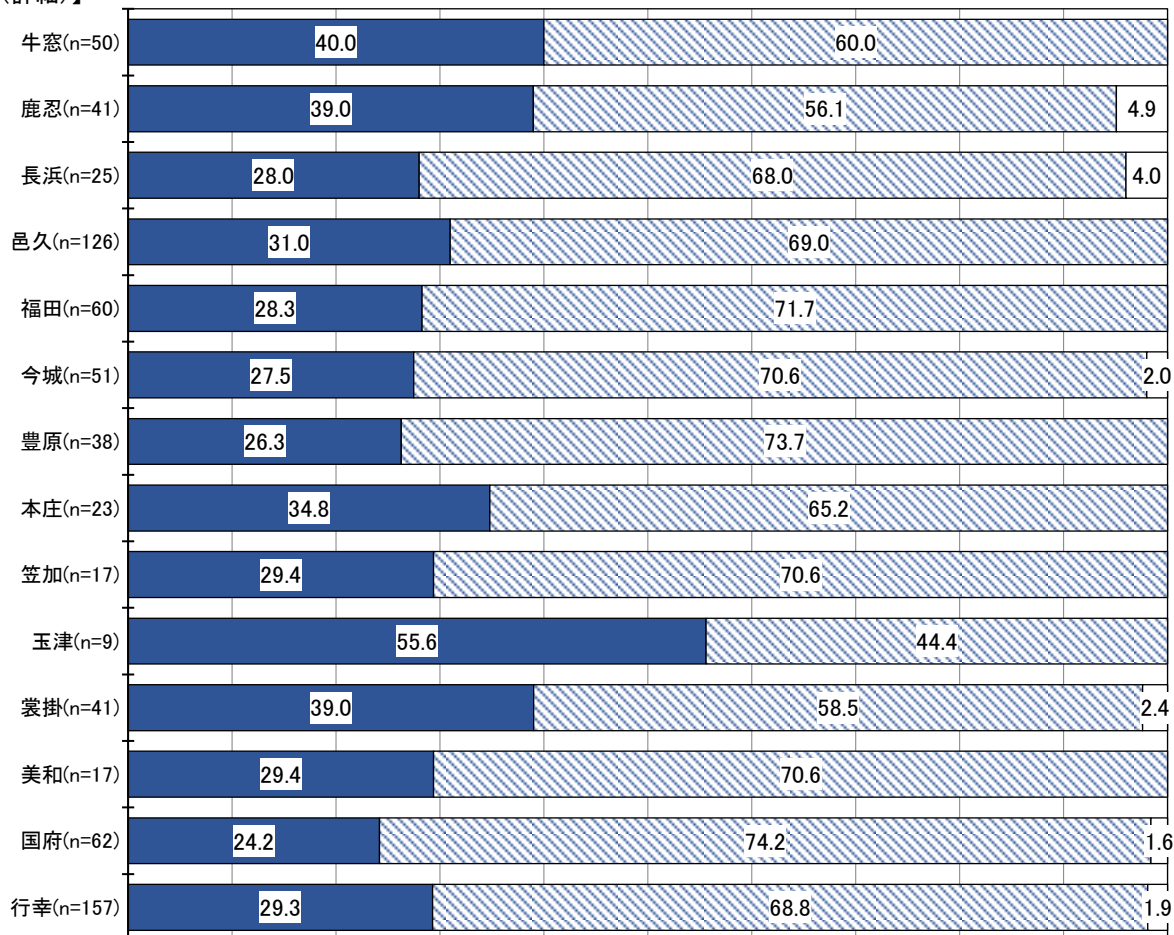


地域別でみると、「知っている」は玉津などで高く、「知らない」は国府で比較的高くなっています。

【凡例】



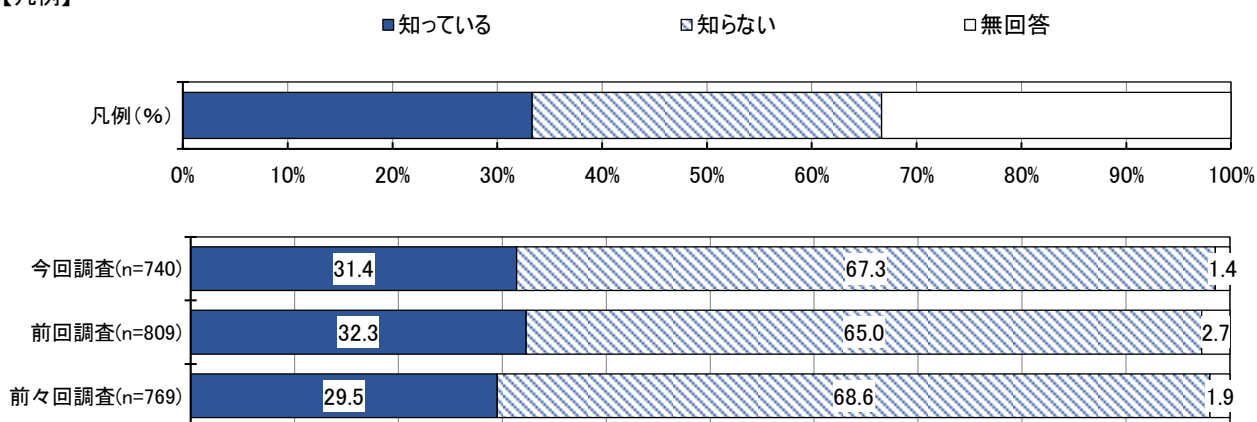
【地域(詳細)】



【過去三カ年の推移】

前々回および前回調査と比較して、大きな変化は見られません。

【凡例】



問2(4) あなたは、近所の子どもに会ったときに、あいさつや声かけをしていますか

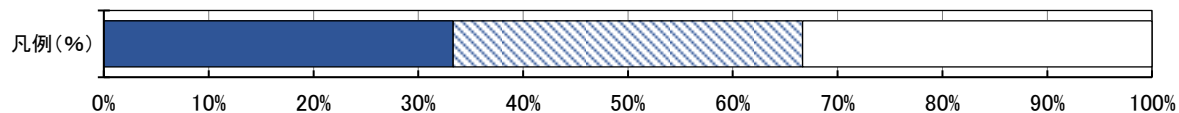
「している」が78.0%を占めています。

性別では、女性は男性に比べ「している」の割合が高くなっています。

年齢別では、29歳以下で「していない」の割合が他の年齢層に比べて高くなっています。

【凡例】

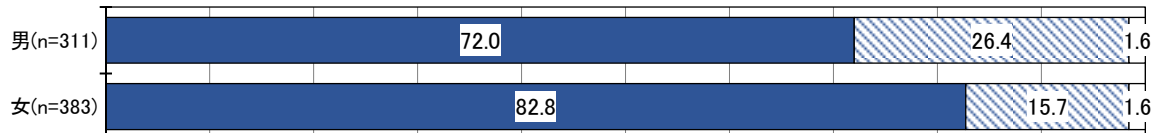
■している □していない □無回答



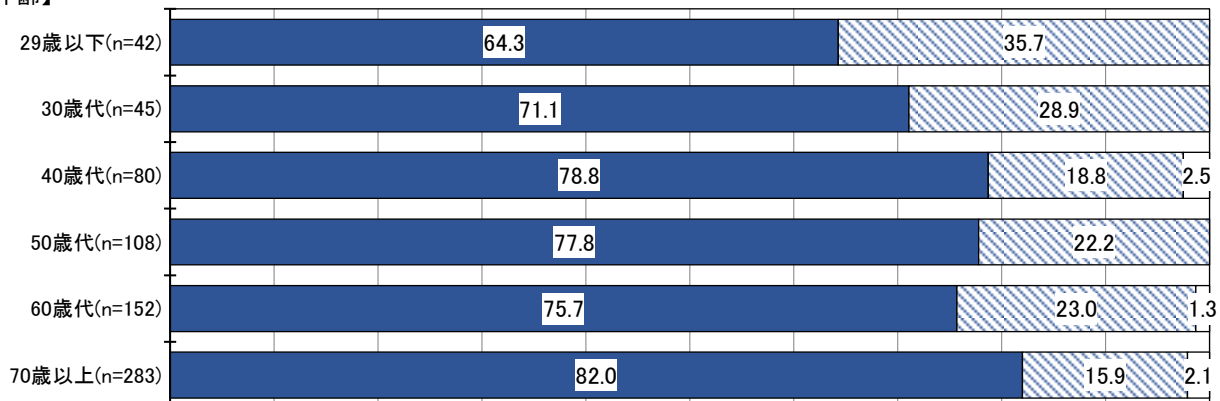
【全体】



【性別】

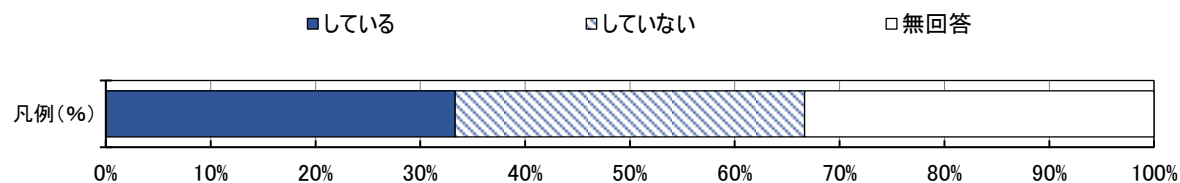


【年齢】

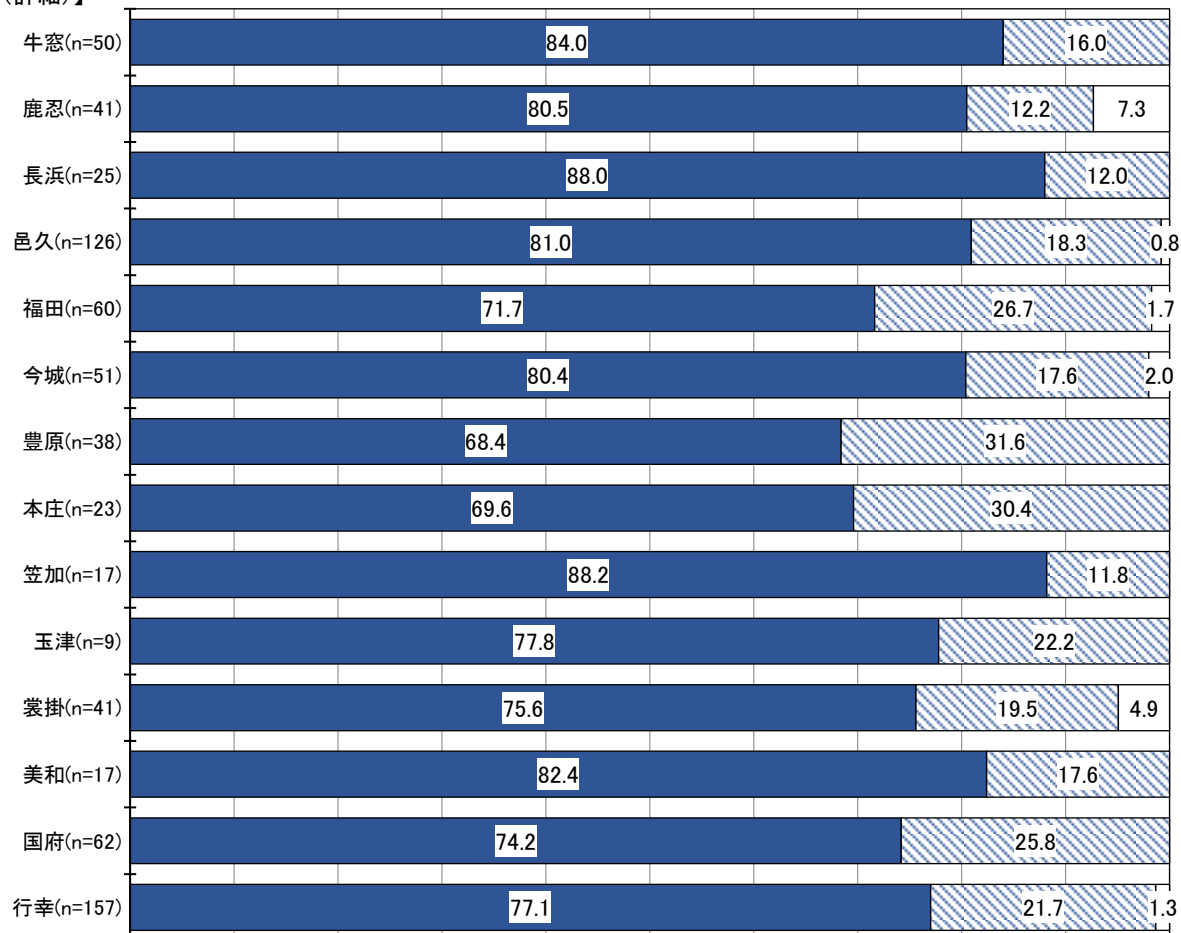


地域別でみると、「している」は長浜、笠加などで高く、「していない」は豊原、本庄などで高くなっています。

【凡例】



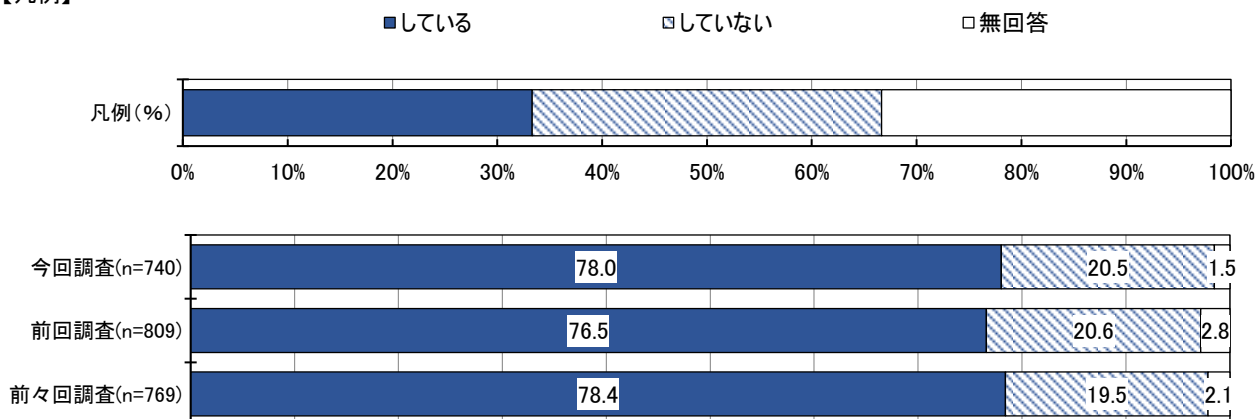
【地域(詳細)】



【過去三カ年の推移】

前々回および前回調査と比較して、大きな変化は見られません。

【凡例】



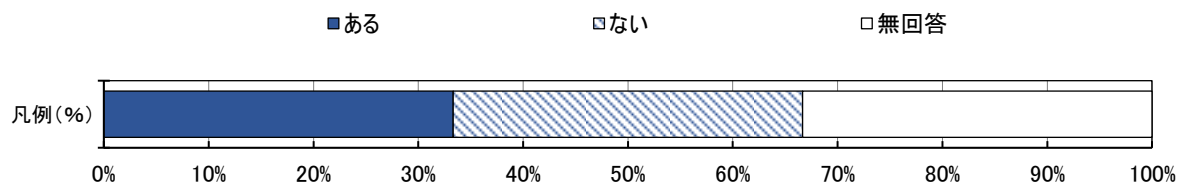
問2(5) あなたは、生涯学習講座などの活動に参加したことがありますか

「ない」が80.9%を占めています。

性別では、女性は「ある」の割合が男性を上回っています。

年齢別では、年齢が上がるほど「ある」の割合が高くなっています。

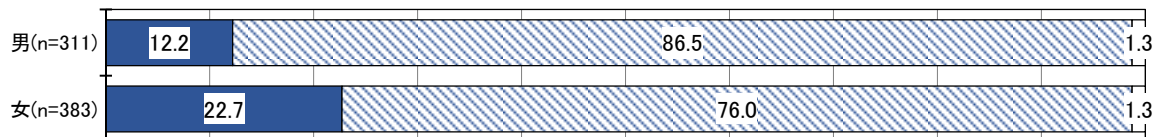
【凡例】



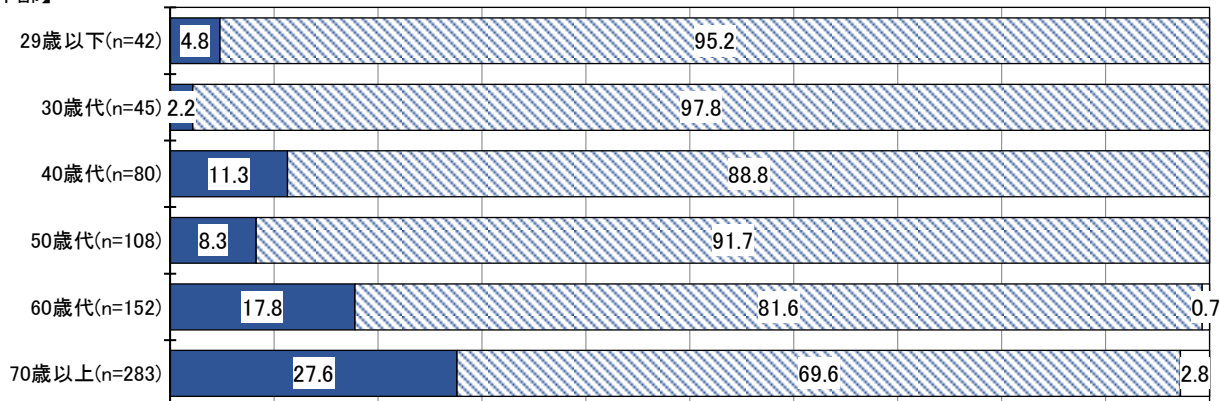
【全体】



【性別】



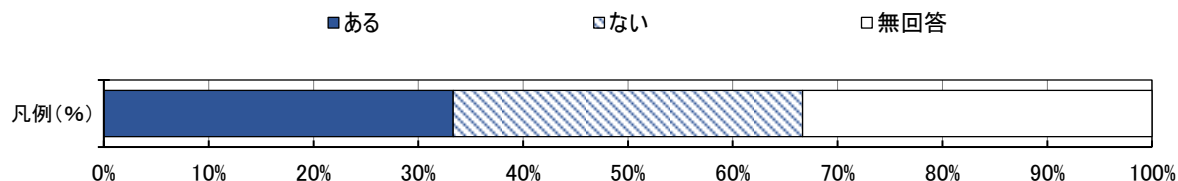
【年齢】



学びあいつながるまち実感度別では、実感度が高い(「そう思う」)層ほど「ある」の割合が高くなっています。

地域コミュニティ活動に参加している層やボランティア・NPO活動に参加経験のある層で、「ある」の割合がそれぞれ高くなっています。

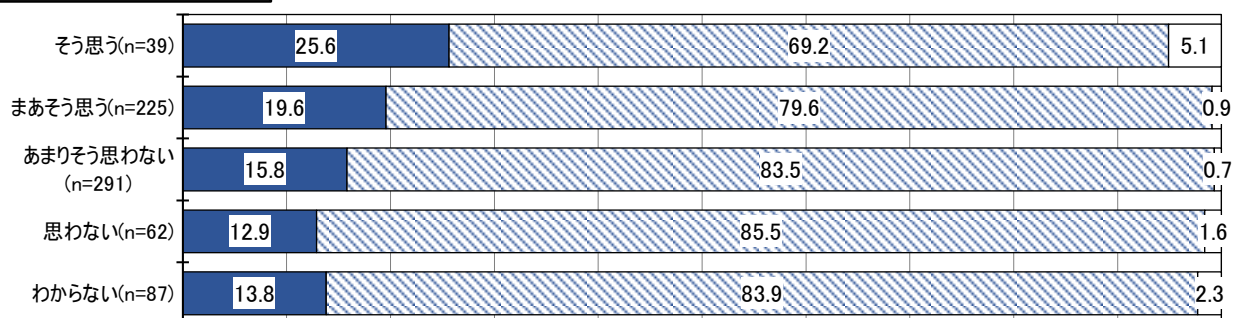
【凡例】



【全体】



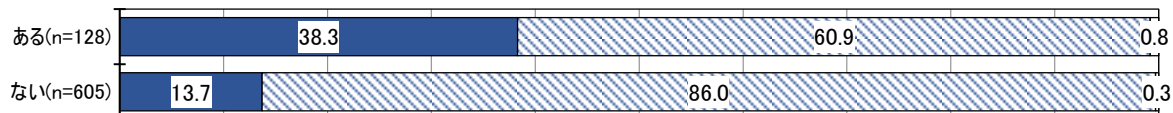
学びあいつながるまち実感度



地域コミュニティ活動参加状況別

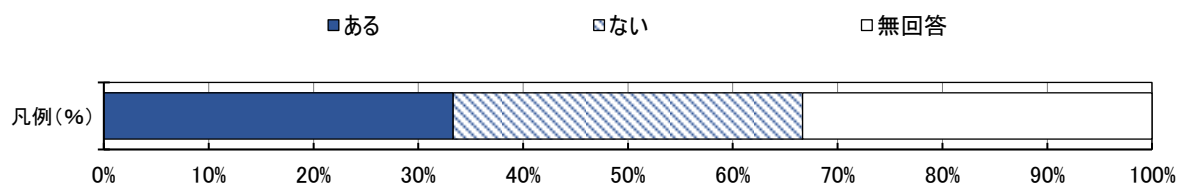


ボランティア・NPO活動参加経験別

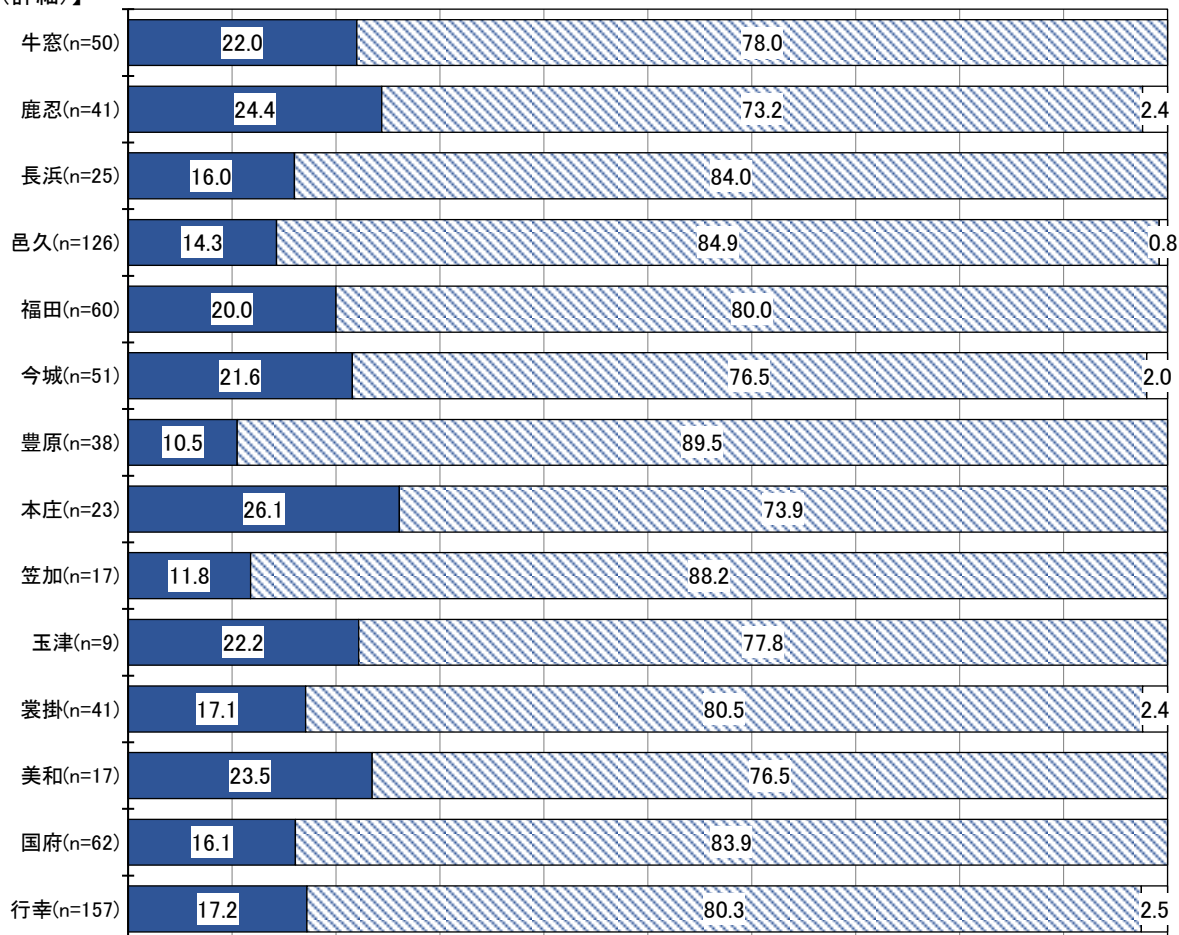


地域別でみると、「ある」は本庄などで高く、「ない」は豊原、笠加などで高くなっています。

【凡例】



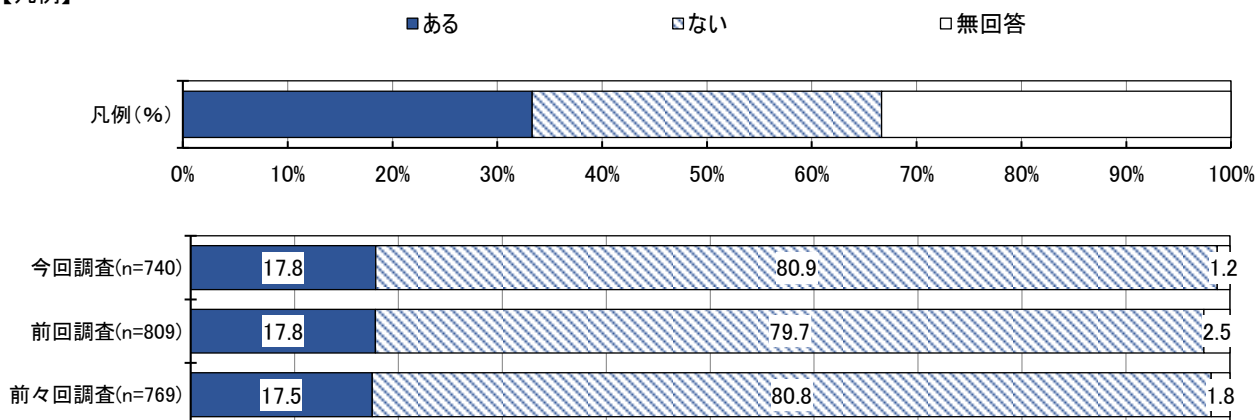
【地域(詳細)】



【過去三カ年の推移】

前々回および前回調査と比較して、大きな変化は見られません。

【凡例】



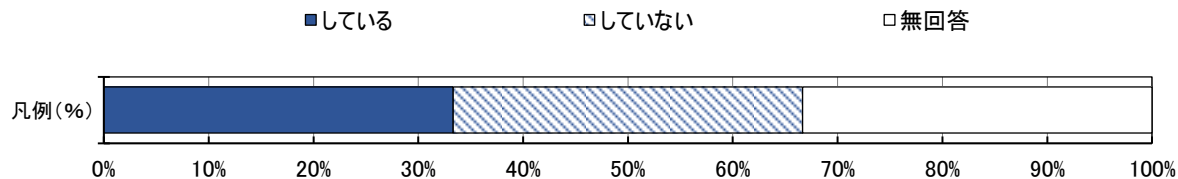
問2(6) あなたは、学習やスポーツの指導など、地域に貢献する活動をしていますか

「していない」が88.8%を占めています。

性別では、女性は男性に比べ「している」の割合がやや高くなっています。

年齢別では、70歳以上、30歳代の割合が他の年齢層に比べて高くなっています。

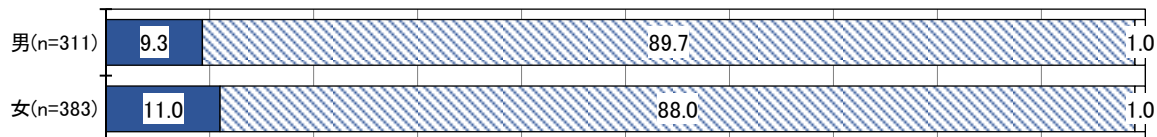
【凡例】



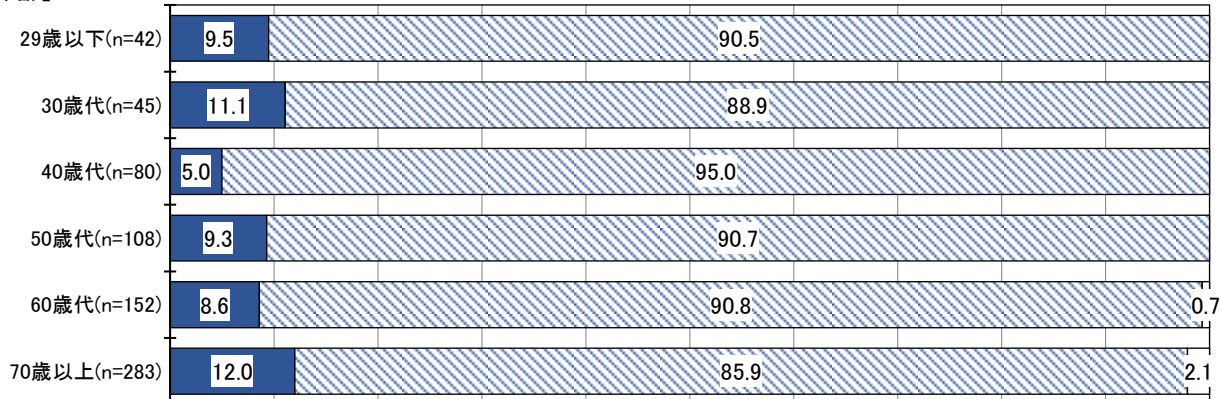
【全体】



【性別】



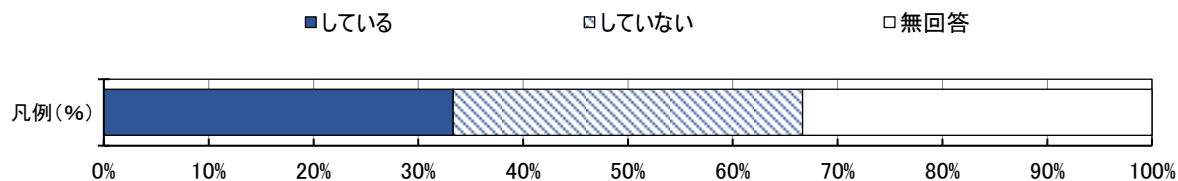
【年齢】



学びあいつながるまち実感度別では、実感度が高い(「そう思う」)層ほど「している」の割合が高くなっています。

地域コミュニティ活動に参加している層やボランティア・NPO活動に参加経験のある層で、「している」の割合がそれぞれ高くなっています。

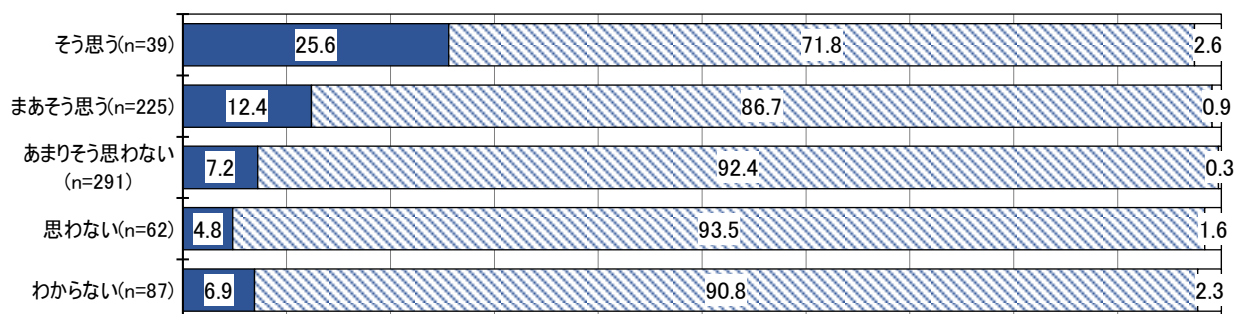
【凡例】



【全体】



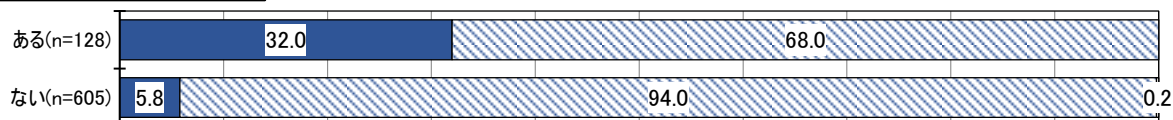
学びあいつながるまち実感度



地域コミュニティ活動参加状況別

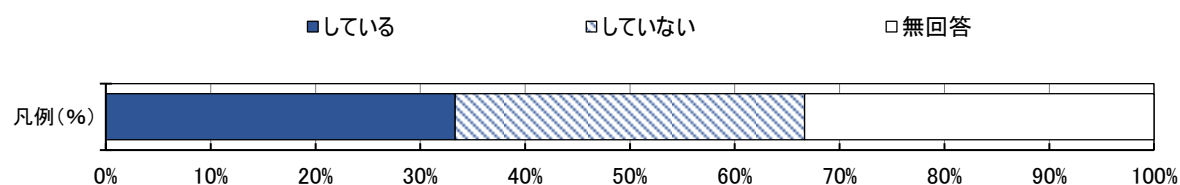


ボランティア・NPO活動参加経験別

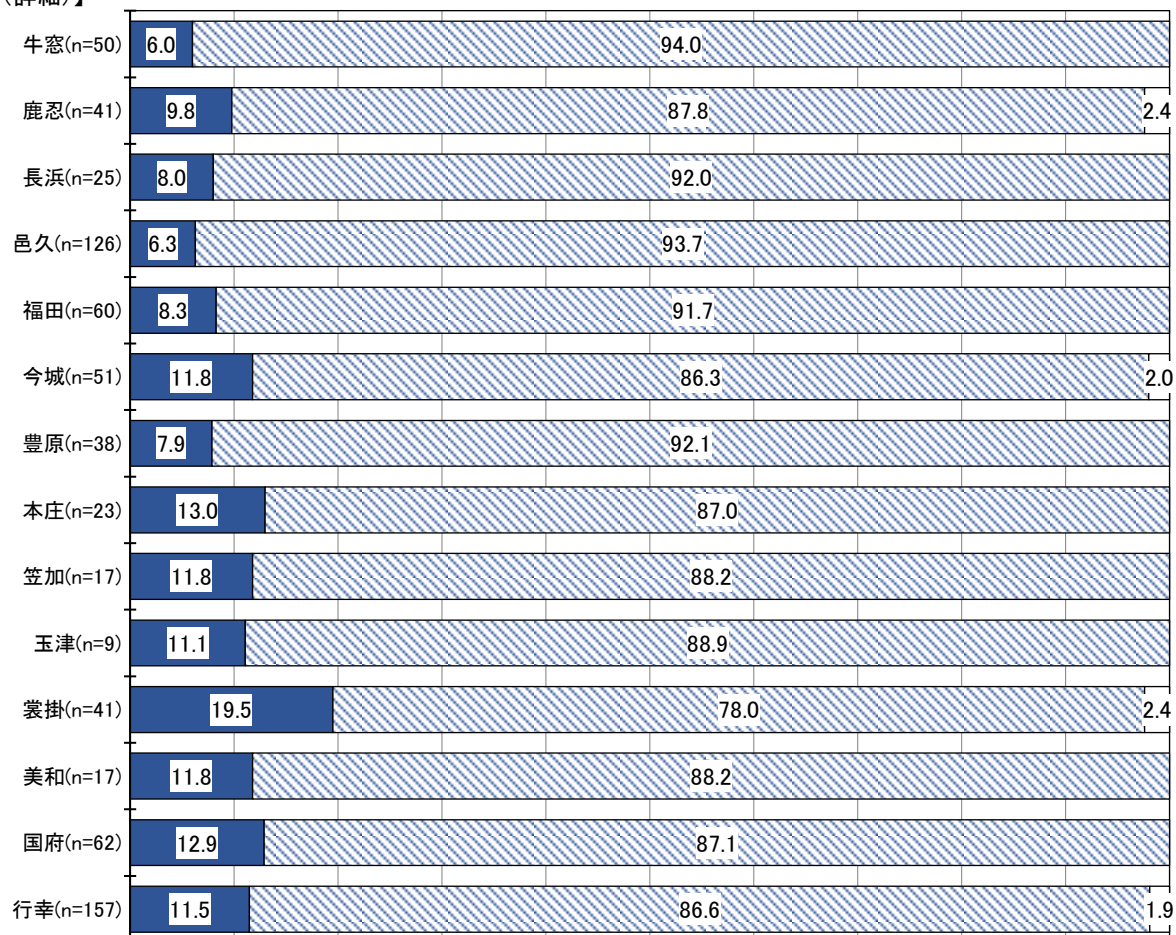


地域別でみると、「している」は裳掛で高く、「していない」は牛窓などで高くなっています。

【凡例】



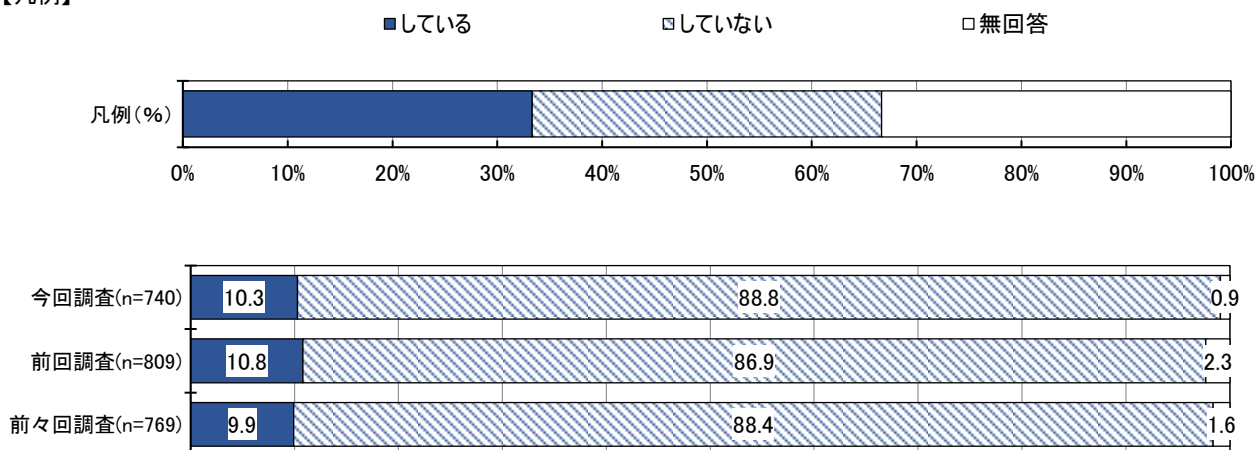
【地域(詳細)】



【過去三カ年の推移】

前々回および前回調査と比較して、大きな変化は見られません。

【凡例】



問2(7) あなたは、週に2回以上、1回30分以上の運動を1年以上継続していますか

「していない」が60.0%を占めています。

性別では、大きな差はみられませんでした。

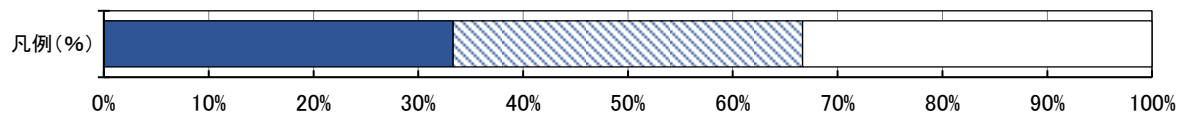
年齢別では、70歳以上で「している」の割合が高くなっています。

【凡例】

■している

▨していない

□無回答



【全体】

全体(n=740)



【性別】

男(n=311)



女(n=383)



【年齢】

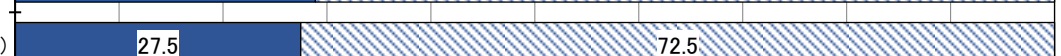
29歳以下(n=42)



30歳代(n=45)



40歳代(n=80)



50歳代(n=108)



60歳代(n=152)

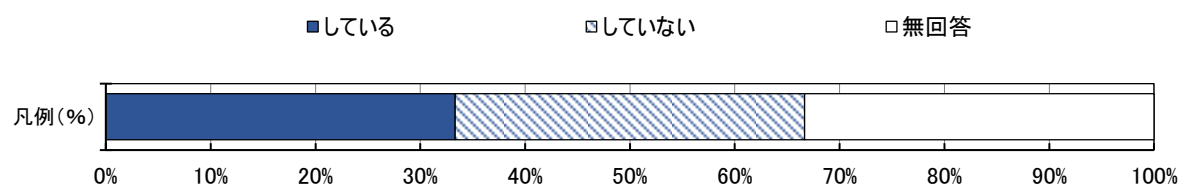


70歳以上(n=283)

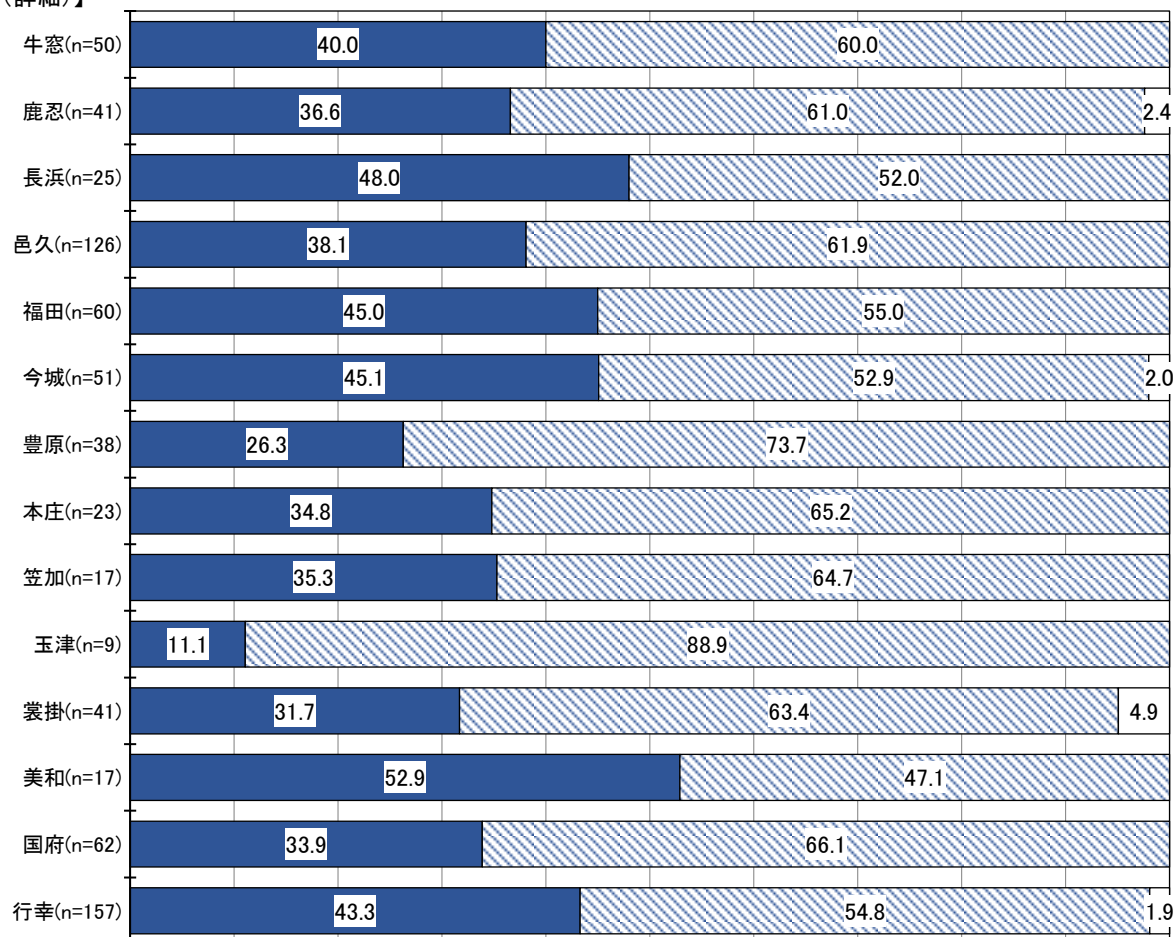


地域別でみると、「している」は美和で高く、「していない」は豊原、玉津などで高くなっています。

【凡例】



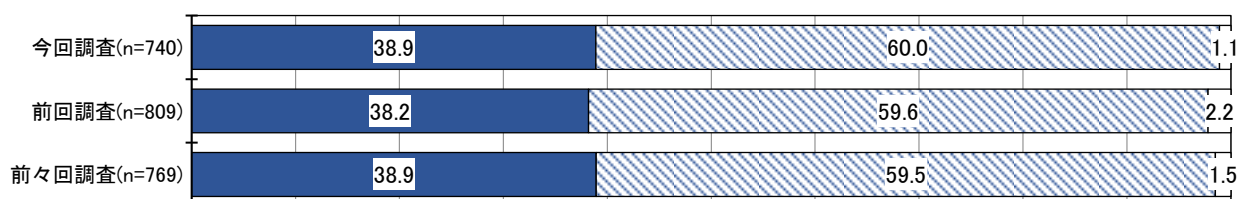
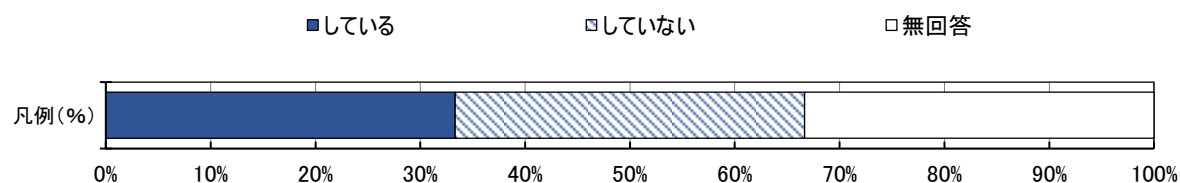
【地域(詳細)】



【過去三カ年の推移】

前々回および前回調査と比較して、大きな変化は見られません。

【凡例】

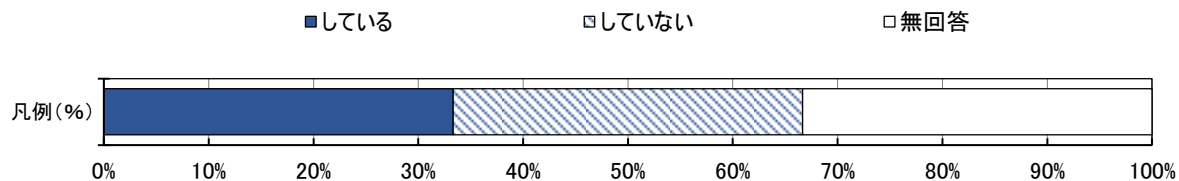


問2(8) あなたは、歴史や文化、芸術に関わる活動をしていますか

「していない」が90.1%を占めています。

性別、地域別では、大きな差はみられませんでした。

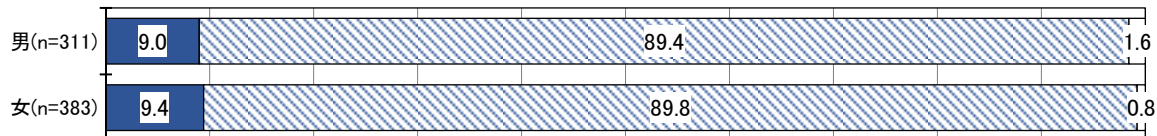
【凡例】



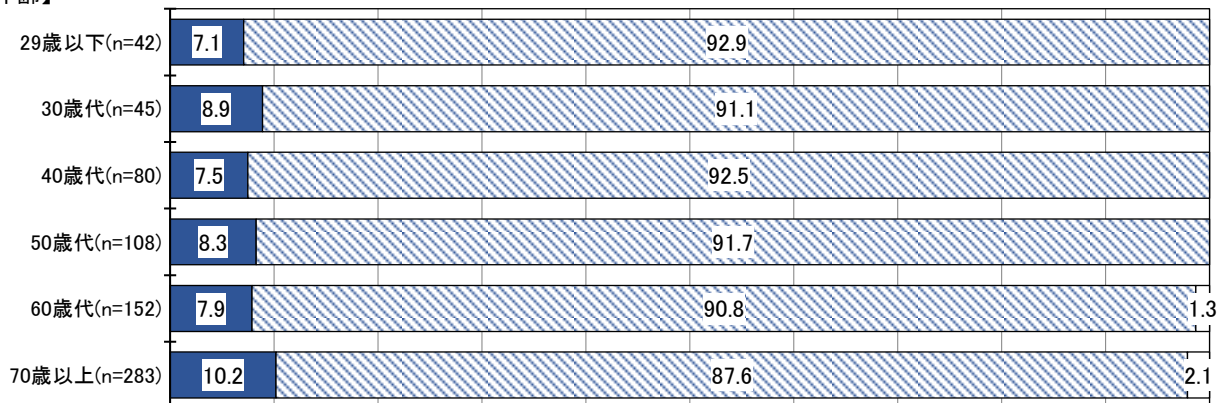
【全体】



【性別】

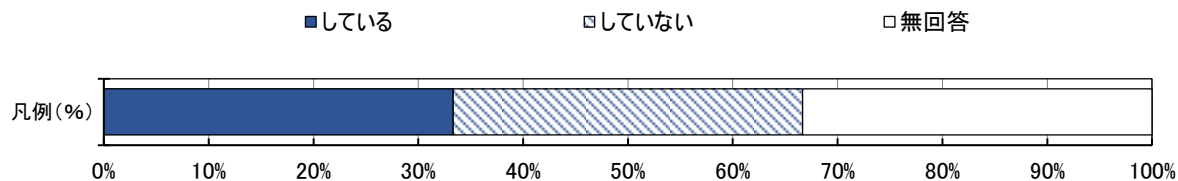


【年齢】



学びあいつながるまち実感度別では、実感がある(「そう思う」と回答した層ほど「している」の割合が高くなっています。

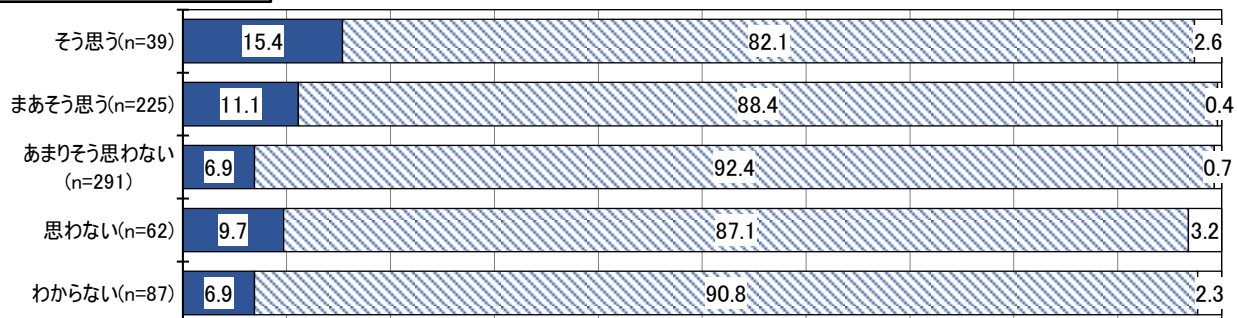
【凡例】



【全体】



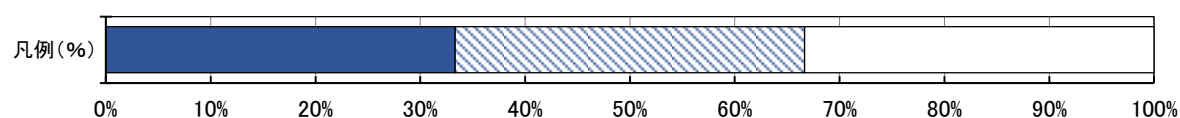
学びあいつながるまち実感度



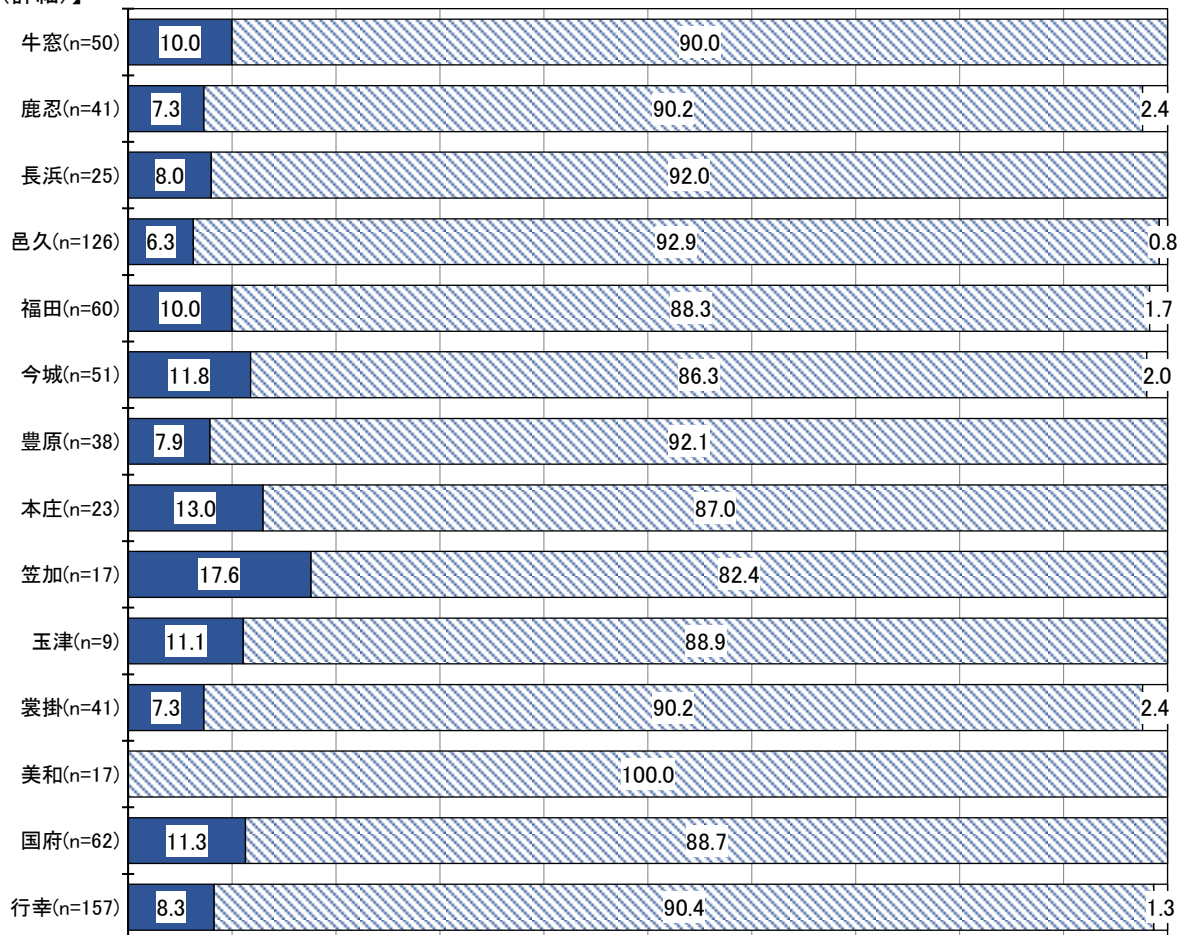
地域別でみると、「している」は笠加で高く、「していない」は美和で100.0%となっています。

【凡例】

■している □していない □無回答



【地域(詳細)】

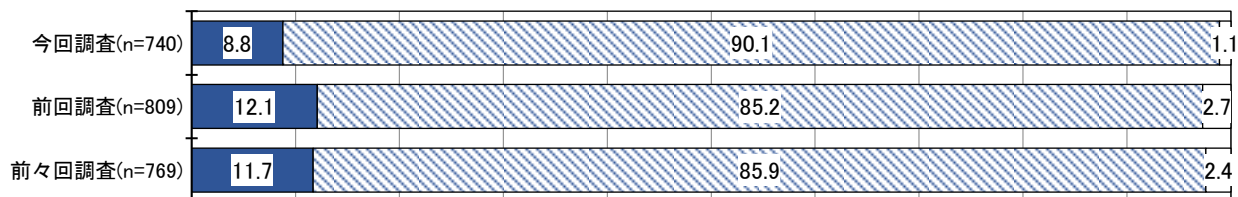
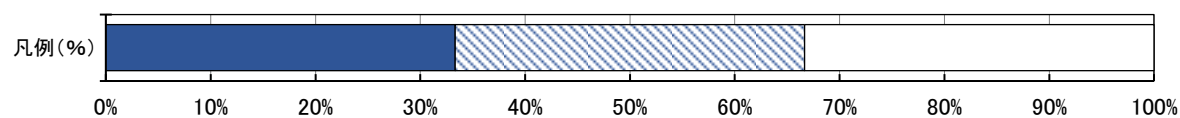


【過去三カ年の推移】

前々回調査、前回調査と比べ、「している」がやや減少しています。

【凡例】

■している □していない □無回答



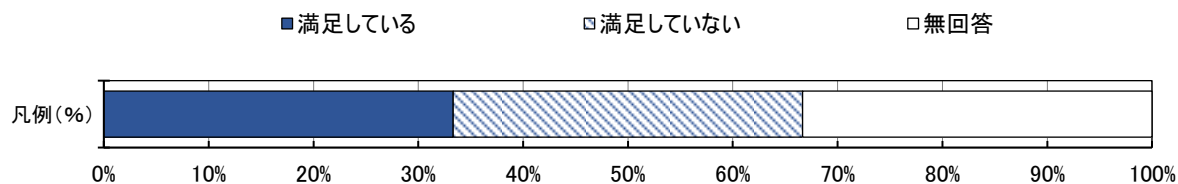
問2(9) あなたは、市が発信する子育て情報に満足していますか

「満足していない」が48.0%で最も高く、次いで「満足している」が43.4%となっています。

性別では、大きな差はみられませんでした。

年齢別では、40歳代で「満足している」が他の年齢層に比べて高くなっています。

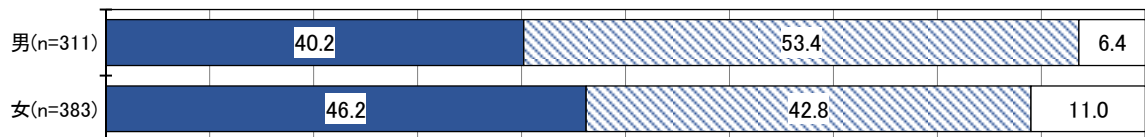
【凡例】



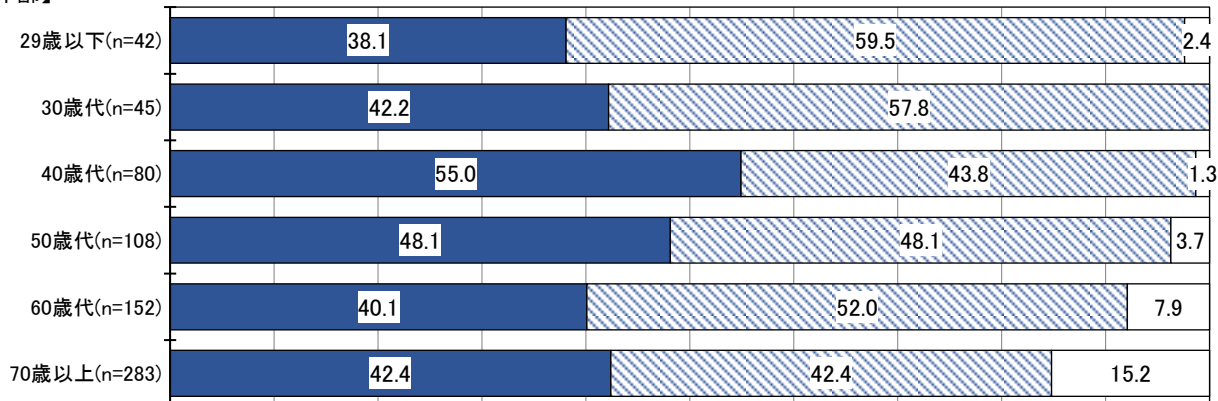
【全体】



【性別】



【年齢】



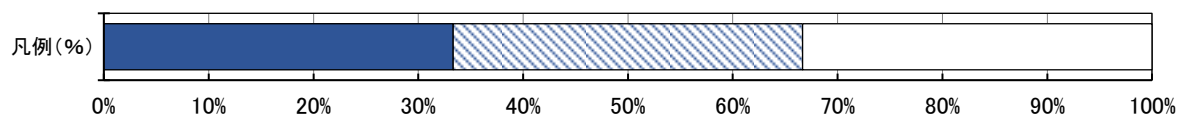
安心して子育てができるまちや住んで良かったと思えるまちの実感度別では、実感度が高い(「そう思う」「まあそう思う」)層ほど「満足している」の割合が高くなっています。

【凡例】

■ 満足している

▨ 満足していない

□ 無回答

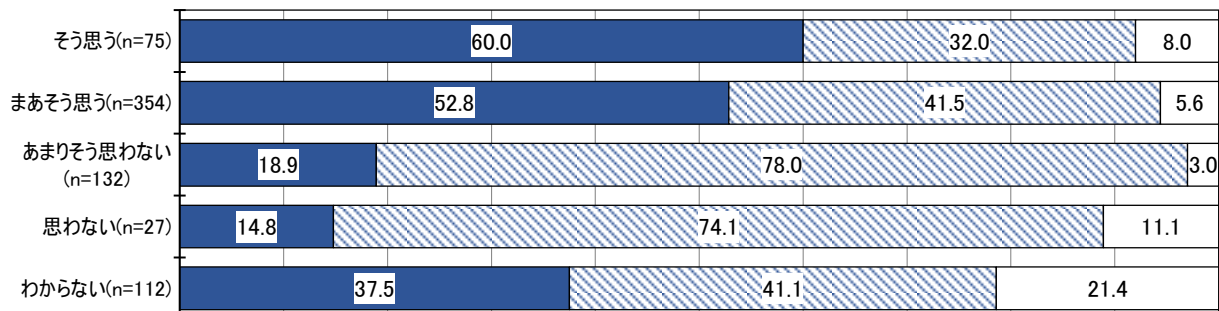


【全体】

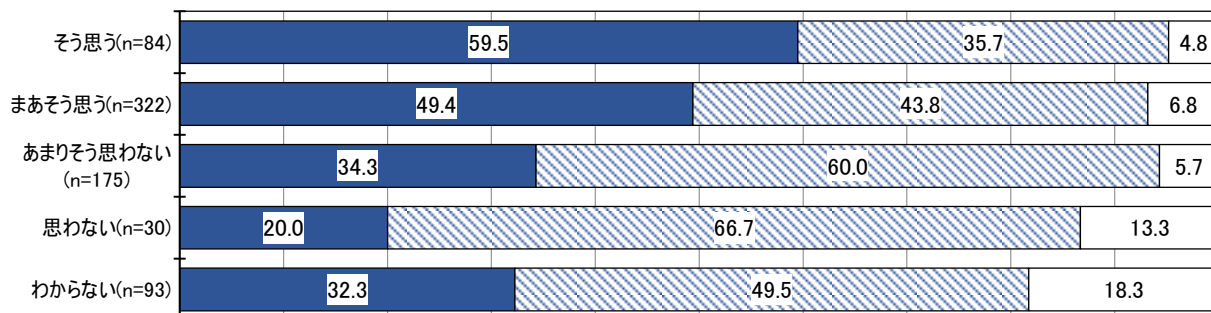
全体(n=740)



安心して子育てができるまち実感度別

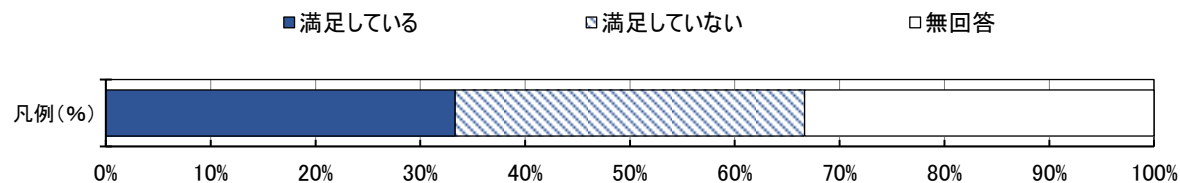


住んでよかったと思えるまち実感度別

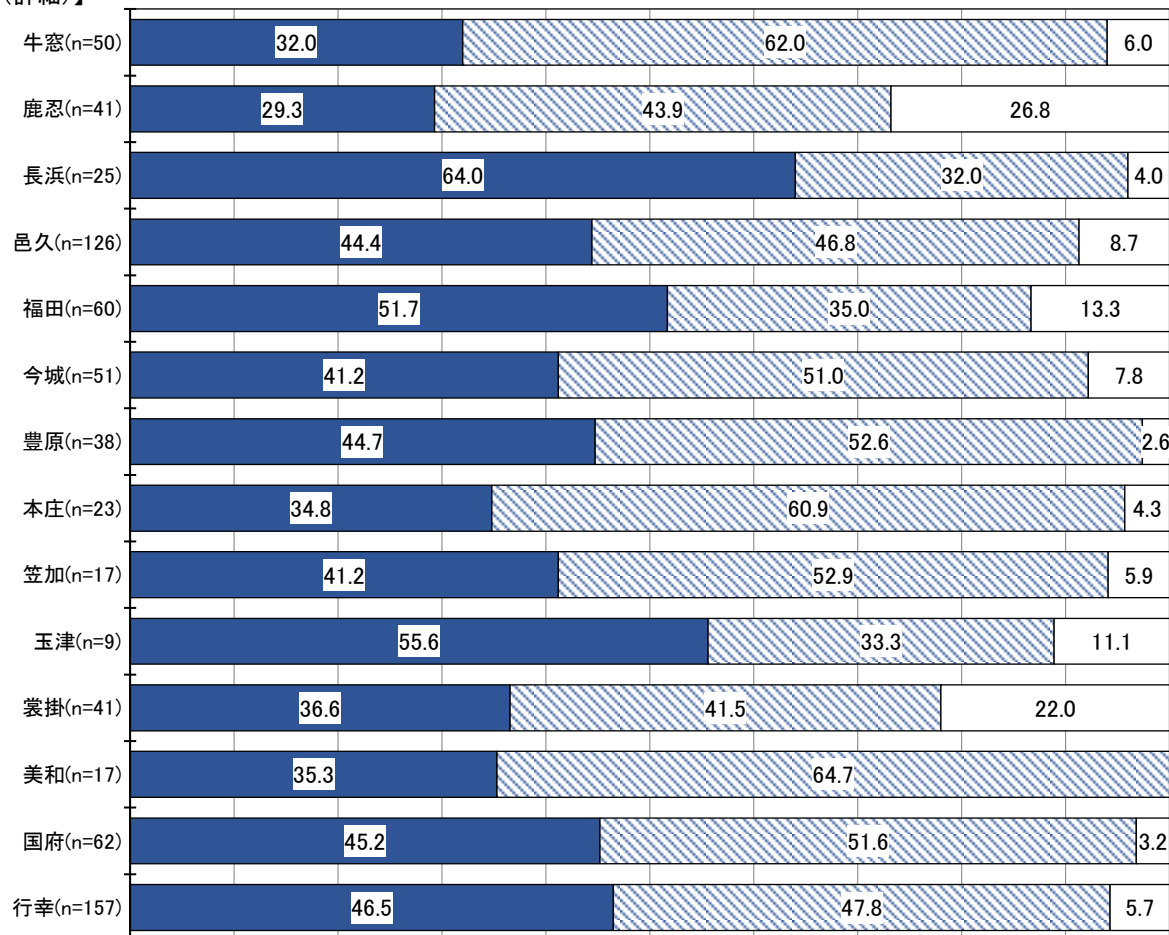


地域別でみると、「満足している」は長浜、玉津で高く、「満足していない」は牛窓、本庄、美和などで高くなっています。

【凡例】



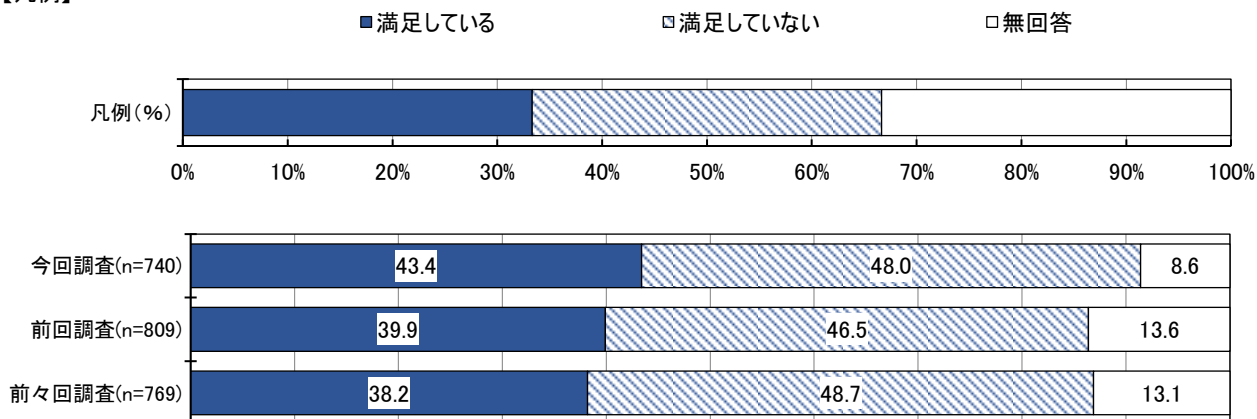
【地域（詳細）】



【過去三カ年の推移】

「満足している」が経年でやや増加傾向にあります。

【凡例】



問2(10) あなたは、市内の公共施設や商業施設などで、「バリアフリー化」(障がい者や高齢者にとって不便な障がいを取り除く取組)が進んでいると思いますか

「そう思わない」が57.7%を占めています。

性別では、大きな差は見られませんでした。

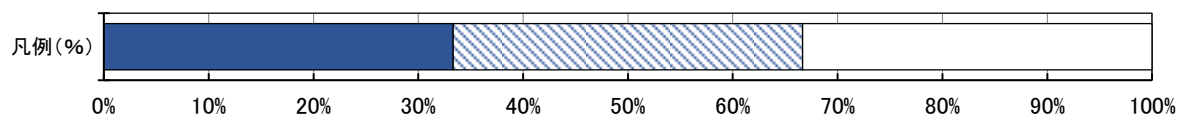
年齢別では、29歳以下と50歳代が他の年齢層に比べて高くなっています。

【凡例】

■ 思う

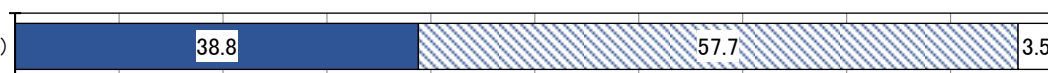
□ 思わない

□ 無回答



【全体】

全体(n=740)



【性別】

男(n=311)



女(n=383)



【年齢】

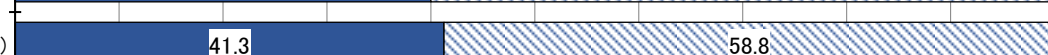
29歳以下(n=42)



30歳代(n=45)



40歳代(n=80)



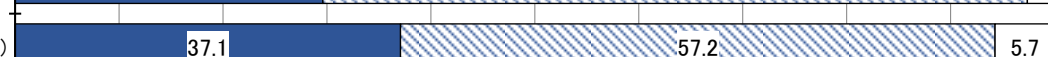
50歳代(n=108)



60歳代(n=152)

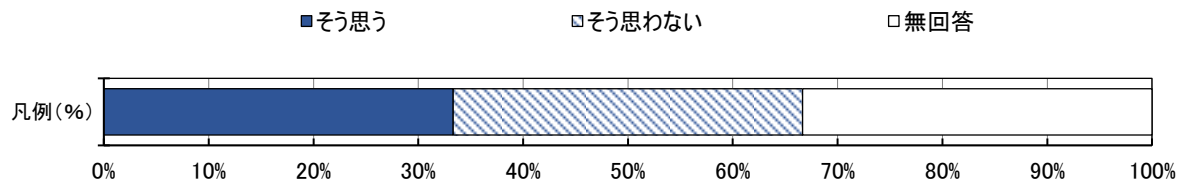


70歳以上(n=283)



障がいがある人が希望を持てるまち実感度別では、実感度の低い(「思わない」)層の約8割が「そう思わない」と回答しています。

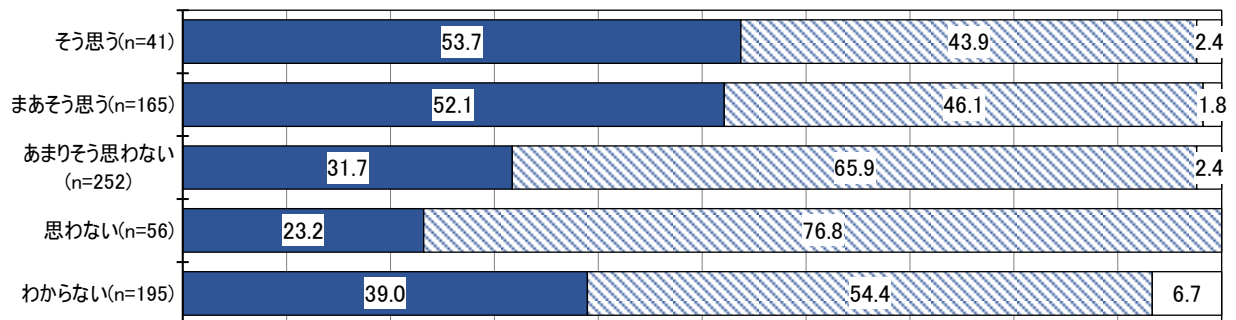
【凡例】



【全体】

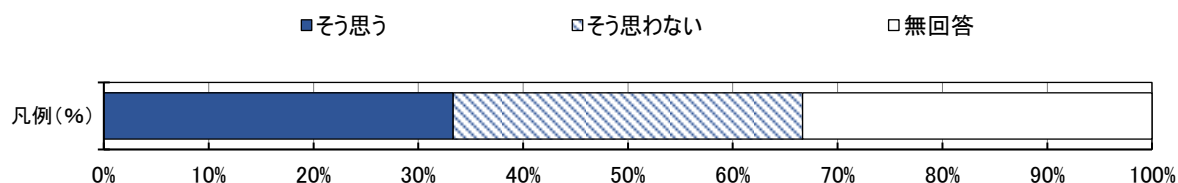


障がいがある人が希望を持てるまち実感度別

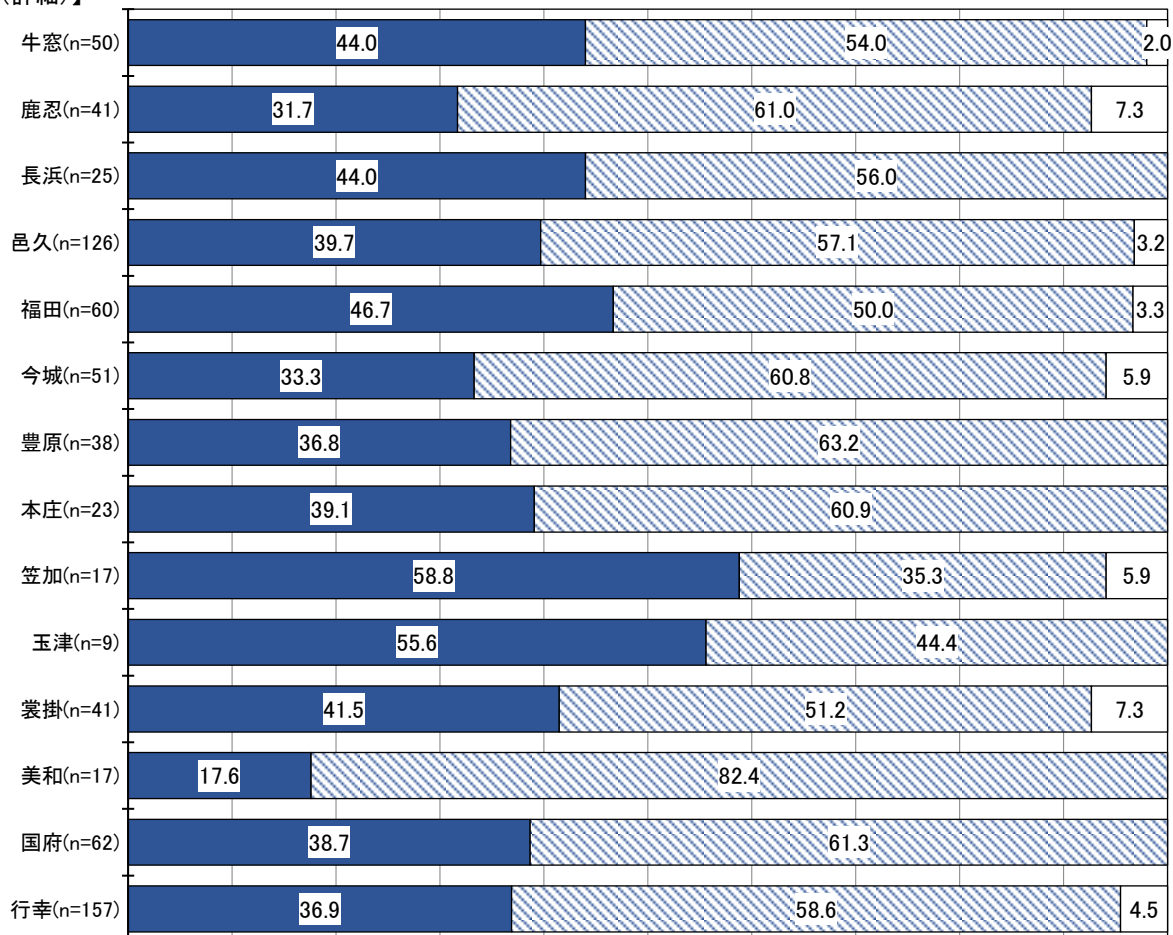


地域別でみると、「そう思う」は笠加、玉津で高く、「そう思わない」は美和などで高くなっています。

【凡例】



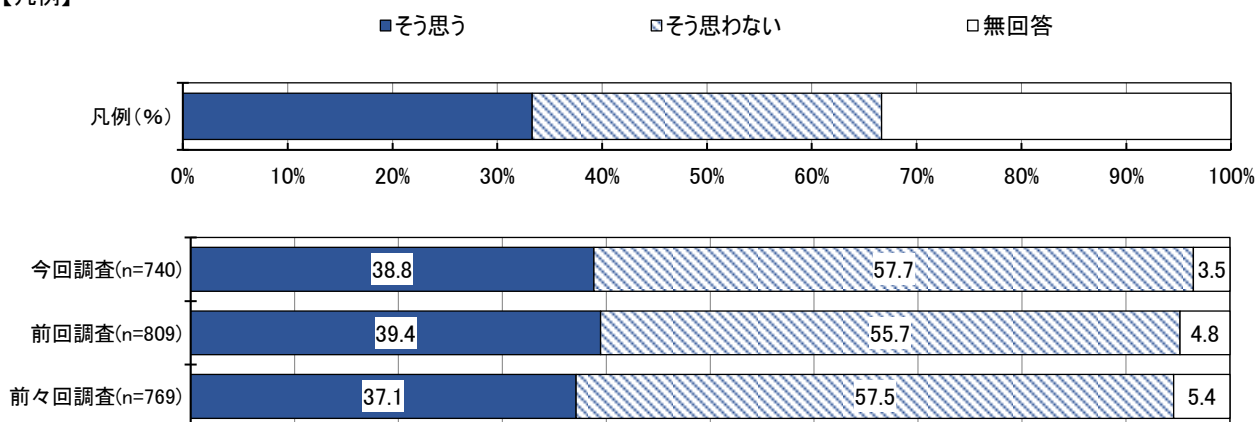
【地域(詳細)】



【過去三カ年の推移】

前々回および前回調査と比較して、大きな変化は見られません。

【凡例】



問2(11) あなたは、経済的な理由で日常生活が困難だと感じていますか

「感じていない」が70.8%を占めています。

性別では、大きな差は見られませんでした。

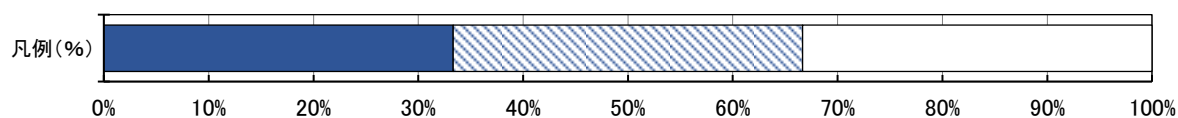
年齢別では、30歳代が他の年齢層に比べてやや高くなっています。

【凡例】

■ 感じている

▨ 感じていない

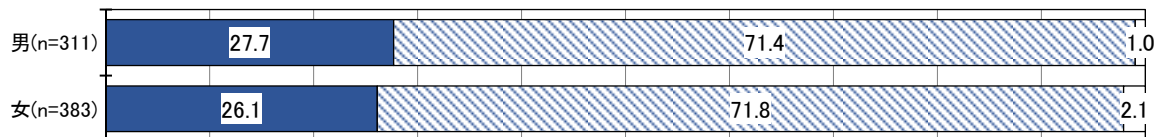
□ 無回答



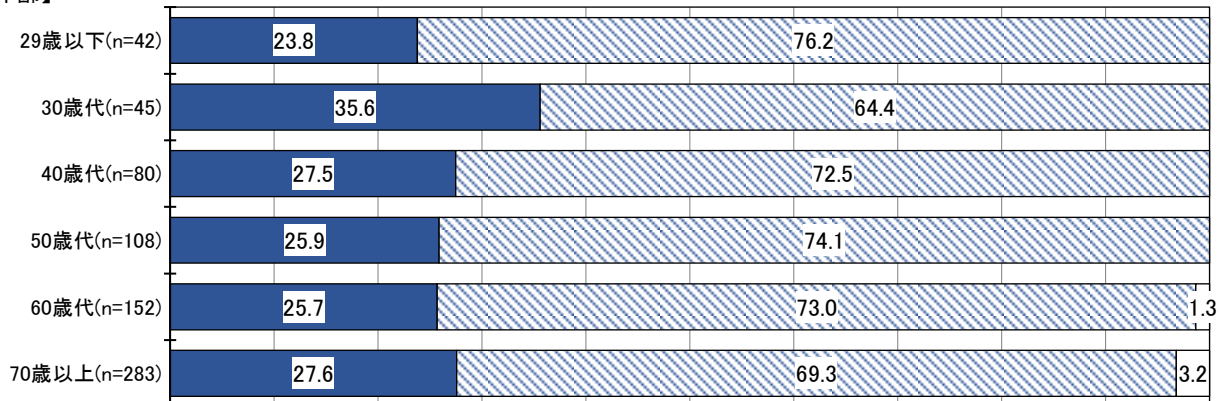
【全体】



【性別】



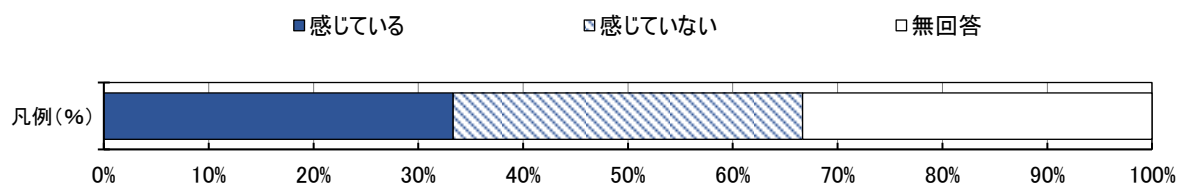
【年齢】



本市への愛着度別では、愛着がない(「あまりそう思わない」)と回答した約5割が「感じている」と回答しています。

本市での永住意向別では、住み続けたいと思わないと回答した層の約5割が「感じている」と回答しています。

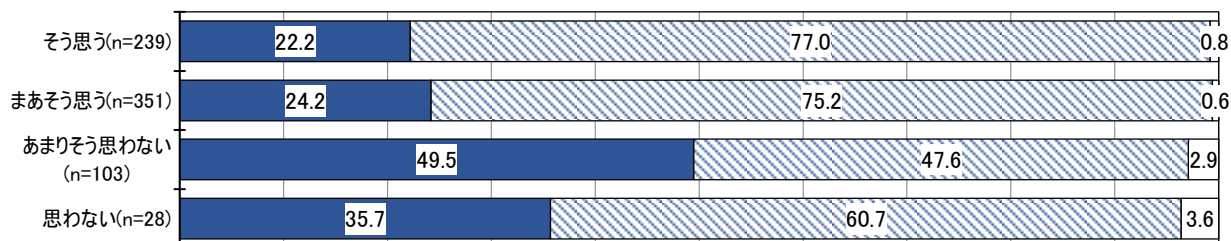
【凡例】



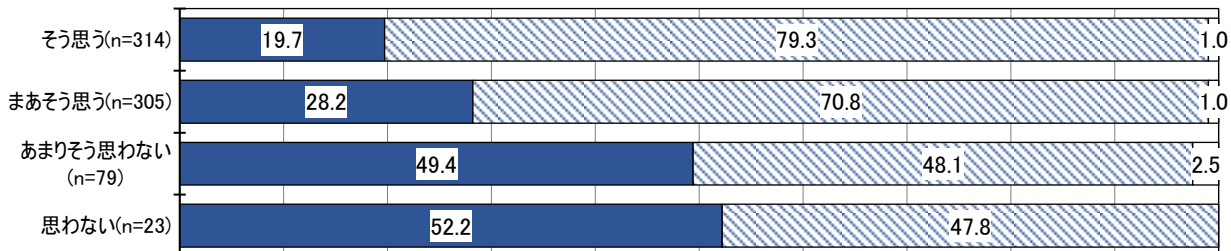
【全体】



本市への愛着度別



本市での永住意向別



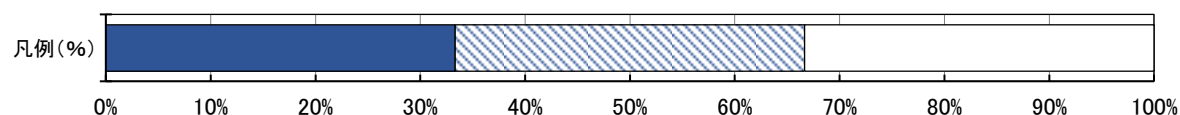
地域別でみると、「そう思う」は美和で高く、「そう思わない」は本庄で高くなっています。

【凡例】

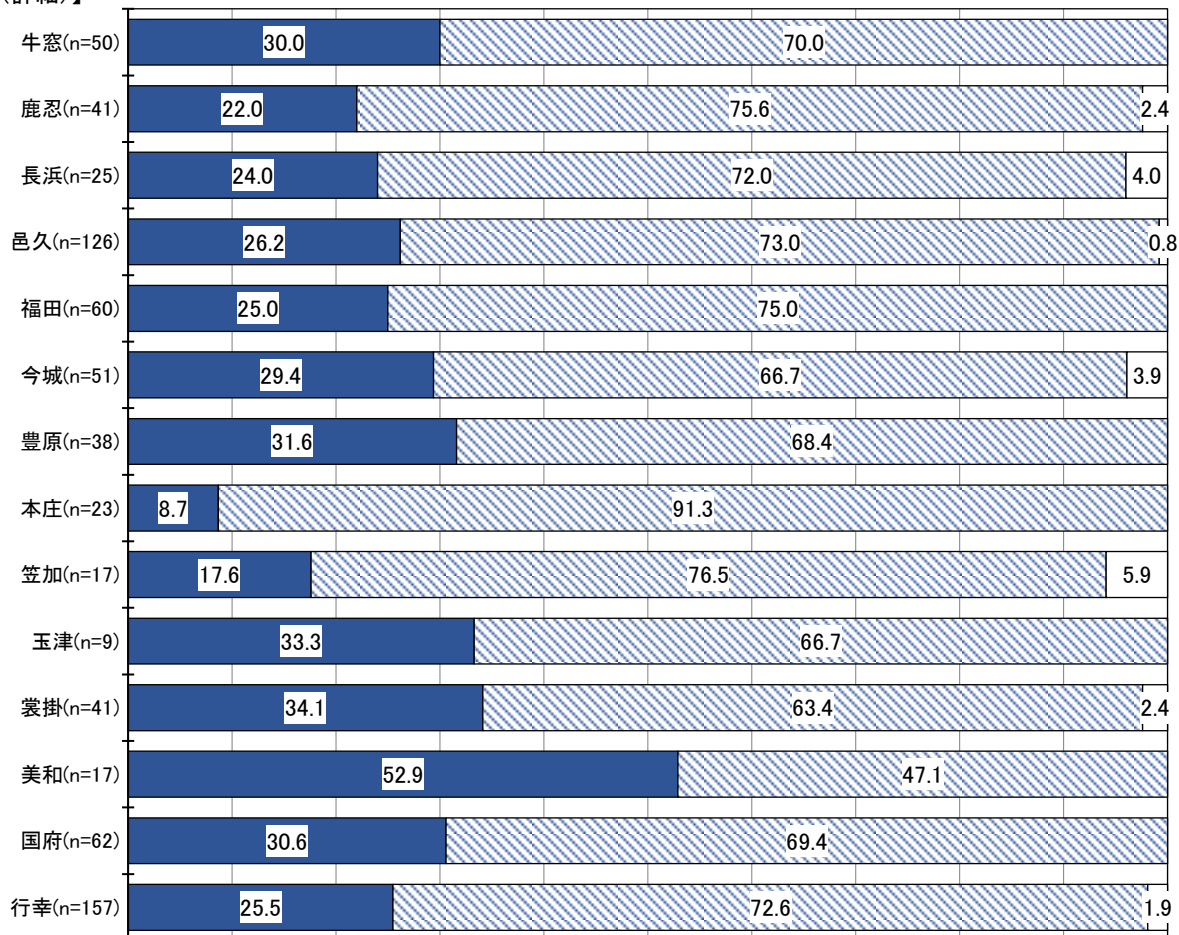
■ 感じている

▨ 感じていない

□ 無回答



【地域(詳細)】



【過去三カ年の推移】

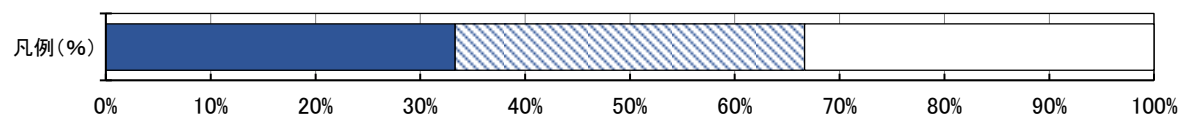
前々回および前回調査と比較して、大きな変化は見られません。

【凡例】

■ 感じている

▨ 感じていない

□ 無回答



問2(12) あなたは、瀬戸内市の土地利用は、住宅や店舗、工場などが混在することなく、計画的に進められていると思いますか

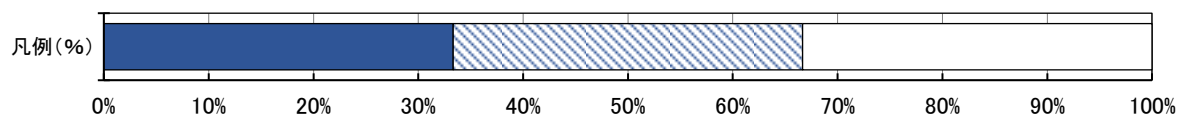
「そう思わない」が59.5%を占めています。

性別では、大きな差はみられませんでした。

年齢別では、50歳代以上で「そう思わない」が他の年齢層に比べて高くなっています。

【凡例】

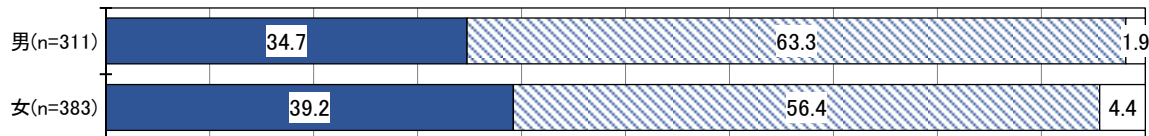
■ 思う □ 思わない □ 無回答



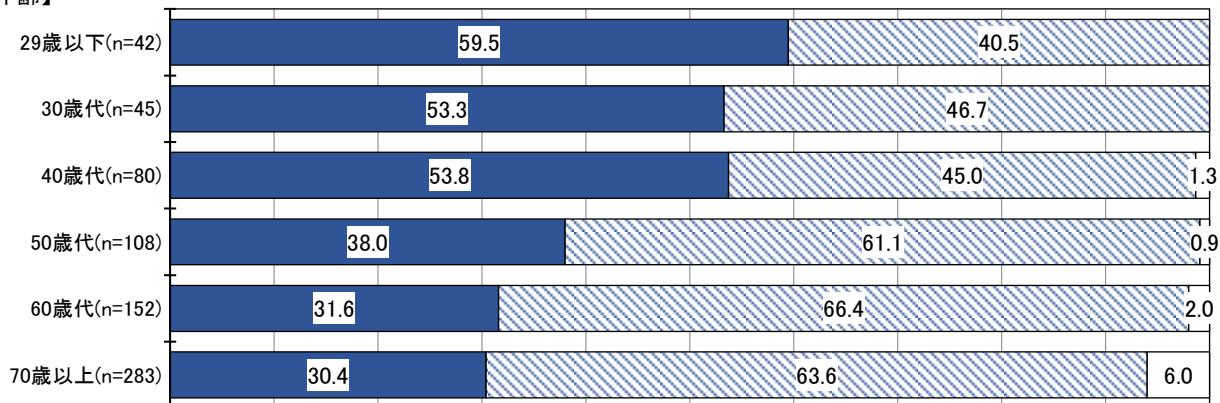
【全体】



【性別】

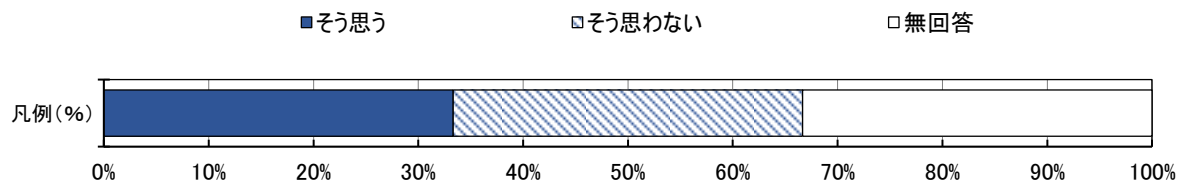


【年齢】

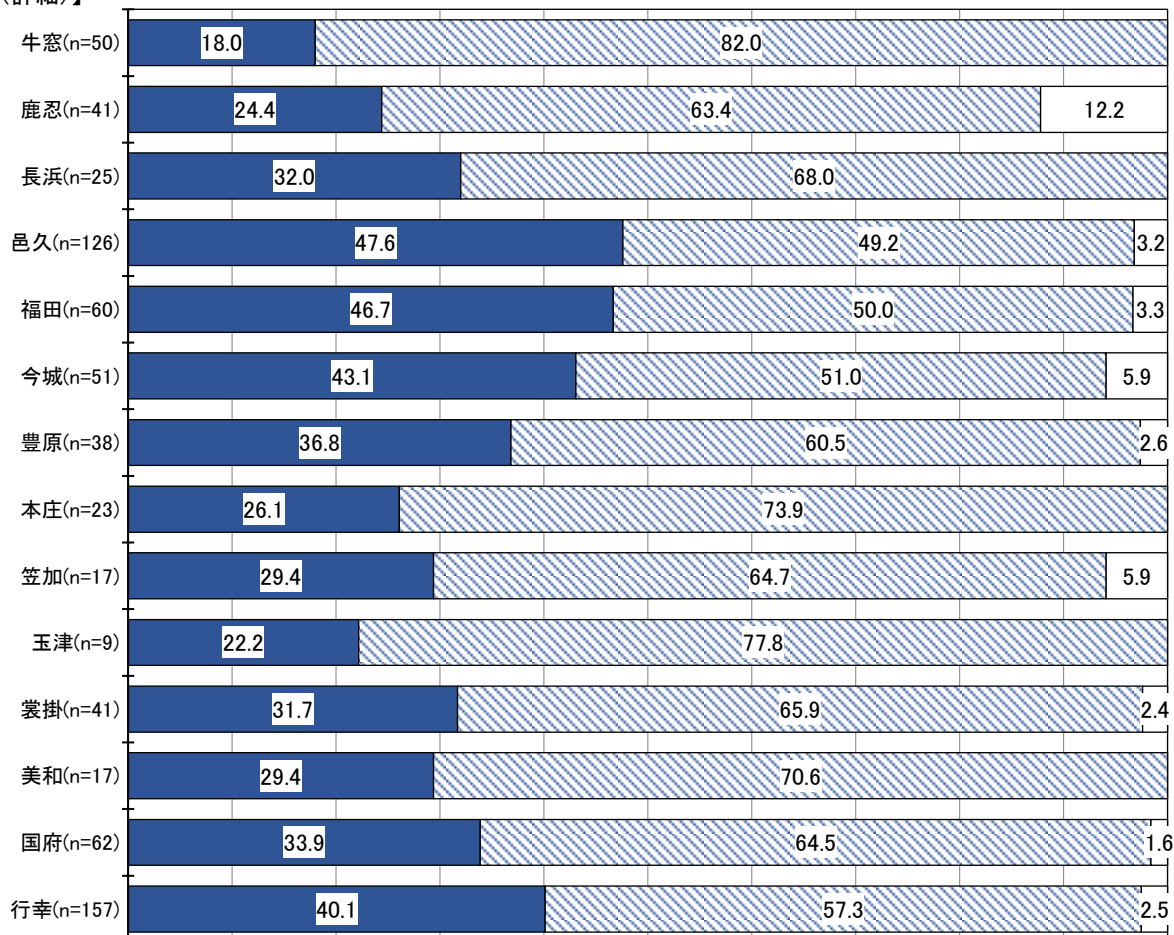


地域別でみると、「そう思う」は邑久、福田などで高く、「そう思わない」は牛窓で高くなっています。

【凡例】



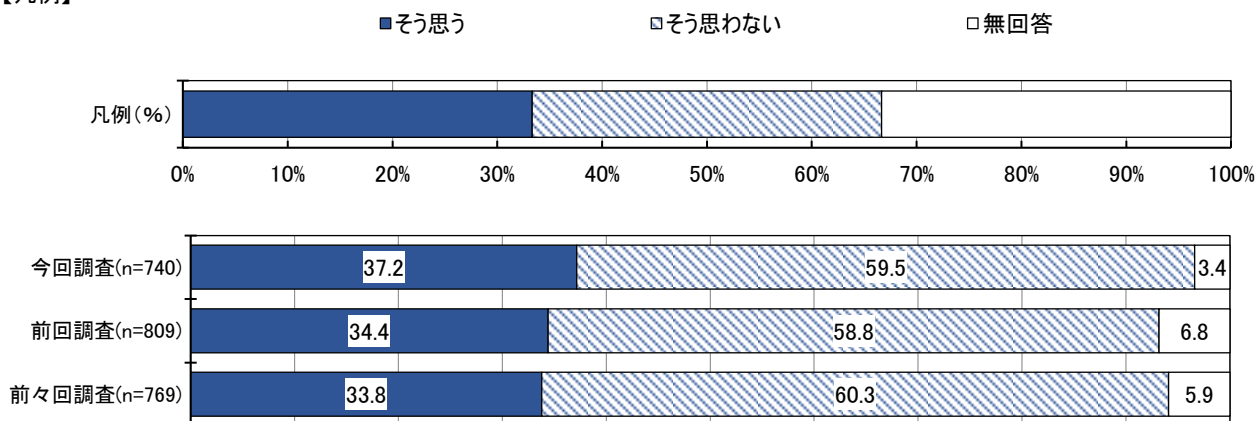
【地域（詳細）】



【過去三カ年の推移】

「そう思う」が経年でやや増加傾向にあります。

【凡例】



問2(13) あなたは、瀬戸内市の景観に満足していますか

「満足している」が64.3%を占めています。

性別では、大きな差は見られませんでした。

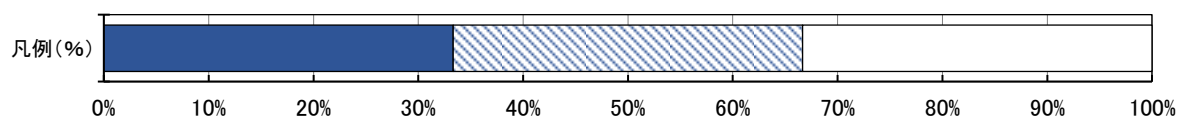
年代別では、40歳代が他の年齢層に比べて高くなっています。

【凡例】

■ 満足している

▨ 満足していない

□ 無回答



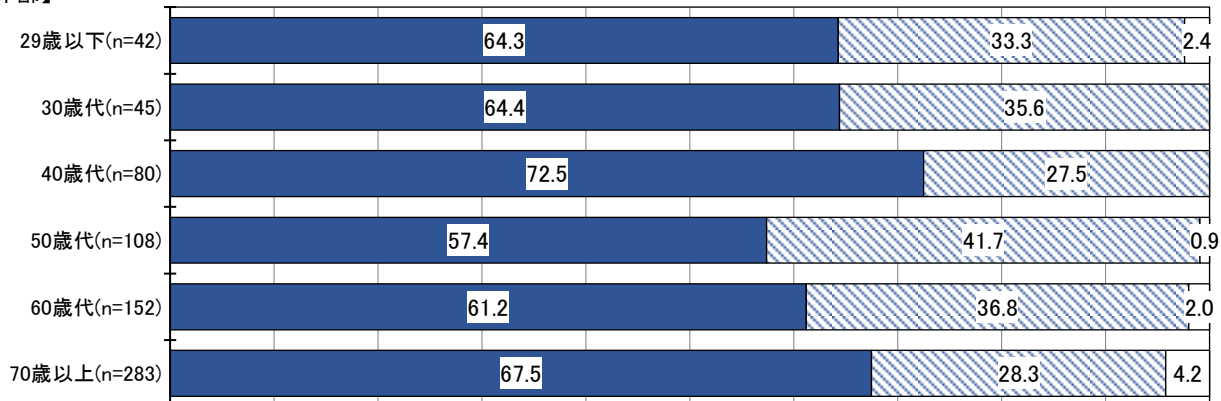
【全体】



【性別】



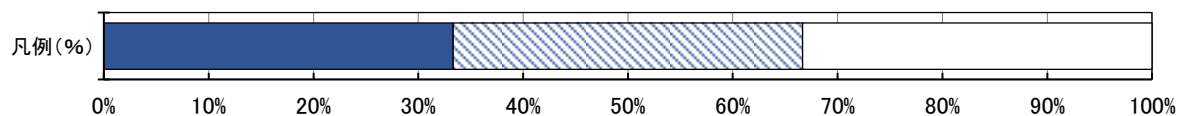
【年齢】



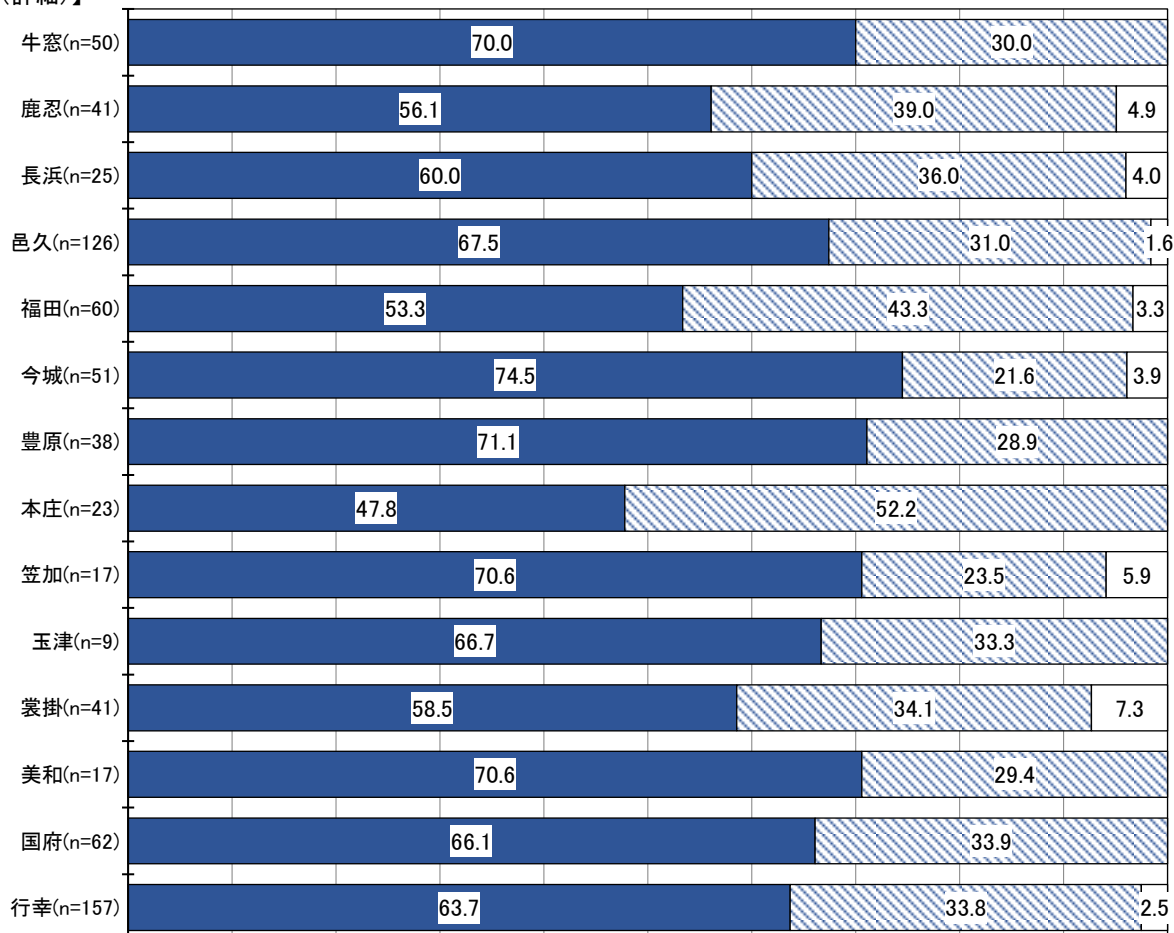
地域別でみると、「満足している」は今城などで高く、「満足していない」は本庄で高くなっています。

【凡例】

■満足している □満足していない □無回答



【地域(詳細)】

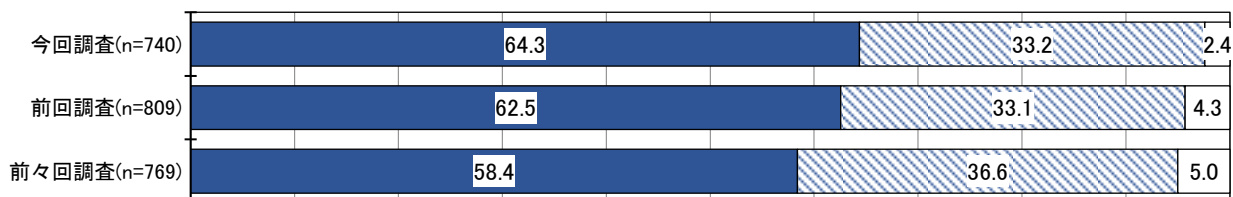
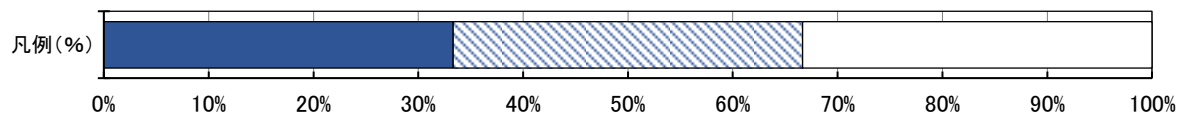


【過去三カ年の推移】

前々回および前回調査と比較して、「満足している」がやや増加しています。

【凡例】

■満足している □満足していない □無回答



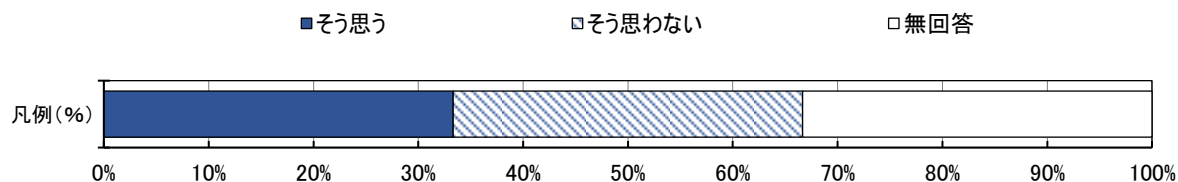
問2(14) あなたは、瀬戸内市の道路は快適だと思いますか

「そう思わない」が66.9%を占めています。

性別では、大きな差はみられませんでした。

年齢別では、29歳以下で「そう思わない」が他の年齢層に比べてやや高くなっています。

【凡例】



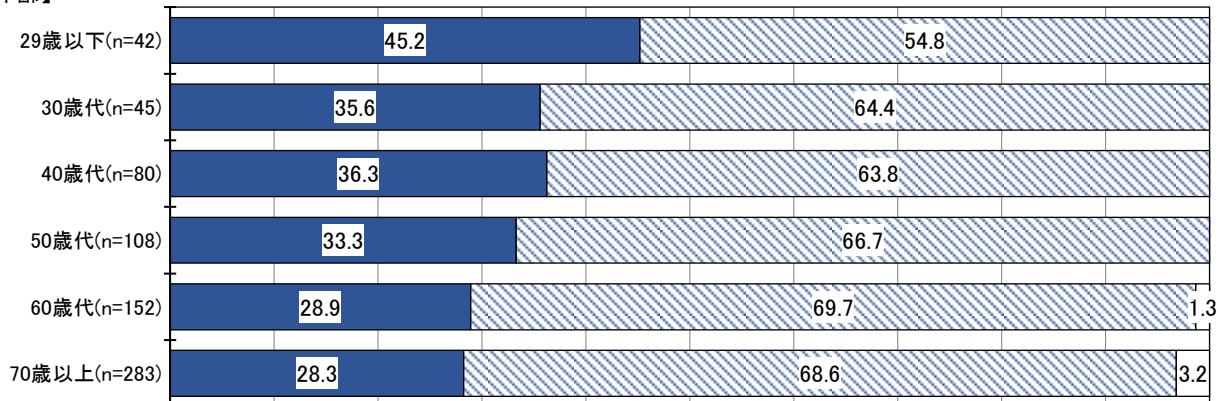
【全体】



【性別】

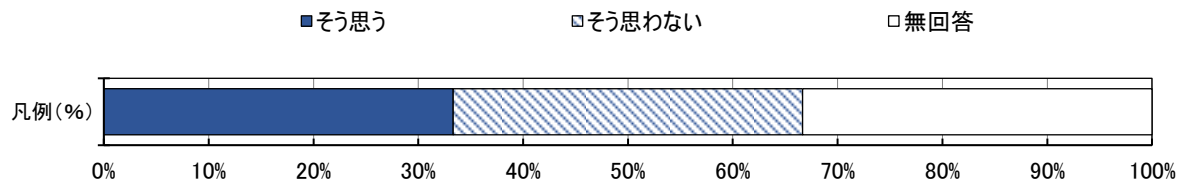


【年齢】



主な移動手段別でみると、バスで「そう思わない」と思う割合が他の交通機関利用者をやや上回っています。

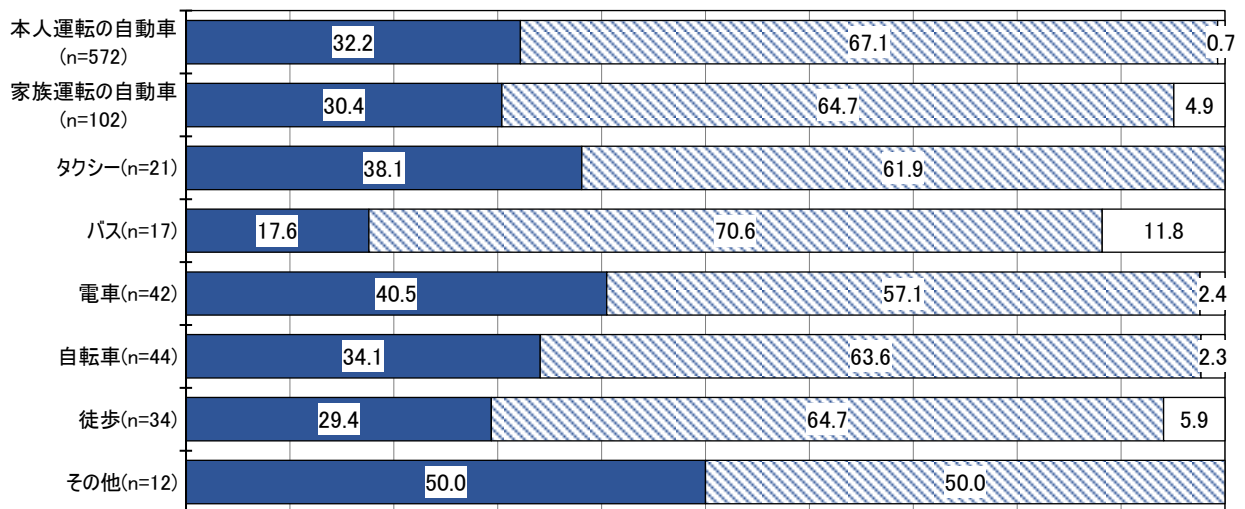
【凡例】



【全体】

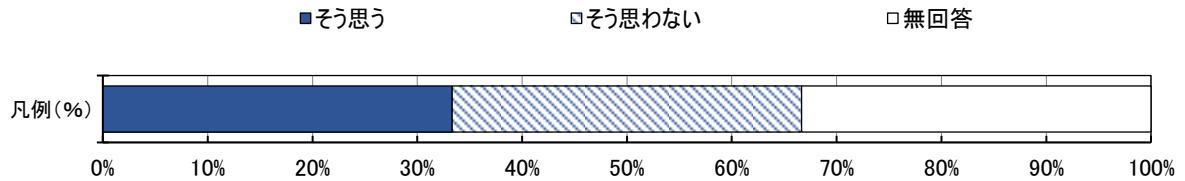


主な移動手段

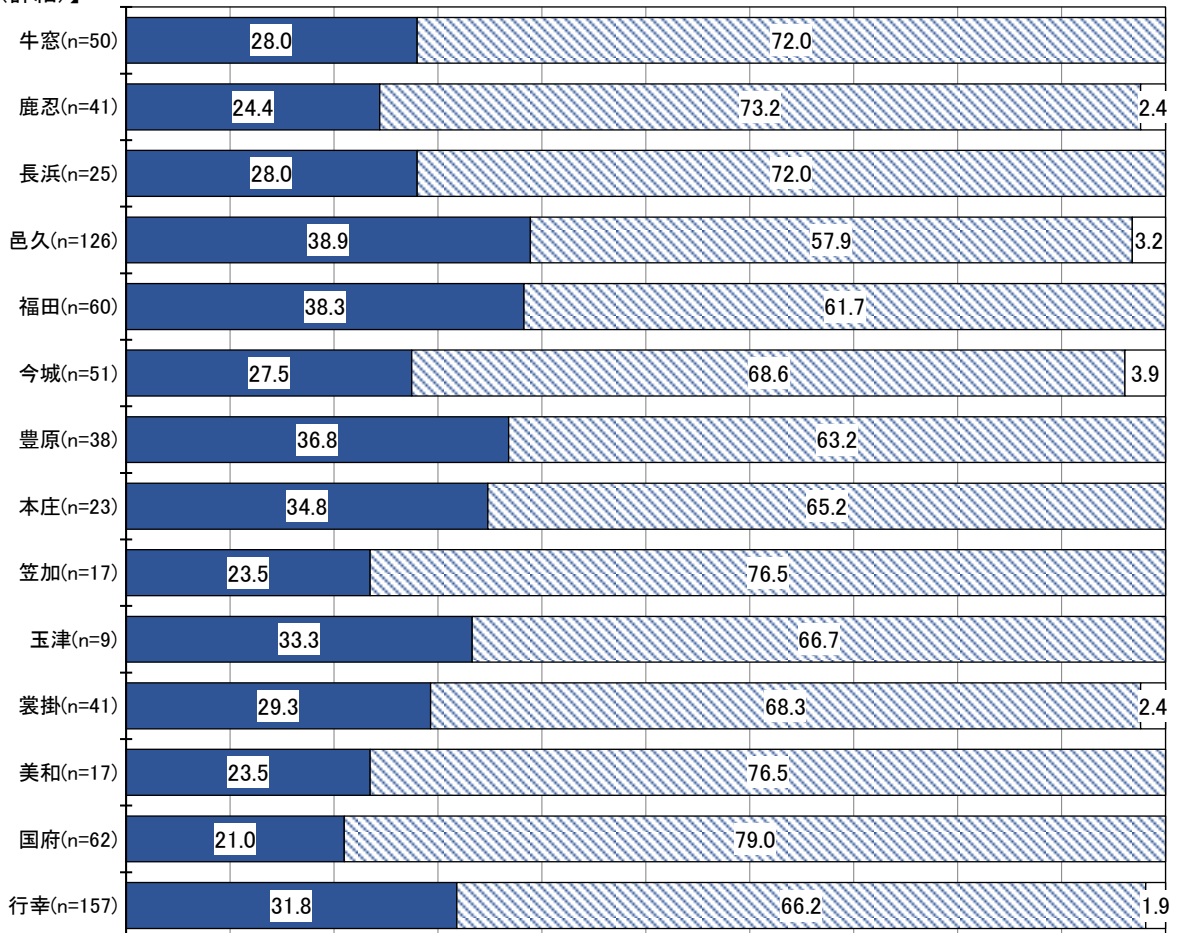


地域別でみると、「そう思う」は邑久などで高く、「そう思わない」は国府などで高くなっています。

【凡例】



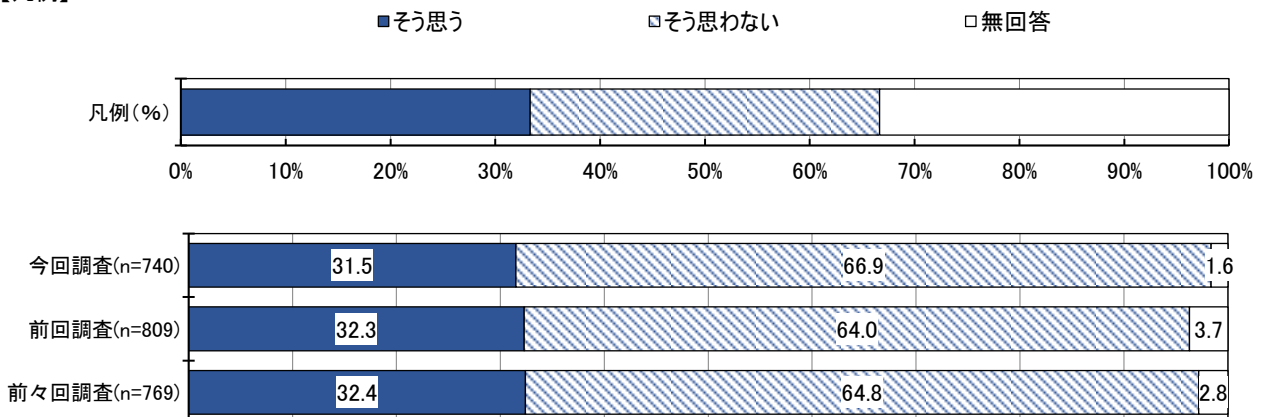
【地域（詳細）】



【過去三カ年の推移】

前々回および前回調査と比較して、大きな変化は見られません。

【凡例】



問2(15) あなたは、瀬戸内市には快適に利用できる公園や緑地が整っていると思いますか

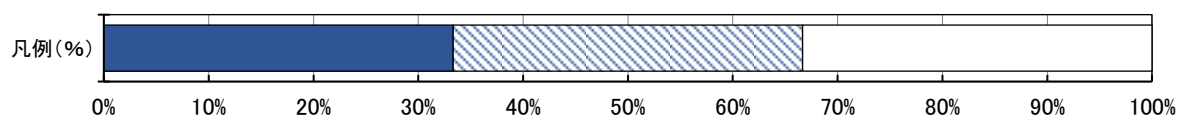
「そう思わない」が77.0%を占めています。

性別では、大きな差はみられませんでした。

年齢別では、29歳以下で「そう思う」が他の年齢層に比べて高くなっています。

【凡例】

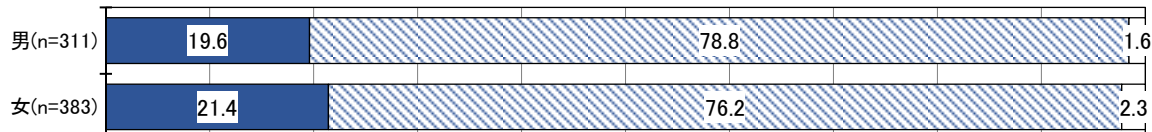
■ そう思う □ そう思わない □ 無回答



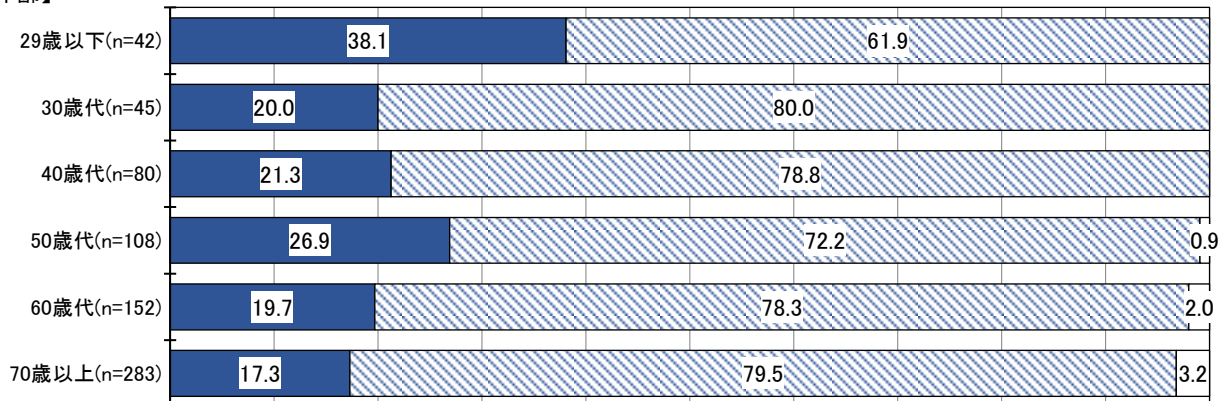
【全体】



【性別】

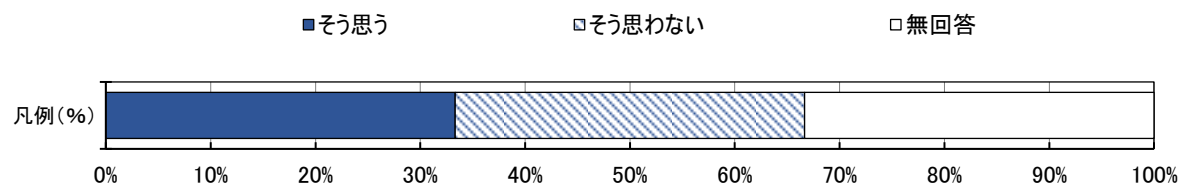


【年齢】



居住年数別では、居住年数が1年未満の層で「そう思う」の割合が高くなっています。

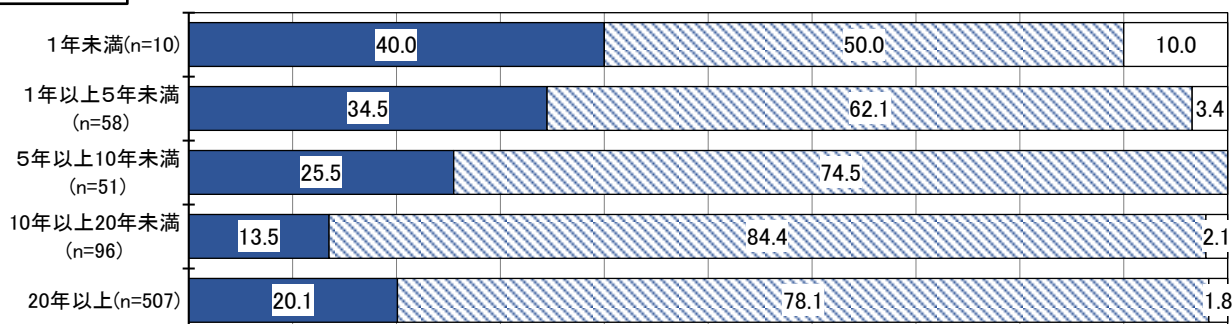
【凡例】



【全体】



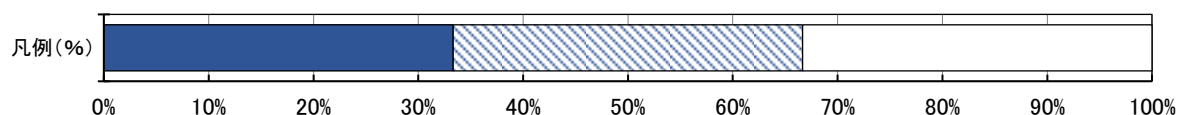
居住年数別



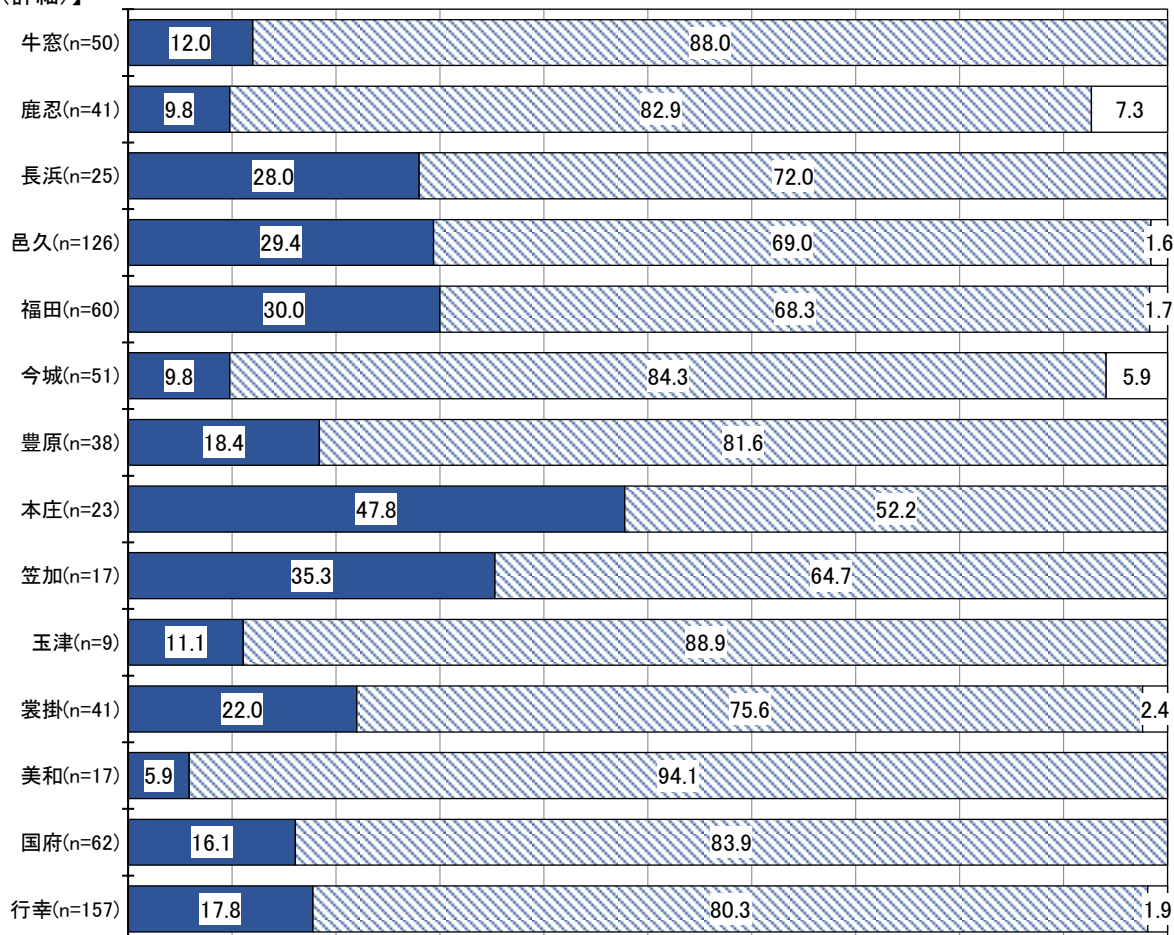
地域別でみると、「そう思う」は本庄で高く、「そう思わない」は美和などで高くなっています。

【凡例】

■ そう思う □ そう思わない □ 無回答



【地域(詳細)】

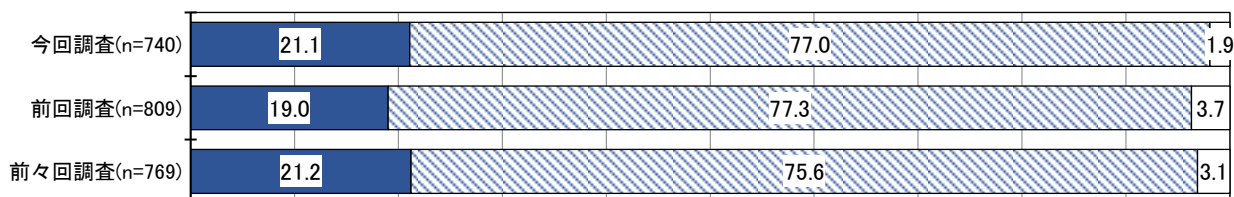
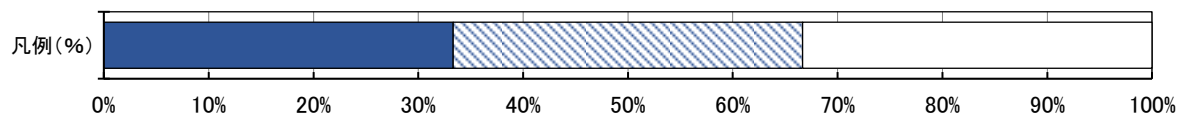


【過去三カ年の推移】

前々回および前回調査と比較して、大きな変化は見られません。

【凡例】

■ そう思う □ そう思わない □ 無回答



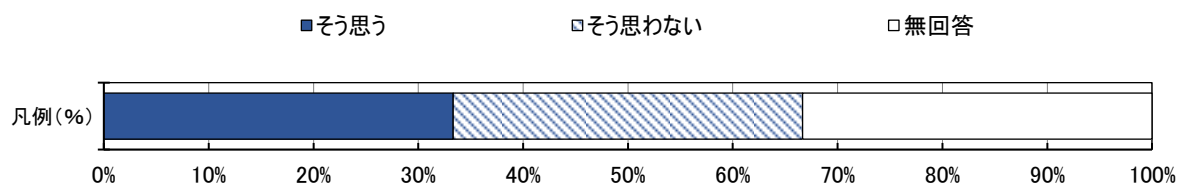
問2(16) あなたは、バスや電車など、公共交通機関が利用しやすいと思いますか

「そう思わない」が67.6%を占めています。

性別では、大きな差はみられませんでした。

年齢別では、70歳以上で「そう思う」が他の年齢層に比べてやや高くなっています。

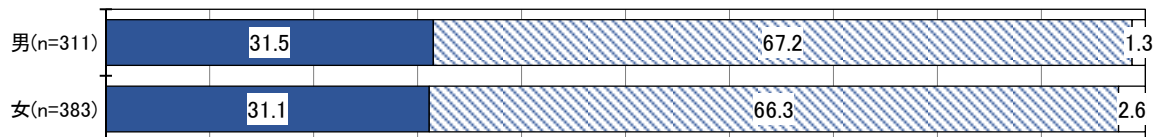
【凡例】



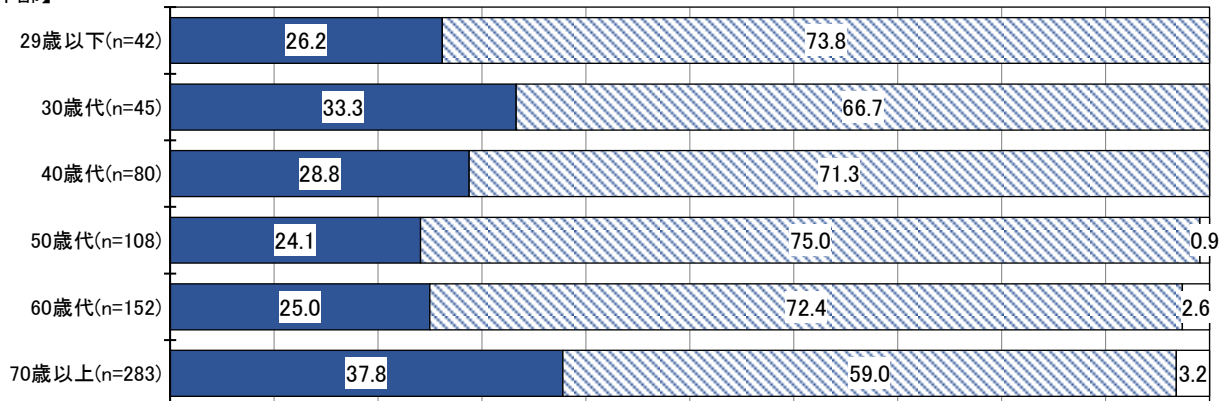
【全体】



【性別】

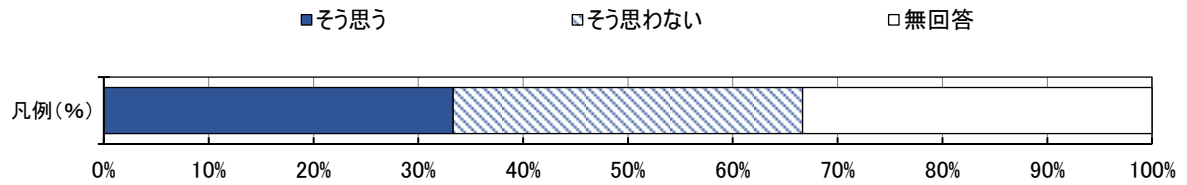


【年齢】



主な移動手段別でみると、自転車で「そう思う」が約5割となっています。タクシーで「そう思わない」の割合が高くなっています。

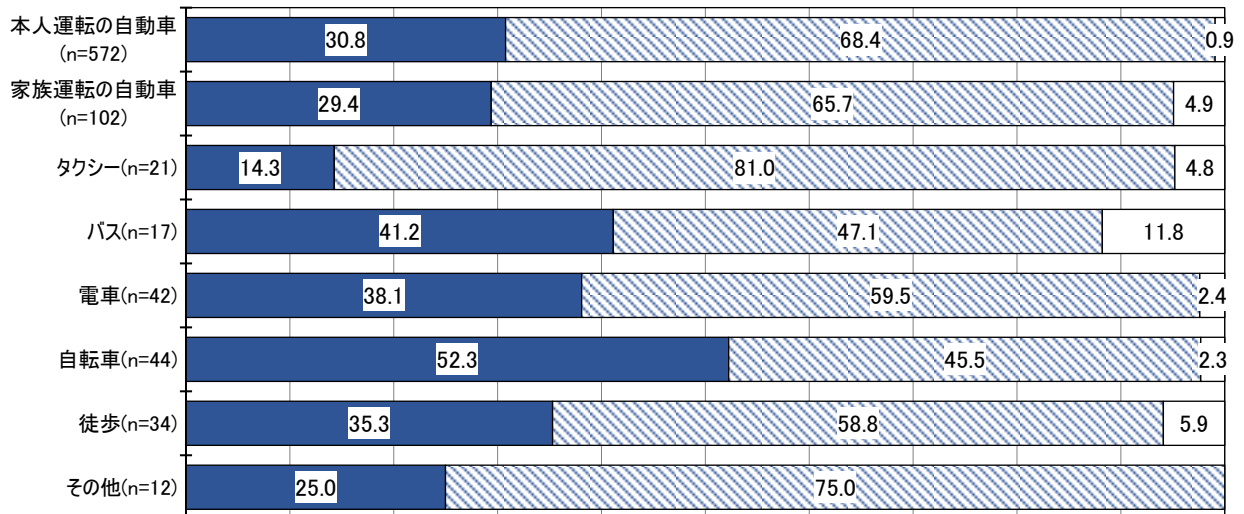
【凡例】



【全体】

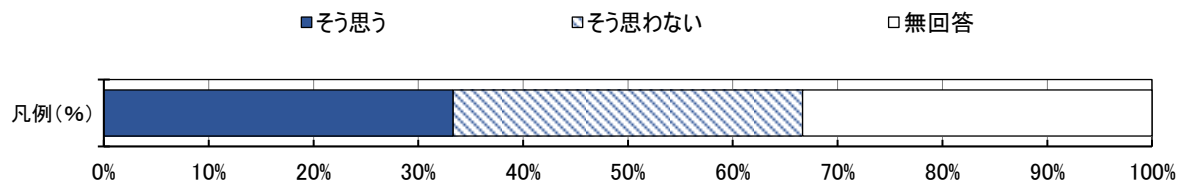


主な移動手段別

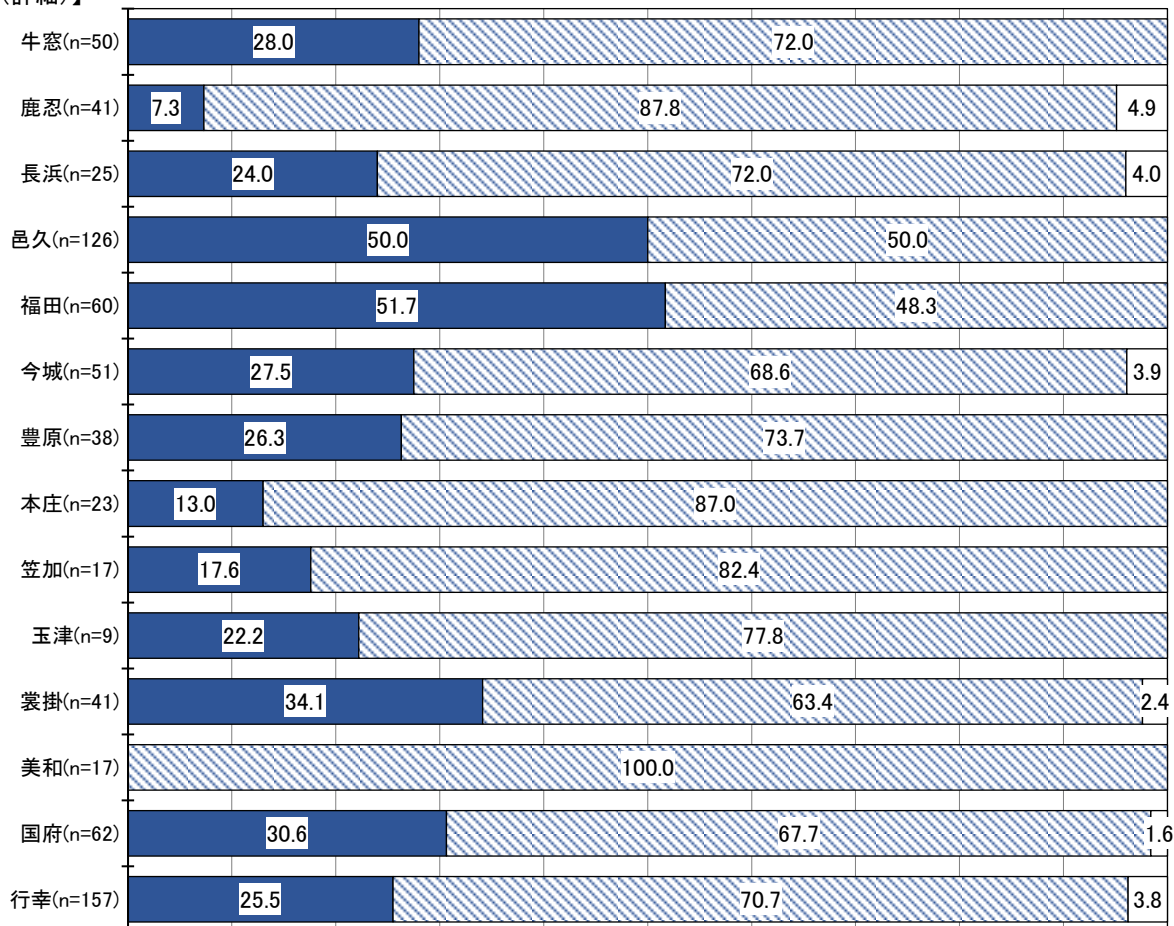


地域別でみると、「そう思う」は福田、今城で高く、「そう思わない」は美和で100.0%となっています。

【凡例】



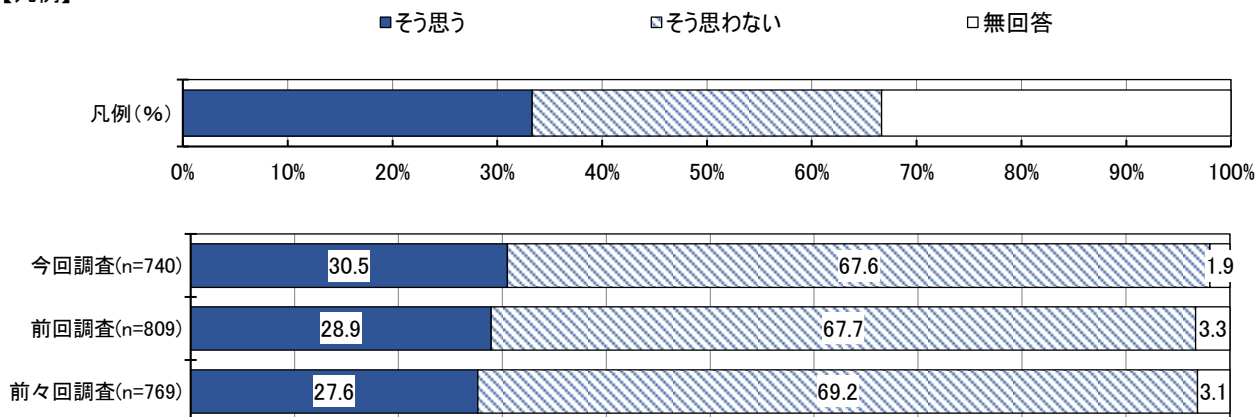
【地域(詳細)】



【過去三カ年の推移】

「そう思う」が経年でやや増加傾向にあります。

【凡例】



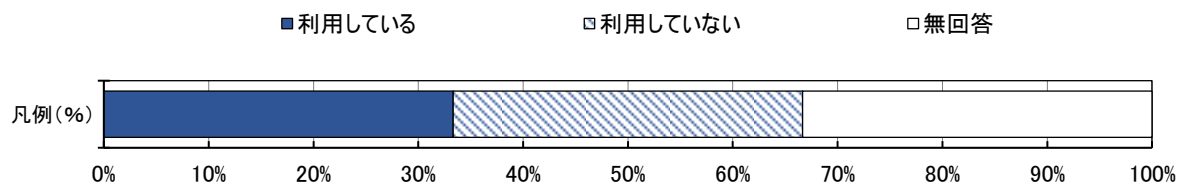
問2(17) あなたは、電子マネーやクレジットカードなどのキャッシュレス決済を利用していますか

「利用している」が62.3%を占めています。

性別では、女性が男性に比べ「利用している」の割合がやや高くなっています。

年齢別では、おおむね若い年齢層ほど「利用している」の割合が高くなっています。

【凡例】



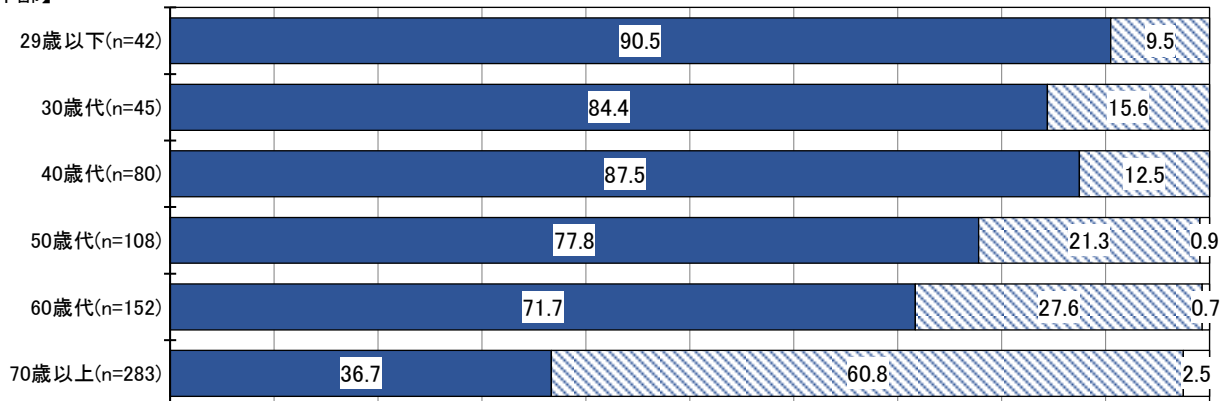
【全体】



【性別】

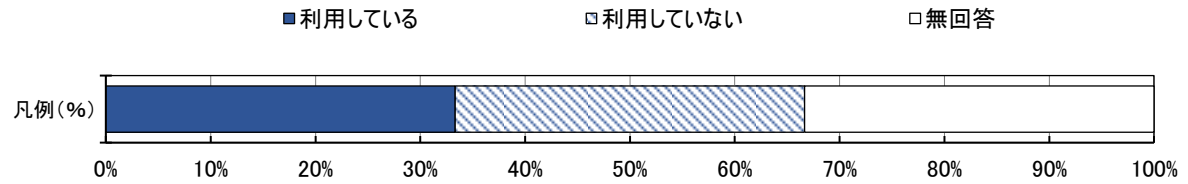


【年齢】

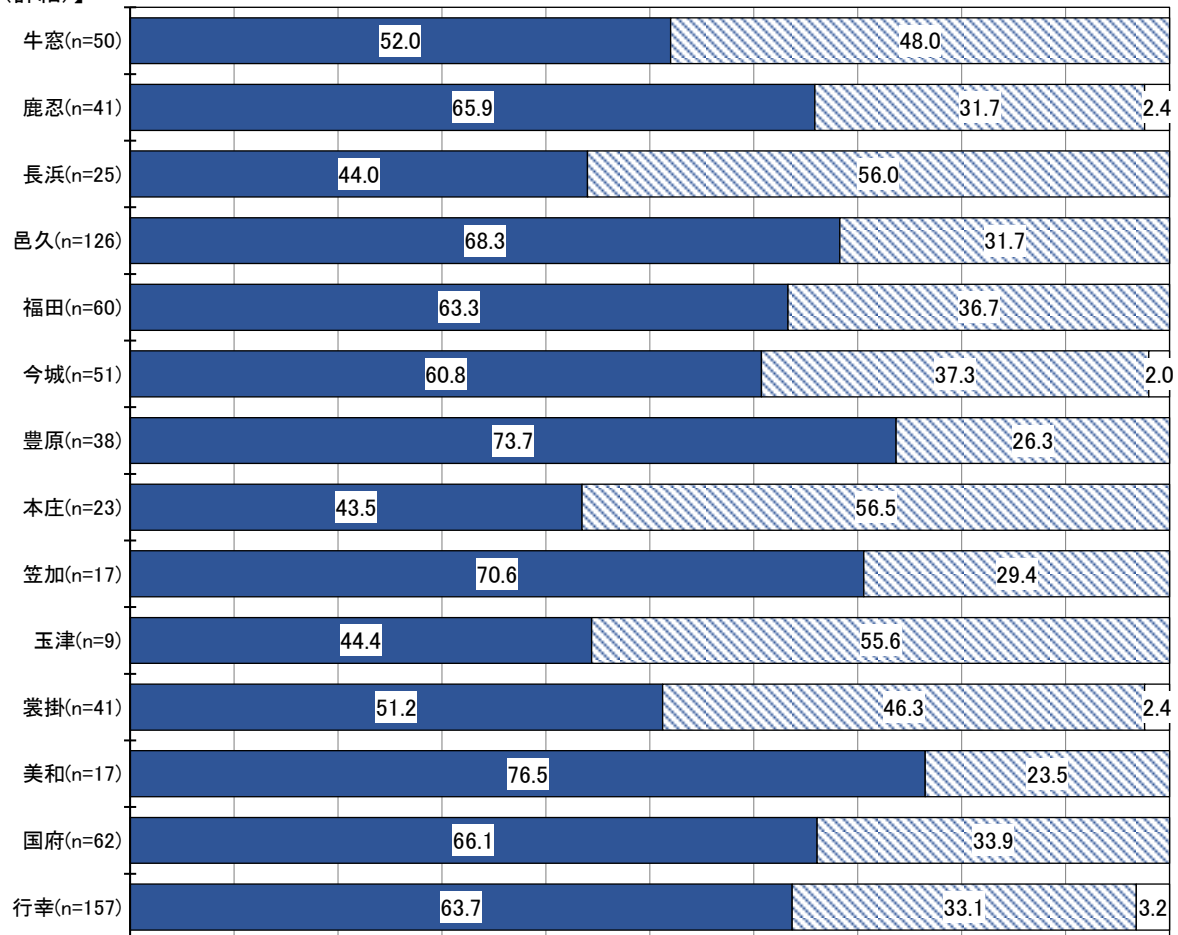


地域別でみると、「利用している」は豊原、美和などで高く、「利用していない」は長浜、本庄、玉津などで高くなっています。

【凡例】



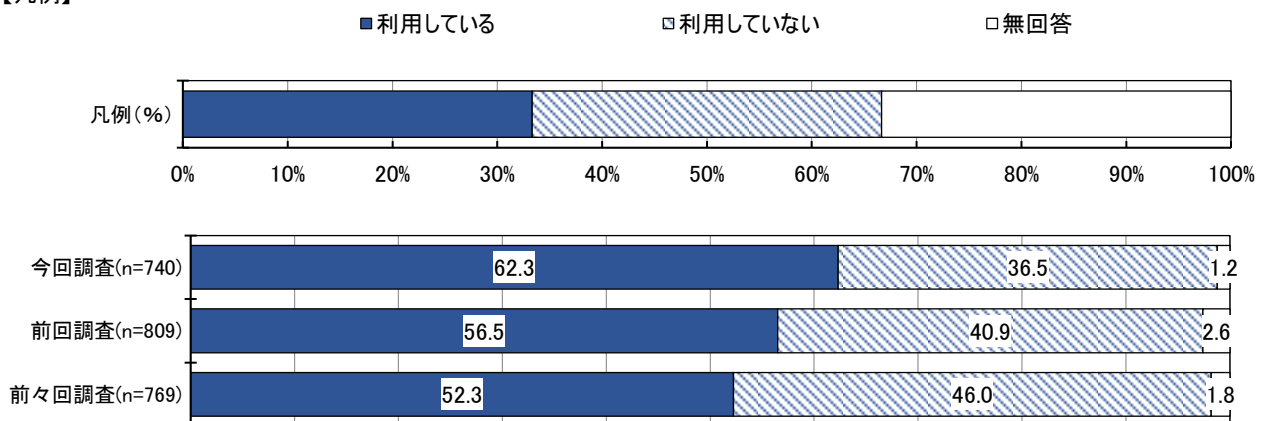
【地域（詳細）】



【過去三カ年の推移】

「利用している」が経年で増加傾向にあります。

【凡例】



問2(18) あなたは、日常生活の中で、パソコンやスマートフォンなどの携帯電話でインターネットを活用していますか

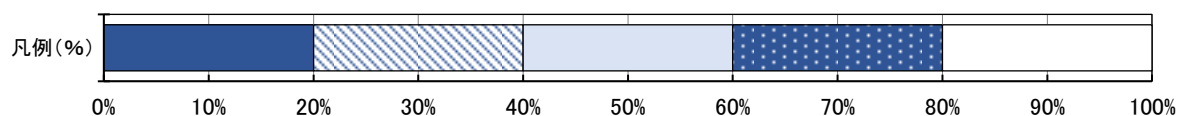
「携帯電話で活用」が38.9%で最も高くなっています。次いで「両方とも活用」が33.1%、「活用していない」が22.3%が続いています。

性別では、女性が男性に比べ「携帯電話で活用」の割合が高くなっています。

年齢別では、70歳以上で「活用していない」が他の年齢層に比べて高くなっています。

【凡例】

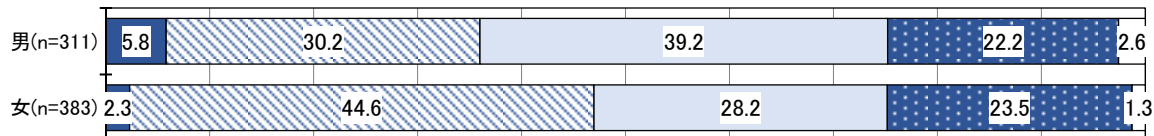
■パソコンで活用 □携帯電話で活用 □両方とも活用 ■活用していない □無回答



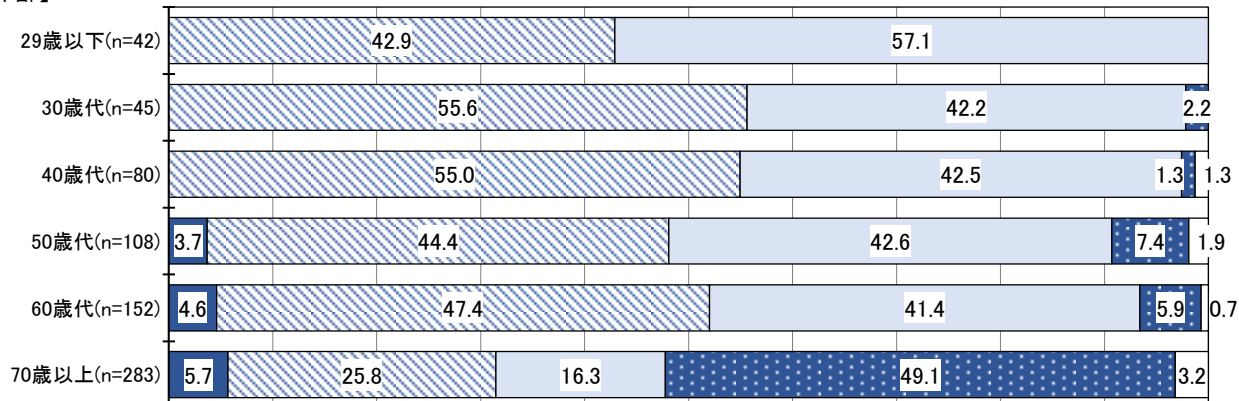
【全体】



【性別】

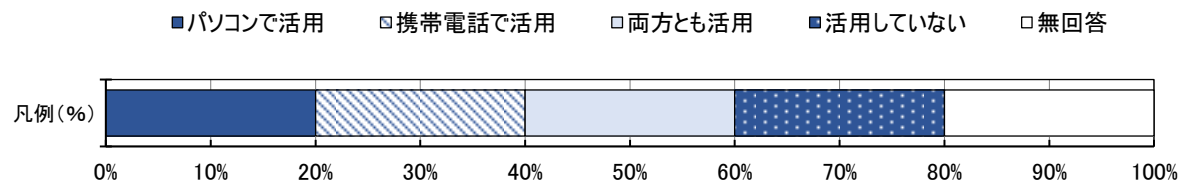


【年齢】

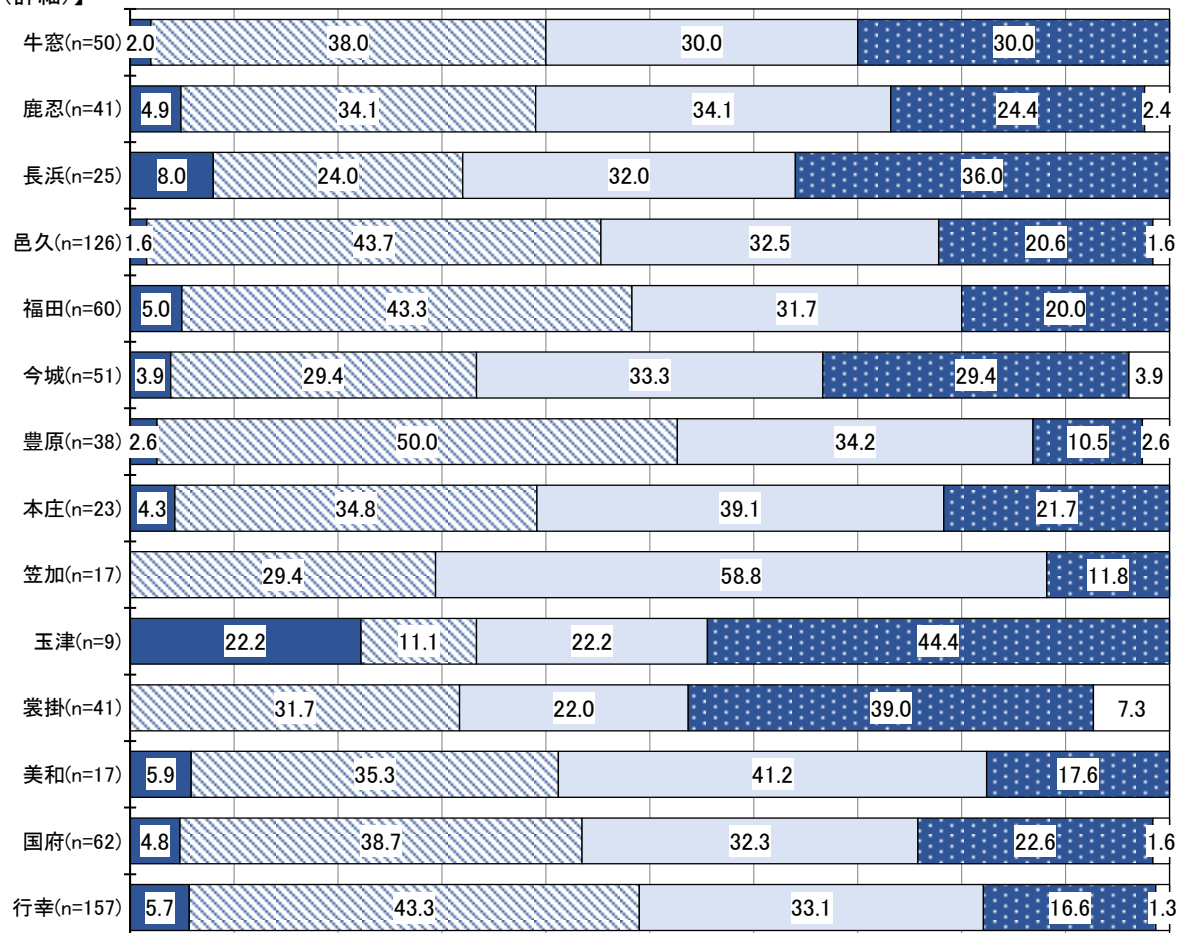


地域別でみると、豊原で「携帯電話で活用」が高く、「活用していない」は長浜、玉津、裳掛などで高くなっています。

【凡例】



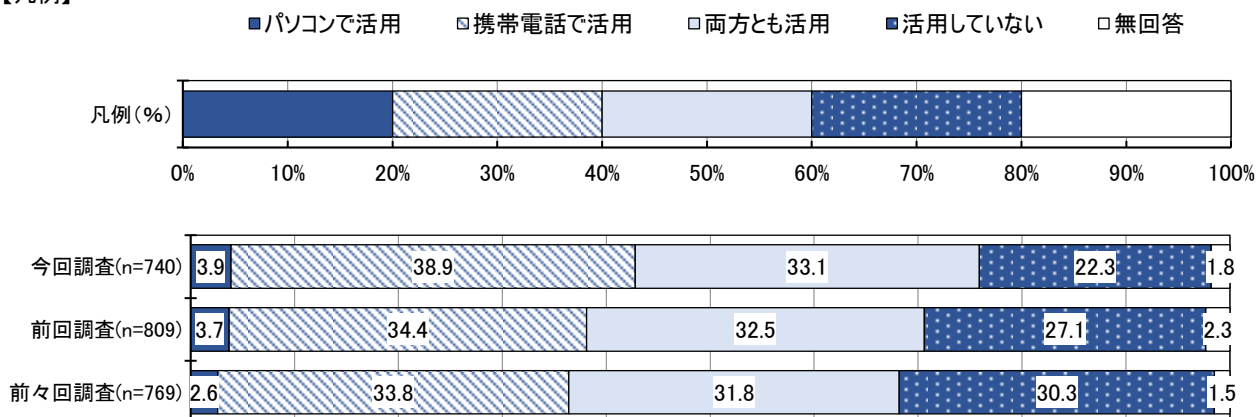
【地域(詳細)】



【過去三カ年の推移】

「活用していない」が経年で減少傾向にあります。

【凡例】



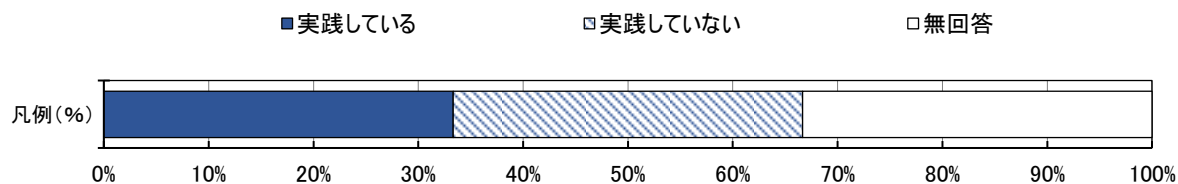
問2(19) あなたは、家庭から出るごみのリサイクルを実践していますか

「実践している」が87.6%を占めています。

性別では、女性が男性に比べ「実践している」の割合がやや高くなっています。

年齢別では、30歳代で「実践していない」が他の年齢層に比べて高くなっています。

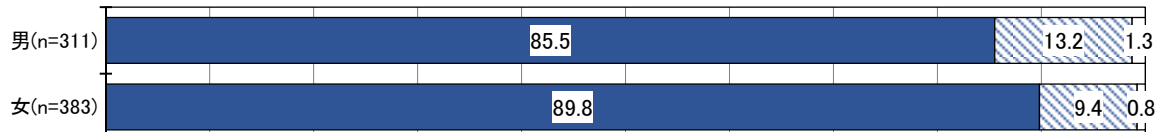
【凡例】



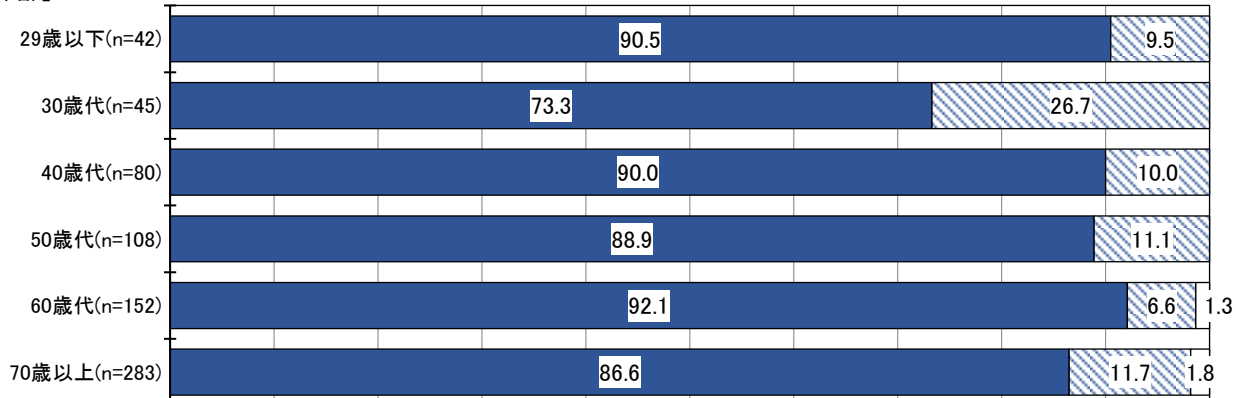
【全体】



【性別】

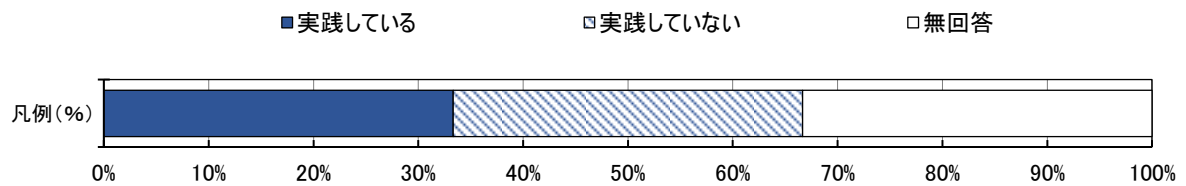


【年齢】

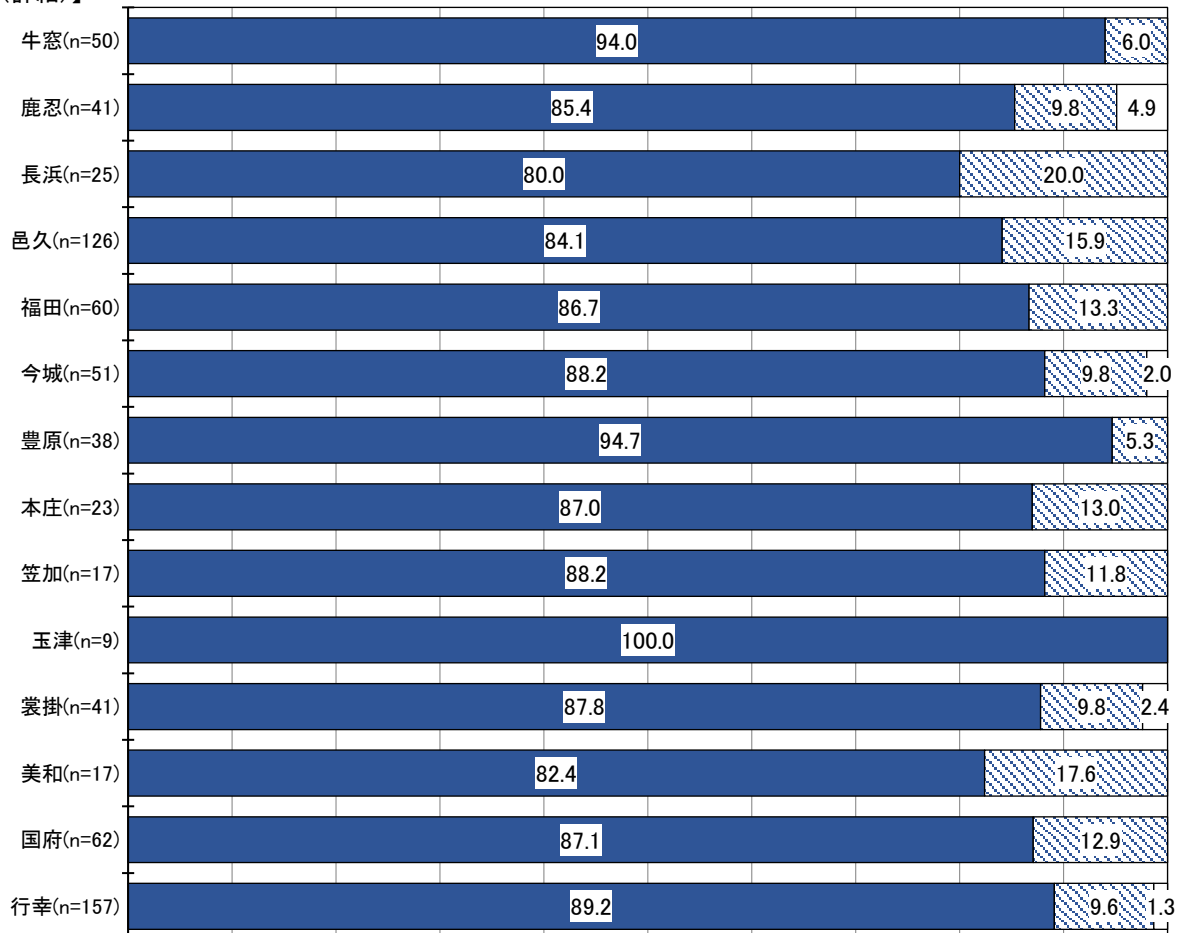


地域別でみると、「実践している」は玉津で100.0%となっています。「実践していない」は長浜、美和などでやや高くなっています。

【凡例】



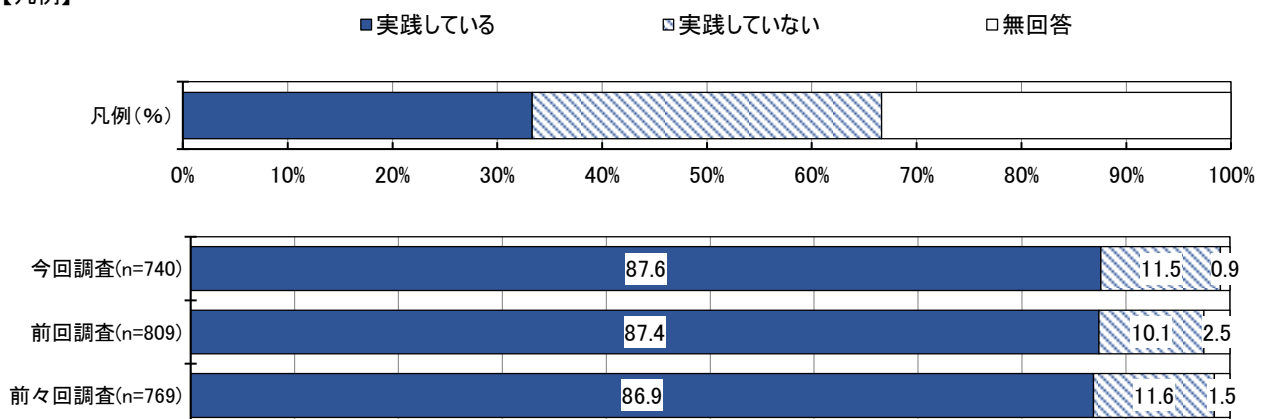
【地域(詳細)】



【過去三カ年の推移】

「実践している」が経年でやや増加傾向にあります。

【凡例】



問2(20) あなたは、日常生活で省エネを実践していますか

「実践している」が78.4%を占めています。

性別では、女性が男性に比べ「実践している」の割合が高くなっています。

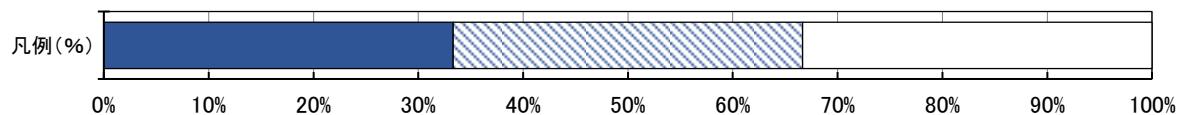
年齢別では、29歳以下で「実践していない」が他の年齢層に比べて高くなっています。

【凡例】

■ 実践している

▨ 実践していない

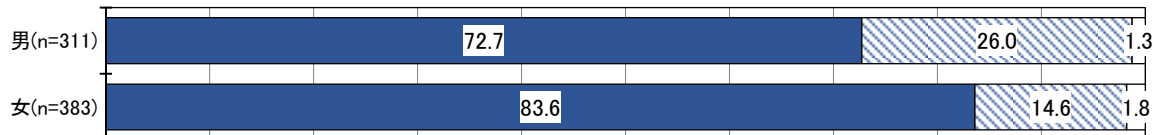
□ 無回答



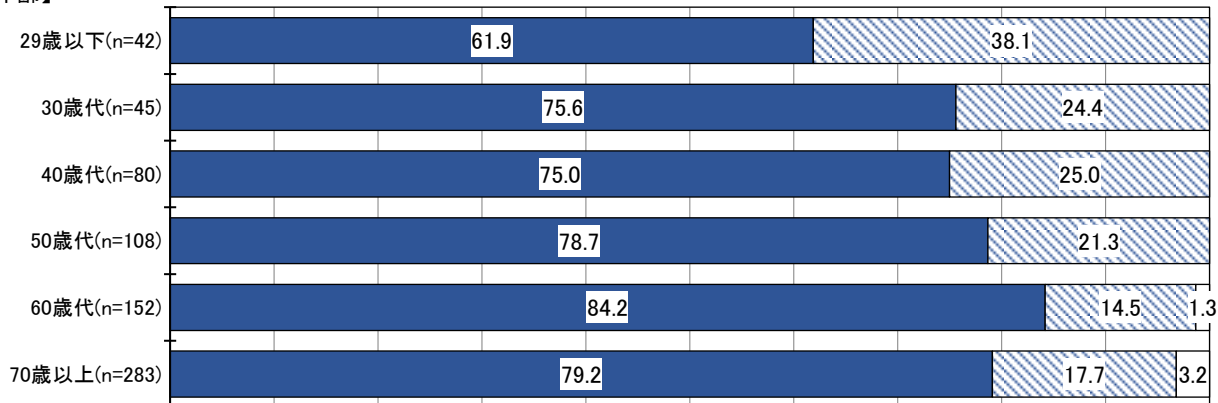
【全体】



【性別】

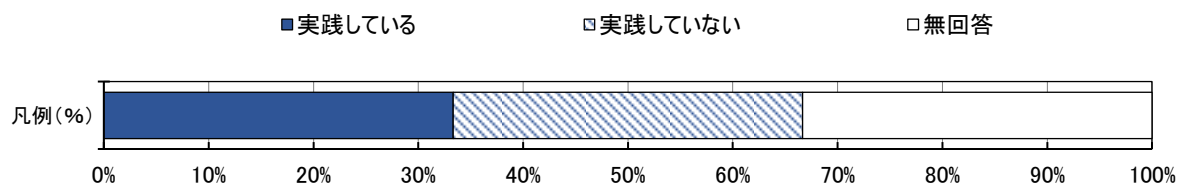


【年齢】

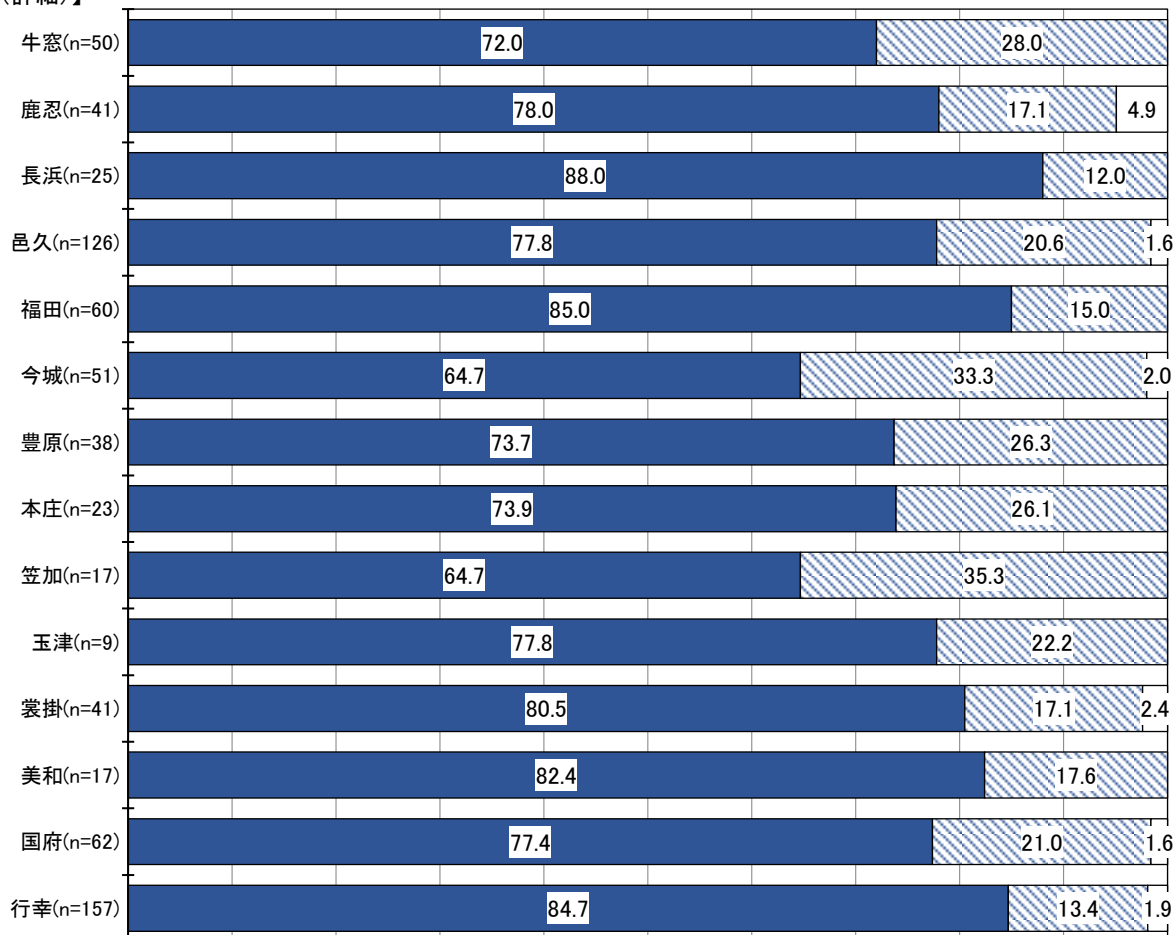


地域別でみると、「実践している」は長浜などで高く、「実践していない」は今城、笠加で高くなっています。

【凡例】



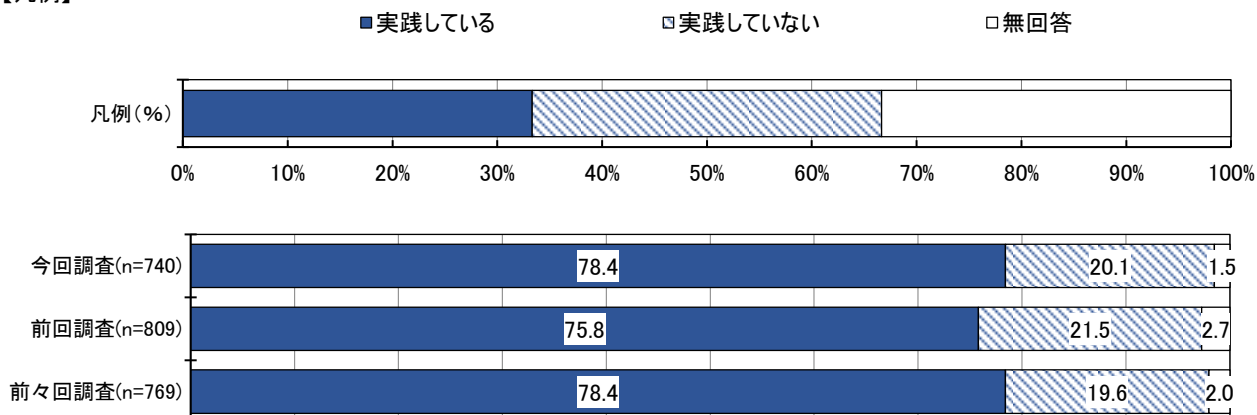
【地域（詳細）】



【過去三カ年の推移】

前々回および前回調査と比較して、大きな変化は見られません。

【凡例】



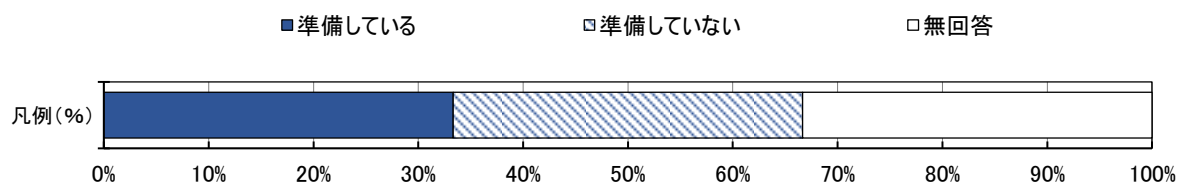
問2(21) あなたは、災害が起きたときのために、非常持出品を準備していますか

「準備していない」が60.7%を占めています。

性別では、大きな差はみられませんでした。

年齢別では、おおむね若い年齢層ほど「準備している」の割合が高くなっています。

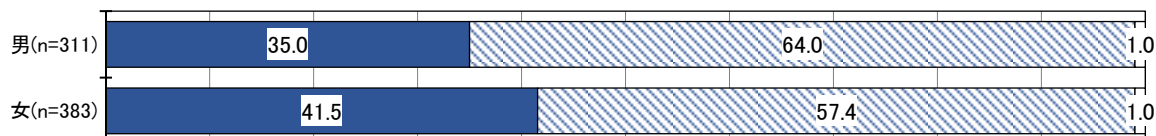
【凡例】



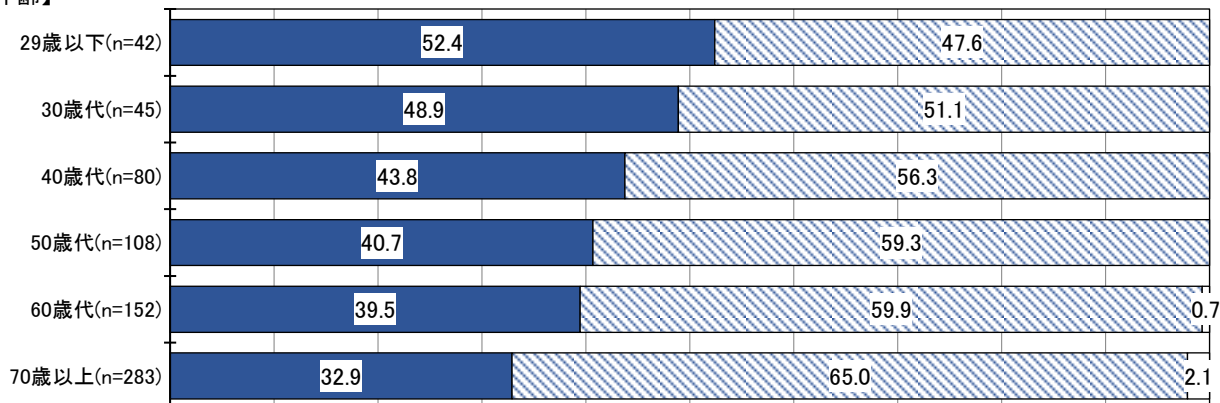
【全体】



【性別】

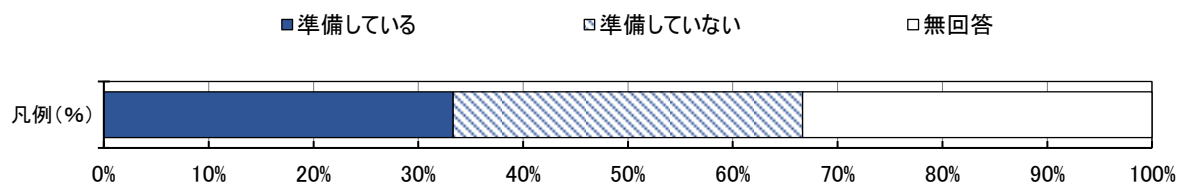


【年齢】



災害に強いまち実感度別では、大きな差は見られませんでした。

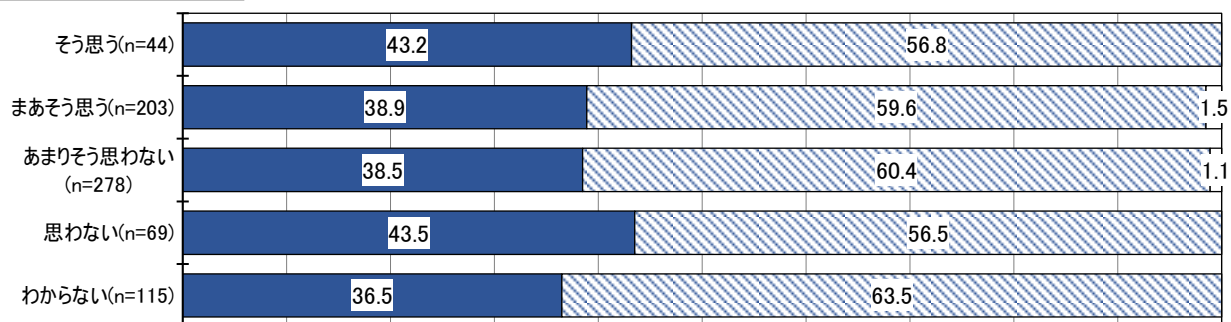
【凡例】



【全体】

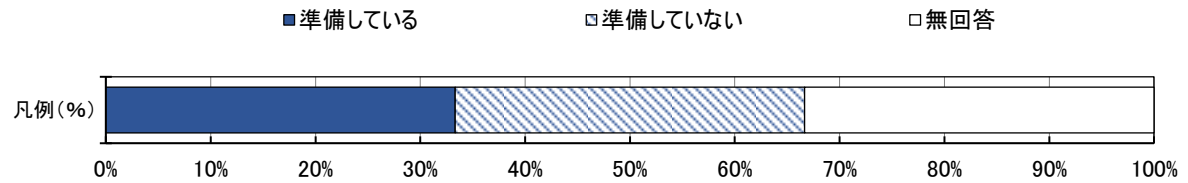


災害に強いまち実感度別

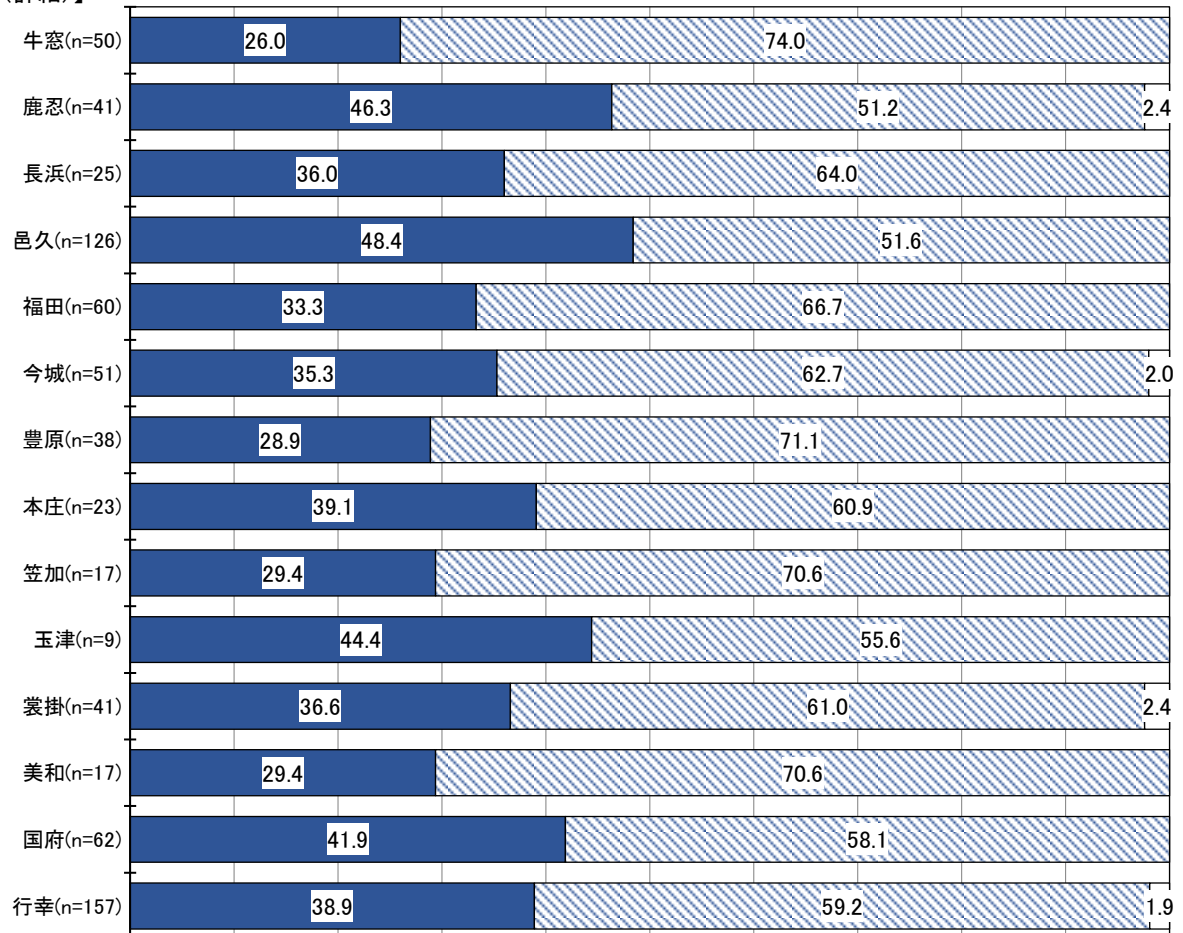


地域別でみると、「準備している」は鹿忍、邑久などで高く、「準備していない」は牛窓、豊原、笠加、美和で高くなっています。

【凡例】



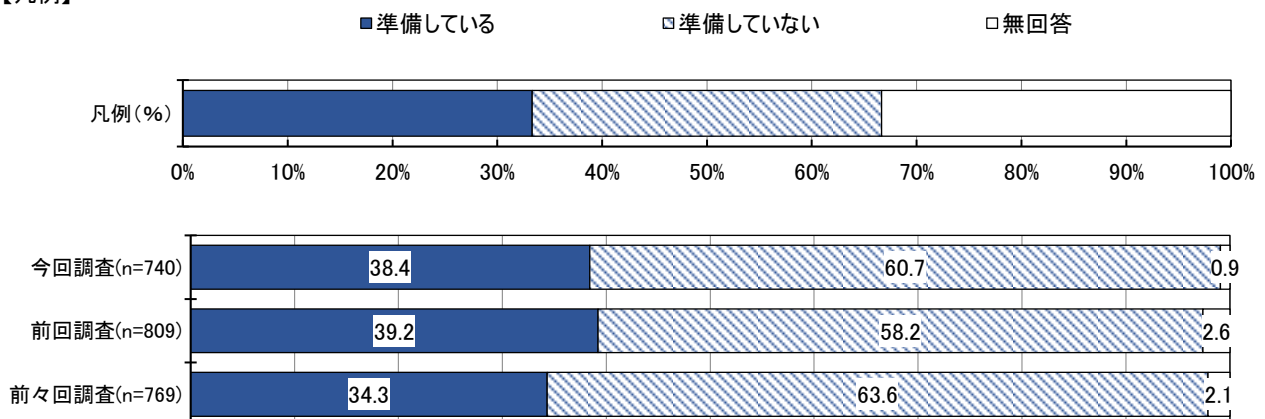
【地域（詳細）】



【過去三カ年の推移】

前々回および前回調査と比較して、大きな変化は見られません。

【凡例】



問2(22) あなたは、災害が起きたときの、最寄りの避難場所を知っていますか

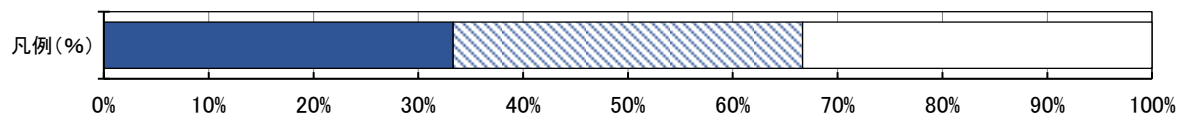
「知っている」が80.1%を占めています。

性別では、大きな差はみられませんでした。

年齢別では、30歳代で「知っている」が他の年齢層に比べてやや高くなっています。

【凡例】

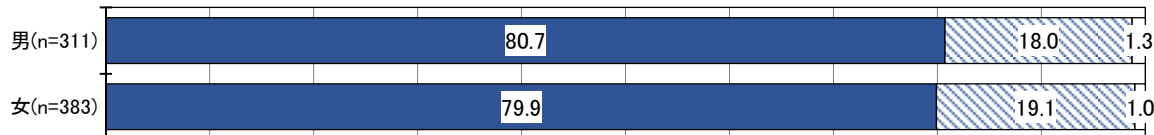
■ 知っている □ 知らない □ 無回答



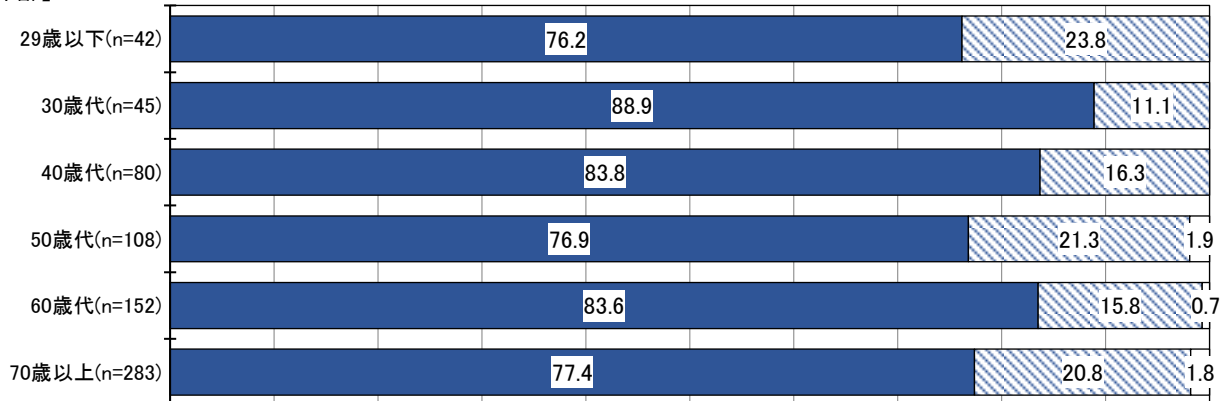
【全体】



【性別】

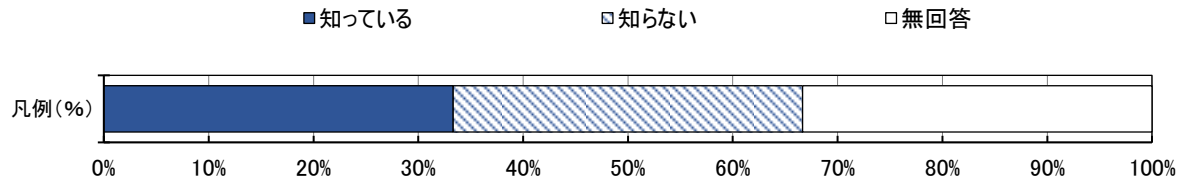


【年齢】



災害に強いまち実感度別では、「そう思う」「わからない」と回答した層で、「知らない」の割合がやや高くなっています。

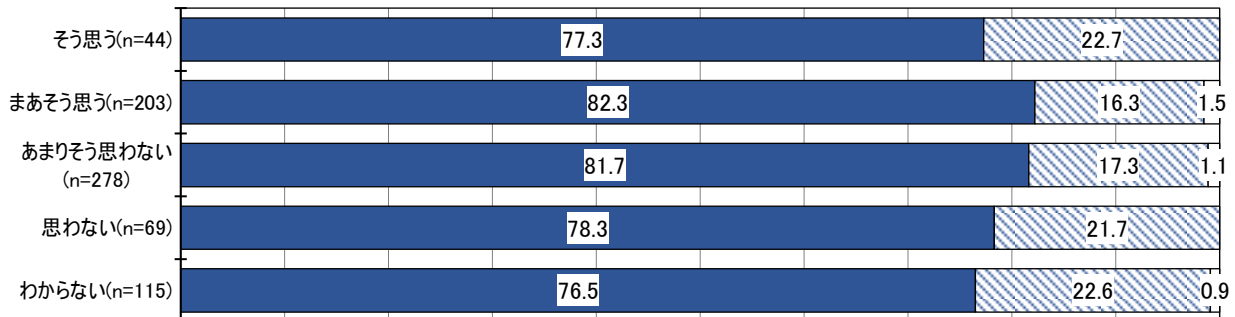
【凡例】



【全体】

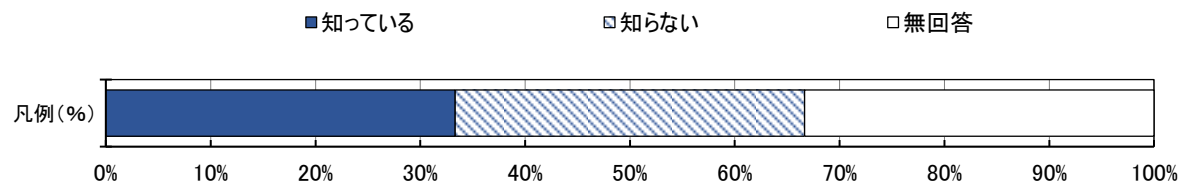


災害に強いまち実感度別

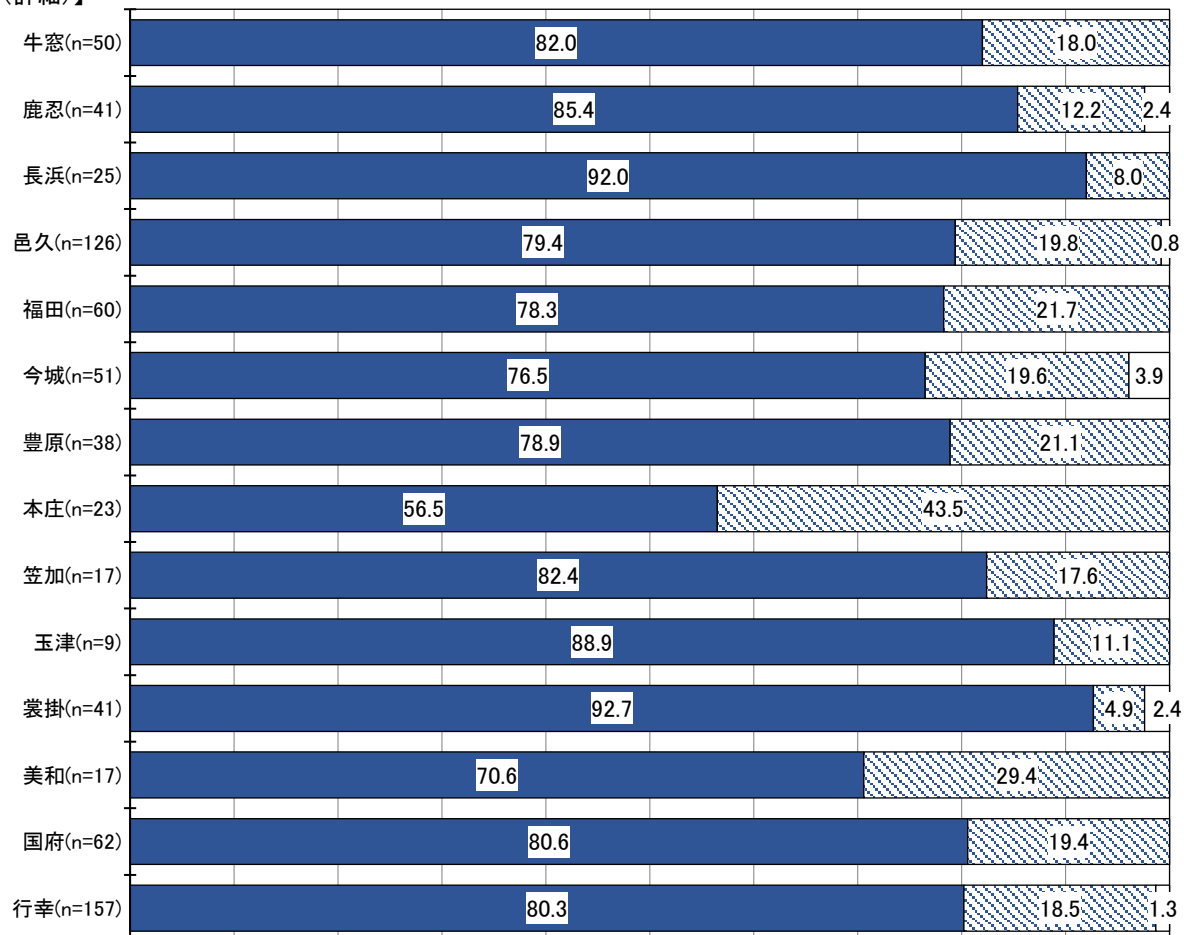


地域別でみると、「知っている」は長浜、裳掛で高く、「知らない」は本庄で高くなっています。

【凡例】



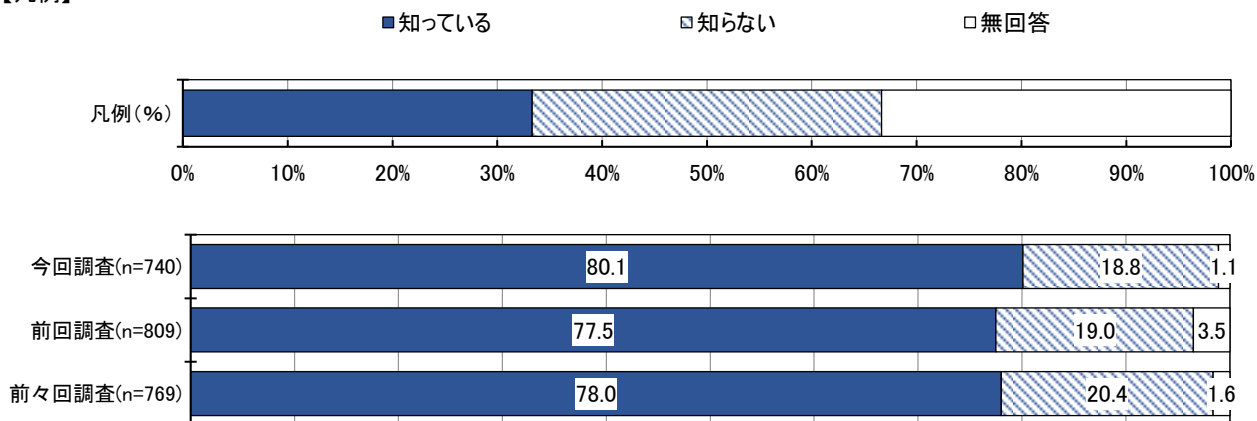
【地域(詳細)】



【過去三カ年の推移】

前々回および前回調査と比較して、やや増加傾向がみられます。

【凡例】



問2(23) あなたは、悪質商法などへの対応について相談できる市役所や県、警察などの「消費生活」に関する相談窓口を知っていますか

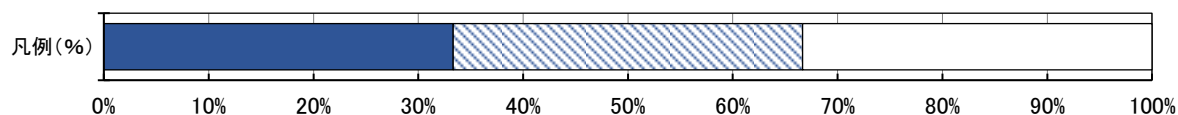
「知らない」が52.7%を占めています。

性別では、大きな差はみられませんでした。

年齢別では、29歳以下を除いて年齢が上がるほど「知っている」の割合が高くなっています。

【凡例】

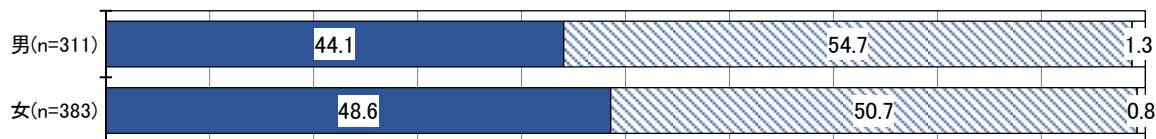
■知っている □知らない □無回答



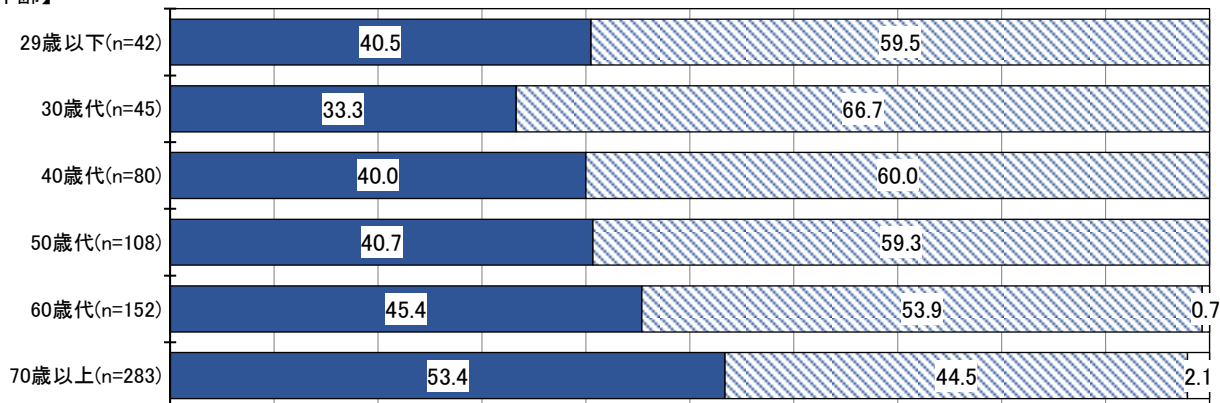
【全体】



【性別】

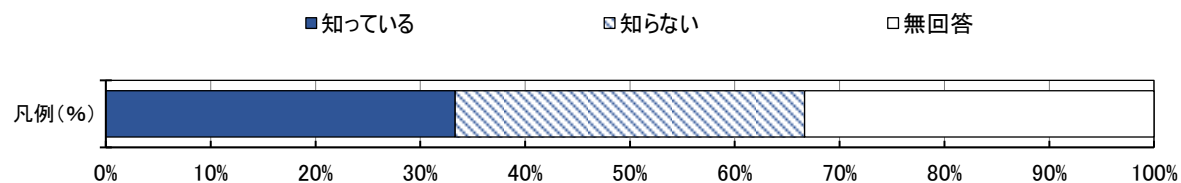


【年齢】



かしこい消費者が多いまち実感度別では、実感度が低い(「思わない」)層で「知らない」の割合が高くなっています。

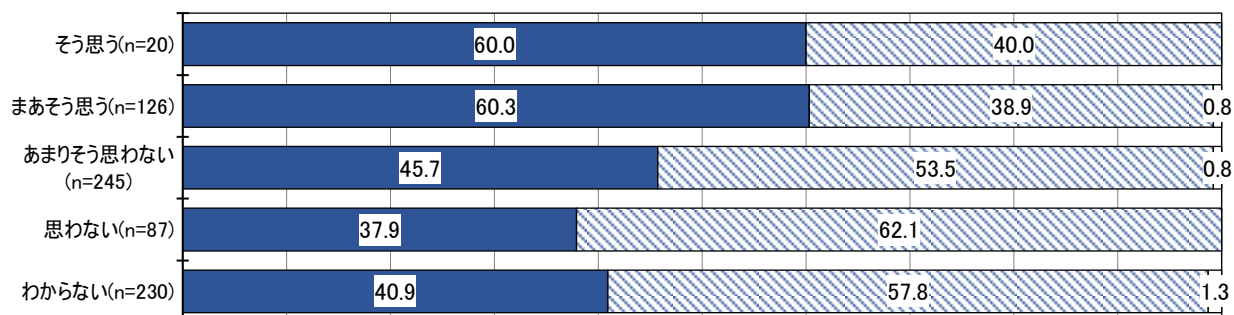
【凡例】



【全体】

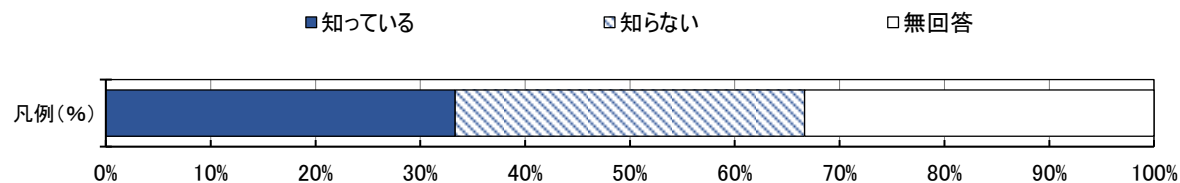


かしこい消費者が多いまち実感度別

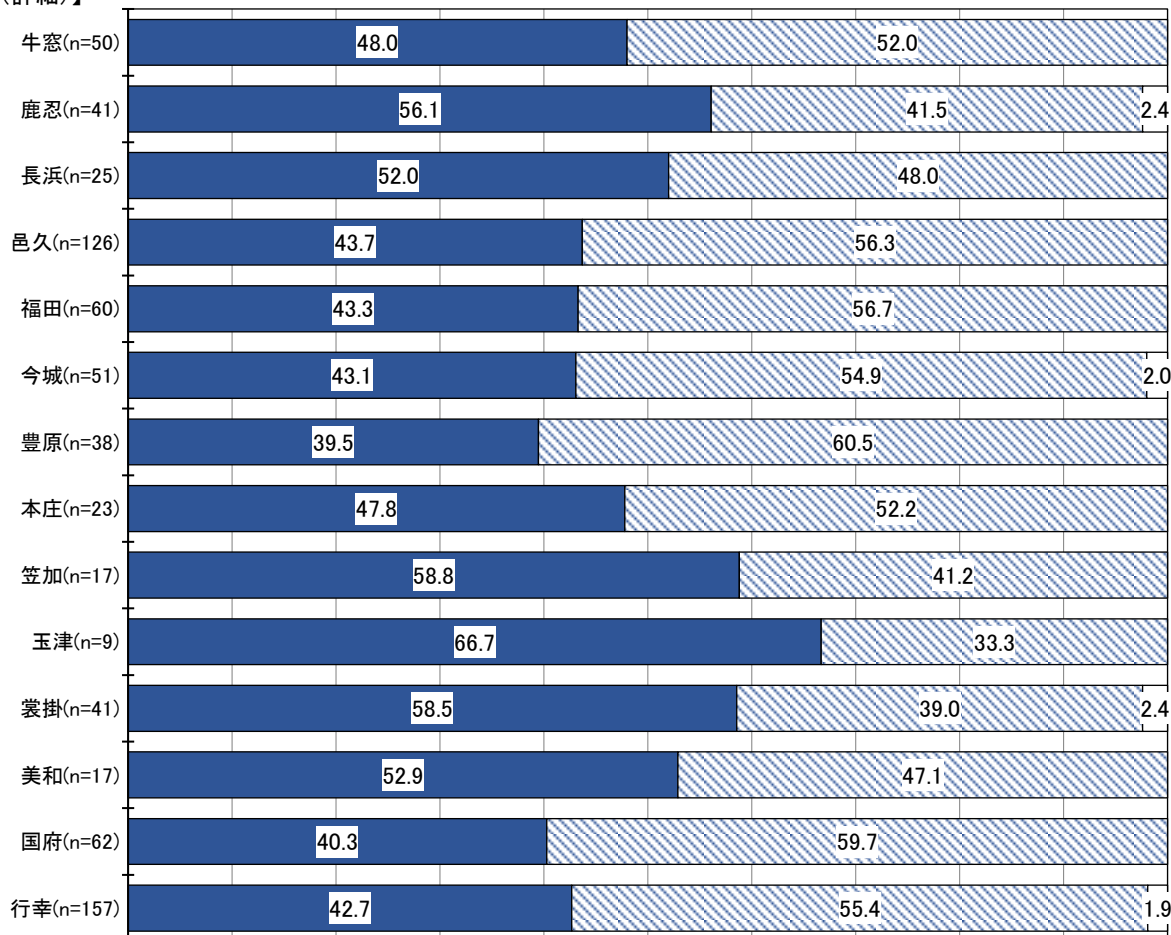


地域別でみると、「知っている」は笠加、玉津、裳掛などで高く、「知らない」は豊原などで高くなっています。

【凡例】



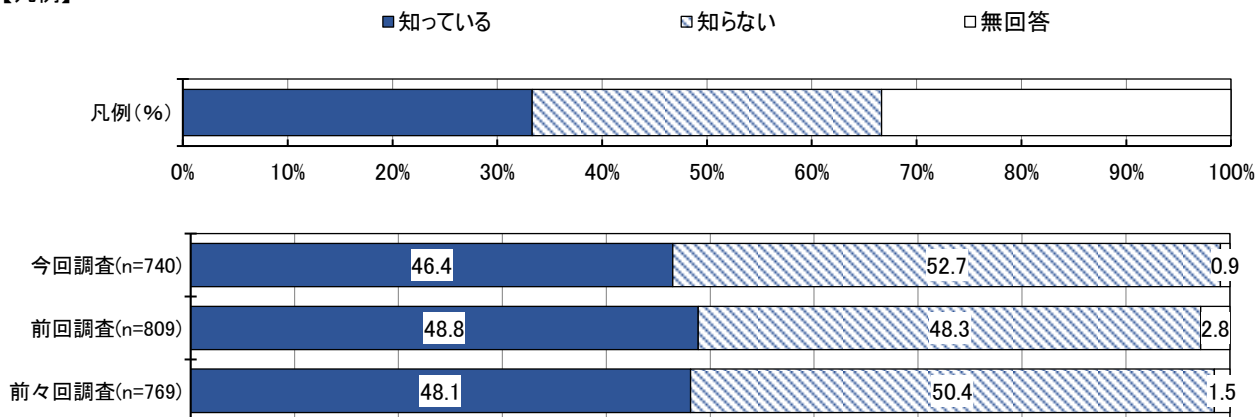
【地域(詳細)】



【過去三カ年の推移】

前々回および前回調査と比較して、大きな変化は見られません。

【凡例】



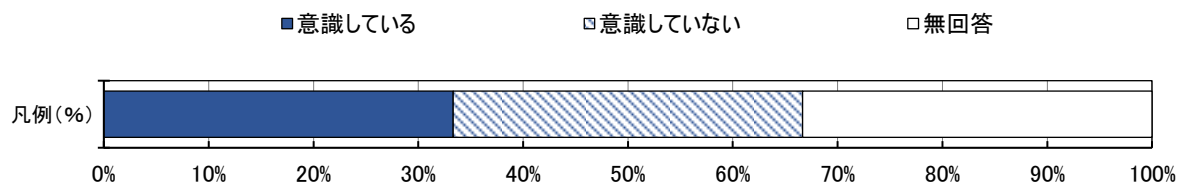
問2(24) あなたは、農産物を買うときに、地元産かどうか意識していますか

「意識している」が53.1%を占めています。

性別では、女性が男性に比べ「意識している」の割合がやや高くなっています。

年齢別では、年齢が上がるほど「意識している」の割合が高くなっています。

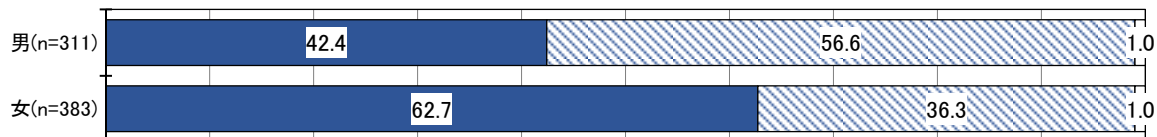
【凡例】



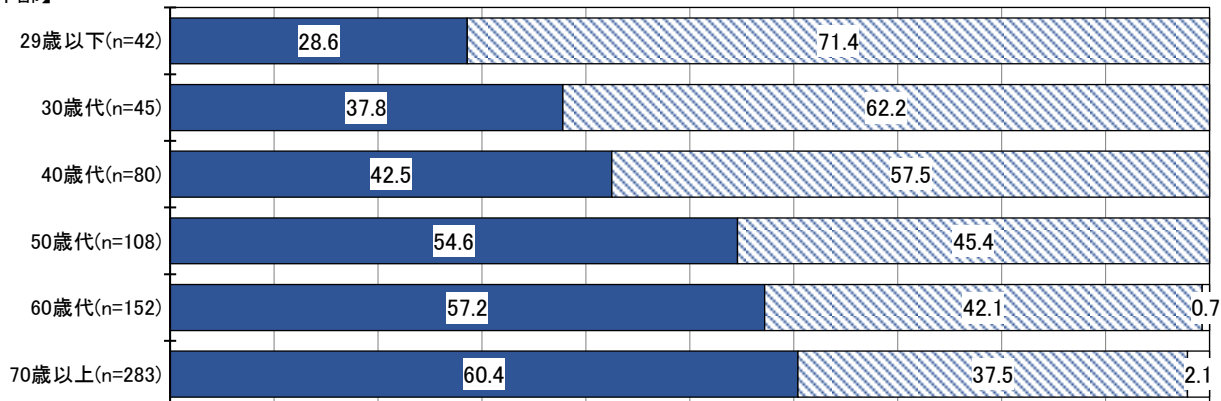
【全体】



【性別】



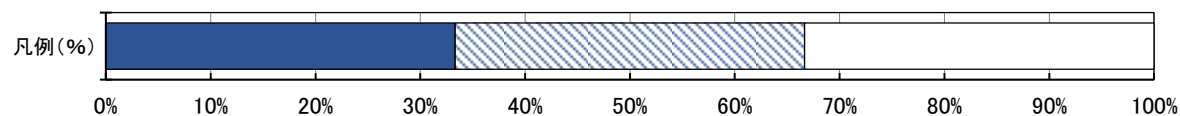
【年齢】



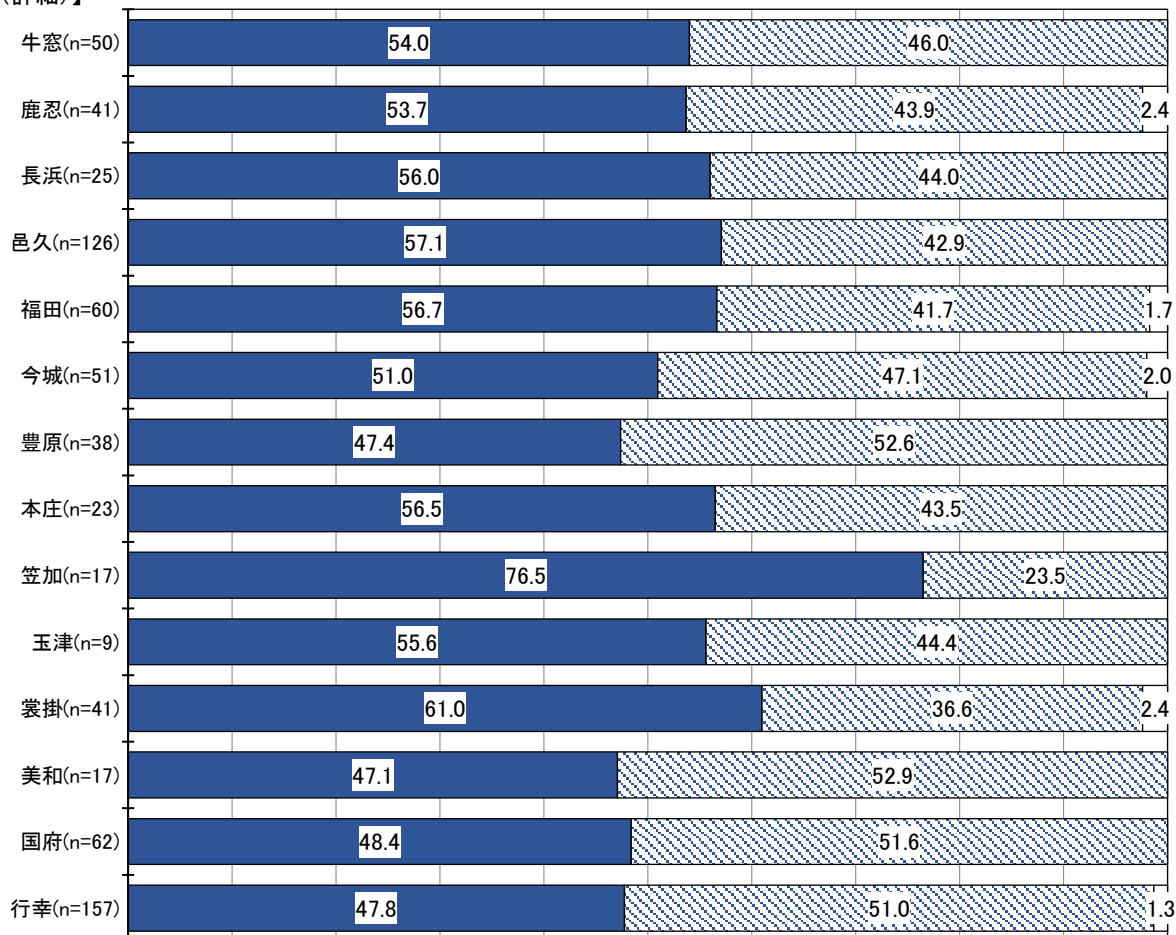
地域別でみると、「意識している」は笠加で高く、「意識していない」は美和などで高くなっています。

【凡例】

■意識している □意識していない □無回答



【地域（詳細）】

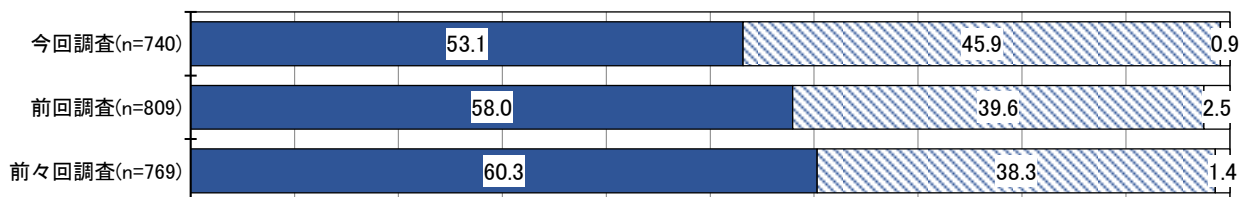
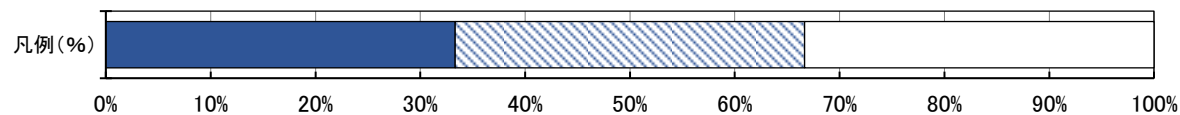


【過去三カ年の推移】

「意識していない」が経年で増加傾向にあります。

【凡例】

■意識している □意識していない □無回答



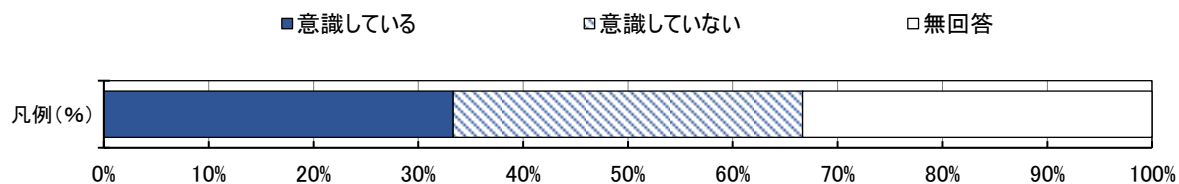
問2(25) あなたは、水産物を買うときに、地元産かどうか意識していますか

「意識していない」が50.7%を占めています。

性別では、女性が男性に比べ「意識している」の割合が高くなっています。

年齢別では、年齢が上がるほど「意識している」の割合が高くなっています。

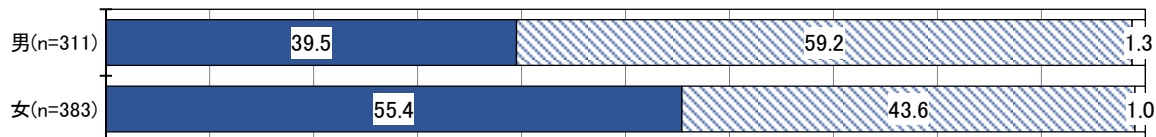
【凡例】



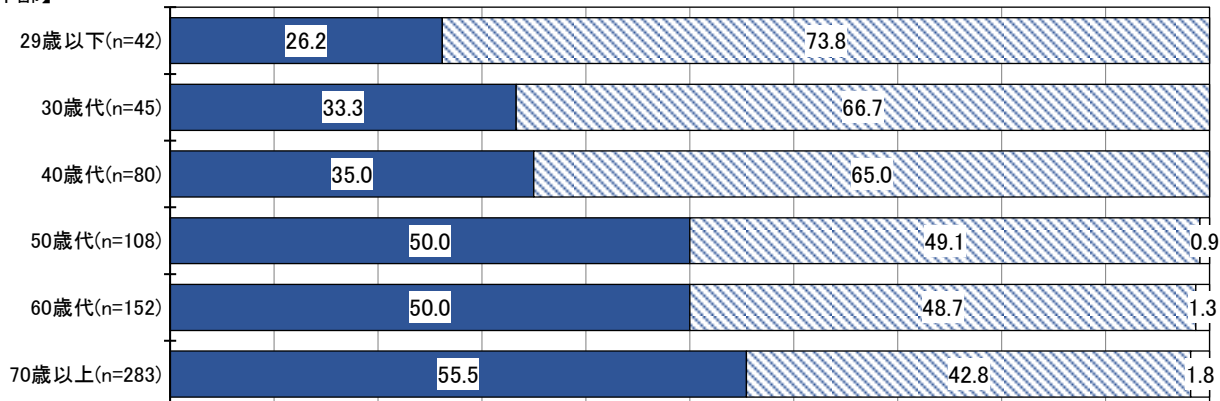
【全体】



【性別】

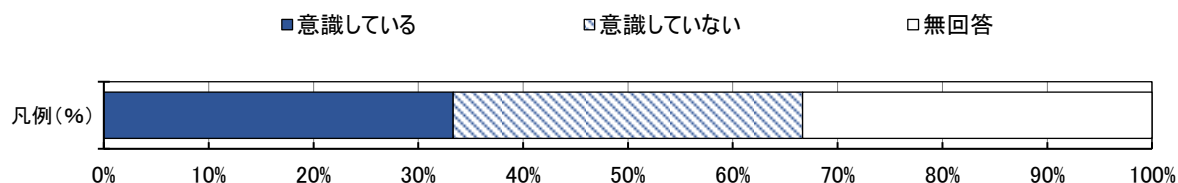


【年齢】

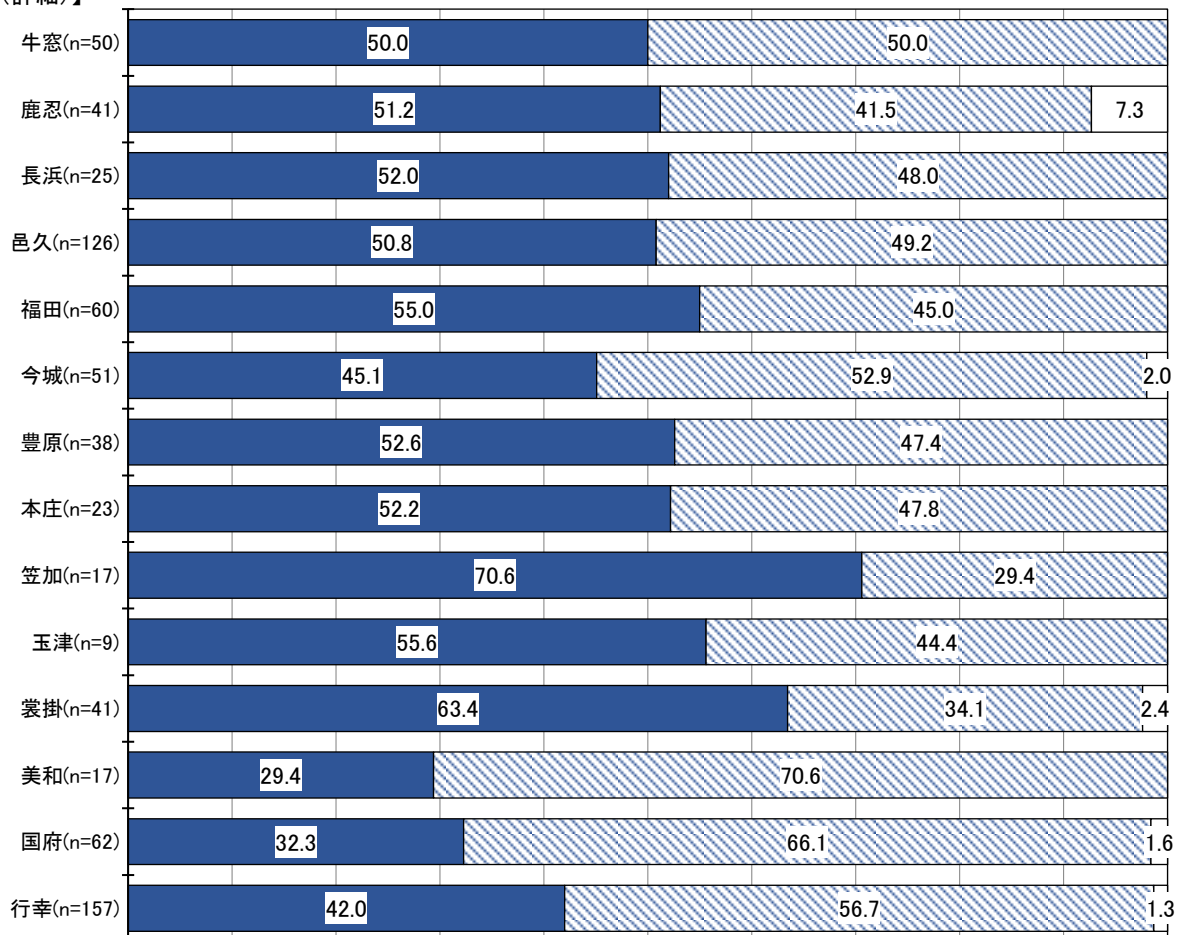


地域別でみると、「意識している」は笠加で高く、「意識していない」は美和、国府などで高くなっています。

【凡例】



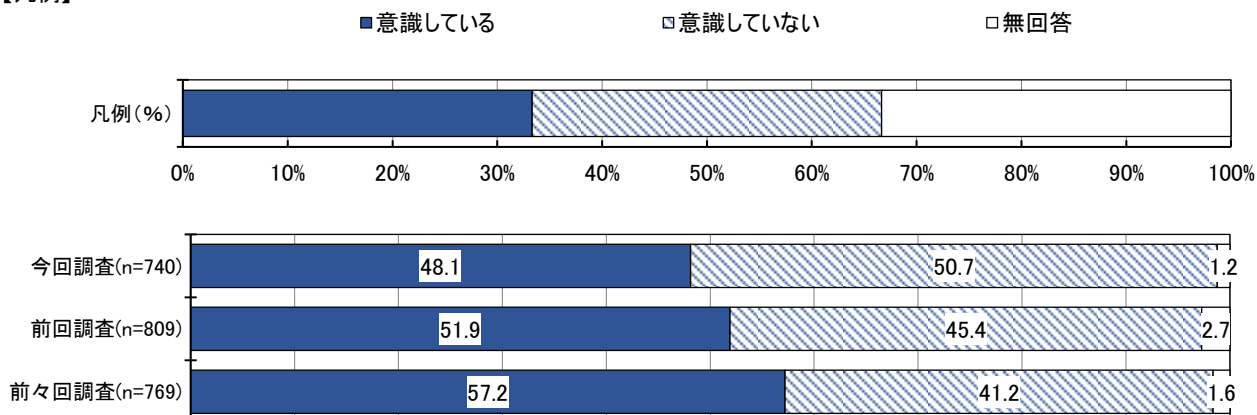
【地域（詳細）】



【過去三カ年の推移】

「意識していない」が経年で増加傾向にあります。

【凡例】



問2(26) あなたは、瀬戸内市は日常生活品の買い物がしやすいまちだと思いますか

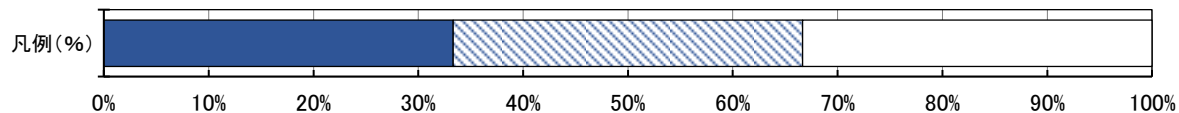
「そう思う」が70.3%を占めています。

性別では、大きな差はみられませんでした。

年齢別では、30歳代で「そう思う」が他の年齢層に比べて高くなっています。

【凡例】

■ そう思う □ そう思わない □ 無回答



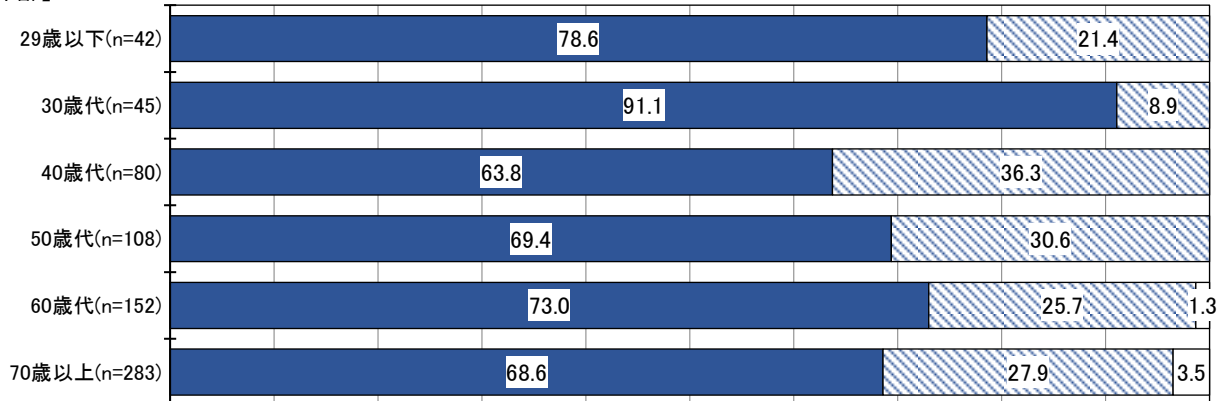
【全体】



【性別】

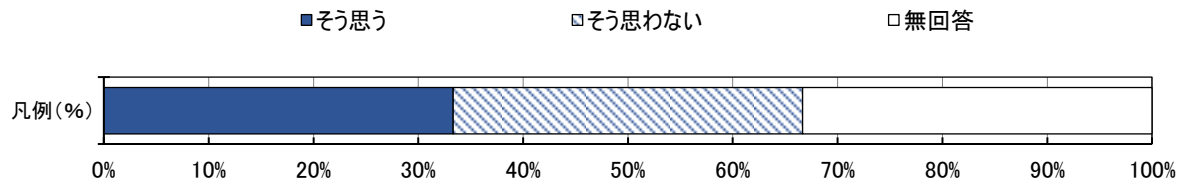


【年齢】



主な移動手段別では、「タクシー」「バス」で「そう思わない」が他の交通機関利用者を大きく上回っています。

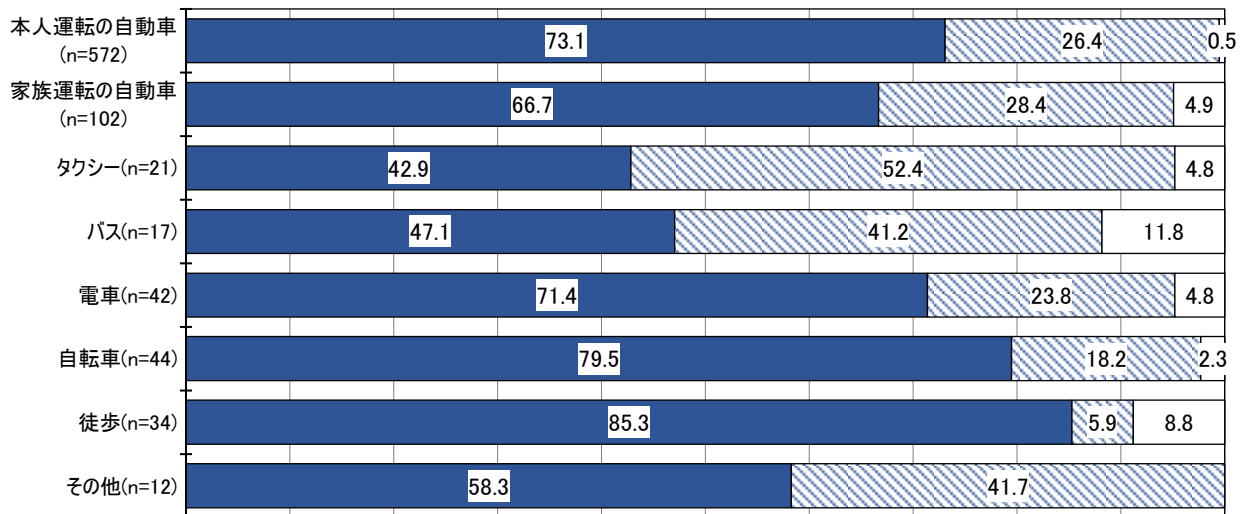
【凡例】



【全体】

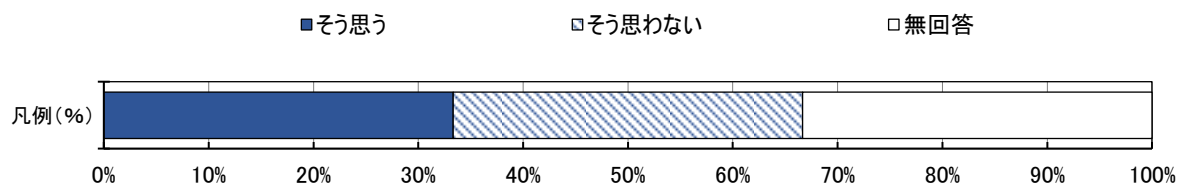


主な移動手段別

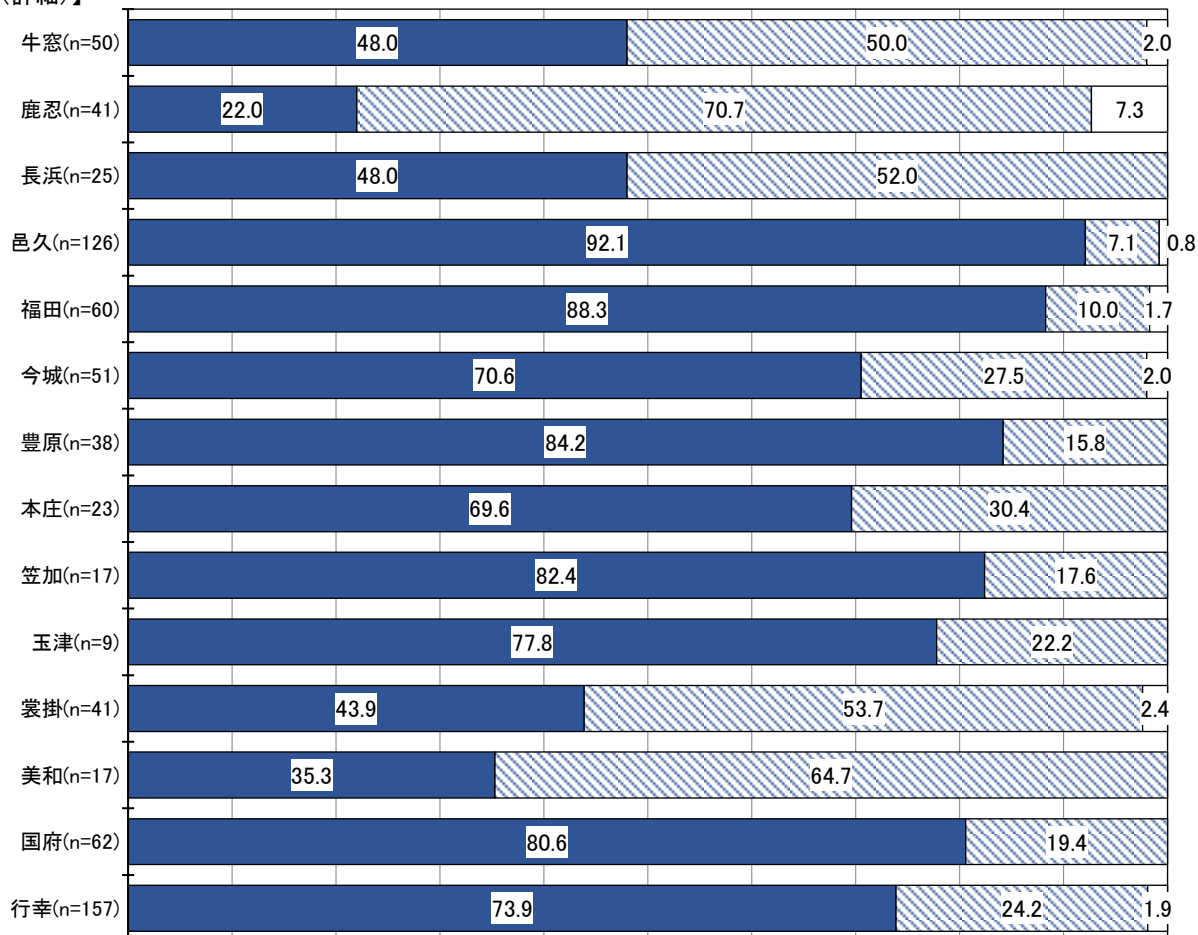


地域別でみると、「そう思う」は邑久、福田、豊原、笠加で高く、「そう思わない」は鹿忍、美和で高くなっています。

【凡例】



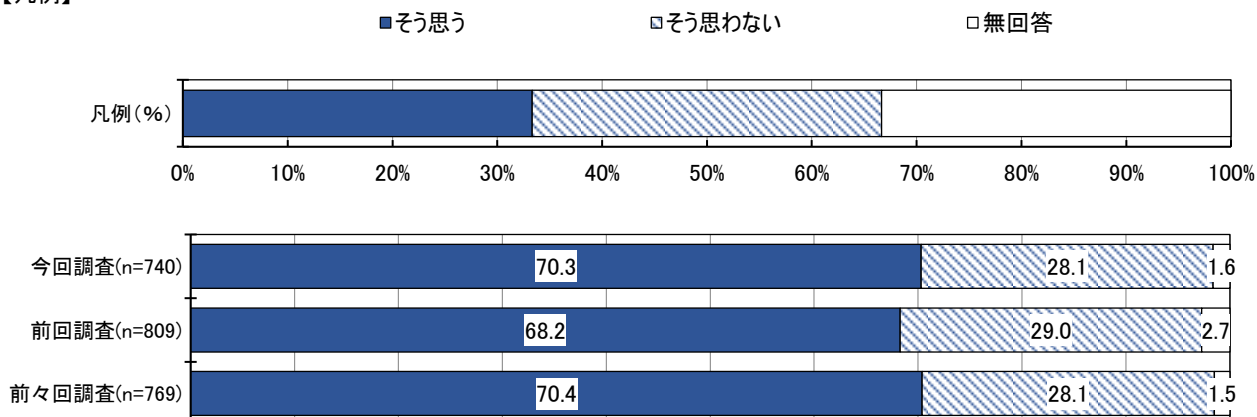
【地域(詳細)】



【過去三カ年の推移】

前々回および前回調査と比較して、大きな変化は見られません。

【凡例】



問2(27) あなたは、「広報せとうち」を読んでいますか

「読んでいる」が80.8%を占めています。

性別では、女性が男性に比べ「読んでいる」の割合がやや高くなっています。

年齢別では、30歳代を除いて年齢が上がるほど「読んでいる」の割合が高くなっています。

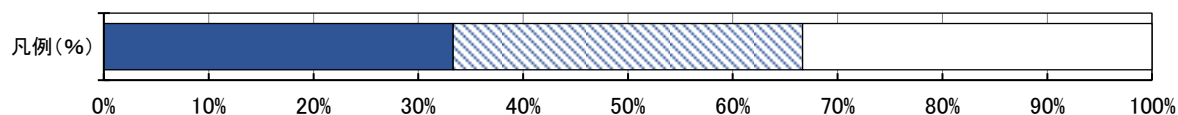
「広報せとうち」の情報有益度別でみると、役立っていないと回答した層の約6割が「読んでいない」と回答しています。

【凡例】

■読んでいる

▨読んでいない

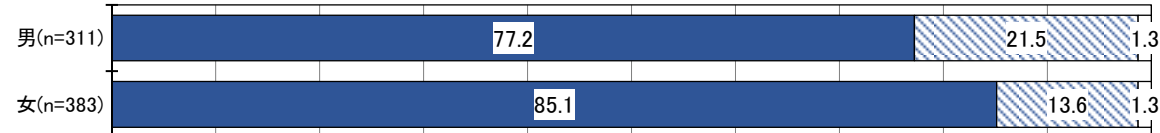
□無回答



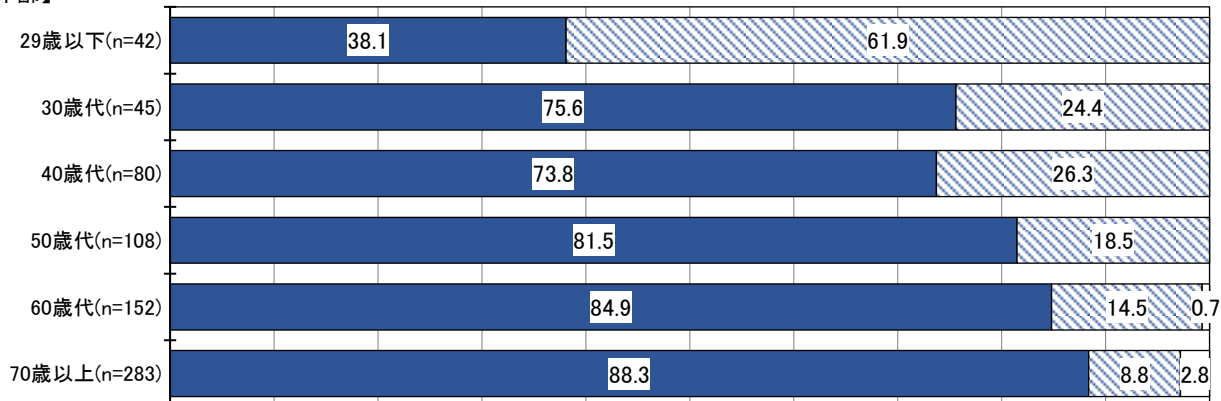
【全体】



【性別】



【年齢】

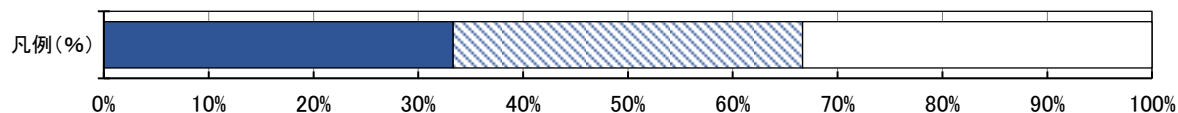


【凡例】

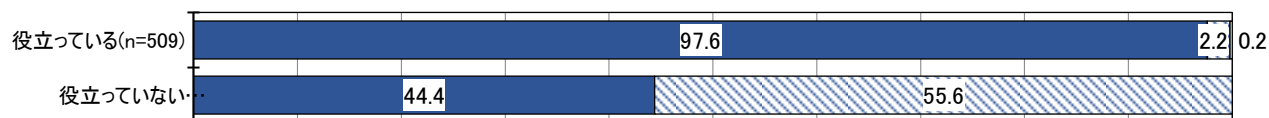
■読んでいる

▨読んでいない

□無回答

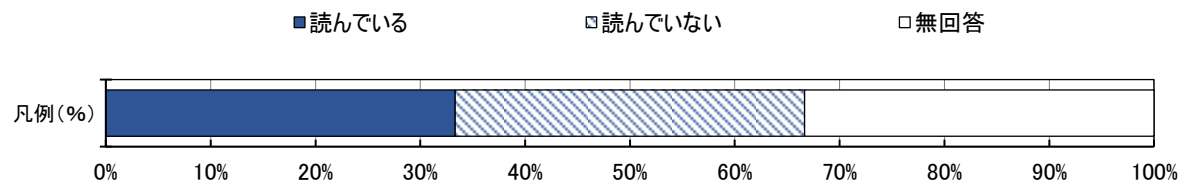


「広報せとうち」の情報有益度別

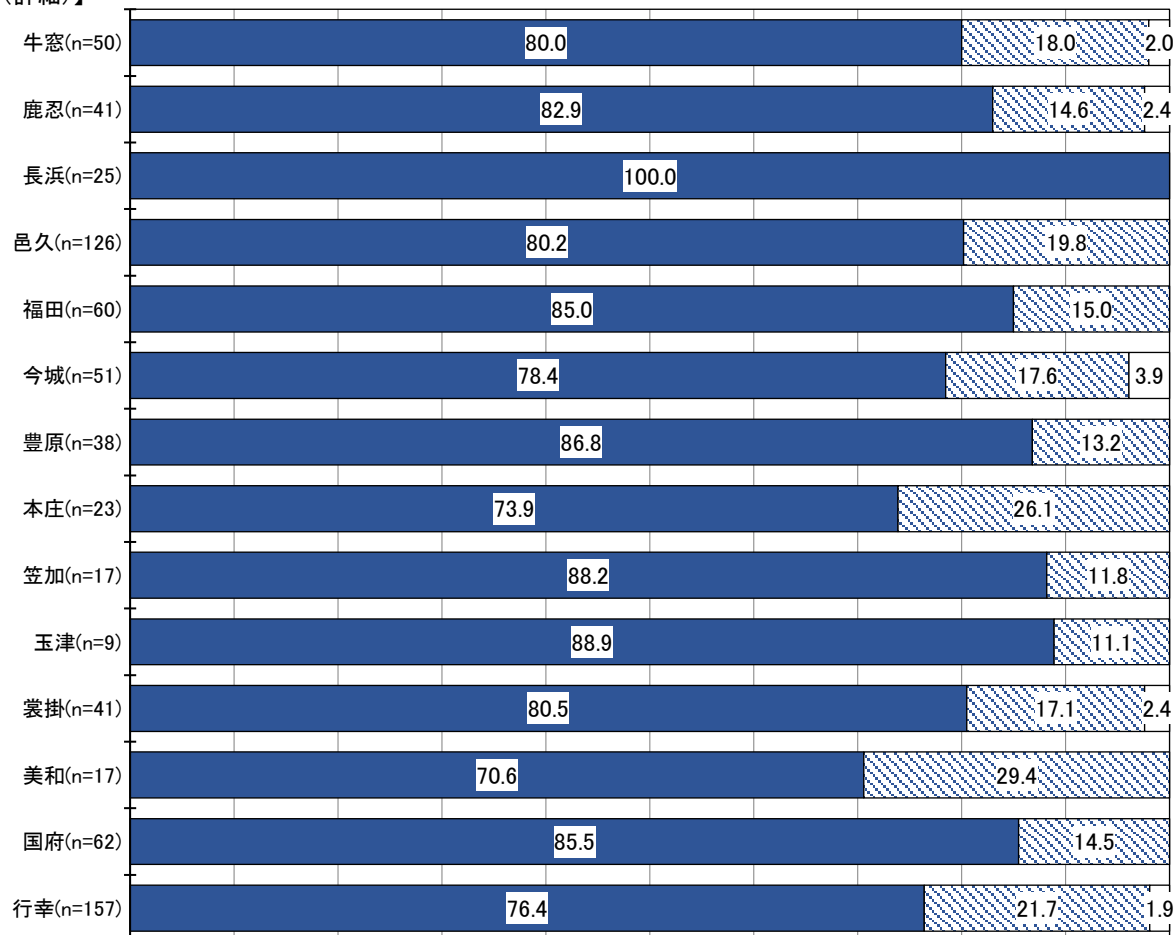


地域別でみると、「読んでいる」は長浜で100.0%となっています。「読んでいない」は本庄、美和などで高くなっています。

【凡例】



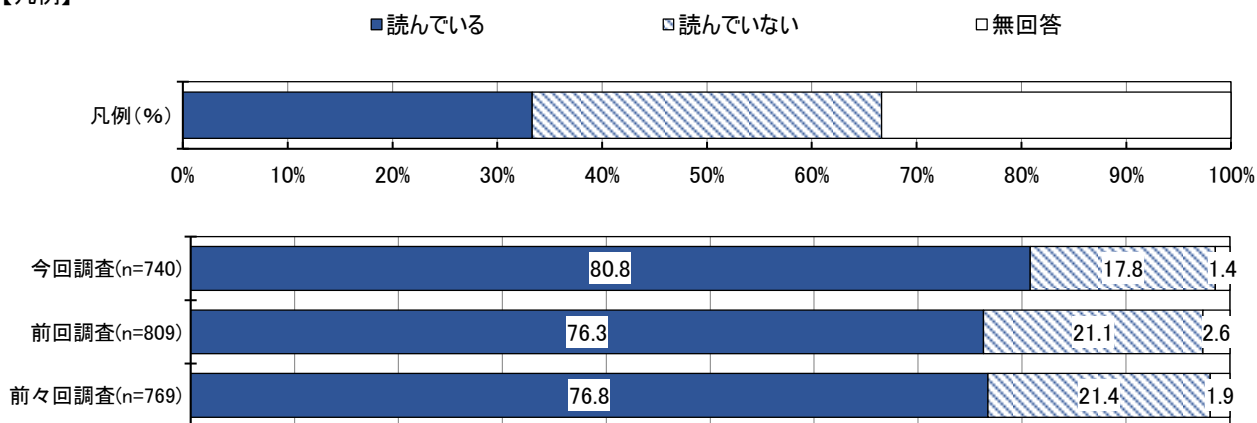
【地域(詳細)】



【過去三カ年の推移】

前々回および前回調査と比較して、「読んでいる」がやや増加しています。

【凡例】



問2(28) あなたにとって、「広報せとうち」の情報は役立っていますか

「役立っている」が68.8%を占めています。

性別では、女性が男性に比べ「役立っている」の割合が高くなっています。

年齢別では、おおむね年齢が上がるほど「役立っている」の割合が高くなっています。

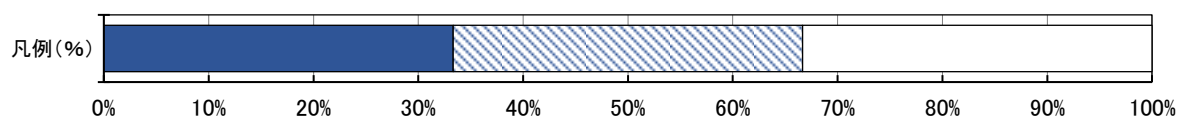
「広報せとうち」の閲読状況別では、読んでいる層の約8割が「役立っている」と回答しています。

【凡例】

■役立っている

▨役立っていない

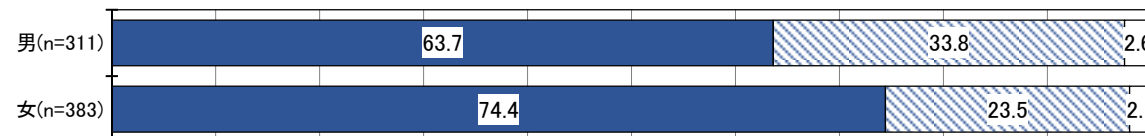
□無回答



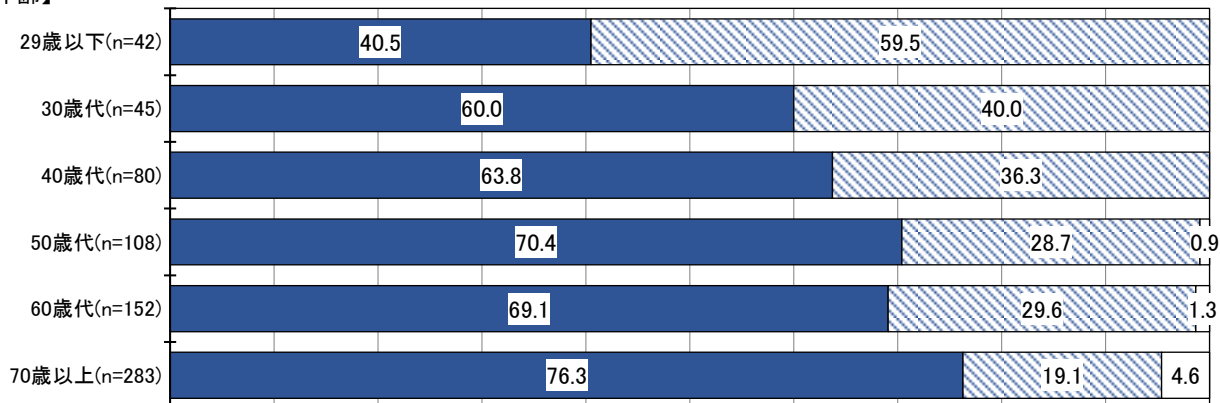
【全体】



【性別】



【年齢】

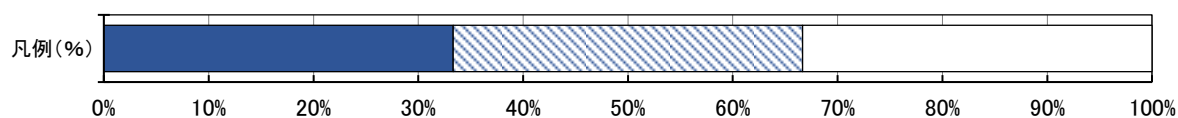


【凡例】

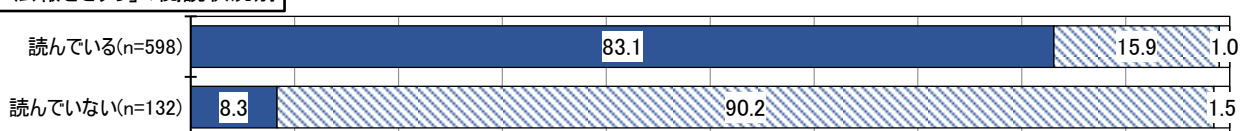
■役立っている

▨役立っていない

□無回答



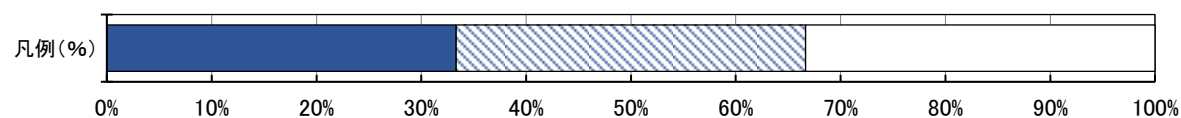
「広報せとうち」の閲読状況別



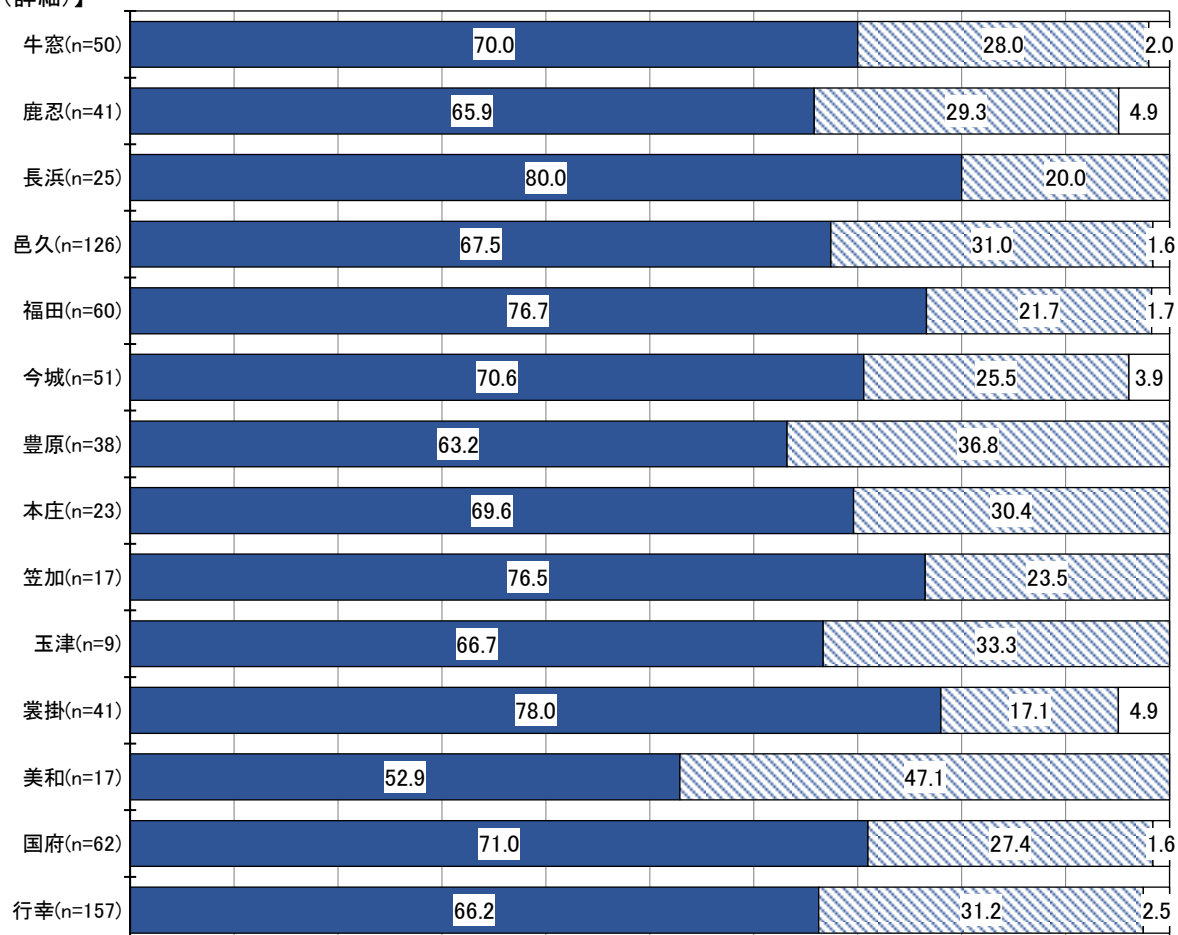
地域別でみると、「役立っている」は長浜で高く、「役立っていない」は美和で高くなっています。

【凡例】

■役立っている □役立っていない □無回答



【地域（詳細）】

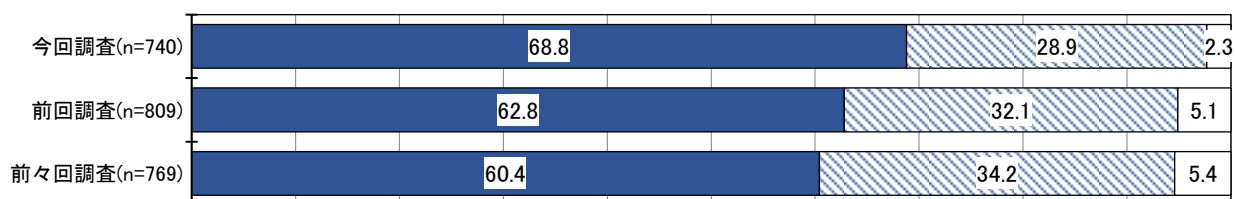
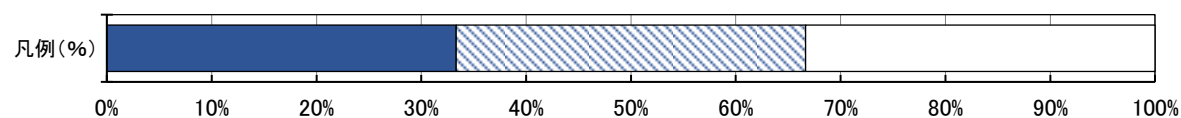


【過去三カ年の推移】

「役立っている」が経年で増加傾向にあります。

【凡例】

■役立っている □役立っていない □無回答



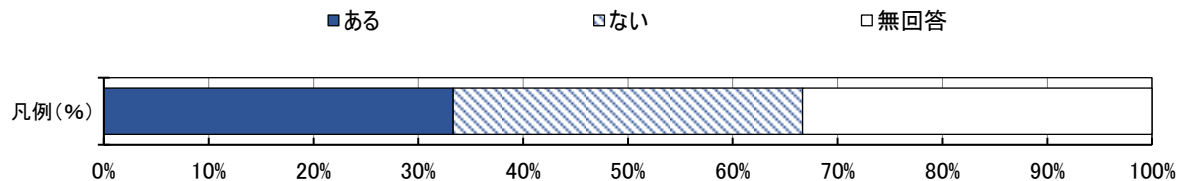
問2(29) あなたは、瀬戸内市のホームページを見たことがありますか

「ある」が58.0%を占めています。

性別では、大きな差はみられませんでした。

年齢別では、30～50歳代で「ある」が他の年齢層に比べて高くなっています。

【凡例】



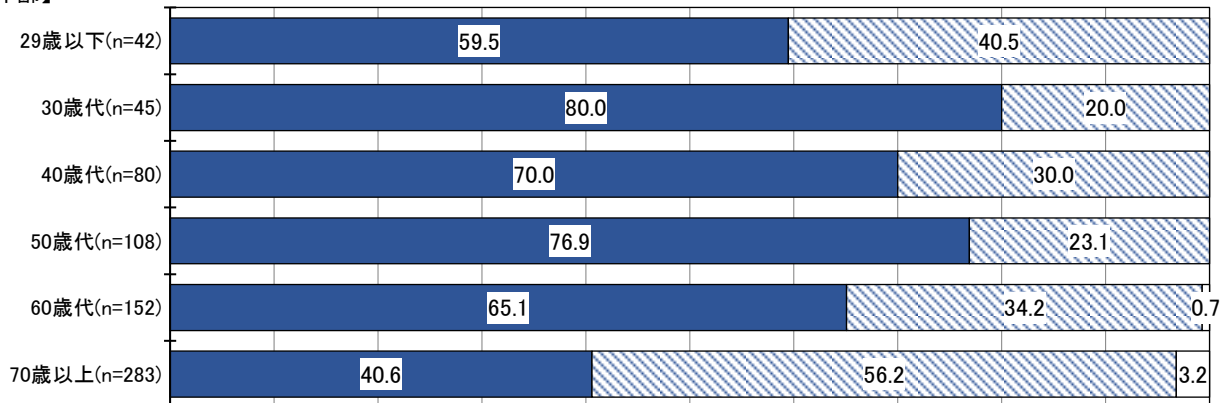
【全体】



【性別】

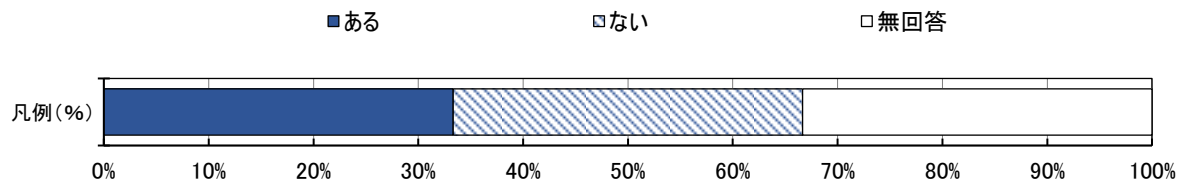


【年齢】



インターネット活用率別では、両方とも活用と回答した層の約8割が「ある」と回答しています。
本市ホームページの情報有益度別では、役立っていないと回答した層の約7割が「ない」と回答しています。

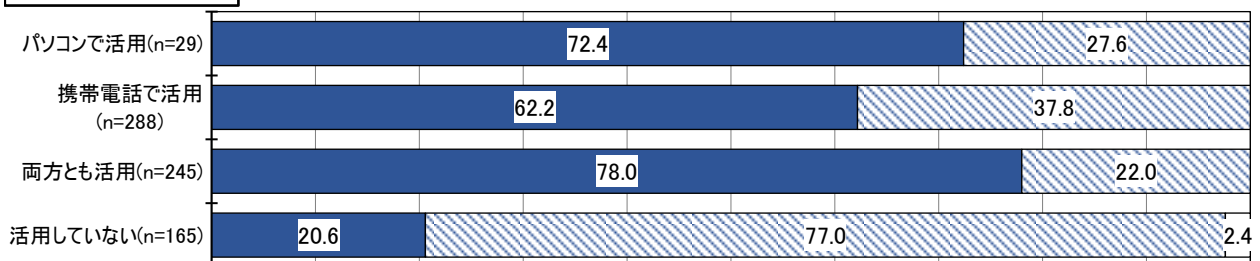
【凡例】



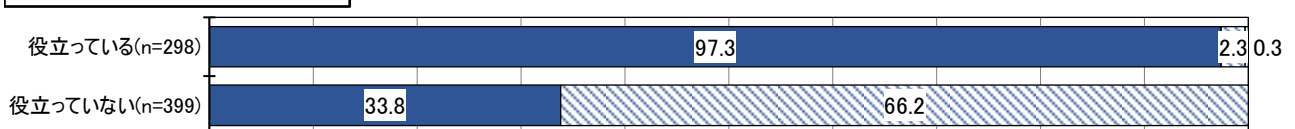
【全体】



インターネット活用率別

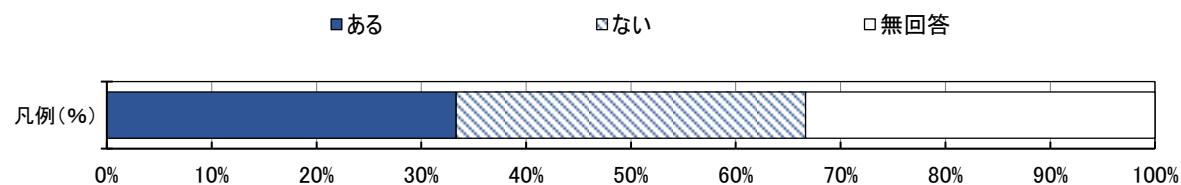


本市ホームページの情報有益度別

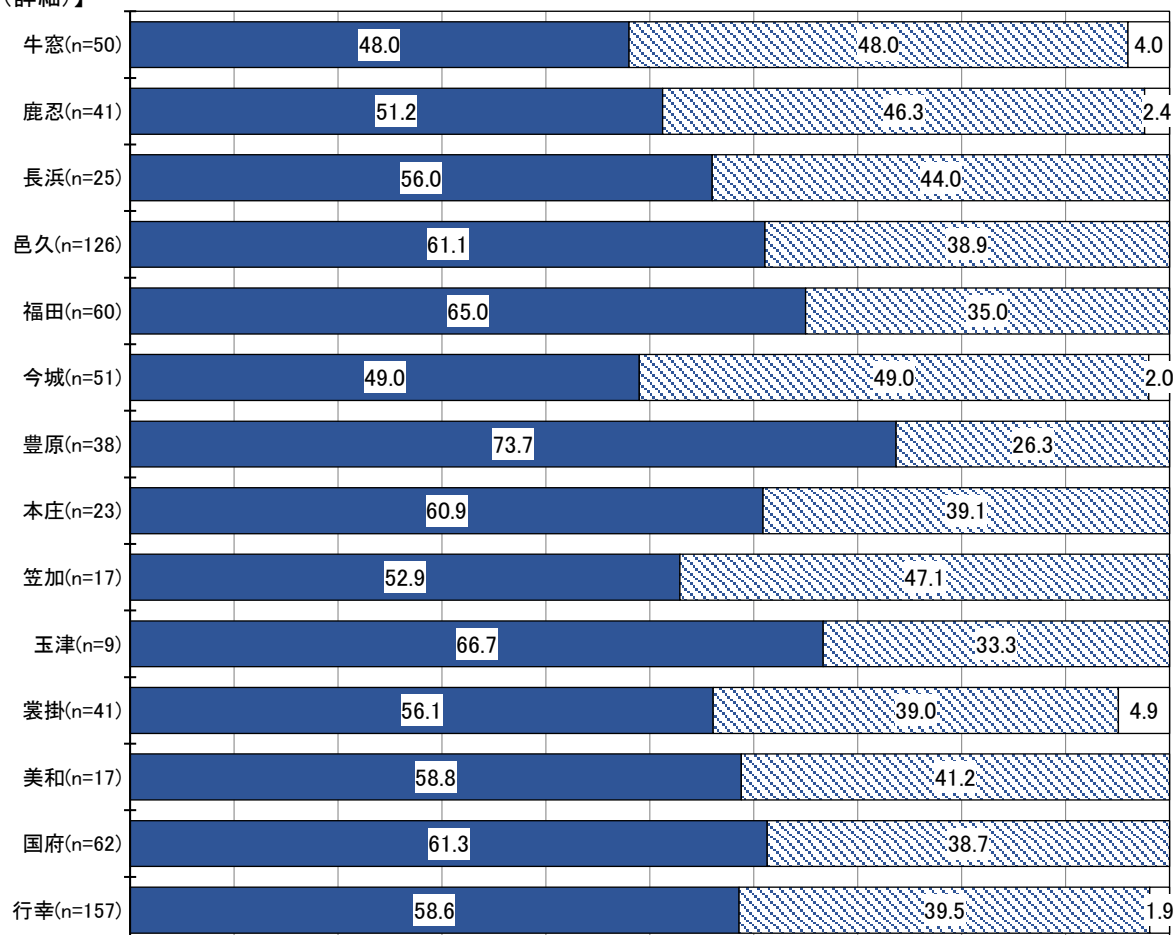


地域別でみると、「ある」は豊原などで高く、「ない」は牛窓、今城、笠加などで高くなっています。

【凡例】



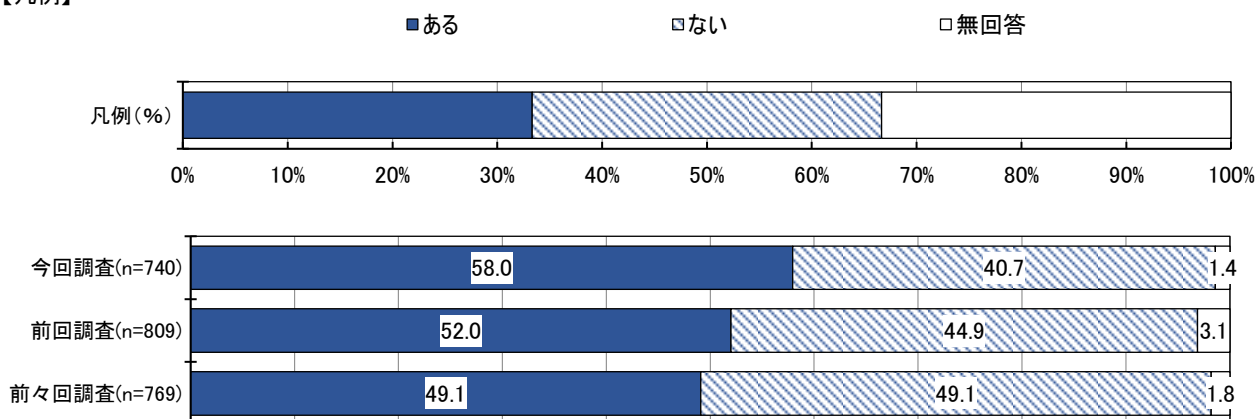
【地域（詳細）】



【過去三カ年の推移】

「ある」が経年で増加傾向にあります。

【凡例】



問2(30) あなたにとって、瀬戸内市ホームページの情報は役立っていますか

「役立っていない」が53.9%を占めています。

性別では、大きな差はみられませんでした。

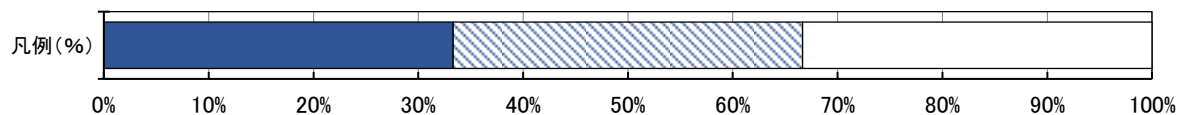
年齢別では、30～50歳代で「役立っている」の割合が高くなっています。

【凡例】

■役立っている

▨役立っていない

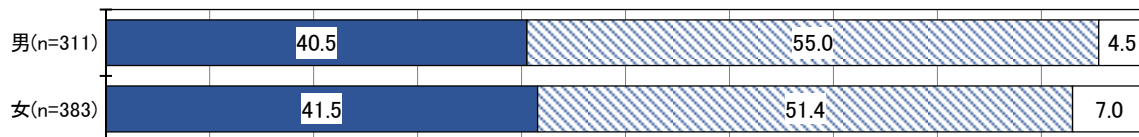
□無回答



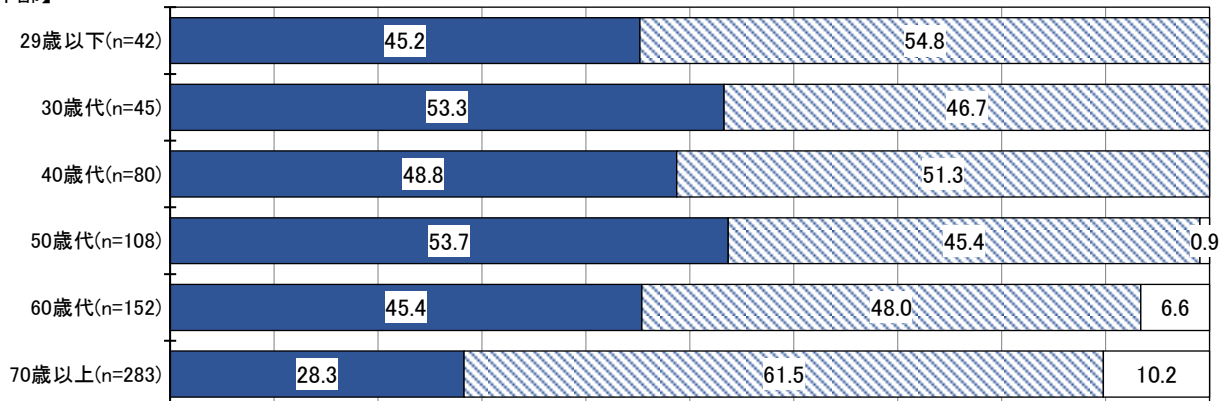
【全体】



【性別】



【年齢】



インターネット活用率別では、「パソコンで活用」、「両方とも活用」と回答した層の約半数程度が「役立っている」と回答しています。

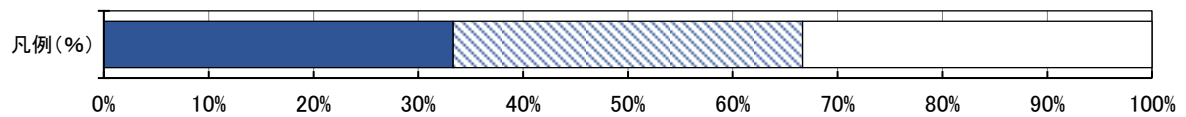
本市ホームページ閲覧状況別では、「ある」と回答した約7割が「役立っている」と回答しています。

【凡例】

■役立っている

▨役立っていない

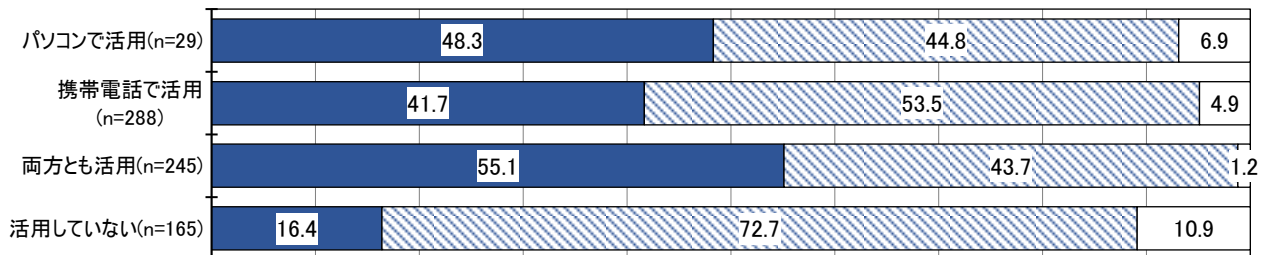
□無回答



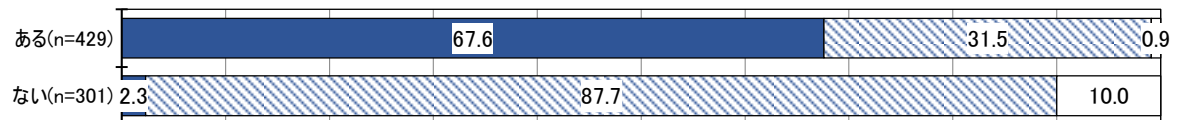
【全体】



インターネット活用率別

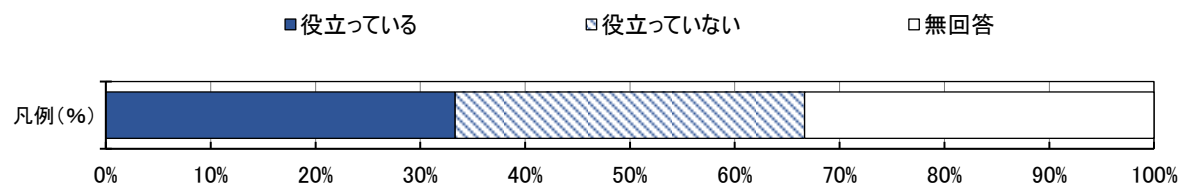


本市ホームページ閲覧状況別

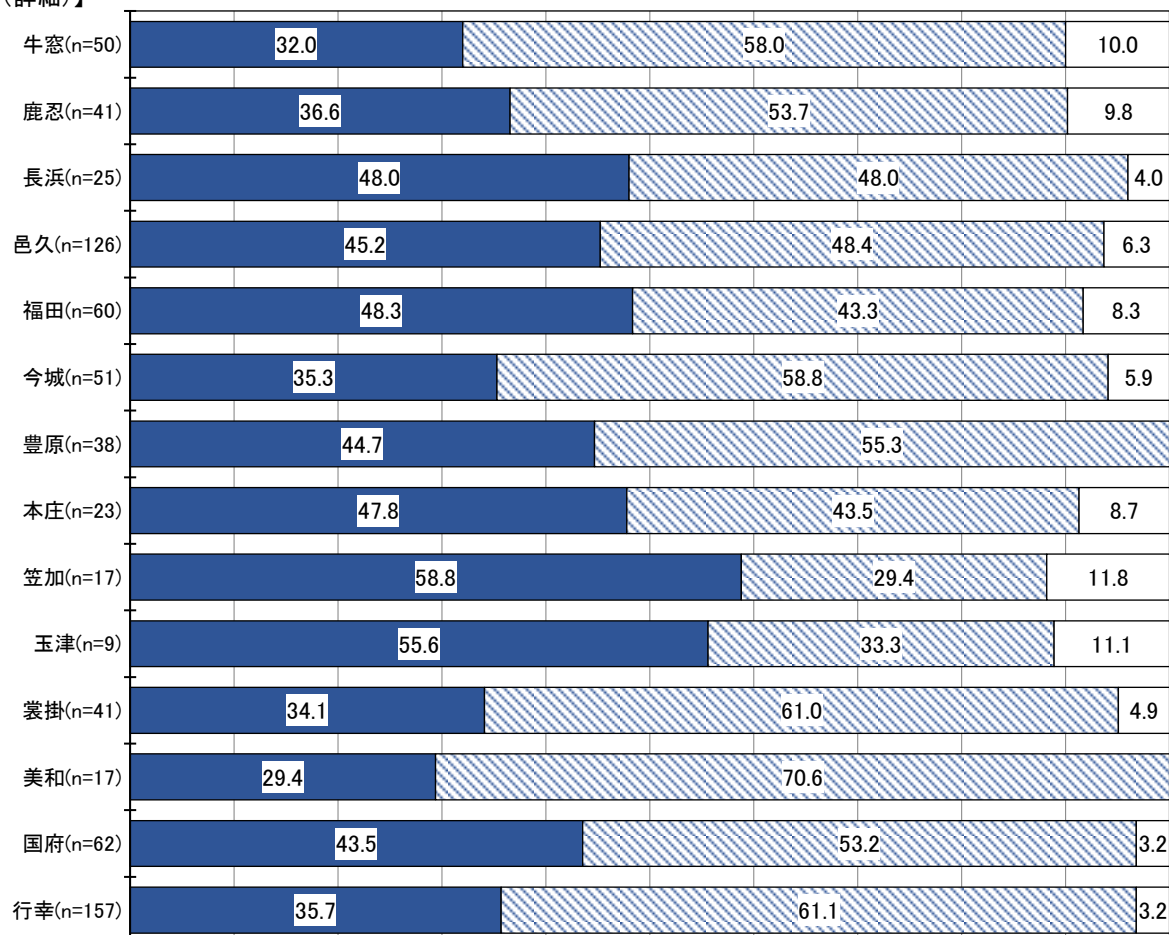


地域別でみると、「役立っている」は笠加などで高く、「役立っていない」は美和で高くなっています。

【凡例】



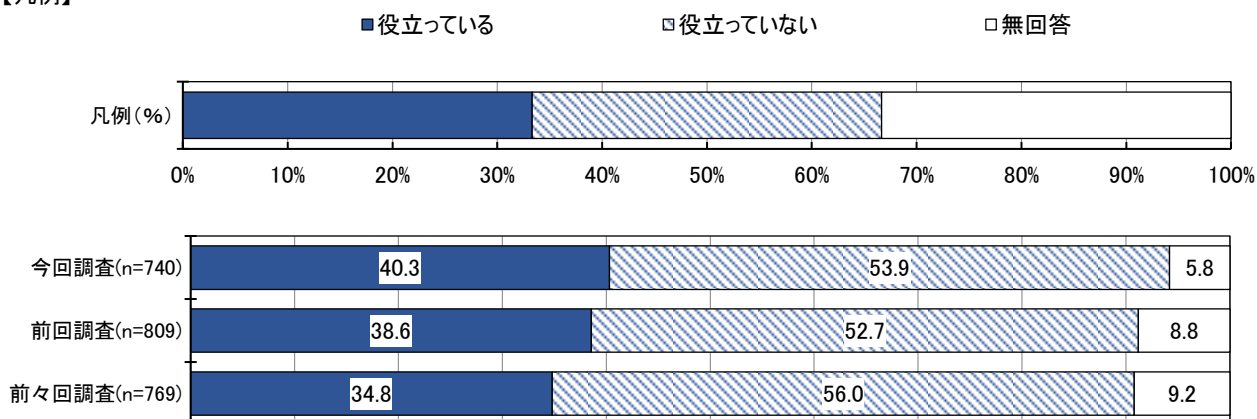
【地域（詳細）】



【過去三カ年の推移】

「役立っている」が経年で増加傾向にあります。

【凡例】



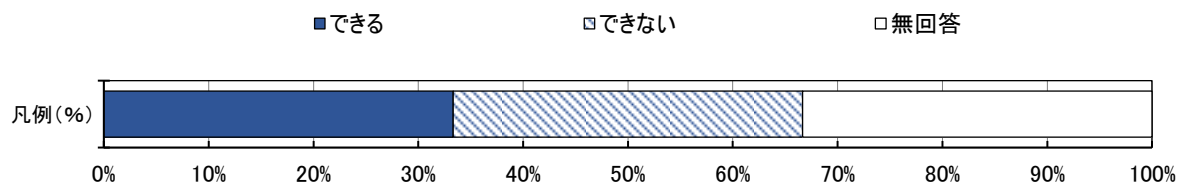
問2(31) あなたは、広報紙やホームページで必要な市の情報を手に入れることができますか

「できる」が65.8%を占めています。

性別では、大きな差はみられませんでした。

年齢別では、70歳以上で「できない」の割合が高くなっています。

【凡例】



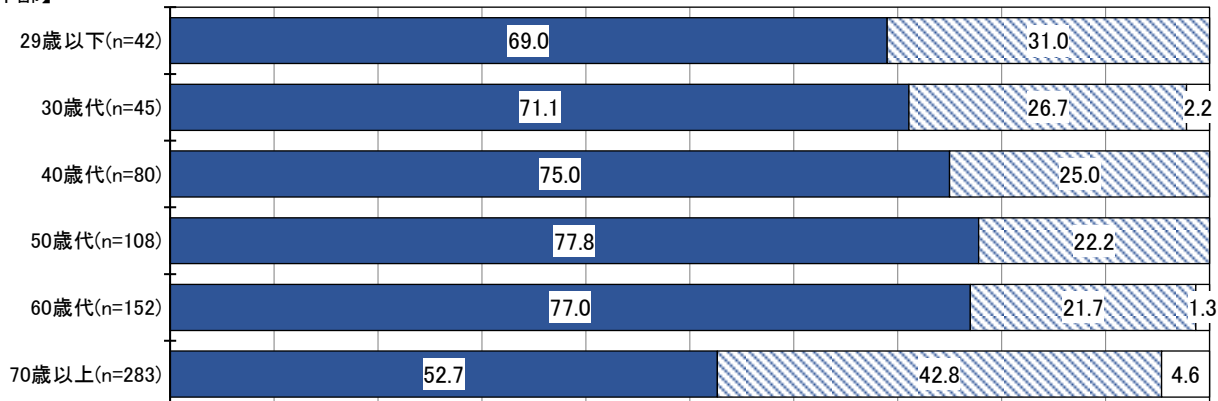
【全体】



【性別】

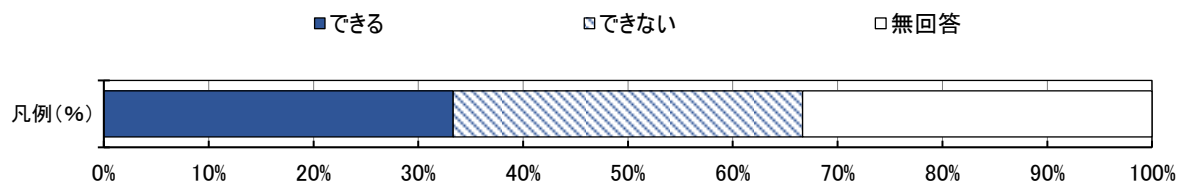


【年齢】



広報せとうち閲読状況別では、「読んでいる」と回答した層の約7割が「できる」と回答しています。
 本市ホームページ閲覧状況別では、「ある」と回答した層の約8割が「できる」と回答しています。
 インターネット活用率別では、「両方とも活用」と回答した層の約8割が「できる」と回答しています。

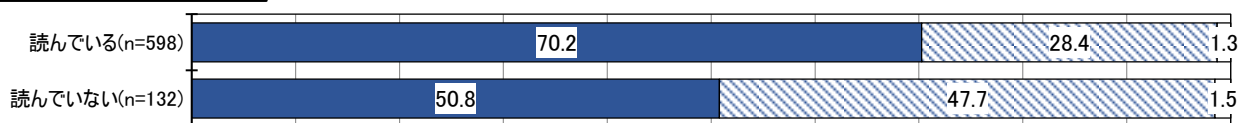
【凡例】



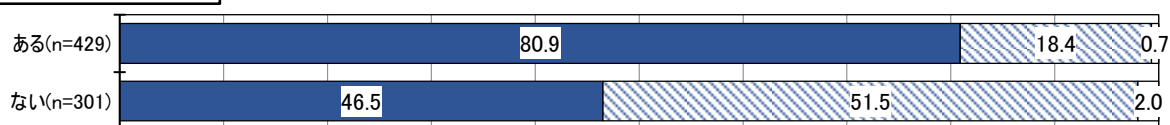
【全体】



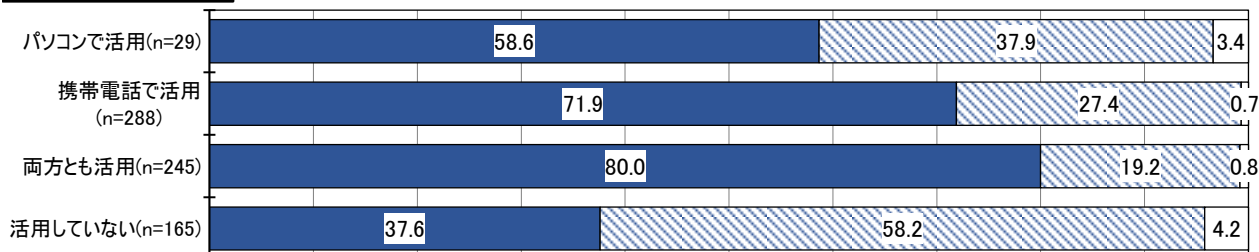
「広報せとうち」閲読状況別



本市ホームページ閲覧状況別

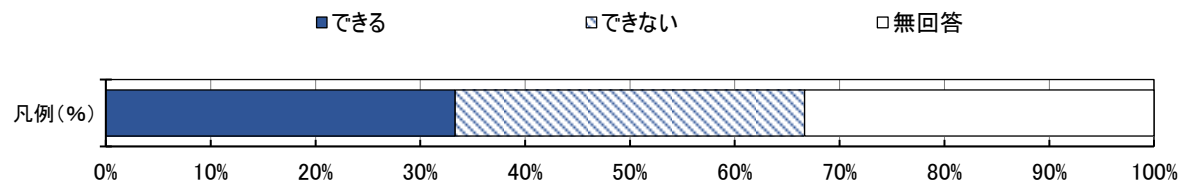


インターネット活用率別

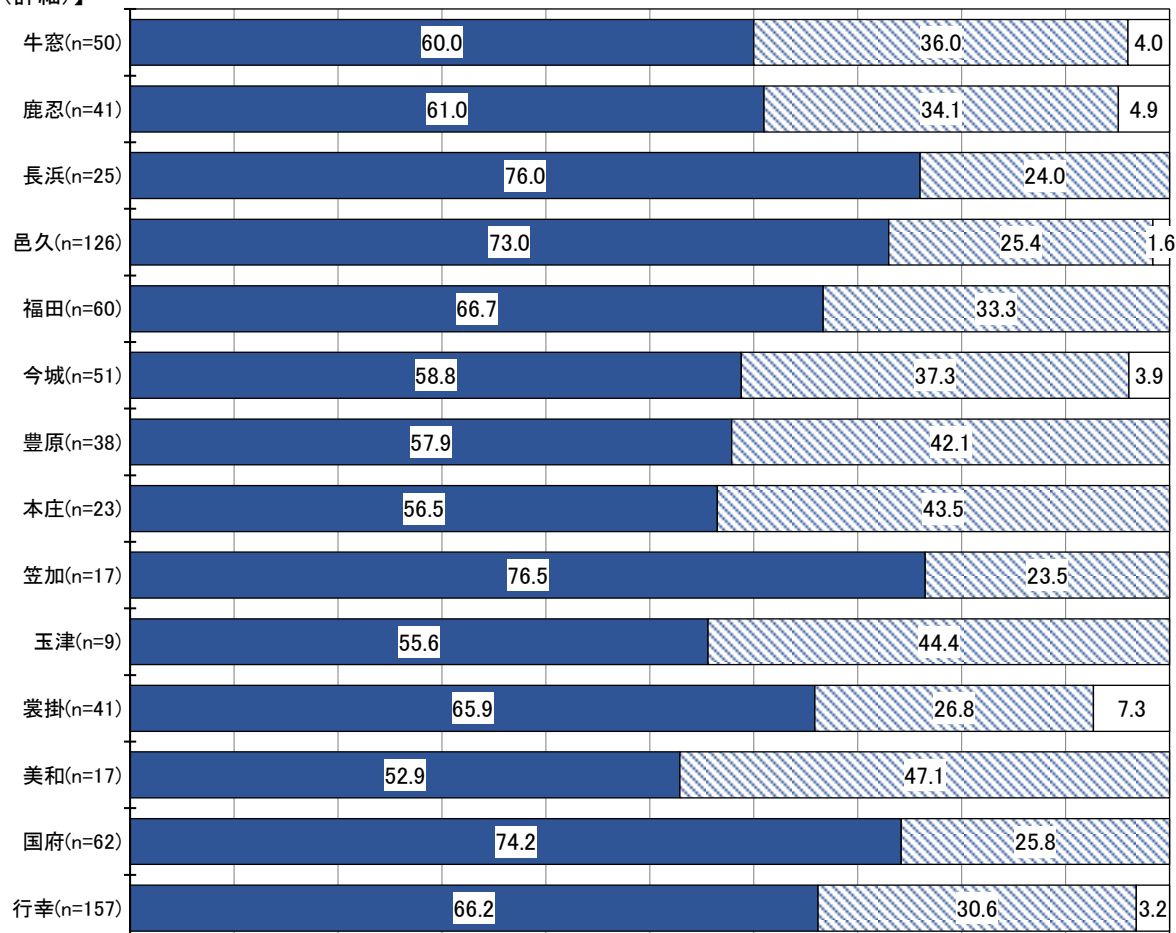


地域別でみると、「できる」は長浜、笠加などで高く、「できない」は美和で高くなっています。

【凡例】



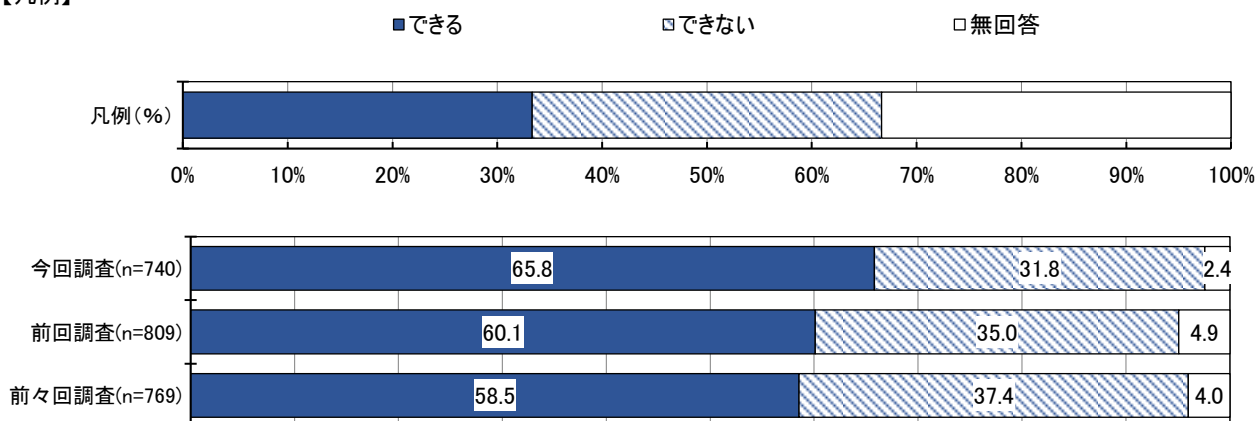
【地域（詳細）】



【過去三カ年の推移】

「できる」が経年で増加傾向にあります。

【凡例】



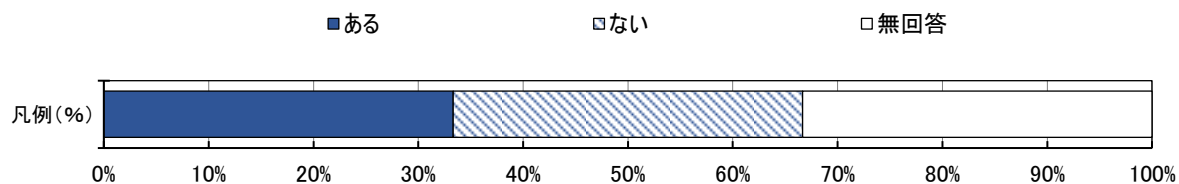
問2(32) あなたは、市政に関心がありますか

「ある」が62.8%を占めています。

性別では、大きな差はみられませんでした。

年齢別では、30歳代、70歳以上で「ある」の割合が高くなっています。

【凡例】



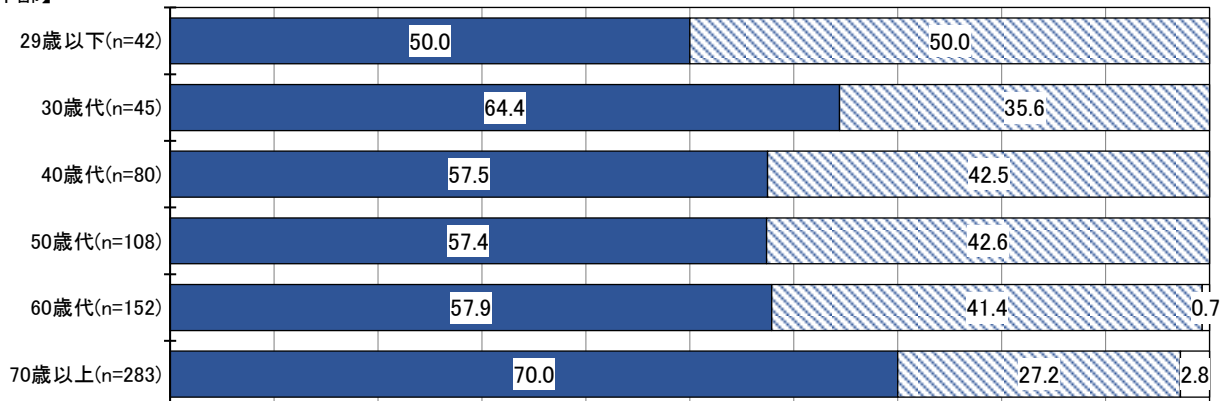
【全体】



【性別】

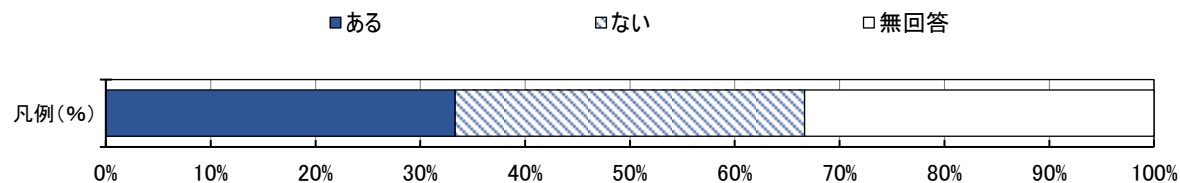


【年齢】

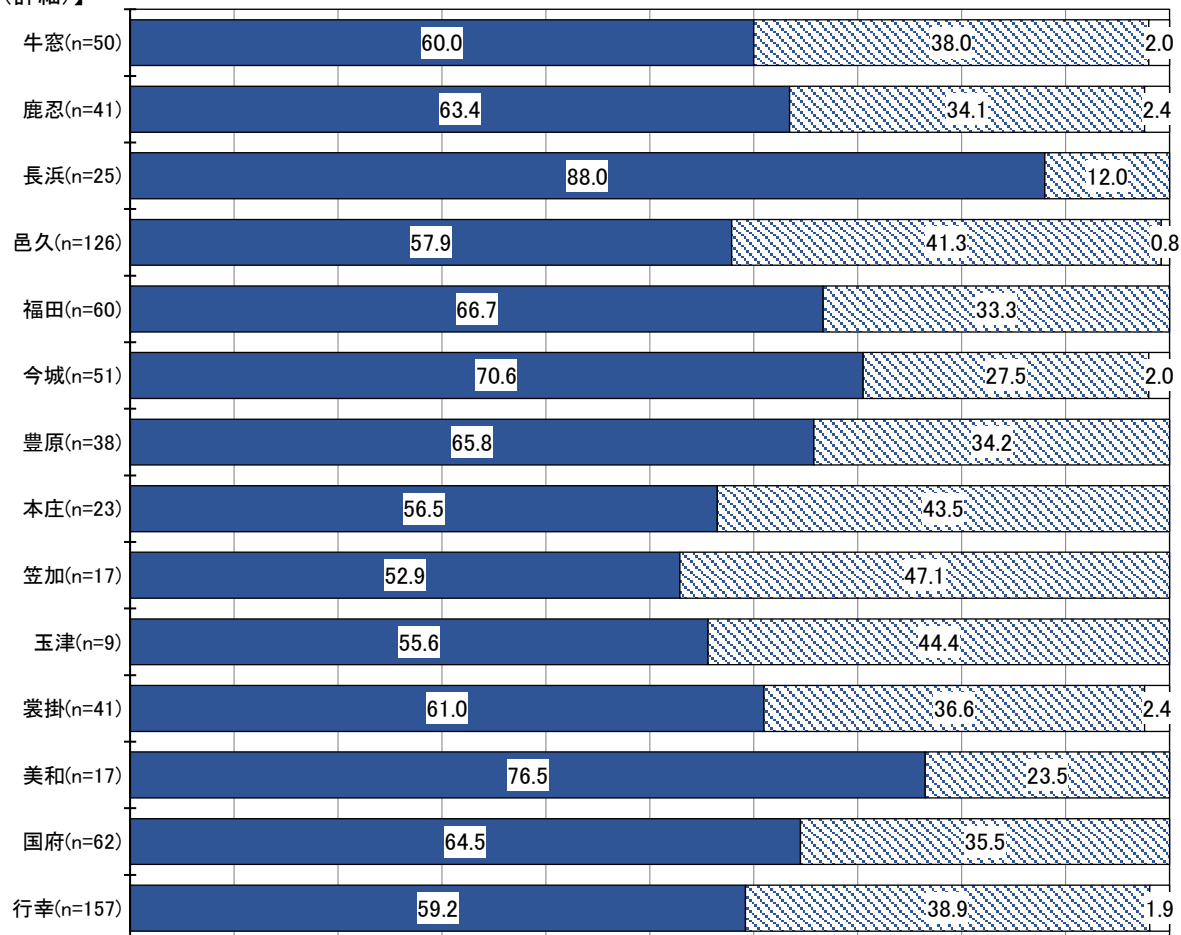


地域別でみると、「ある」は長浜で高く、「ない」は笠加で高くなっています。

【凡例】



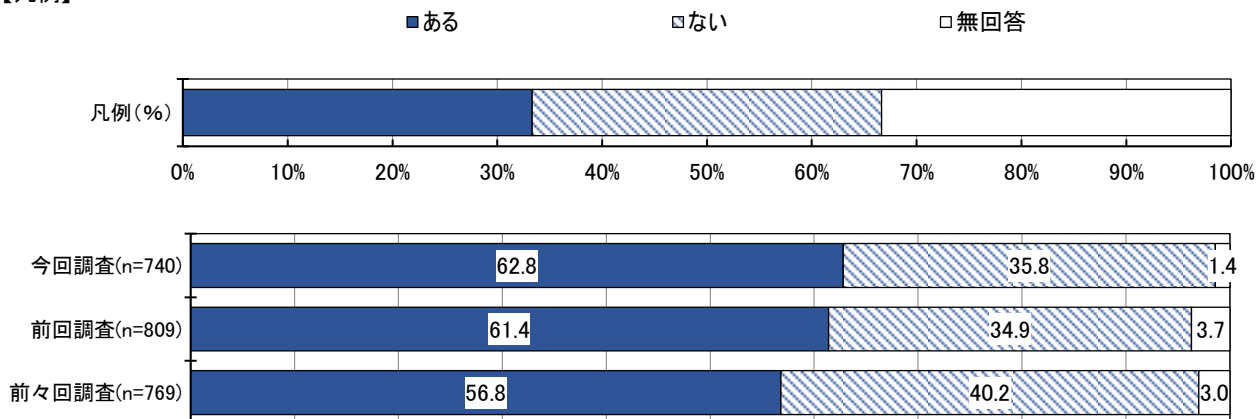
【地域(詳細)】



【過去三カ年の推移】

「ある」が経年で増加傾向にあります。

【凡例】



問2(33) 広報紙やホームページを通じて市の財政状況を公表していますが、あなたは、市の財政が改善されていると思いますか

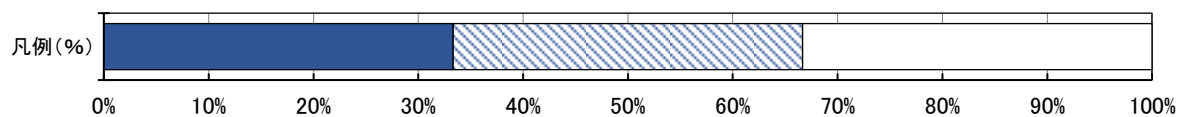
「そう思わない」が64.1%を占めています。

性別では、大きな差はみられませんでした。

年齢別では、60歳代で「そう思わない」の割合が高くなっています。

【凡例】

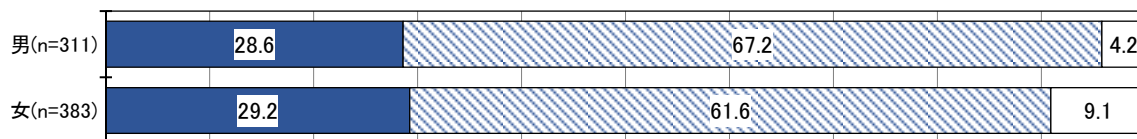
■ そう思う □ そう思わない □ 無回答



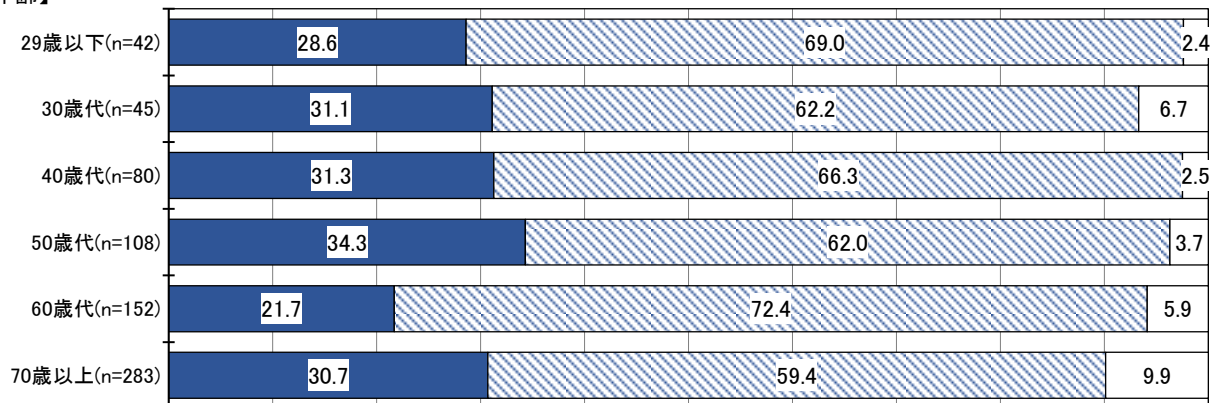
【全体】



【性別】

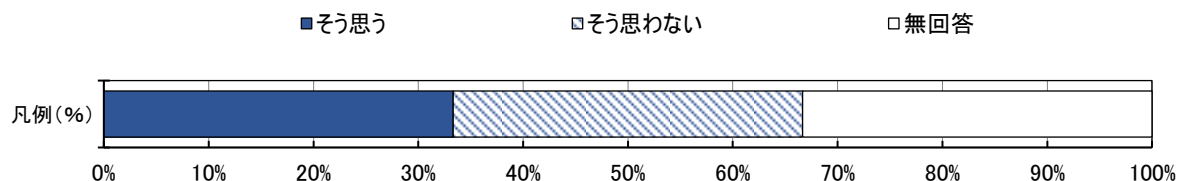


【年齢】



広報せとうち閲読状況別では、「読んでいる」と回答した層の約3割が「そう思う」と回答しています。
 本市ホームページ閲覧状況別では、「ある」と回答した層の約3割が「そう思う」と回答しています。
 インターネット活用率別では、「両方とも活用」と回答した層の約3割が「そう思う」と回答しています。

【凡例】



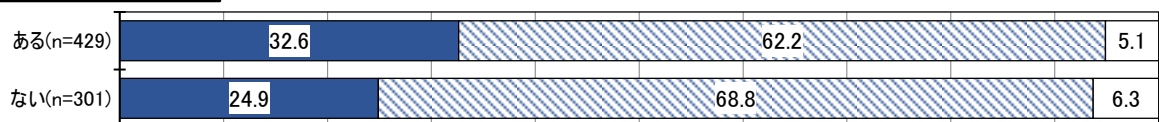
【全体】



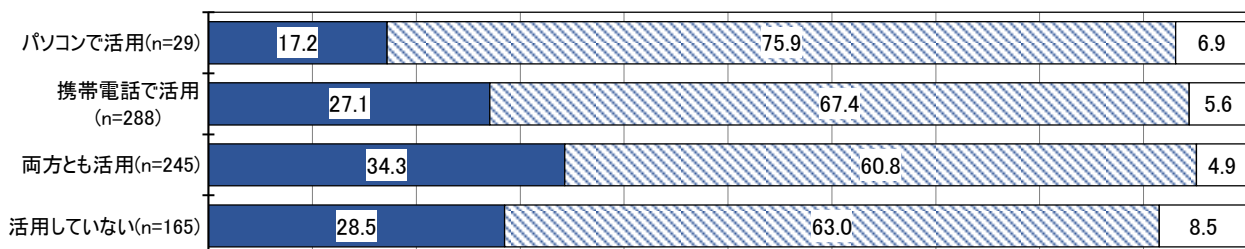
「広報せとうち」閲読状況別



本市ホームページ閲覧状況別

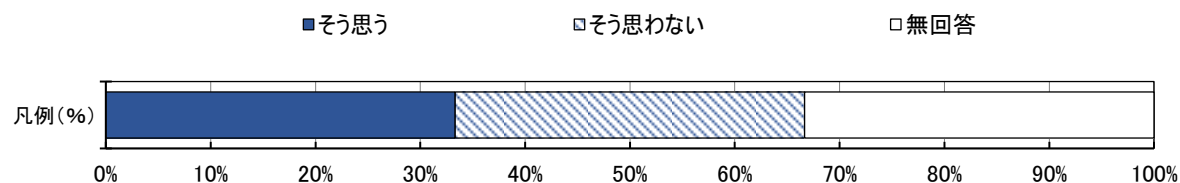


インターネット活用率別

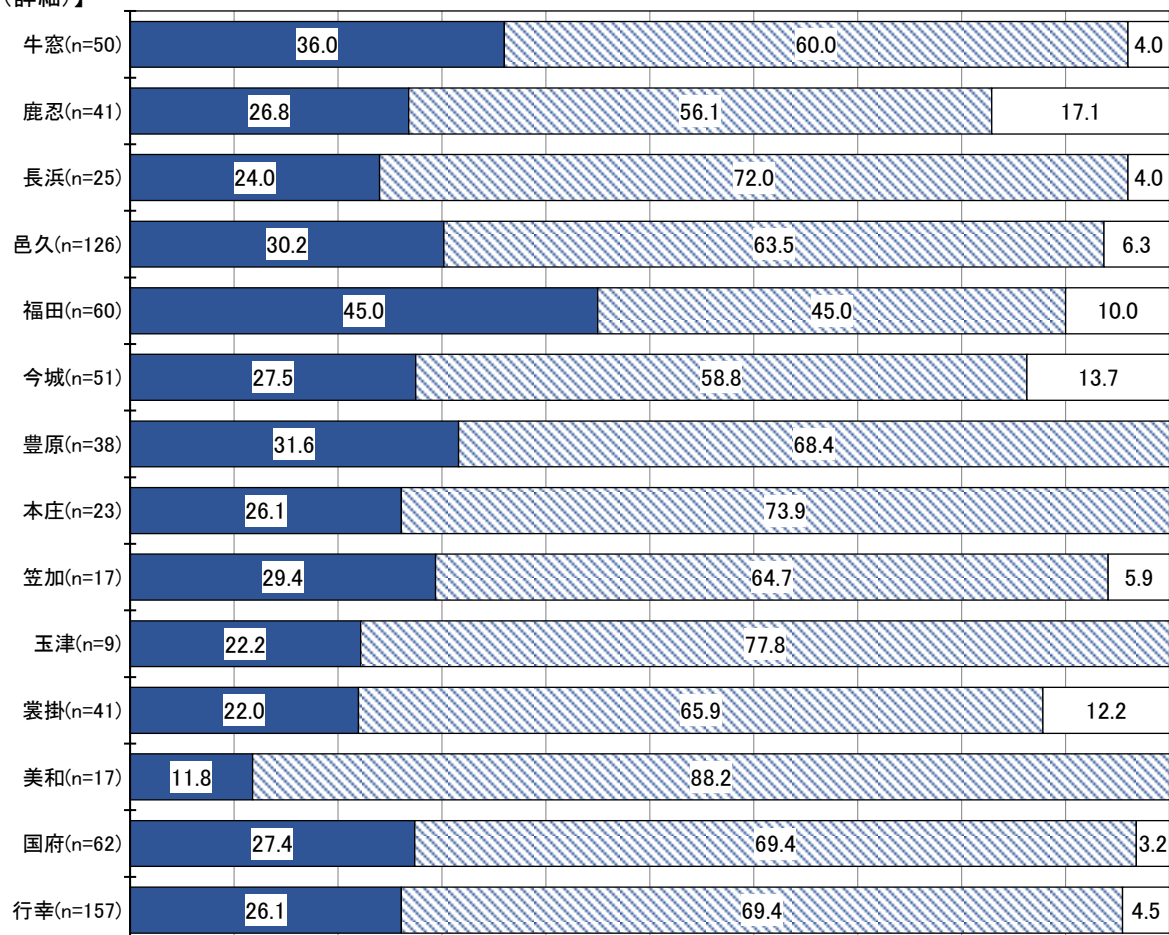


地域別でみると、「そう思う」は福田で高く、「そう思わない」は美和で高くなっています。

【凡例】



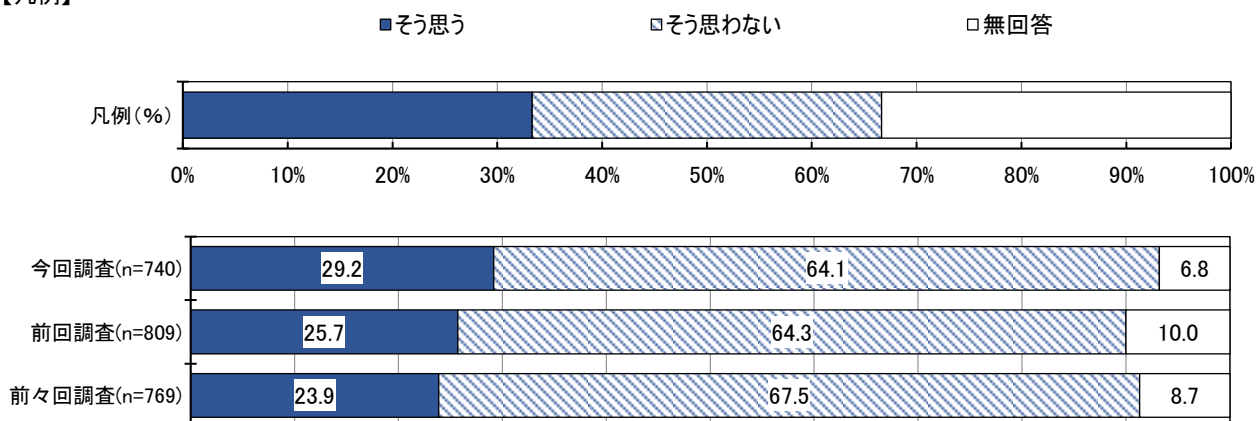
【地域（詳細）】



【過去三カ年の推移】

「そう思う」が経年で増加傾向にあります。

【凡例】



問2(34) あなたは、市役所が行うまちづくりの取り組みについて満足していますか。

「満足していない」が60.0%を占めています。

性別では、大きな差はみられませんでした。

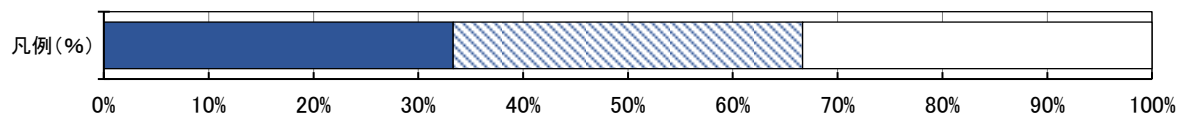
年齢別では、60歳代で「満足していない」の割合が高くなっています。

【凡例】

■ 満足している

▨ 満足していない

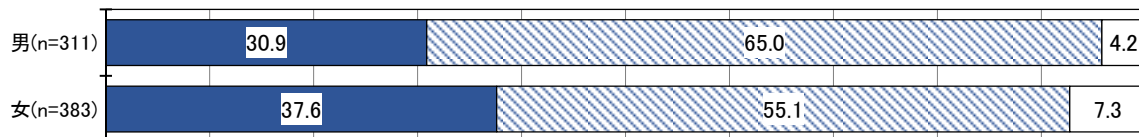
□ 無回答



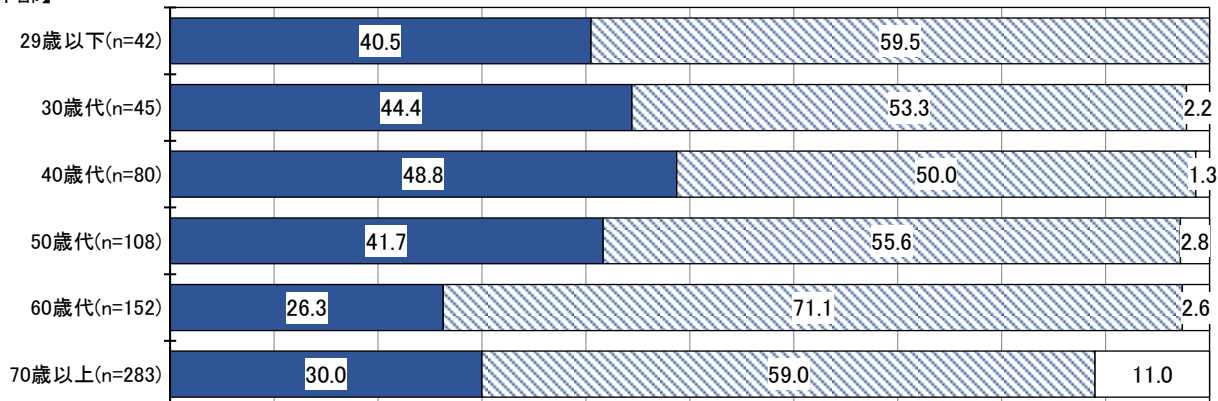
【全体】



【性別】

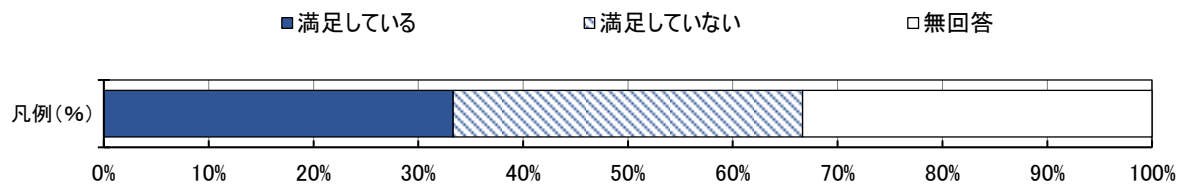


【年齢】



居住年数別では、「1年以上5年未満」の層で約5割が「満足している」と回答しています。

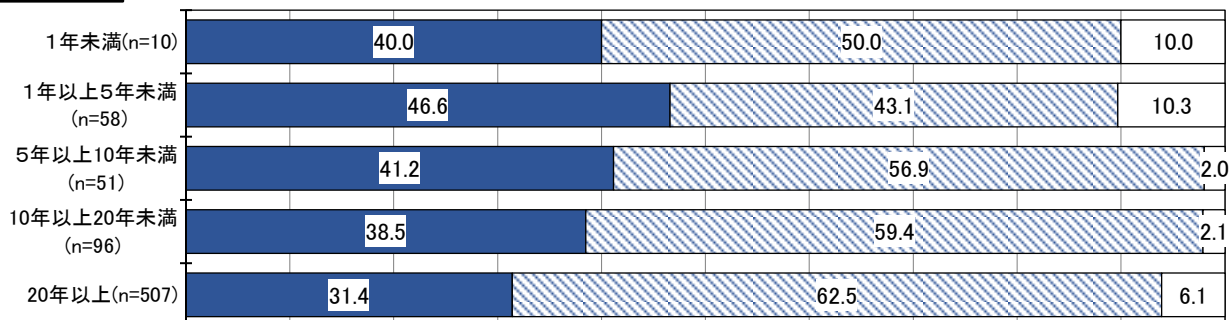
【凡例】



【全体】

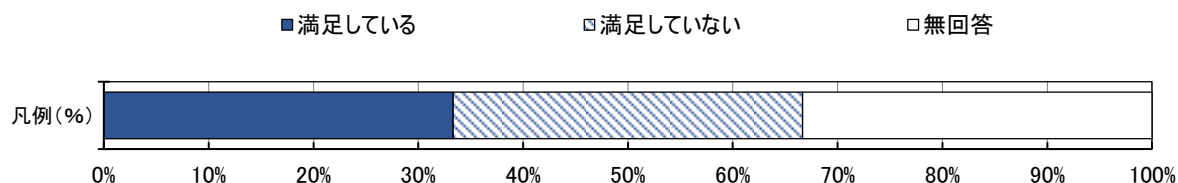


居住年数別

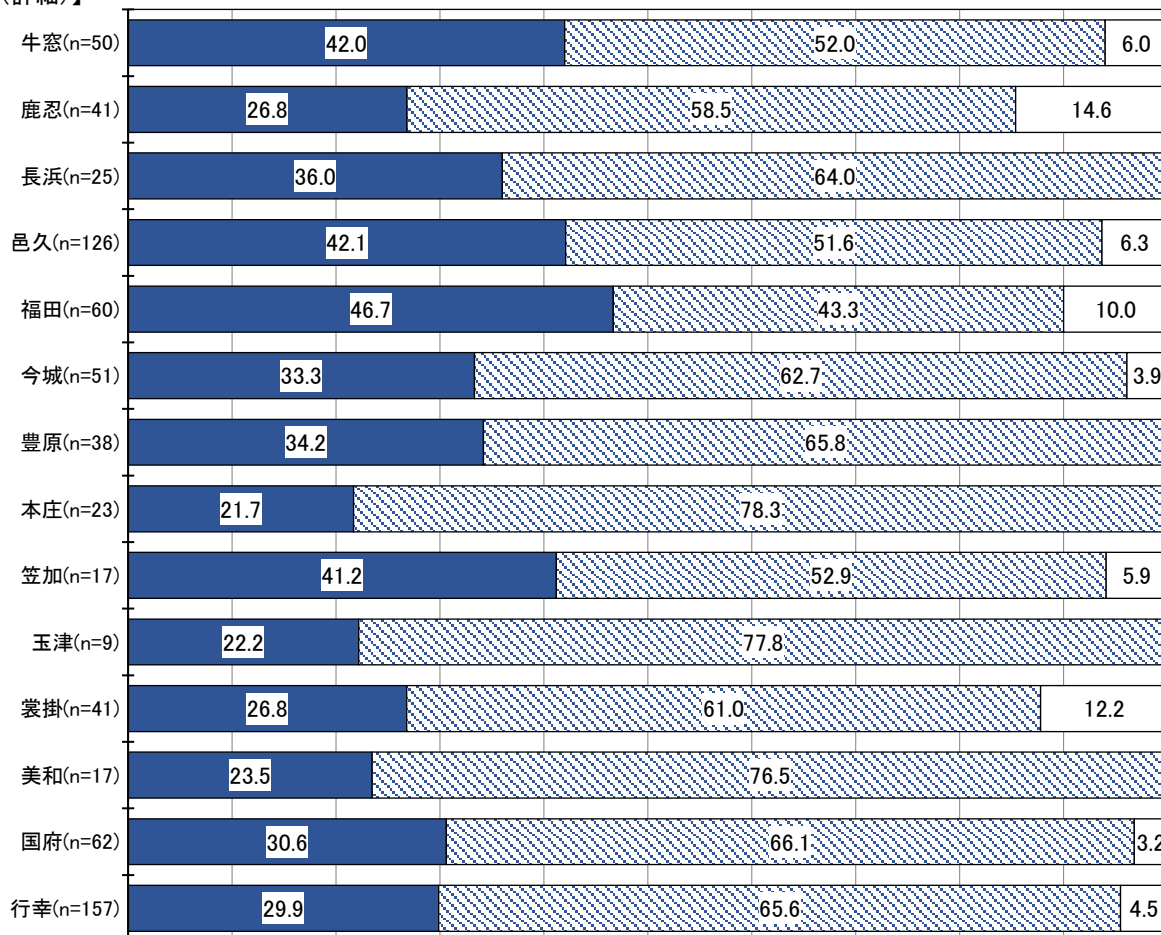


地域別でみると、「満足している」は邑久、福田などで高く、「満足していない」は本庄、玉津などで高くなっています。

【凡例】



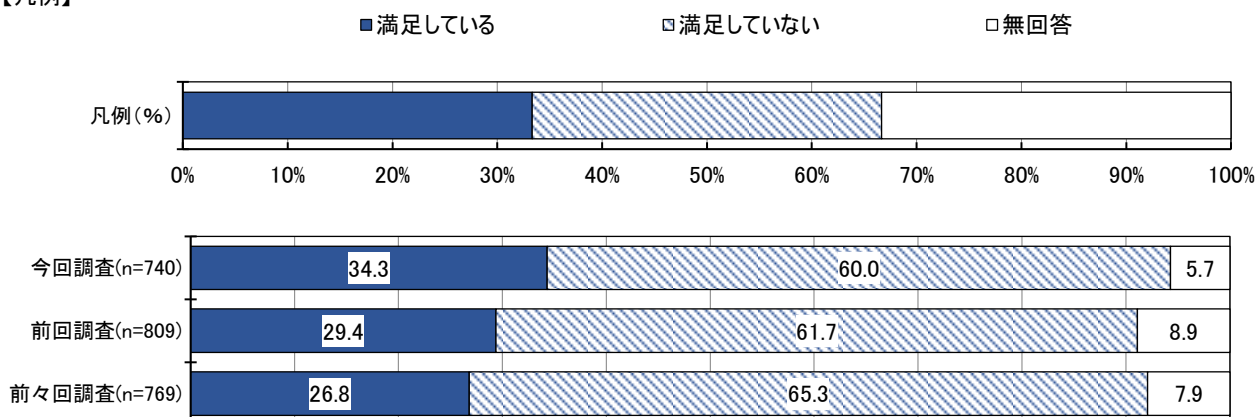
【地域(詳細)】



【過去三カ年の推移】

「満足している」が経年で増加傾向にあります。

【凡例】



問2(35) あなたは、自治会などでの地域コミュニティ活動に参加していますか

「参加している」が51.5%を占めています。

性別では、男性が女性に比べ「参加している」の割合が高くなっています。

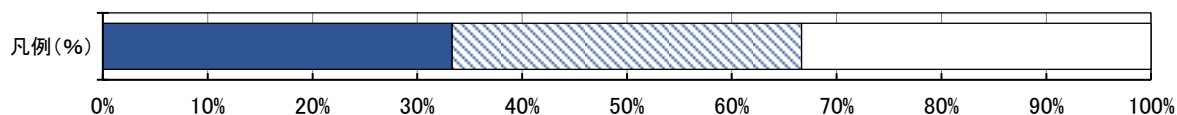
年齢別では、年齢が上がるほど「参加している」の割合が高くなっており、29歳以下では約7割が「参加していない」となっています。

【凡例】

■参加している

▨参加していない

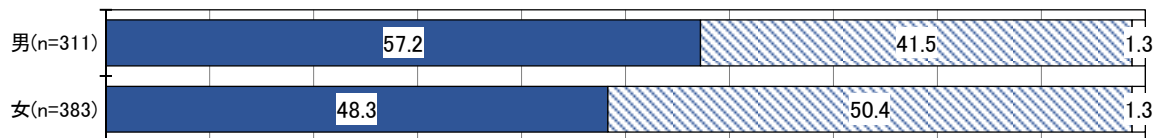
□無回答



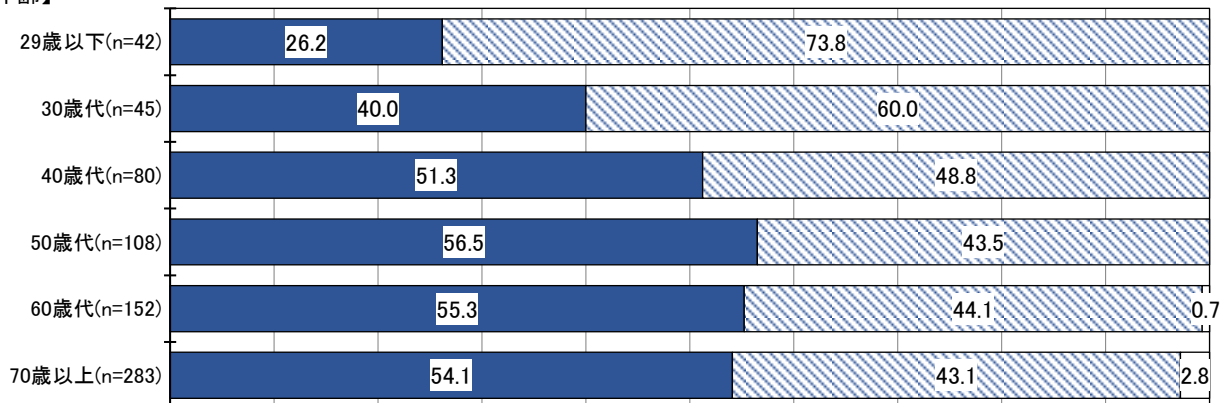
【全体】



【性別】



【年齢】



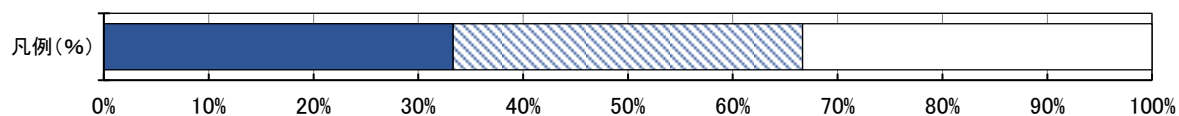
地域を改善していけるまち実感度別では、「まあそう思う」と回答した層の約6割が「参加している」と回答しています。

【凡例】

■参加している

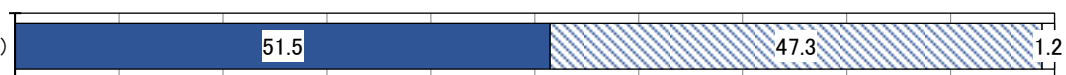
▨参加していない

□無回答

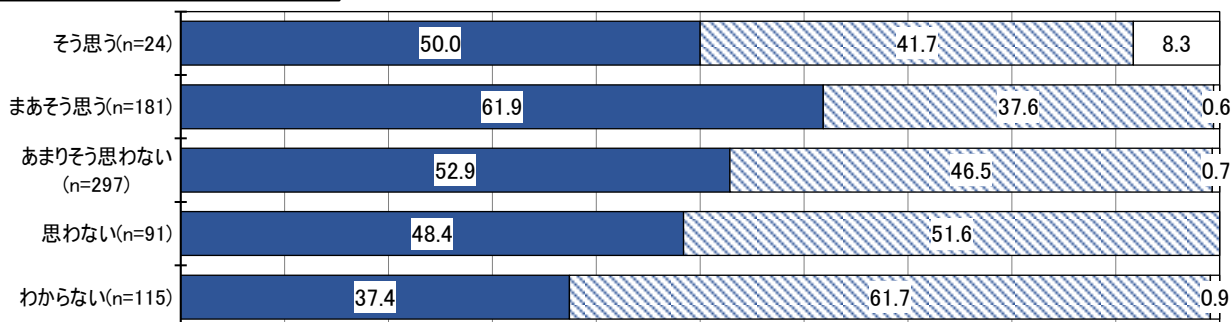


【全体】

全体(n=740)

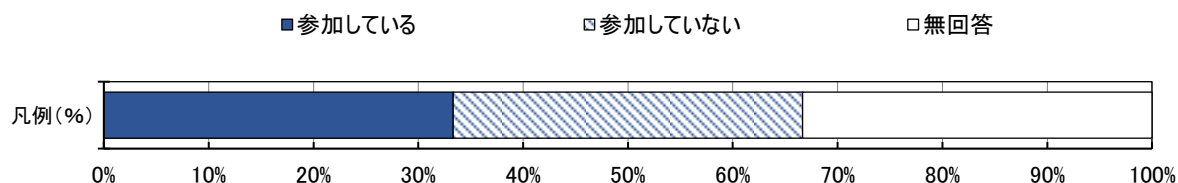


地域を改善していけるまち実感度別

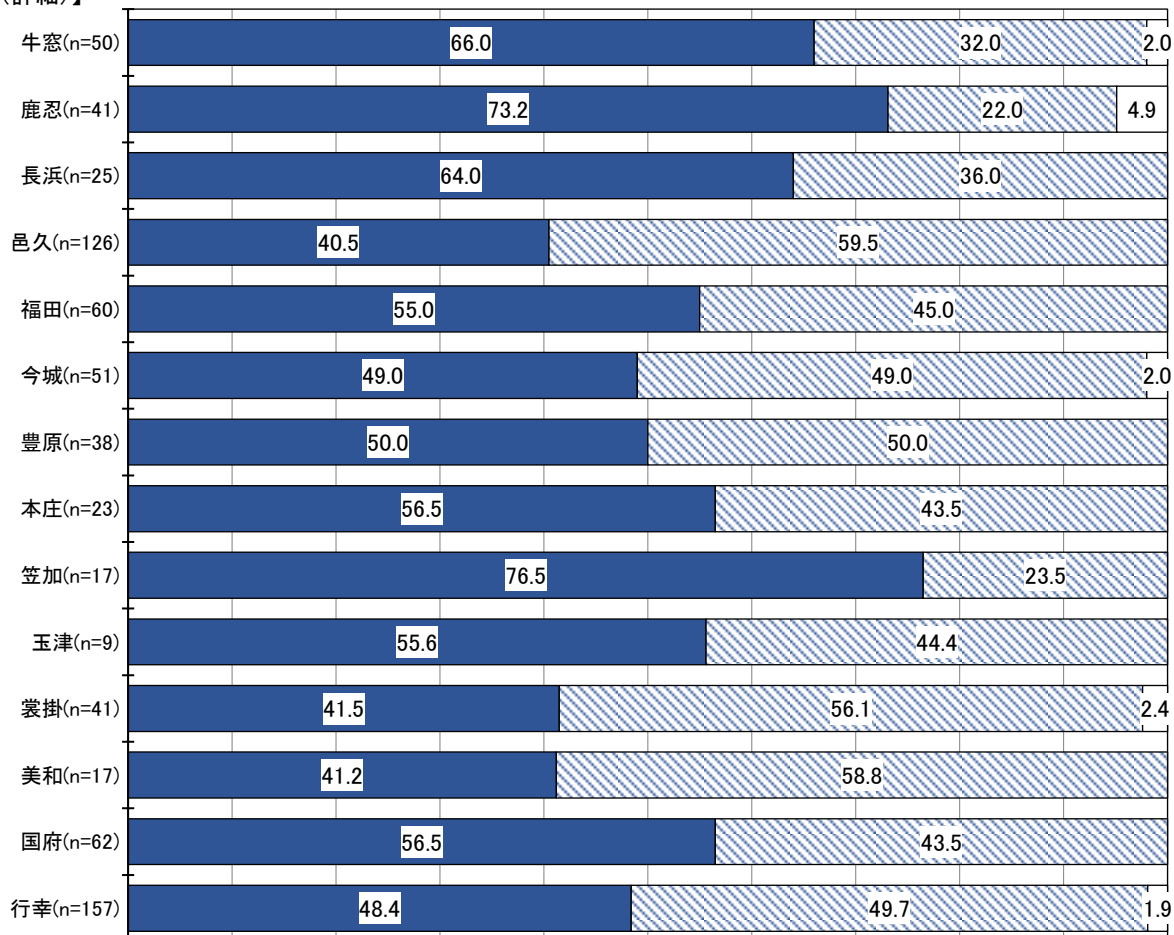


地域別でみると、「参加している」は鹿忍、笠加などで高く、「参加していない」は邑久、美和などで高くなっています。

【凡例】



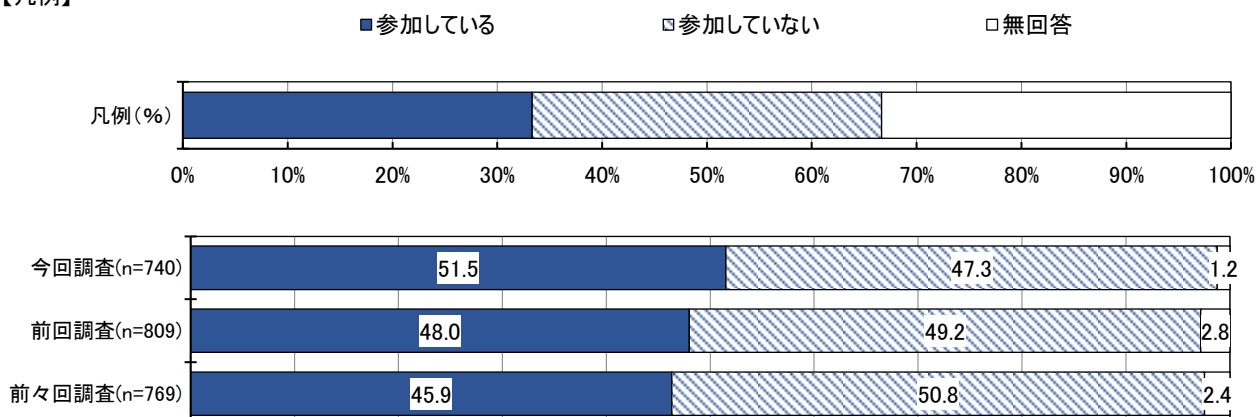
【地域(詳細)】



【過去三カ年の推移】

「参加している」が経年でやや増加傾向にあります。

【凡例】



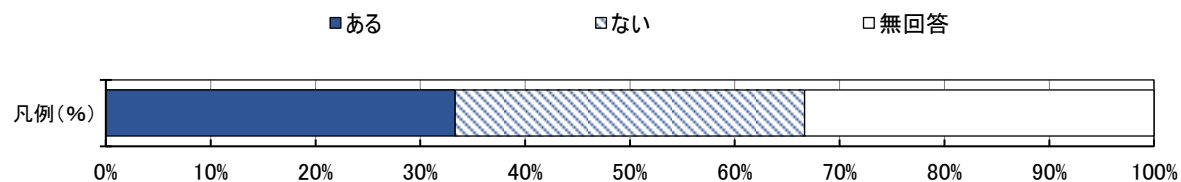
問2(36) あなたは、過去1年間にボランティア、NP0活動に参加したことがありますか

「ない」が81.8%を占めています。

性別では、大きな差はみられませんでした。

年齢別では、40歳代で「ない」の割合が高くなっています。

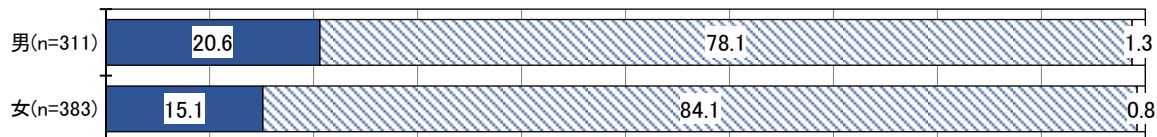
【凡例】



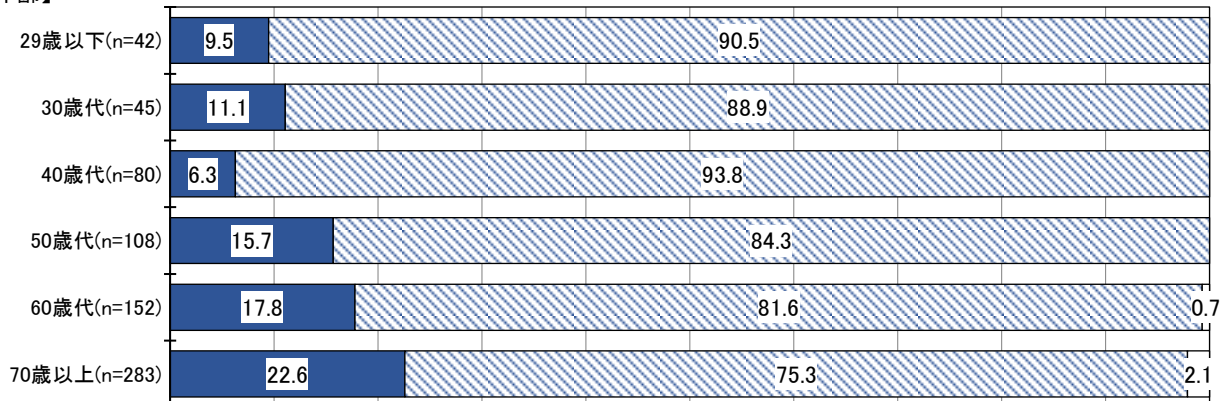
【全体】



【性別】

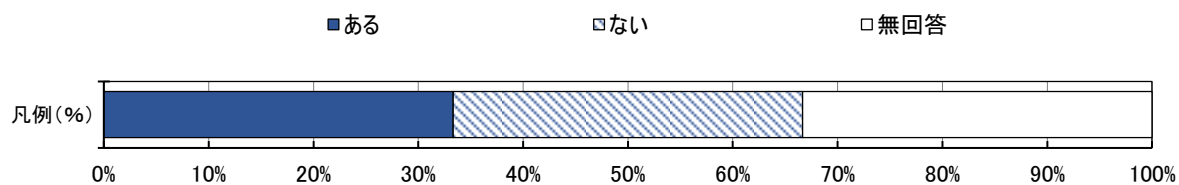


【年齢】



地域を改善していけるまち実感度別では、「そう思う」の層で約3割が「ある」と回答しています。

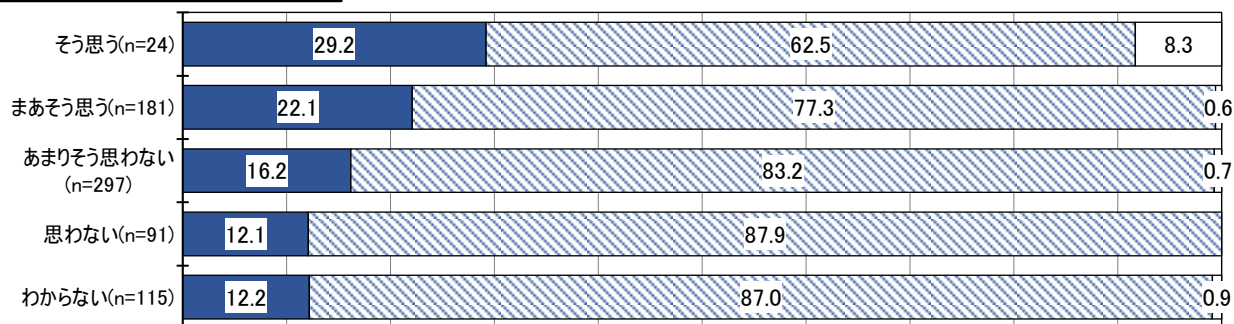
【凡例】



【全体】

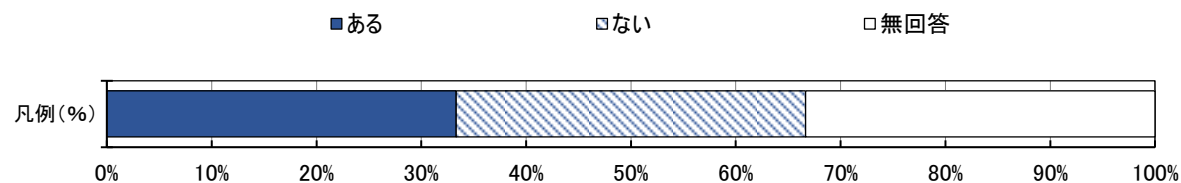


地域を改善していけるまち実感度別

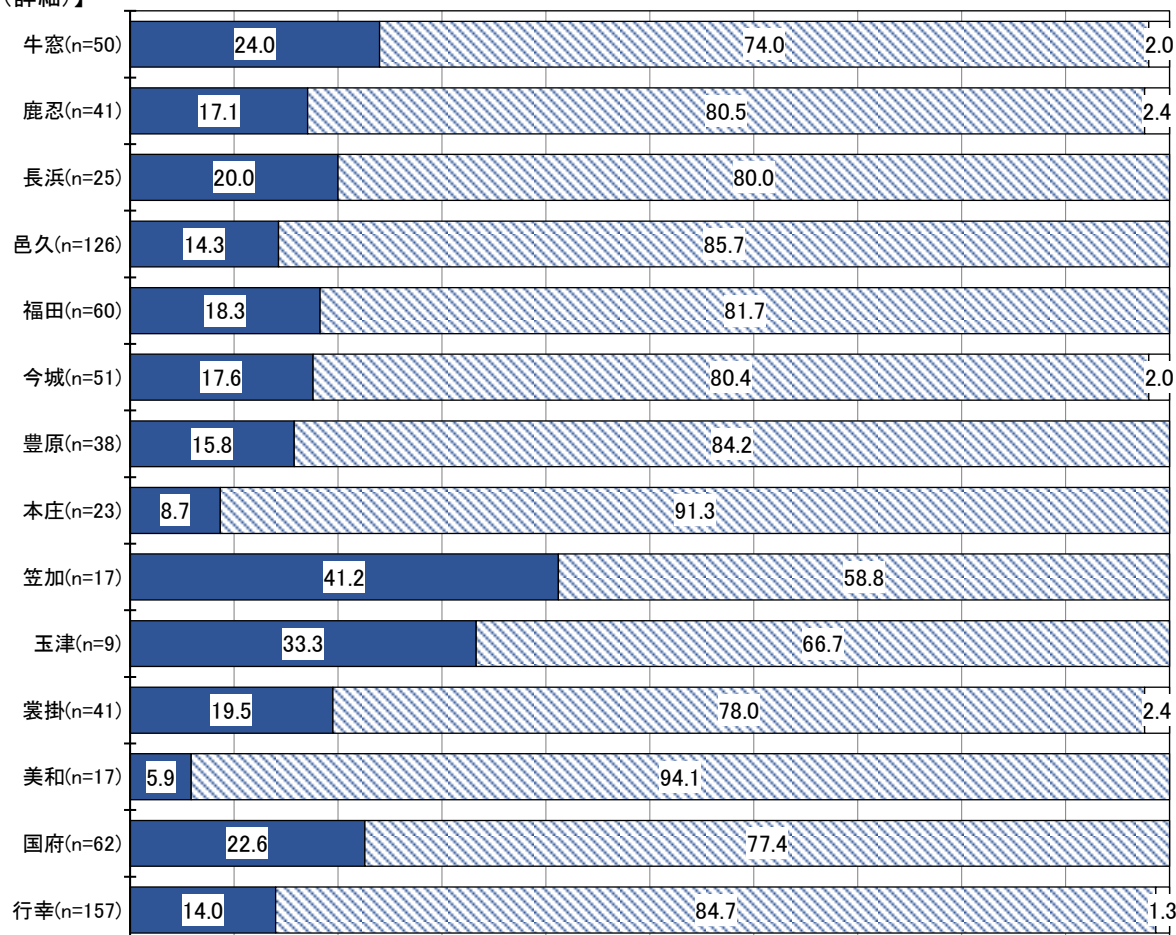


地域別でみると、「ある」は笠加で高く、「ない」は本庄、美和で高くなっています。

【凡例】



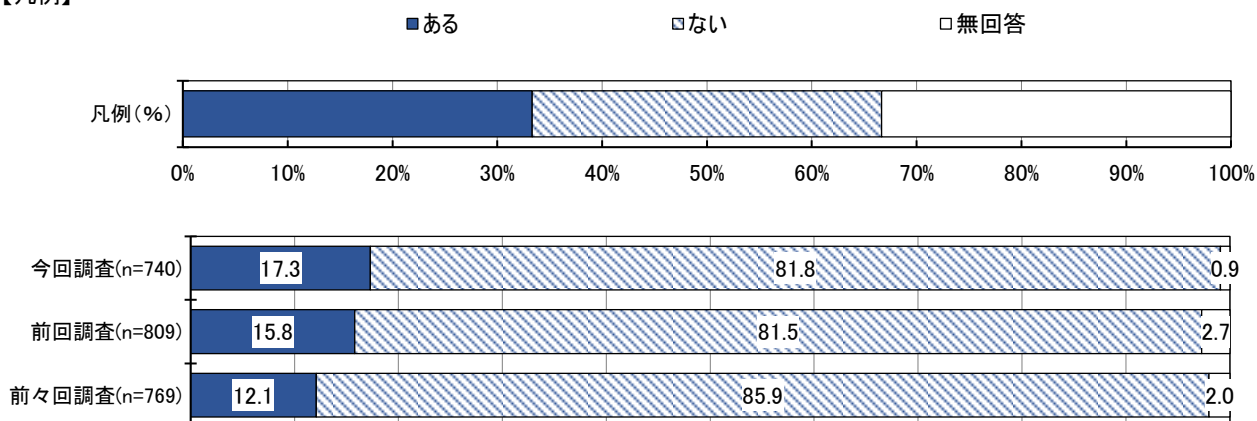
【地域（詳細）】



【過去三カ年の推移】

「ある」が経年でやや増加傾向にあります。

【凡例】



問2(37) あなたは、SDGs（持続可能な開発目標）について知っていますか

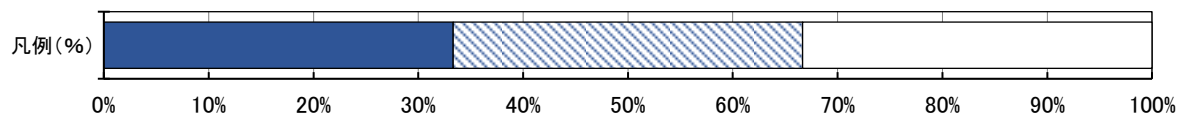
「知っている」が60.3%を占めています。

性別では、大きな差はみられませんでした。

年齢別では、若い年齢層ほど「知っている」の割合が高くなっています。

【凡例】

■ 知っている □ 知らない □ 無回答



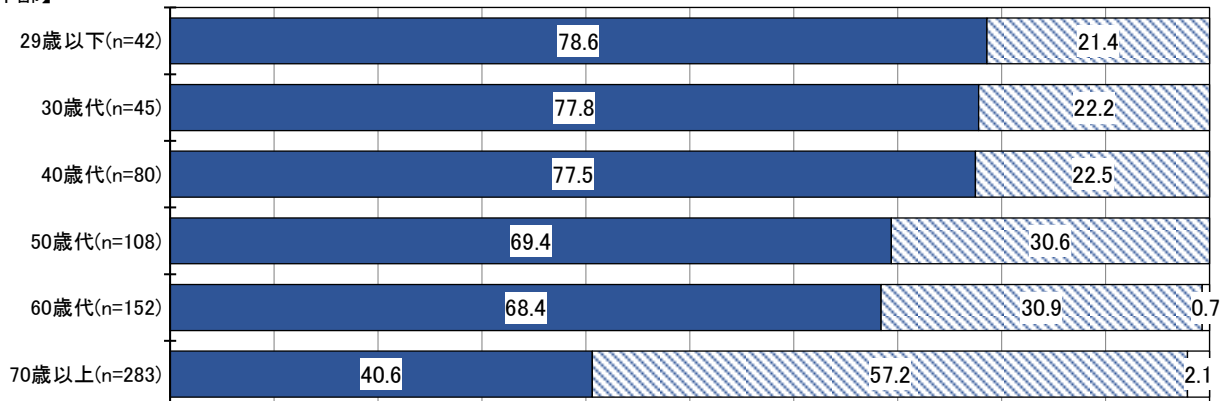
【全体】



【性別】

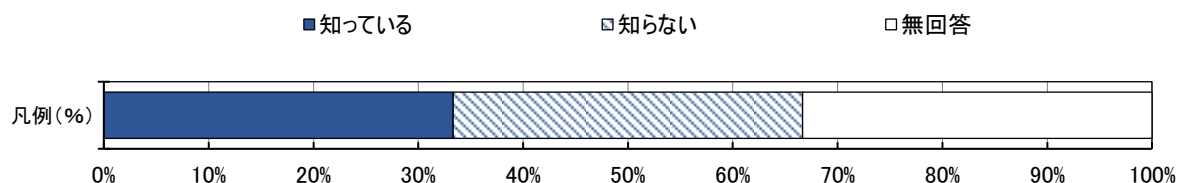


【年齢】

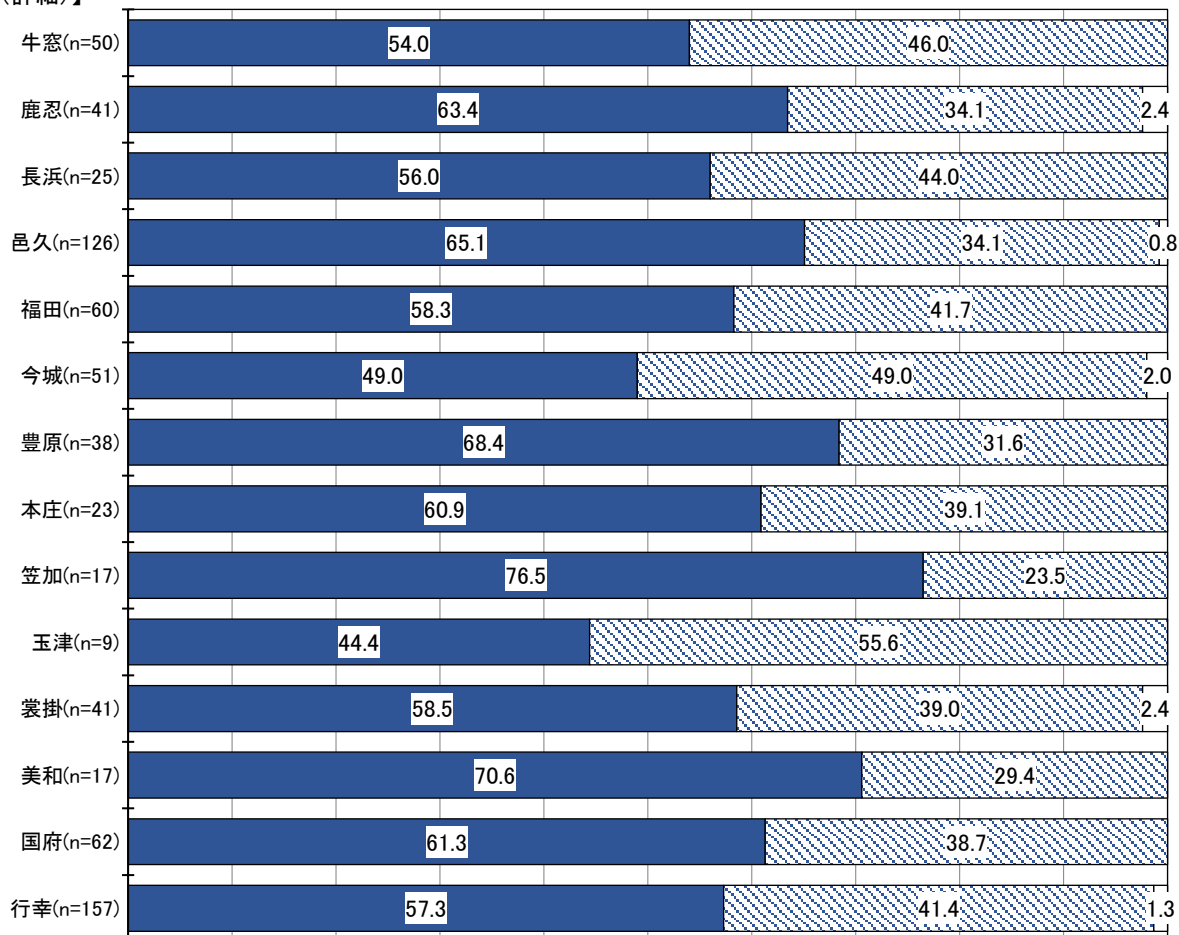


地域別でみると、「知っている」は笠加、美和などで高く、「知らない」は今城、玉津で高くなっています。

【凡例】



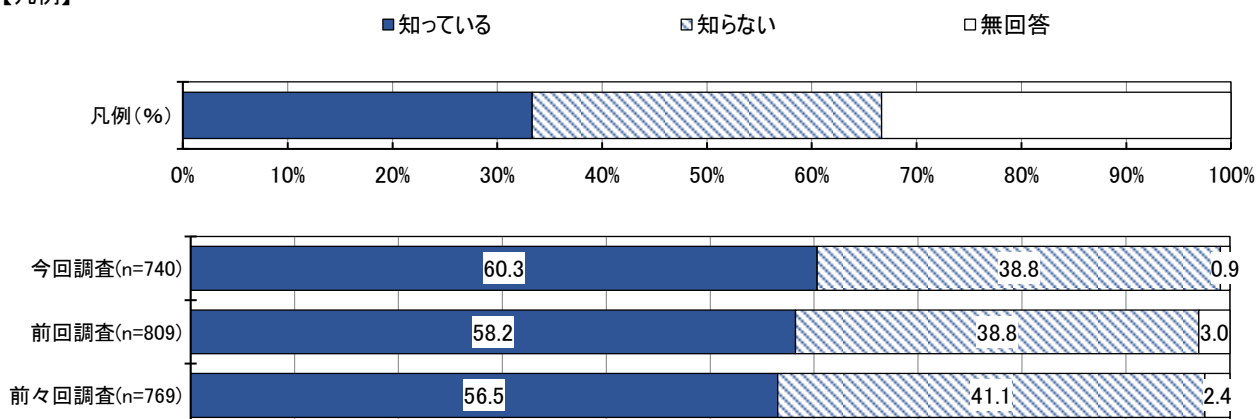
【地域(詳細)】



【過去三カ年の推移】

「知っている」が経年でやや増加傾向にあります。

【凡例】



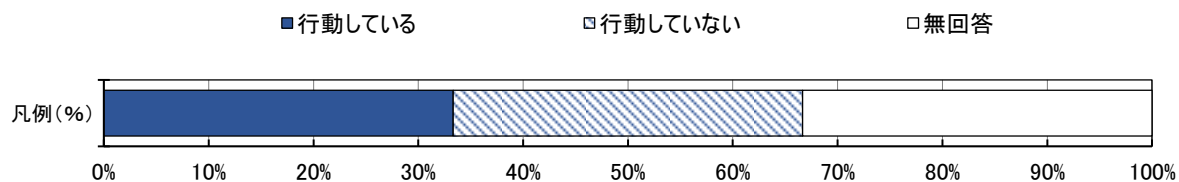
問2(38) あなたは、SDGsの目標達成のために何らかの行動をしていますか

「行動していない」が64.7%を占めています。

性別では、男性が女性に比べ「行動していない」の割合が高くなっています。

年齢別では、50歳代で「行動している」の割合が高くなっています。

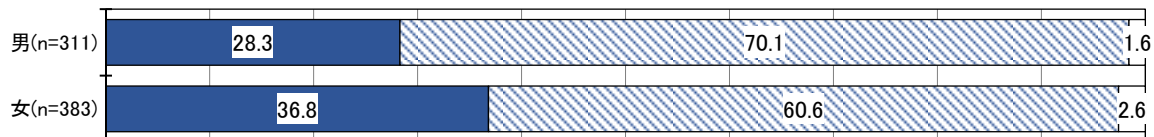
【凡例】



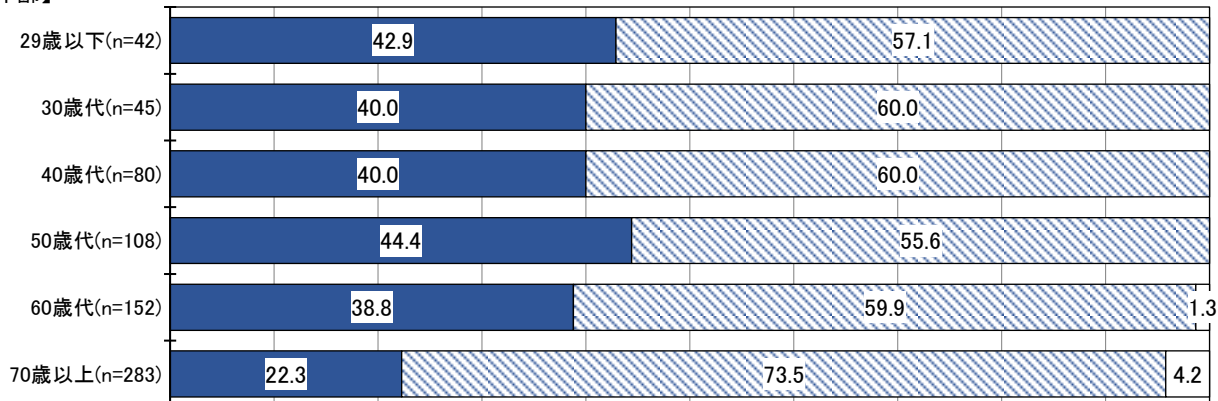
【全体】



【性別】

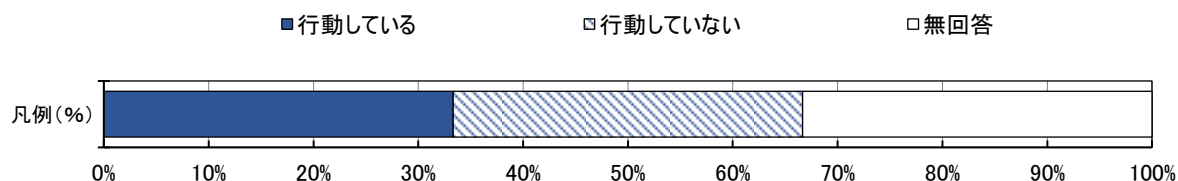


【年齢】

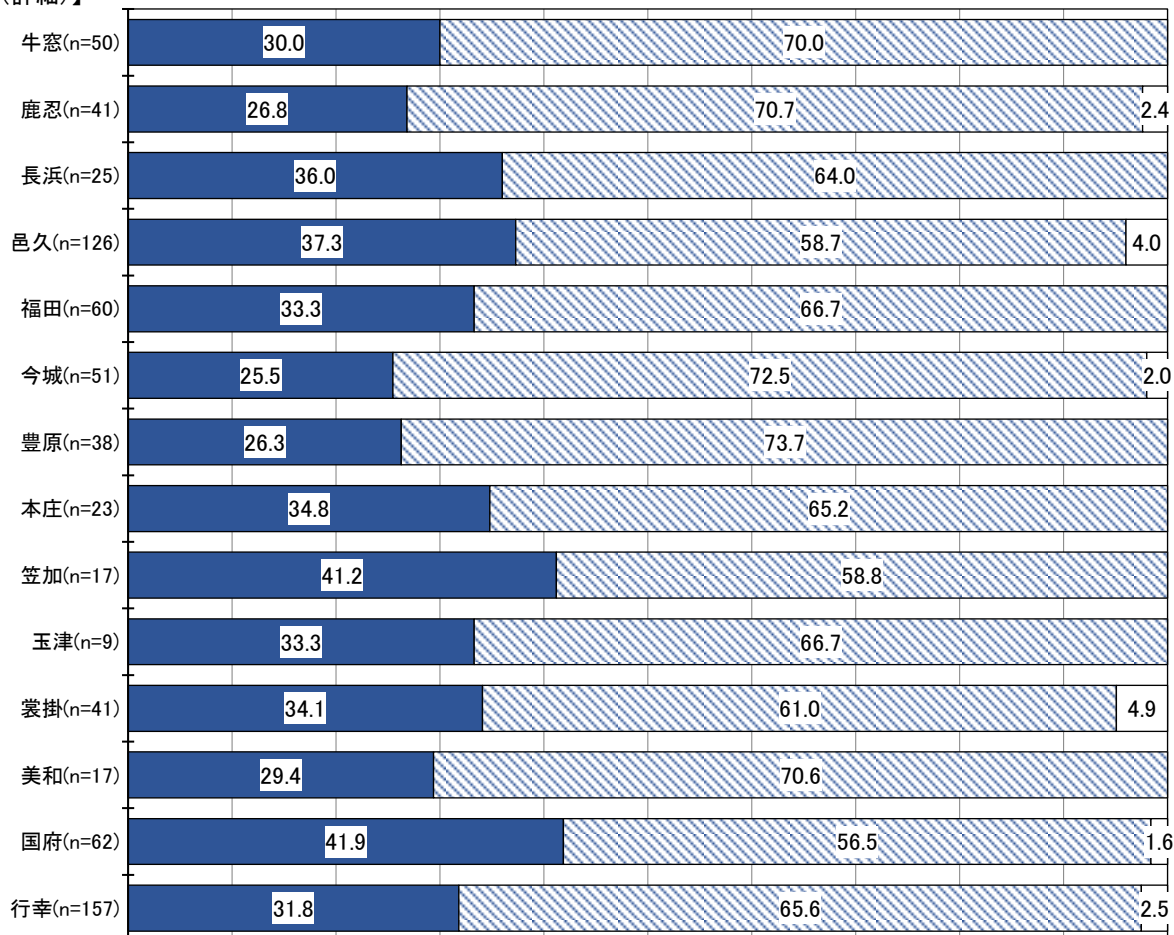


地域別でみると、「行動している」は笠加、国府などで高く、「行動していない」は今城、豊原などで高くなっています。

【凡例】



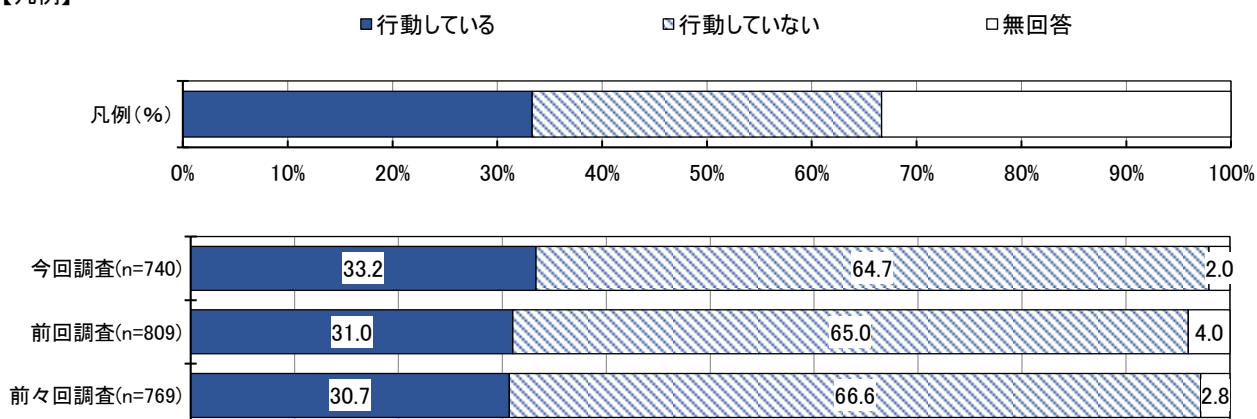
【地域(詳細)】



【過去三カ年の推移】

「行動している」が経年でやや増加傾向にあります。

【凡例】



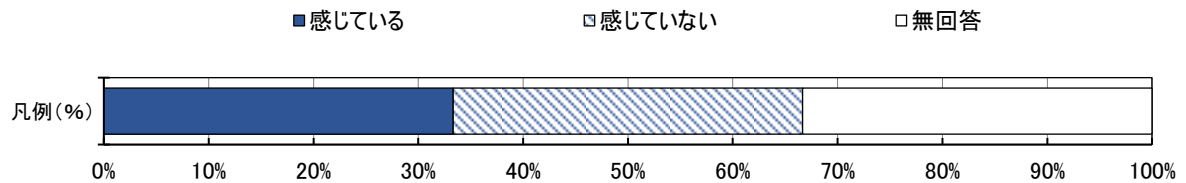
問2(39) あなたは、性的少数者に対して市民の関心が高まっていると感じますか

「感じていない」が81.4%を占めています。

性別では、大きな差はみられませんでした。

年齢別では、29歳以下で「感じている」の割合が高くなっています。

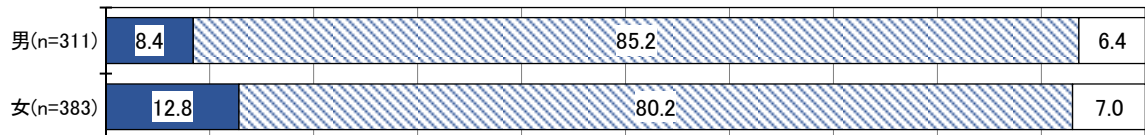
【凡例】



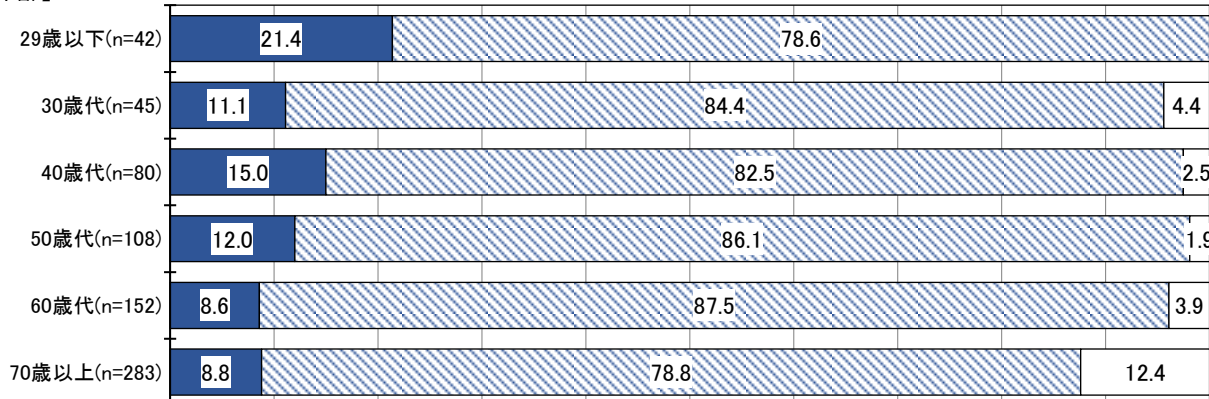
【全体】



【性別】

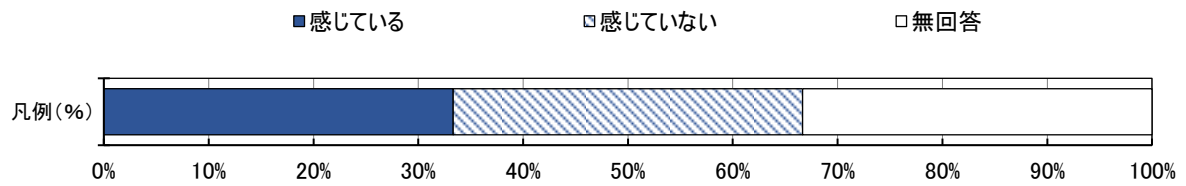


【年齢】



人権が尊重されるまち実感度別では、実感がある(「そう思う」)ほど、「感じている」と回答した割合が高くなっています。

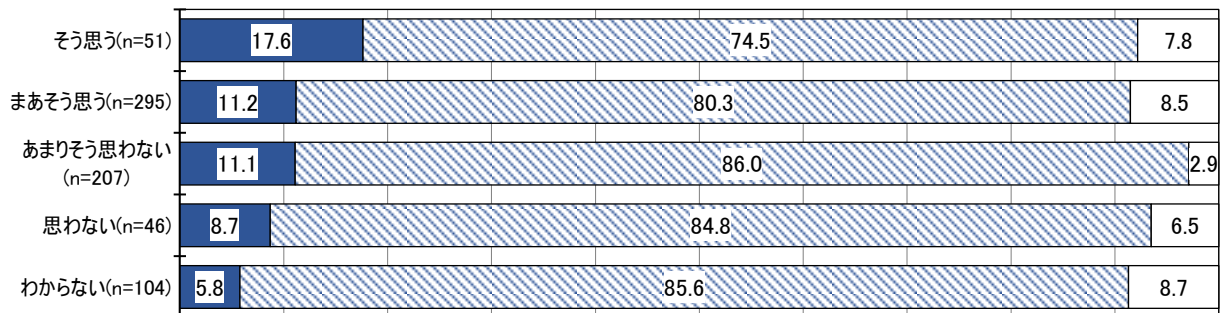
【凡例】



【全体】

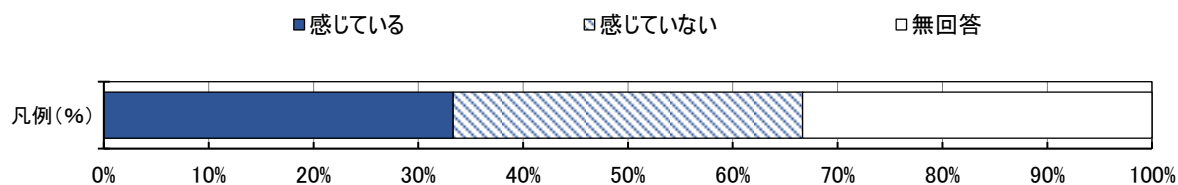


人権が尊重されるまち実感度別

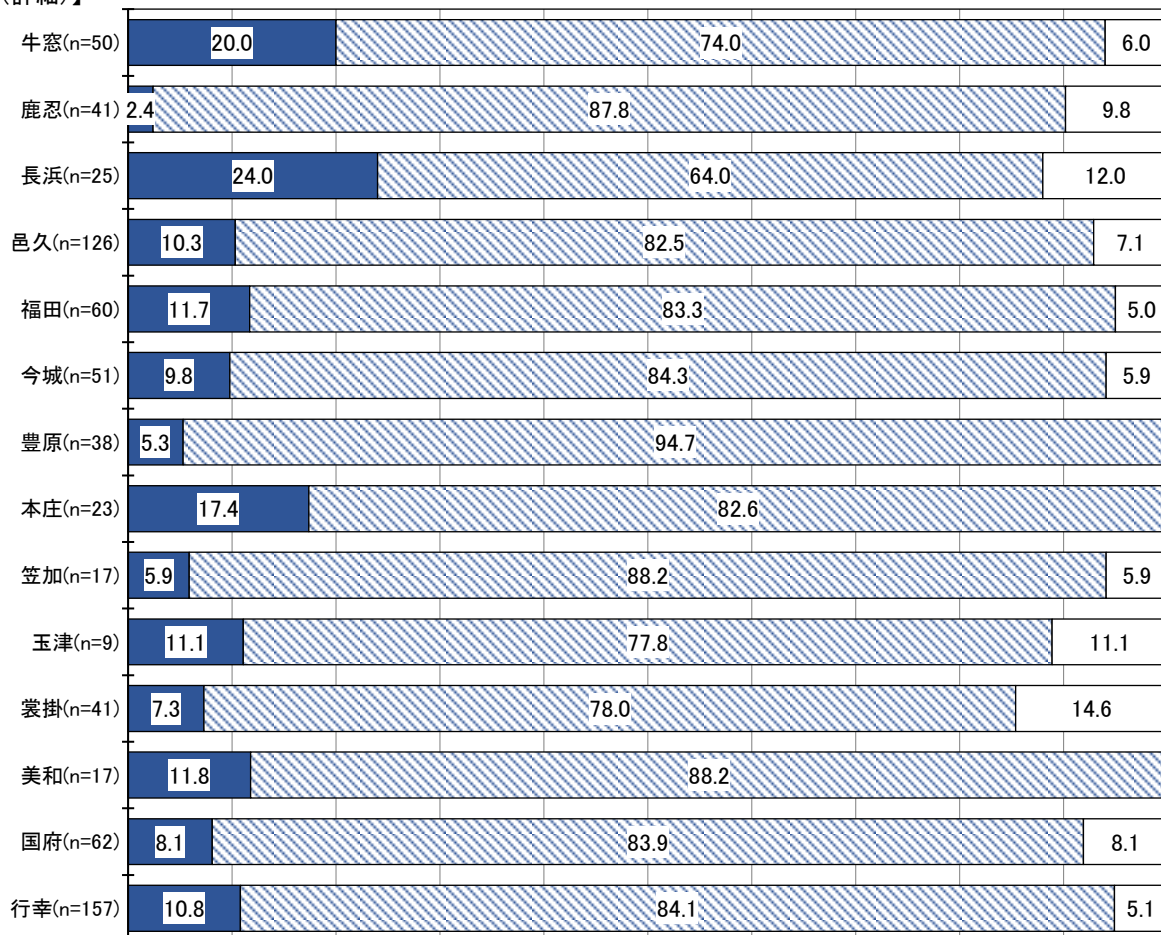


地域別でみると、「感じている」は長浜などで高く、「感じていない」は鹿忍、笠加などで高くなっています。

【凡例】



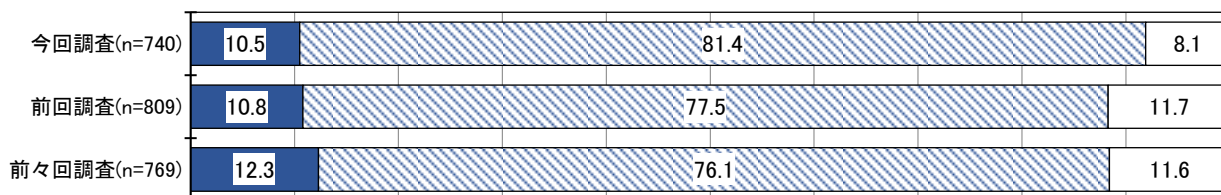
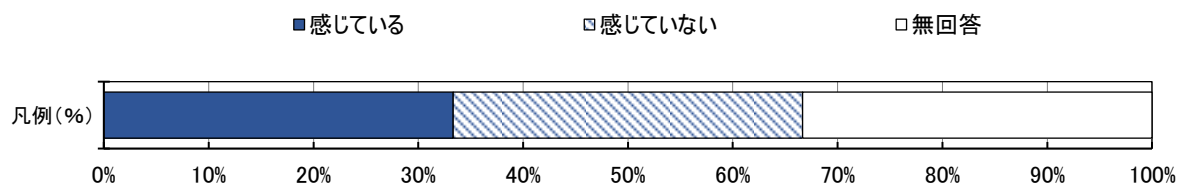
【地域（詳細）】



【過去三カ年の推移】

「感じていない」が経年でやや増加傾向にあります。

【凡例】



問2(40) あなたは、性的少数者にとって瀬戸内市は暮らしやすい環境だと思いますか

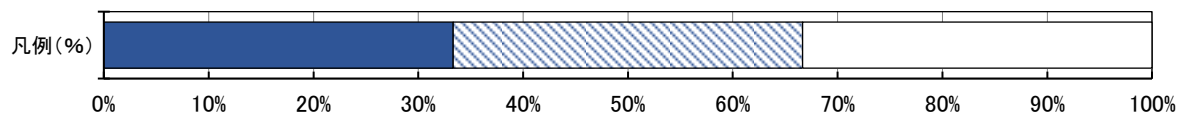
「そう思わない」が74.5%を占めています。

性別では、大きな差はみられませんでした。

年齢別では、29歳以下で「そう思う」の割合が高くなっています。

【凡例】

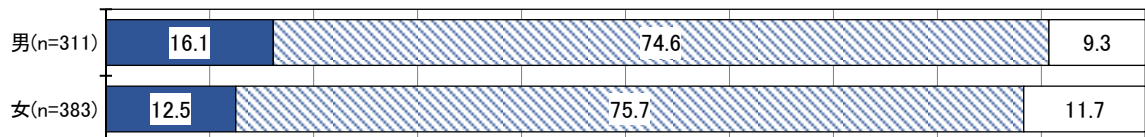
■ そう思う □ そう思わない □ 無回答



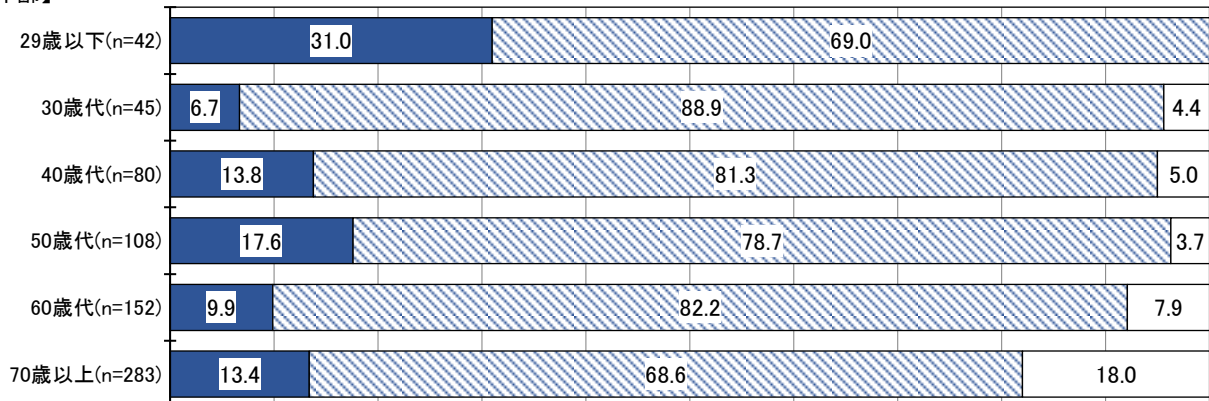
【全体】



【性別】

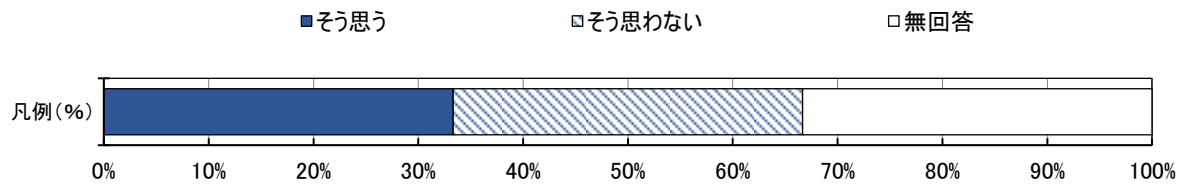


【年齢】



人権が尊重されるまち実感度別では、実感がある(「そう思う」)層ほど、「そう思う」の割合が高くなっています。

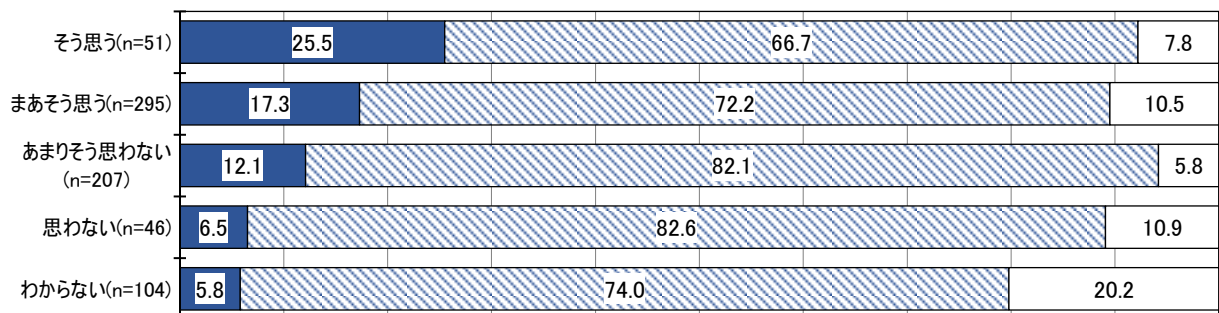
【凡例】



【全体】

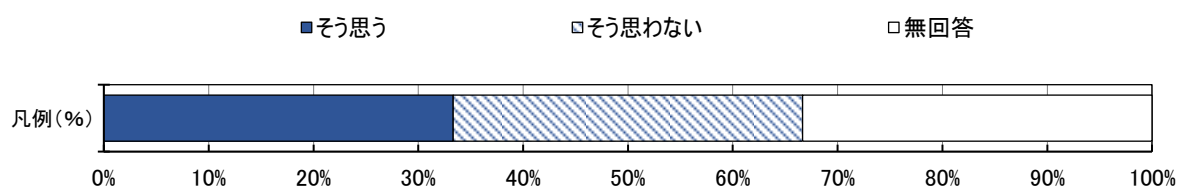


人権が尊重されるまち実感度別

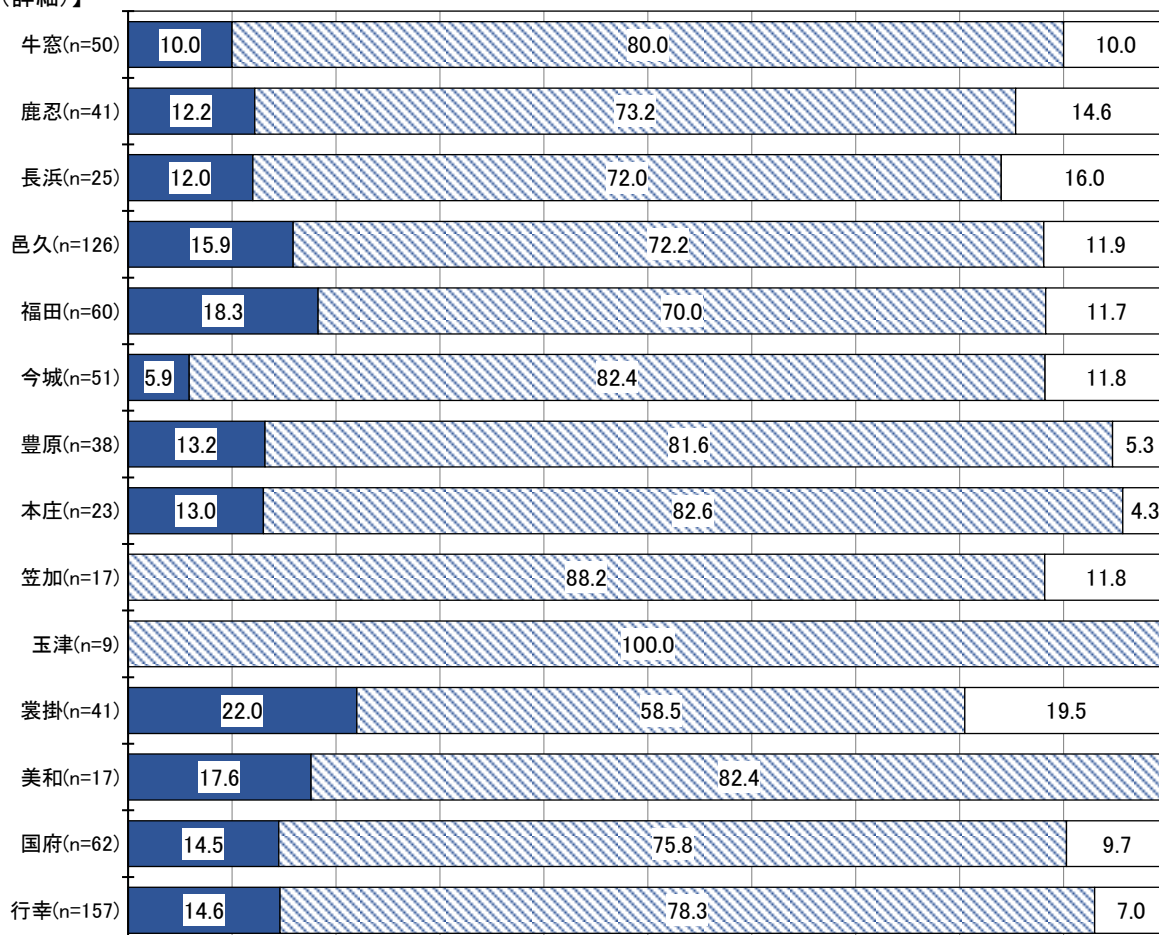


地域別でみると、「そう思う」は裳掛などで高く、「そう思わない」は玉津で100.0%となっています。

【凡例】



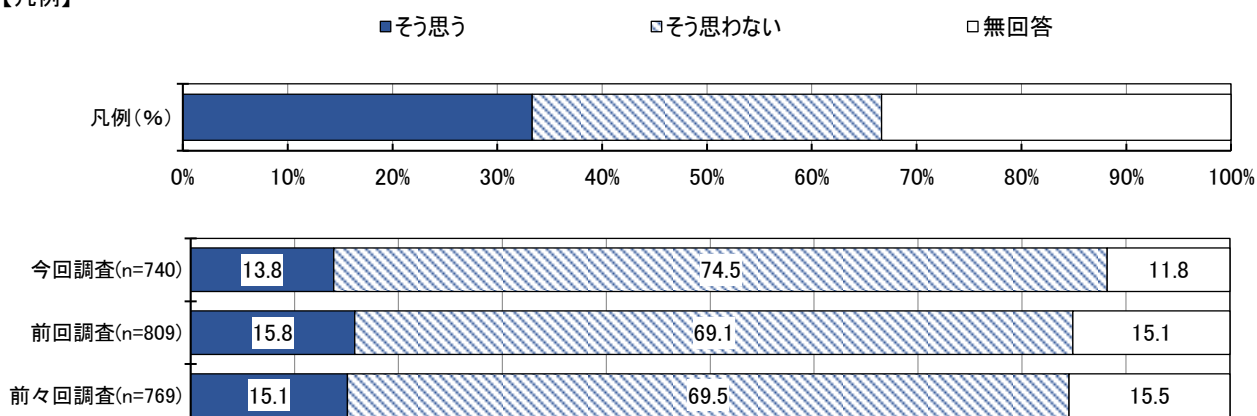
【地域(詳細)】



【過去三カ年の推移】

前々回および前回調査と比較して、大きな変化は見られません。

【凡例】



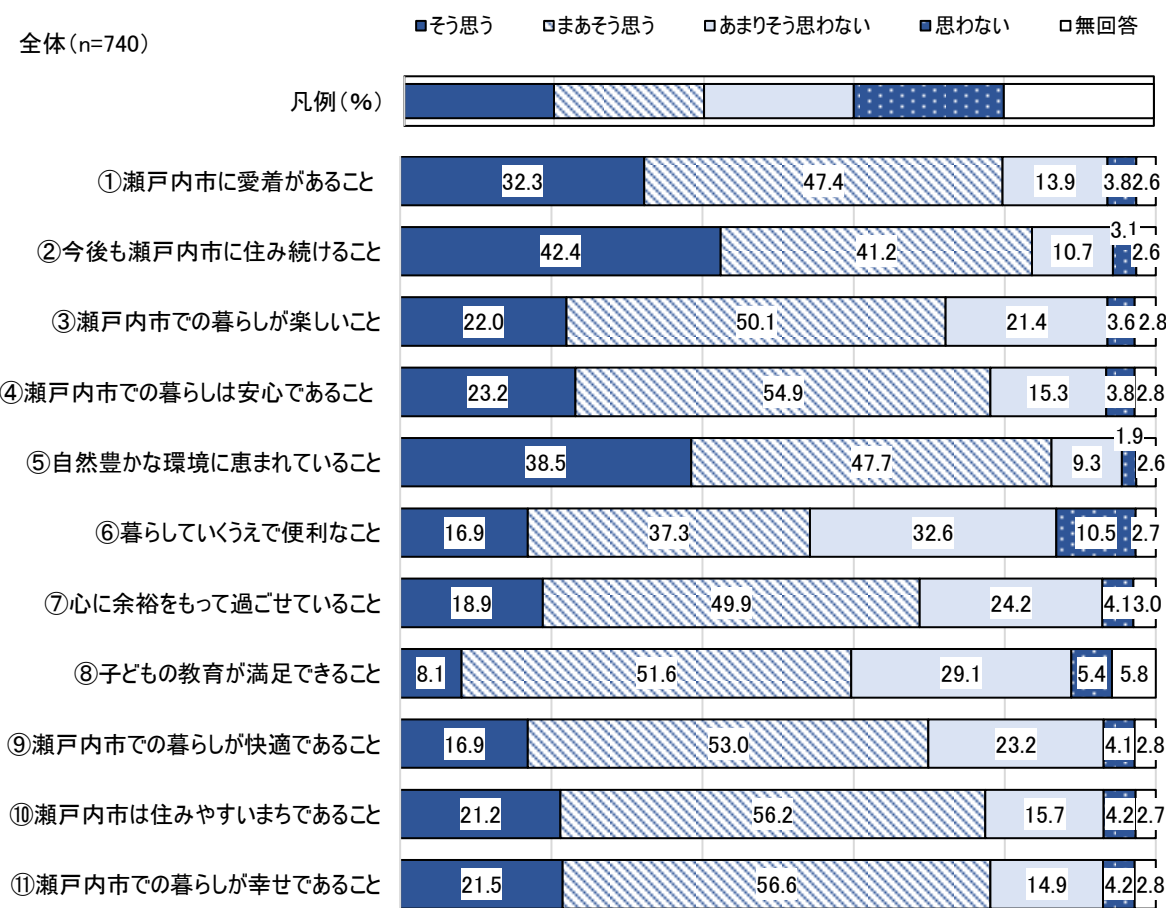
【3】瀬戸内市の暮らしについて

問3 あなたの瀬戸内市での暮らしについておたずねします。下記の(1)～(11)の質問ごとに、回答欄の4つの選択肢から、あてはまるもの1つを選んで、番号に○印をつけてください。

1 瀬戸内市の暮らしに関する評価

本市の暮らしに関する11項目について4段階評価で回答を得たところ、「そう思う」の割合が最も高かったのは「②今後も瀬戸内市に住み続けること」(42.4%)で、次いで「⑤自然豊かな環境に恵まれていること」(38.5%)、「①瀬戸内市に愛着があること」(32.3%)が続いており、いずれも「まあそう思う」を合計した『賛成意識』は約8割以上を占めています。

一方、「あまりそう思わない」「思わない」を合計した『反対意識』は、「⑥暮らしていくうえで便利なこと」(43.1%)、「⑧子どもの教育が満足できること」(34.5%)などで高くなっています。

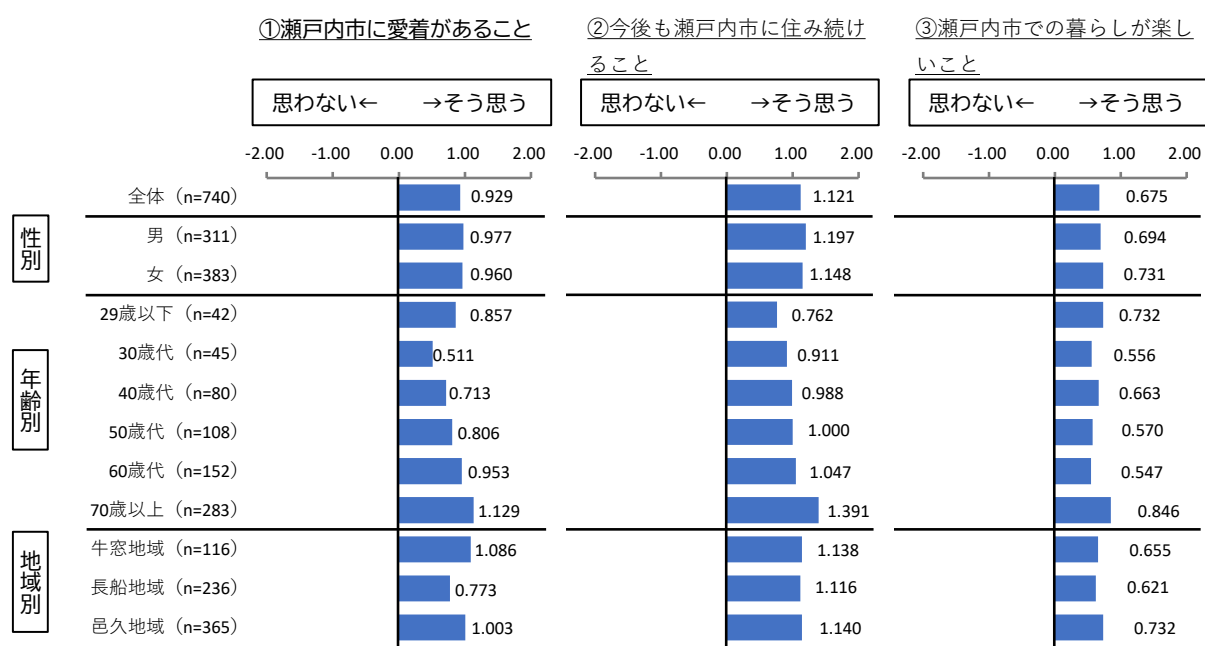


平均評定値による属性別傾向をみると、性別では「⑤自然豊かな環境に恵まれていること」、「⑩瀬戸内市は住みやすいまちであること」、「⑪瀬戸内市での暮らしが幸せであること」で女性の賛成意識が男性よりやや高くなっています。

年齢別では、29歳以下で「④瀬戸内市での暮らしは安心であること」、「⑤自然豊かな環境に恵まれていること」、70歳以上で「①瀬戸内市に愛着があること」、「②今後も瀬戸内市に住み続けること」、「⑤自然豊かな環境に恵まれていること」の賛成意識がそれぞれ高くなっています。また、おおむね若い年齢層ほど「⑤自然豊かな環境に恵まれていること」、「⑦心に余裕をもって過ごせていること」、「⑩瀬戸内市は住みやすいまちであること」の賛成意識が高く、年齢が上がるほど「②今後も瀬戸内市に住み続けること」の賛成意識が高くなっています。

地域別に賛成意識をみると、牛窓地域で「①瀬戸内市に愛着があること」が高くなっています。一方、牛窓地域は「⑥暮らしていくうえで便利なこと」の反対意識が他の地域に比べて高くなっています。

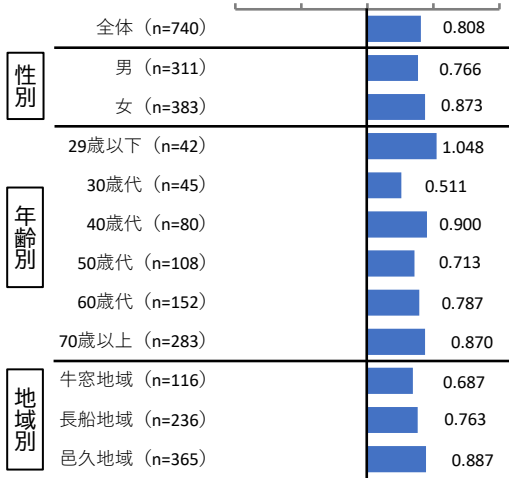
○平均評定値（加重平均値）は、「思わない」に－2点、「あまりそう思わない」に－1点、「まあそう思う」に＋1点、「そう思う」に＋2点の係数を、それぞれの回答件数に乘じ、加重平均して算出した値で、－2に近いほど反対、＋2に近いほど賛成を示す指標としています。



④瀬戸内市での暮らしは、安心であること

思わない← →そう思う

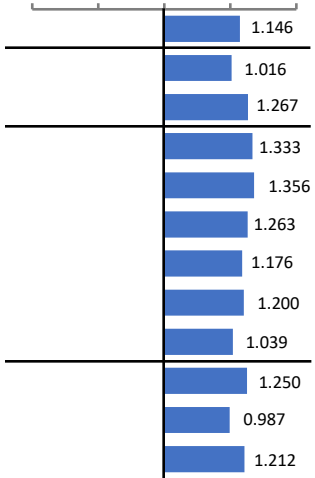
-2.00 -1.00 0.00 1.00 2.00



⑤自然豊かな環境に恵まれていること

思わない← →そう思う

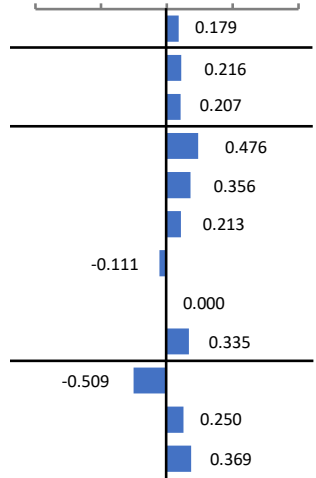
-2.00 -1.00 0.00 1.00 2.00



⑥暮らしていくうえで便利なこと

思わない← →そう思う

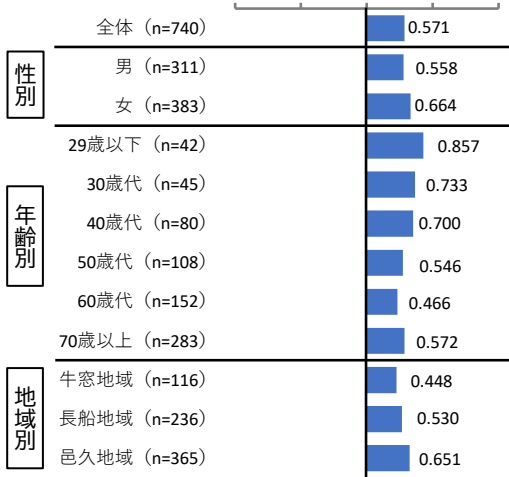
-2.00 -1.00 0.00 1.00 2.00



⑦心に余裕をもって過ごせていること

思わない← →そう思う

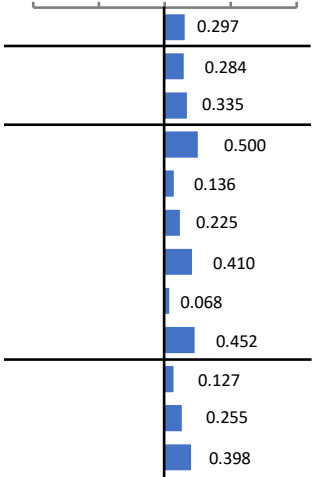
-2.00 -1.00 0.00 1.00 2.00



⑧子どもの教育が満足できること

思わない← →そう思う

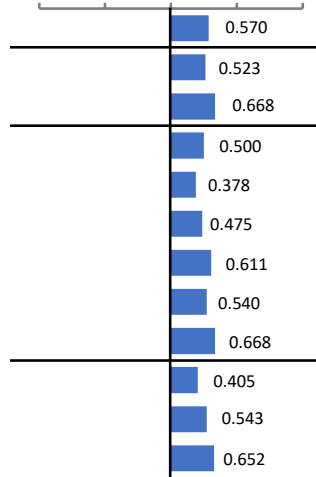
-2.00 -1.00 0.00 1.00 2.00

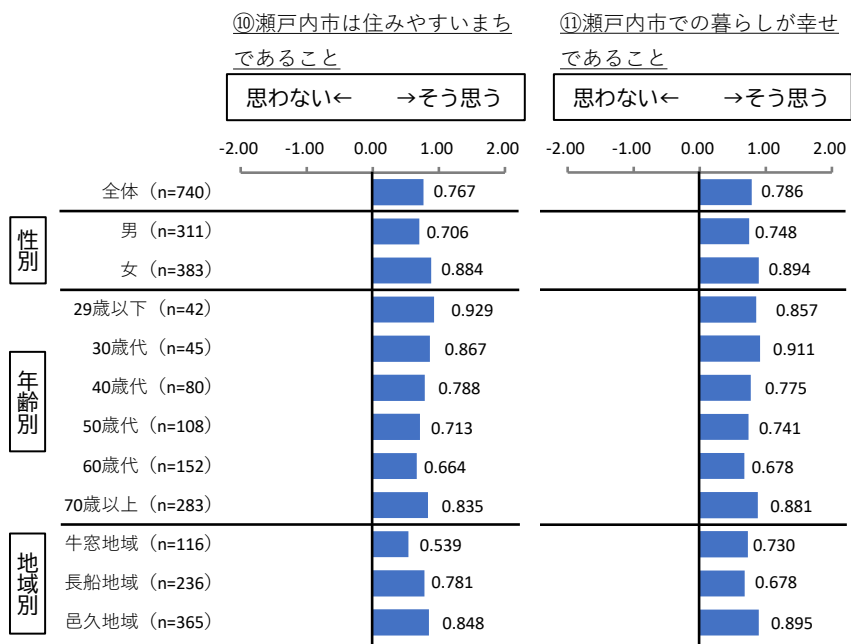


⑨瀬戸内市での暮らしが快適であること

思わない← →そう思う

-2.00 -1.00 0.00 1.00 2.00





【4】自由意見

現在または将来に向けての市の行政やまちづくりにご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

自由意見の記述欄では、1人の回答者が、複数の意見を記入している場合は分割して複数項目へ割り当てるなどして、総計 779 件となりました。

以下は、それらの内容を項目ごとに整理・分類したものととなります。

最も多かった意見は、「No. 20 便利で快適な道路が通ったまち」が 66 件で最も多く、次いで「No. 22 自由に行き来できるまち」(52 件)、「No. 10 安心して笑顔で子育てできるまち」(41 件)、「No. 13 いくつになっても安心して暮らせるまち」(37 件)などの順となっており、道路や公共交通機関の整備を筆頭に、子育て家庭支援、ニーズに合った介護・福祉の対応などが上位にあがっています。

一方、「No. 3 子どもの成長をみんなで見守るまち」「No. 31 消費者を守り育てるまち」に関する回答はみられませんでした。

施策大綱	分類 NO	施策	今後の主な取組(略表記)	回答 件数
未来に輝く人づくりと文化の創造	1	みんなの思いやりがあふれる人権尊重のまち	人権尊重のまち	8
	2	子どもが楽しく学び成長を実感できるまち	学校教育	24
	3	子どもの成長をみんなで見守るまち	家庭教育	0
	4	互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち	生涯教育	6
	5	スポーツを通じ健やかに暮らせるまち	スポーツ活動の場	12
	6	国際社会にはばたく人を育むまち	国際理解のための学習	3
	7	歴史・文化や芸術を大切にするまち	文化財の保護・保存	9
健康でいきいきとした暮らしの実現	8	健康やかに暮らせるまち	健康づくり活動	10
	9	質の高い医療が受けられるまち	医療提供体制の充実	28
	10	安心して笑顔で子育てできるまち	子育て家庭支援	41
	11	働きながらでも安心して子育てできるまち	保育サービスの提供	14
	12	高齢者が元気なまち	高齢者の社会参加	2
	13	いくつになっても安心して暮らせるまち	ニーズに合った介護・福祉	37
	14	高齢者を地域ぐるみで支えあうまち	地域福祉	9
	15	障がい者がいきいきと暮らせるまち	障がい者の社会活動	11
	16	生活困窮者が自立できるまち	生活困窮者の自立支援	3
安全・安心で快適な暮らしの実現	17	活力を生み調和のとれた土地利用を進めるまち	土地利用の促進	16
	18	光輝く自然・まちなみが残るまち	原風景・自然景観の保存	13
	19	住んでみたい・住み続けたいと思える住宅があるまち	定住促進	21
	20	便利で快適な道路が通ったまち	道路整備	66
	21	河川・海岸・港湾が整備された安心なまち	河川の改修	16
	22	自由に行き来できるまち	公共交通機関の利用促進	52
	23	便利な情報ネットワークがあるまち	行政手続きオンライン化	5
	24	安全で安心な水道水が飲めるまち	上水道の整備	11
	25	きれいな水を未来へ渡すまち	下水道の整備	8
	26	環境に配慮した美しいまち	ゴミの減量	28
	27	人と地球にやさしいまち	新エネルギーの導入	7
	28	防災意識の高いまち	防災・災害の防止	12
	29	交通事故ゼロをめざすまち	交通安全教育・啓発	11
	30	地域みんなで防犯に力を入れるまち	市民の防犯意識	27
	31	消費者を守り育てるまち	消費者教育の実施	0
魅力ある産出都市の創出	32	農林業にやりがいを見出すまち	農業後継者の確保	15
	33	水産業に活力が生まれるまち	漁業の転換	2
	34	商業・サービス業の経営の安定化に取り組むまち	企業の支援(買物環境)	32
	35	企業が進出しやすく経営が安定するまち	企業誘致に向けた環境	10
	36	雇用・労働環境が整ったまち	雇用機会の創出・拡大	5
	37	にぎわいと活気のある観光のまち	観光情報の効果的な発信	15
(※) 市民と協働	38	透明で開かれた市役所があるまち	市民からの意見聴取	12
	39	市民ニーズにこたえる市役所があるまち	財政のスリム化	16
	40	みんなが知恵を出しあい助けあうまち	協働によるまちづくり	7
	41	その他	その他	18
			合計	779

※市民と行政が共同で進める自主自立した都市の実現

重要な調査です★ご協力をお願いします

《瀬戸内市 市民まちづくり意識調査》

市民の皆様には、日頃から市政に対し格別のご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

市民まちづくり意識調査は、原則として2年に一度実施しており、市民の皆様のご意見を市政全般にわたってお聞きする大変重要な調査です。

今回の調査は、瀬戸内市がめざす将来(2040年)の姿を、現在市民の皆様がどの程度実感し、あわせて、どんなまちの姿を重要視しているかについて把握するとともに、令和3年度を初年度とする第3次瀬戸内市総合計画の中間見直しのため、計画の数値目標に対する現状値を把握するために実施するものです。

調査の実施にあたり、18歳以上の市内居住者から、1,800人を無作為に抽出したところ、あなたにお答えをお願いすることになりました。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の目的、趣旨をご理解のうえ、率直なご意見をお聞かせください。なお、調査結果につきましては、市のホームページを通じてお知らせします。

なお、このアンケートは統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはありません。

令和8年5月

瀬戸内市長 黒石 健太郎

ご記入にあたってのお願い

1. あて名のご本人がお答えください。
2. 回答方法は、(1つに○印)など、設問ごとに指定されています。
お間違えのないようお答えください。
○印は、番号を囲むように濃くつけてください。(例 ①)
3. ご記入いただいた調査票は、**6月5日(金)**までに同封の返信用封筒に入れて返送してください。(切手は不要です。)
4. ご記入は、ボールペン、鉛筆、シャープペンシルまたは万年筆でお願いします。
5. この調査票についてのお問い合わせは、下記をお願いします。

瀬戸内市 成長戦略部 市政推進課

電話 0869-22-1113 FAX 0869-22-3304



返送の際は、この線にそって三つ折りに
して封筒にお入れください。



瀬戸内市がめざしている姿に対する現在の実感度と重要度について

問1 瀬戸内市がめざしている将来(2040年)の姿に対する次の25項目についておたずねします。
 あなたが感じている現在の「実感度」と「重要度」について、1～25の項目ごとに、あなたの考えに
 一番近いものそれぞれ1つに○印をつけてください。

※「実感度」「重要度」の両方にご回答ください。

		現在の「実感度」 (1つに○印)					あなたの「重要度」 (1つに○印)				
		そう 思う	まあ そう 思う	あまり そう 思わない	思 わ な い	わ か ら な い	特に 重視 する	重 視 す る	あ ま り 重 視 し な い	重 視 し な い	わ か ら な い
2	記載例:子どもたちが夢を育むことができるまち	4	③	2	1	0	4	③	2	1	0
1	安心して子どもを出産し、育てることができるまち	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
2	子どもたちが夢を育むことができるまち	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
3	市内で暮らす人々が住んでいることを誇れるまち	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
4	子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
5	高齢者が元気に暮らせるまち	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
6	人権が尊重され、だれもがいいきと明るく暮らせるまち	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
7	互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
8	外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
9	市民が健康でいきいきと暮らせるまち	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
10	いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

		現在の「実感度」 (1つに○印)						あなたの「重要度」 (1つに○印)				
		そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない		特に重視する	重視する	あまり重視しない	重視しない	わからない
11	障がいがある人が毎日明るく、明日へ希望が持てるまち	4	3	2	1	0	➡	4	3	2	1	0
12	生活に困窮する人が自立できるまち	4	3	2	1	0	➡	4	3	2	1	0
13	市外から瀬戸内市に通勤・通学している人にとって、愛着が持て、誇れるまち	4	3	2	1	0	➡	4	3	2	1	0
14	地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち	4	3	2	1	0	➡	4	3	2	1	0
15	地域みんなで防犯に力を入れているまち	4	3	2	1	0	➡	4	3	2	1	0
16	防災体制が整っており、災害に強いまち	4	3	2	1	0	➡	4	3	2	1	0
17	かしこい消費者が多いまち	4	3	2	1	0	➡	4	3	2	1	0
18	子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち	4	3	2	1	0	➡	4	3	2	1	0
19	農水産業で生活できるまち	4	3	2	1	0	➡	4	3	2	1	0
20	商工業者が意欲的に事業に取り組めるまち	4	3	2	1	0	➡	4	3	2	1	0
21	企業が進出しやすい条件が整っているまち	4	3	2	1	0	➡	4	3	2	1	0
22	にぎわいと活気のある観光のまち	4	3	2	1	0	➡	4	3	2	1	0
23	コミュニティ活動などにより、市民自らの力で地域を改善していけるまち	4	3	2	1	0	➡	4	3	2	1	0
24	市民の納税に対する意識が高いまち	4	3	2	1	0	➡	4	3	2	1	0
25	すばらしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまち	4	3	2	1	0	➡	4	3	2	1	0

あなた自身の行動や考えについておたずねします

問2 あなたの日頃の行動や考えについておたずねします。

下記の(1)～(40)の質問ごとに、回答欄の2つの選択肢((18)については4つ)から、あてはまるもの1つを選んで、番号に○印をつけてください。

質 問		回 答	
(1)	あなたは、ご自身の人権が守られていると思いますか	1 そう思う	2 そう思わない
(2)	あなたは、慣習やしきたりで男女が平等になっていると思いますか	1 そう思う	2 そう思わない
(3)	あなたは、人権問題について相談できる「なやみごと相談」の窓口を知っていますか	1 知っている	2 知らない
(4)	あなたは、近所の子どもに会ったときに、あいさつや声かけをしていますか	1 している	2 していない
(5)	あなたは、生涯学習講座などの活動に参加したことがありますか	1 ある	2 ない
(6)	あなたは、学習やスポーツの指導など、地域に貢献する活動をしていますか	1 している	2 していない
(7)	あなたは、週に2回以上、1回30分以上の運動を1年以上継続していますか	1 している	2 していない
(8)	あなたは、歴史や文化、芸術に関わる活動をしていますか	1 している	2 していない
(9)	あなたは、市が発信する子育て情報に満足していますか	1 満足している	2 満足していない
(10)	あなたは、市内の公共施設や商業施設などで、「バリアフリー化」(障がい者や高齢者にとって不便な障がいを取り除く取組)が進んでいると思いますか	1 そう思う	2 そう思わない
(11)	あなたは、経済的な理由で日常生活が困難だと感じていますか	1 感じている	2 感じていない
(12)	あなたは、瀬戸内市の土地利用は、住宅や店舗、工場などが混在することなく、計画的に進められていると思いますか	1 そう思う	2 そう思わない
(13)	あなたは、瀬戸内市の景観に満足していますか	1 満足している	2 満足していない
(14)	あなたは、瀬戸内市の道路は快適だと思いますか	1 そう思う	2 そう思わない
(15)	あなたは、瀬戸内市には快適に利用できる公園や緑地が整っていると思いますか	1 そう思う	2 そう思わない
(16)	あなたは、バスや電車など、公共交通機関が利用しやすいと思いますか	1 そう思う	2 そう思わない
(17)	あなたは、電子マネーやクレジットカードなどのキャッシュレス決済を利用していますか	1 利用している	2 利用していない
(18)	あなたは、日常生活の中で、パソコンやスマートフォンなどの携帯電話でインターネットを活用していますか	1 パソコンで活用 2 携帯電話で活用 3 両方とも活用	4 活用していない
(19)	あなたは、家庭から出るごみのリサイクルを実践していますか	1 実践している	2 実践していない

質 問		回 答	
(20)	あなたは、日常生活で省エネを実践していますか	1 実践している	2 実践していない
(21)	あなたは、災害が起きたときのために、非常持出品を準備していますか	1 準備している	2 準備していない
(22)	あなたは、災害が起きたときの、最寄りの避難場所を知っていますか	1 知っている	2 知らない
(23)	あなたは、悪質商法などへの対応について相談できる市役所や県、警察などの「消費生活」に関する相談窓口を知っていますか	1 知っている	2 知らない
(24)	あなたは、農産物を買うときに、地元産かどうか意識していますか	1 意識している	2 意識していない
(25)	あなたは、水産物を買うときに、地元産かどうか意識していますか	1 意識している	2 意識していない
(26)	あなたは、瀬戸内市は日常生活品の買い物がしやすいまちだと思いますか	1 そう思う	2 そう思わない
(27)	あなたは、「広報せとうち」を読んでいますか	1 読んでいる	2 読んでいない
(28)	あなたにとって、「広報せとうち」の情報は役立っていますか	1 役立っている	2 役立っていない
(29)	あなたは、瀬戸内市のホームページを見たことがありますか	1 ある	2 ない
(30)	あなたにとって、瀬戸内市ホームページの情報は役立っていますか	1 役立っている	2 役立っていない
(31)	あなたは、広報紙やホームページで必要な市の情報を手に入れることができますか	1 できる	2 できない
(32)	あなたは、市政に関心がありますか	1 ある	2 ない
(33)	広報紙やホームページを通じて市の財政状況を公表していますが、あなたは、市の財政が改善されていると思いますか	1 そう思う	2 そう思わない
(34)	あなたは、市役所が行うまちづくりの取り組みについて満足していますか。	1 満足している	2 満足していない
(35)	あなたは、自治会などでの地域コミュニティ活動に参加していますか	1 参加している	2 参加していない
(36)	あなたは、過去1年間にボランティア、NPO活動に参加したことがありますか	1 ある	2 ない
(37)	あなたは、SDGs(持続可能な開発目標)について知っていますか	1 知っている	2 知らない
(38)	あなたは、SDGs の目標達成のために何らかの行動をしていますか	1 行動している	2 行動していない

質 問		回 答	
(39)	あなたは、性的少数者※に対して市民の関心が高まっていると感じますか	1 感じている	2 感じていない
(40)	あなたは、性的少数者※にとって瀬戸内市は暮らしやすい環境だと思いますか	1 そう思う	2 そう思わない

※性的少数者：恋愛対象が同性または両性の人、心の性と身体の性が一致しない、あるいは心の性がはっきりしない人の総称

瀬戸内市の暮らしについておたずねします

問3 あなたの瀬戸内市での暮らしについておたずねします。

下記の(1)～(11)の質問ごとに、回答欄の4つの選択肢から、あてはまるもの1つを選んで、番号に○印をつけてください。

質 問		回 答			
		そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	思わない
(1)	あなたは、瀬戸内市に愛着がありますか	4	3	2	1
(2)	あなたは、今後も瀬戸内市に住み続けたいと思いますか	4	3	2	1
(3)	あなたにとって、瀬戸内市での暮らしは楽しいですか	4	3	2	1
(4)	あなたの瀬戸内市での暮らしは、安心できるものですか	4	3	2	1
(5)	あなたの瀬戸内市での暮らしは、自然豊かな環境に恵まれていると思いますか	4	3	2	1
(6)	あなたにとって、瀬戸内市は暮らしていくうえで便利ですか	4	3	2	1
(7)	あなたは、瀬戸内市に暮らしていて、心に余裕をもって過ごせていますか	4	3	2	1
(8)	あなたにとって、瀬戸内市の子どもの教育は満足できるものですか	4	3	2	1
(9)	あなたの瀬戸内市での暮らしは、快適ですか	4	3	2	1
(10)	あなたにとって、瀬戸内市は住みやすいまちですか	4	3	2	1
(11)	あなたにとって、瀬戸内市での暮らしは幸せですか	4	3	2	1

あなたご自身のことについておたずねします

問4 あなた自身のことについて、それぞれの項目ごとに、あてはまる番号を選んで 1 つに○印をつけてください。

(1) 性別	1 男 2 女 3 回答しない
(2) 年齢	歳（本調査時のあなたの満年齢を記入してください。）
(3) 居住地	1 牛窓 2 鹿忍(鹿忍・千手) 3 長浜 4 邑久(尾張・山手・山田庄・豊安) 5 福田(豆田・福元・百田・宗三・福中) 6 今城(大富・福山・向山・北島) 7 豊原(東谷・豊原・大窪) 8 本庄(本庄・上山田・下山田) 9 笠加(上笠加・下笠加・箕輪・北池) 10 玉津(尻海・庄田) 11 裳掛(福谷・虫明) 12 美和(西須恵・東須恵・飯井) 13 国府(牛文・磯上・福里・土師) 14 行幸(福岡・服部・八日市・長船)
(4) 居住年数	1 1年未満 2 1年以上5年未満 3 5年以上10年未満 4 10年以上20年未満 5 20年以上
(5) 職業等 ※主なもの	1 農林水産業 2 自営業、会社経営 3 勤め人(会社員、公務員等) 4 パート、アルバイト 5 家事従事 6 学生 7 無職 8 その他()
(6) 現住所への 居住のきっかけ	1 生まれたときから 2 就職・就学・転勤・転職のため 3 結婚のため 4 親や子どもと同居・近居するため 5 住宅を住み替えたため 6 その他()
(7) 家族構成	1 ひとり暮らし 2 夫婦のみ 3 2世代(親・子) 4 3世代(親・子・孫) 5 その他()
※あてはまる方は、付問にもお答えください。	付問1 すべての方におたずねします。 ご家族の中に(自身を含む)65歳以上の方はいらっしゃいますか。 1 いる 2 いない
	付問2 問(7)で「3 2世代(親・子)」または「4 3世代(親・子・孫)」を選んだ方のみお答えください。 ご家族の中に20歳以下の子どもはいらっしゃいますか。 1 いる 2 いない
	付問3 付問2で「1 いる」を選んだ方のみお答えください。お子さんは次のどの年代にあてはまりますか。(あてはまるものをすべてに○印) 1 未就学児(6歳未満) 2 小学生・中学生 3 高校生・大学生・専門学校生・予備校生 4 その他()
(8) 主な移動手段 ※旅行など特別な場合を除く	1 本人運転の自動車 2 家族運転の自動車 3 タクシー 4 バス 5 電車 6 自転車 7 徒歩 8 その他()

自由意見

現在または将来に向けての市の行政やまちづくりにご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

<自由意見欄>

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は 6月5日(金) までに同封の返信用封筒にてご返送願います(切手は不要です。)